

大学院カリキュラム

医科学専攻

総合生命科学・
バイオ統計学専攻

看護学専攻

修士課程

Syllabus

2025

久留米大学大学院医学研究科

目 次

久留米大学大学院医学研究科の教育・研究上の目的.....	1
久留米大学大学院医学研究科.....	2
久留米大学の年譜.....	4
大学院の組織.....	6
久留米大学大学院医学研究科修士課程学生に対する通知事項.....	7
2025年度オフィスアワーについて.....	10
久留米大学大学院医学研究科修士課程カリキュラム概要.....	17
授業科目及び修了要件.....	25
学位論文の申請・審査手続きについて.....	97
2025年度（令和7年度）大学院医学研究科修士課程学年暦・行事予定.....	98
2025年度（令和7年度）大学院医学研究科修士課程7曜表.....	99
各専攻科目の主な研究分野と指導教授.....	100
2025年度（令和7年度）大学院医学研究科修士課程 科目責任者一覧.....	106
久留米大学大学院学則.....	115
久留米大学大学院医学研究科規程.....	160
久留米大学学位規則.....	177
久留米大学大学院医学研究科学位規則施行細則.....	183
大学院医学研究科修士課程の学位授与に関する手続き及び審査基準に関する内規.....	190
学位申請の取扱いについて（申し合わせ）(修士).....	192
大学院修士課程早期修了者（1年以上2年未満在学）の論文審査手続について.....	193
久留米大学大学院医学研究科における学位論文指導計画等策定に関する内規.....	195
久留米大学大学院医学研究科奨学金規程.....	196
久留米大学大学院医学研究科奨学金規程施行細則.....	198
久留米大学大学院医学研究科学生納入金減額規程.....	200
久留米大学大学院私費外国人留学生学納金免除規程.....	201
優れた学位論文に対する表彰制度要項.....	202
久留米大学学生医療費補助規程.....	204
大学病院及び医療センターにおいて本学学生が受診した場合の診療費の還付方法について.....	206
久留米大学医学図書館利用細則.....	209
久留米大学御井図書館利用細則.....	212
久留米大学校歌.....	215
久留米大学旭町キャンパス配置図.....	216
教育1号館各階平面図.....	217
基礎1号館、基礎2号館各フロア案内図.....	220
基礎1号館平面図.....	221
基礎2号館平面図.....	222
基礎3号館、病院北館（総合複合棟・放射線腫瘍センター）各フロア案内図、平面図.....	223
臨床研究棟各フロア案内図.....	224
医学部看護学科・医療検査学科1号館各階平面図.....	225
医学部看護学科・医療検査学科2号館各階平面図.....	228
医学部B棟1F（保健管理センター）、7F（バイオ統計センター）平面図.....	230
久留米大学案内図.....	232

久留米大学大学院医学研究科の教育・研究上の目的

久留米大学大学院は、学校教育法に基づき、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究め、文化の進展に寄与することを目的とする。

(「久留米大学大学院学則第1章 総則 第1条 目的」より)

久留米大学大学院医学研究科は、医学・医療の分野で先駆的な学術研究を推進するとともに、幅広い視野、高度の専門性と豊かな教養及び人間性を備え、国際的に活躍し、地域医療に貢献しうる優れた人材を育成することを目的とする。

本研究科修士課程は、各専攻分野の研究能力及び高度の専門性が求められる職業を担うための卓越した能力、教養、人間性を備えた人材を育成することを目的とする。

(「久留米大学大学院医学研究科規程第1章 医学研究科の目的 第1条」より)

久留米大学大学院医学研究科

【修士課程】

<p>アドミッションポリシー (入学者受け入れ方針)</p>	<p>本研究科修士課程はあらゆる学部の大学卒業者で、医学・医療に貢献することを目指す多様な学問的背景をもった人材を対象にしている。</p> <p>広い視野に立った看護学、基礎医学、社会医学、分子生命科学およびバイオ統計学における研究能力及び高度の専門性が求められる職業を担うための卓越した能力、教養、人間性を備えた人材を養成し輩出することを目的としているので以下のような人材を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 本課程修了後に医療現場における高度な専門職業人としての活躍を目指す人。 2) 本課程修了後に教育・研究者として更なる研鑽（博士課程への進学）を希望する人。 3) 国際社会に貢献する意欲のある人。 4) あらゆる学部の卒業者で保健・医療・福祉関連分野の業務経験者を歓迎する。 5) 学士以外にも医療・福祉系国家資格有資格者で医療・保健・福祉業務にすでに従事している社会人が働きながらスキルアップを目指し、業務と学修の両立を目指す意欲ある者を歓迎する。
<p>カリキュラムポリシー (教育課程の編成・実施の方針)</p>	<p>修士課程は、医科学専攻（基礎医学群、社会医学群、分子生命科学群、バイオ統計学群）4学群及び看護学専攻（修士論文コース、専門職養成コース）2コースからなる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 基礎科目として広範かつ体系的な医学知識を修得する。 2) 社会で活躍している国内外の優れた講師を招聘した特別講義を履修できる。 3) 1年次は志望する専攻科目（分野）の専門知識および最新情報を修得する科目を組合せて履修する。 4) 1～2年次にかけて指導教授からの研究指導を通じて研究題目の設定、研究計画書の策定、データ収集を行い、修士学位論文を作成する。
<p>ディプロマポリシー (学位授与の方針)</p>	<p>【修士（医科学）】</p> <p>修士課程では、2年以上在学し（長期履修学生制度該当者は3年間）、所定の単位を取得し、以下の要件を満たし、かつ学位論文を提出してその審査及び最終試験に合格した者に「修士（医科学）」の学位を授与する。ただし、1年以上在学し研究業績を上げた者で所定の要件を満たした場合には、同学位を授与することがある。</p> <p>(達成すべき要件)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 専攻分野の背景を理解し、知識を蓄積し、医学の発展に寄与できる研究能力の基盤を築く。 2) 人間の尊厳と権利を擁護し、医の倫理および研究倫理をもとに研究を遂行する能力を築く（eラーニングの受講）。

ディプロマポリシー
(学位授与の方針)

- 3) 国内外の学会で発表を経験し、発表能力および科学的議論を行う能力を養う(学会あるいは研究会・セミナーで発表と質疑応答を経験する)。
- 4) 習得した知識をもとに、研究計画の策定能力を養う(研究題目の設定、研究計画書の策定と提出を経験する)。
- 5) 地域さらには世界の医学の発展に貢献するための論文作成能力を養う(学位論文を作成できる)。

【修士(看護学)】

修士課程看護学専攻では、医学研究科の教育・研究上の目的に基づき、次のような能力を身につけ、修了に必要な単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で修士論文の審査および最終試験に合格した者に「修士(看護学)」の学位を授与する。ただし、1年以上在学し研究業績を上げた者で所定の要件を満たした場合には、同学位を授与することがある。

(達成すべき要件)

- 1) 専攻分野における卓越した看護実践能力を有する。
- 2) 看護の質の改善、看護学の発展に寄与できる研究能力を有する。
- 3) 自律した専門職として、総合的な調整能力をもち多職種間連携を主導する能力を有する。
- 4) 高い倫理観をもち複雑な倫理的課題に対応できる能力を有する。
- 5) 高度な教育・研究・実践活動を通し、地域社会に貢献できる能力を有する。
- 6) 看護の現場を円滑に運営するための管理的役割と、看護学の発展を支える次世代を育てる教育力を有する。
- 7) グローバルな国際的視野から看護を考える能力を有する。

久留米大学の年譜

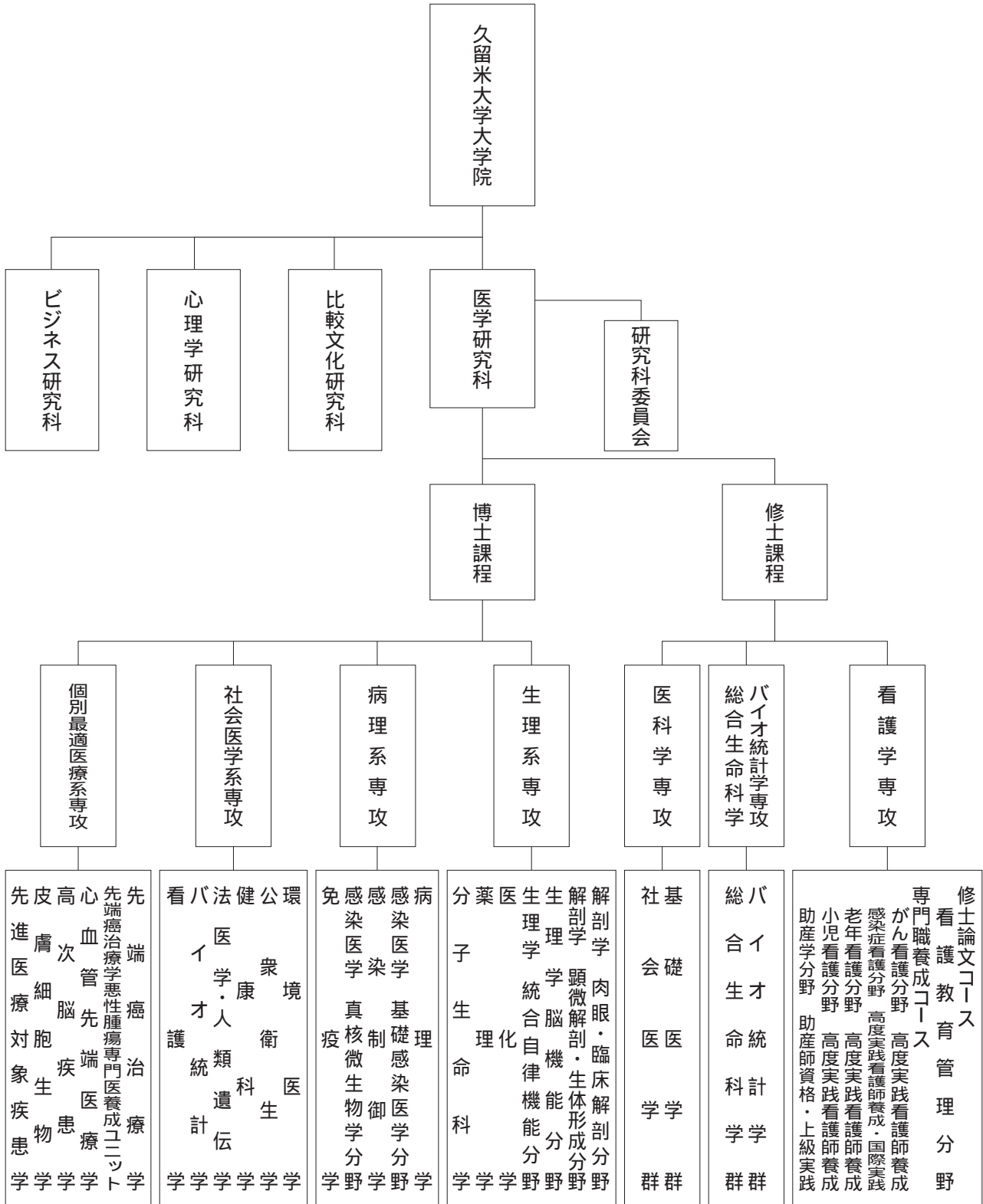
本学は、高い教養と深い専門知識を有する気概ある篤実な人材を育成し、あわせて学術の進展と文化の向上に寄与することを使命としています。

(学校の部)

昭和3年2月	専門学校令による九州医学専門学校を設置
同 4月	附属病院を開院
昭和14年3月	九州医学専門学校に5年制の課程を設置
昭和17年9月	九州医学専門学校(4年制)を廃止
昭和18年2月	九州医学専門学校5年制課程を九州高等医学専門学校に改称
昭和21年3月	大学令による久留米医科大学及び同予科を設置
同 5月	久留米医科大学予科第2学年を編成
昭和23年2月	久留米医科大学学部を開設
昭和25年2月	教育基本法及び学校教育法による久留米大学を設置し商学部商学科を開設
同 2月	久留米大学附設高等学校を設置
昭和26年3月	久留米医科大学予科を廃止
昭和27年2月	久留米大学医学部を開設
同 12月	九州高等医学専門学校を廃止
昭和29年9月	学位令による久留米医科大学学位授与を施行
昭和30年1月	久留米大学医学部に医学進学課程を設置
昭和31年3月	久留米大学大学院を設置し医学研究科博士課程を開設
昭和36年3月	久留米医科大学を廃止
昭和41年3月	久留米大学医学部附属高等看護学校を設置
昭和43年2月	久留米大学医学部附属衛生検査技師学校を設置
昭和44年4月	久留米大学附設中学校を設置
昭和47年4月	久留米大学医学部附属衛生検査技師学校を久留米大学医学部附属臨床検査技師学校に校名を変更
昭和48年4月	久留米大学医学部附属高等看護学校に二部(夜間課程)を併設
昭和50年4月	久留米大学商学部に経済学科を増設
昭和51年6月	久留米大学医学部附属高等看護学校を久留米大学医学部附属看護専門学校に校名を変更
同 6月	久留米大学医学部附属臨床検査技師学校を久留米大学医学部附属臨床検査専門学校に校名を変更
昭和59年4月	久留米大学コンピュータ教育センターを設置
昭和62年2月	久留米大学比較文化研究所を設置
同 3月	久留米大学医学部附属看護専門学校二部(夜間課程)を廃止
同 4月	久留米大学法学部法律学科を開設
平成元年4月	久留米大学分子生命科学研究所を設置
同 4月	久留米大学大学院比較文化研究科修士課程を開設
平成3年4月	久留米大学大学院比較文化研究科博士課程を開設
平成4年3月	久留米大学医学部進学課程を廃止
同 4月	久留米大学文学部人間科学科・国際文化学科を開設
同 4月	久留米大学保健体育センターを開設
平成5年4月	久留米大学外国語教育研究所を開設
平成6年4月	久留米大学医学部に看護学科を増設
平成6年4月	久留米大学法学部に国際政治学科を増設
同 4月	久留米大学商学部経済学科を久留米大学経済学部経済学科に改組転換
同 7月	久留米大学医学部附属医療センターを開院
平成8年4月	久留米大学文学専攻科・法学専攻科・商学専攻科を設置
平成9年1月	久留米大学先端癌治療研究センターを設置
同 3月	久留米大学医学部附属看護専門学校を廃止
平成10年4月	久留米大学経済学専攻科を設置

同 6月	久留米大学循環器病研究所を設置
平成11年4月	久留米大学留学生別科を設置
平成12年4月	久留米大学文学部に社会福祉学科を増設
同 4月	久留米大学コンピュータ教育センターを久留米大学情報教育センターに名称を変更
同 4月	久留米大学保健体育センターを久留米大学健康・スポーツ科学センターに名称を変更
平成13年4月	久留米大学大学院医学研究科修士課程を開設
同 4月	久留米大学大学院心理学研究科を開設
平成14年1月	久留米大学国際交流センターを設置
同 4月	久留米大学文学部人間科学科を久留米大学文学部心理学科及び情報社会学科に改組転換
同 4月	久留米大学経済学部文化経済学科を増設
同 4月	久留米大学高次脳疾患研究所を設置
平成15年4月	久留米大学大学院医学研究科博士課程個別最適医療系専攻を開設（内科系・外科系を改組）
同 4月	久留米大学知的財産本部を設置
同 10月	久留米大学バイオ統計センターを設置
平成16年4月	久留米大学法科大学院法務研究科を設置
同 4月	久留米大学教育・学習支援センターを設置
平成17年4月	久留米大学大学院ビジネス研究科を設置
同 8月	久留米大学ビジネス研究所を設置
同 11月	久留米大学産学官連携戦略本部を設置
平成20年4月	久留米大学認定看護師教育センターを設置
平成21年4月	久留米大学臨床試験センターを設置
平成22年1月	久留米大学皮膚細胞生物学研究所を設置
同 4月	久留米大学経済社会研究所を設置
平成25年4月	久留米大学がんワクチンセンターを設置
平成26年7月	久留米大学地域連携センターを設置
平成27年4月	久留米大学臨床試験センターを廃止し、久留米大学医学部附属病院臨床試験センターに改組
同 4月	久留米大学保健管理センターを設置
同 8月	久留米大学 IR 室を設置
同 12月	久留米大学臨床研究支援機構を設立
平成28年4月	久留米大学学生支援室を設置
平成29年4月	久留米大学人間健康学部総合子ども学科・スポーツ医科学科を開設
同 4月	久留米大学臨床研究支援センターを設置
平成30年3月	久留米大学法科大学院法務研究科を廃止
同 4月	久留米大学産学官連携戦略本部を廃止し、久留米大学研究推進戦略センターに改組
平成31年4月	久留米大学臨床研究支援センターを廃止し、久留米大学医学部附属病院臨床研究センターに改組
同 4月	久留米大学教育学習支援センターを廃止し、久留米大学基盤教育研究センターに改編
同 4月	久留米大学アドミッションオフィスを設置
令和2年3月	久留米大学がんワクチンセンターを廃止
令和3年3月	久留米大学健康・スポーツ科学センターを廃止
同 4月	久留米大学保健管理センターを大学附置センター化
（法人の部）	
昭和3年2月	財団法人九州医学専門学校を設立
昭和18年8月	財団法人九州高等医学専門学校に変更
昭和21年3月	財団法人久留米医科大学に変更
昭和25年3月	財団法人久留米大学に変更
昭和26年3月	学校法人久留米大学に変更し現在に至る

大学院の組織



久留米大学大学院医学研究科修士課程学生に対する通知事項

1 教務事務に関する相談

大学院関係の教務事務は医学部事務部教務課を主管として行っている。場所は教育1号館2階にある。何か相談があれば、直接か、もしくは講座等を通じて質問されたい。

また、各種届と願の相談も受け付けるが、医学研究科委員会の承認を得るものもあるので、必ず事前に相談のこと。

時間：8：30～17：00（必要であれば、17：00以降も相談を受けるが、事前に連絡のこと）

2 連絡・通達について

学生への通知・連絡は基本的に所属講座等を通じて文書にて行うが、急な連絡や通達を行うことがある。学外の社会人学生へは直接文書を郵送するので、連絡先等変更があった場合は速やかに届け出ること。

その他、基礎1・2号館の1階のロビー内の掲示板、臨床研究棟1階入口と2階の渡り廊下に掲示板があり、大学院関係の掲示を行う。

また、行事の紹介等で年に4回「大学院ニュースレター」を発行しているが、重要な事務情報なども掲載しているので目を通すこと。

尚、電子シラバス（Hondana）および大学ホームページ（在学生・保護者の方）に学生向け情報（教務・学務等）を掲載するので必ずチェックすること。

電子シラバス（Hondana） <https://hondana.kurume-u.ac.jp>

大学ホームページ <https://www.kurume-u.ac.jp>

3 大学病院・医療センターにおける医療費補助について（詳細は診療費の還付方法についての頁参照）

大学院生は本学大学病院・医療センターにおいて医療を受けた場合、還付申請を行うことで医療費の一部が補助される。受診の際は保険証、学生証を受付に提示して、自己負担額を一旦支払うこと。

期限内に申請がない場合は還付されない。

還付手続：領収書発行日の翌月から起算して6ヶ月目の末日まで、医学部事務部教務課窓口
口に申請

4 保健室・相談室の利用について

医学部B棟1階には旭町保健管理センターがあり、保健・健康相談を行っている。

5 保育所の利用について

本学に在籍する教職員が、昼夜開講制度を導入している本学医学研究科に進学した場合、久留米大学保育所を利用することができます。

6 医学図書館・御井図書館の利用について

本学には御井キャンパスに御井図書館、旭町キャンパスに医学図書館がある。この施設を利用する場合は、学生証が必要になる。また、両施設とも施設利用規則等を遵守するとともに、各図書館員の指示に従うこと。

なお、圖書の延滞は自身に不利益を被ることになるので厳に慎むこと。

7 奨学金の申請について

奨学金（日本学生支援機構等）の申請用紙は医学部事務部教務課に用意している。申請されたい方は個別の窓口にて詳細の説明と申請用紙配布を行うので、事前に連絡すること。

また、久留米大学大学院医学研究科奨学金やその他各種奨学金があるので、相談されたい。

8 定期券発行のための通学証明書、学会出張や旅行等のための学割証、在学証明書、単位修得証明書、修了（見込み）証明書の発行について（一部有料）

医学部事務部教務課にて発行しているので申し込むこと。なお、作成には2～3日、場合によっては数日必要となるため余裕を持って申し込むこと（英文証明書は一週間程度必要）。

学外から依頼の場合、必要な書類の種類、発行希望枚数、返信用封筒（発行枚数で変化するが、切手を貼ること。要記載：返送先住所・氏名）、発行に必要な手数料（郵便・普通小為替）、本件に係る連絡先、等を明記の上、医学部事務部教務課へ郵送すること。

9 大学院学生の研究室について

修士課程学生の研究室は原則として指導教員の講座にて確保されるが、医科学専攻（社会医学群健康科学、同学群リハビリテーションバイオメカニクス学）、看護学専攻については、申し出があれば研究室を割り当てている。（注：課程修了時点で貸与された鍵は返却すること）

10 名札について

修士課程学生が大学病院・医療センターで演習等に参加される際には、本人の区分を認識させるため、必ず病院用名札を着用することが求められるので留意すること。紛失の場合は速やかに申し出て再発行（有料）の手続きを行うこと。

11 学生教育研究災害傷害保険（学研災）について

正課中・学校行事中及び課外活動中に災害・障害を被った場合並びに通学中及び大学施設等相互間の移動中の事故に対して、その被害の程度に応じて保険金が支払われる全国規模の保険である。加入は一部を除き任意となっているので加入希望者は医学部事務部教務課まで申し出ること。

12 授業料の納付

大学院医学研究科の授業料等の納付は前期分（4～9月）を4月末日に、後期分（10月～3月）を10月末日に指定口座より口座振替することとしている。なお、定められた期日が過ぎ督促を受けても納めない場合は、除籍等の措置を講ずる場合もある。

経済的理由によりやむを得ず所定の期日までに納入できない場合は、納入延期制度もあるので、事務室まで相談すること。

13 オフィスアワーについて

授業内容や大学院生活全般に関する学生の質問・相談に応じるための時間として、オフィスアワーを設定している。対象となる教員、場所・時間帯等は10ページ一覧を参照すること。

14 電子シラバス (Hondana) について

電子シラバス(Hondana)には、講義ごとの「講義の概要・教育目標」「講義計画・教材」「評価方法」等が掲載されています。また、講義や実習に係るお知らせや、その他連絡事項について随時、掲載します。

授業の前に必ず確認しておいてください。

久留米大学医学部 電子シラバス (Hondana)

場所 : <https://hondana.kurume-u.ac.jp>

【問い合わせ先】

ログインに関すること、システムの不具合について

医学教育研究センター（教育1号館6F）にお問い合わせください。

カリキュラムの内容についての質問

医学部事務部教務課にお問い合わせください。

大学院医学研究科学生事務・教務事務に関するお問合せ先

〒830 0011 福岡県久留米市旭町67

久留米大学医学部事務部教務課 大学院担当

e-mail: igaku-kyomu@kurume-u.ac.jp

TEL (0942) 31 7528 (直通) 内線3024 FAX (0942) 31 4374

2025年度オフィスアワーについて

下記の通り、各教員にオフィスアワーの時間を設けていますが、都合（学会に出席、海外出張等）により、不在の場合もあります。その場合は、直接教員の都合を確認してください。

また、非常勤の先生については授業終了後に教室等で質問を受け付けていただく時間がオフィスアワーとなります。

所 属	役職	氏名	曜日	時間帯始から時間帯終	場 所	備 考
学長直属	教授	佐藤 敏信	水-金	9:00~17:30	北館1階特命教授室	水:午前中、木:午後、金:終日
研究推進戦略センター	主幹	松尾 綾	月	9:00~17:00	医学部基礎3号館研究推進戦略センター	メールでの質問も対応します。 matsuo_a@kurume-u.ac.jp
腫瘍センター	助教	沼田 早苗	水	17:00~18:00	本館3F 遺伝外来診察室	
文学部情報社会学科	教授	梶原 晃				事前にご連絡ください
文学部社会福祉学科	教授	片岡 靖子	月	10:45~12:10	御井キャンパス500号館5階研究室	事前連絡必要 kataoka_yasuko@kurume-u.ac.jp
人間健康学部総合子ども学科	准教授	小津草太郎				
人間健康学部スポーツ医科学科 学長直属	教授	吉田 典子	水	18:00~18:30	御井キャンパス御井本館6階研究室	講義前の時間
保健管理センター	教授	安川 秀雄	火	15:00~16:00	保健管理センター内教員室	
保健管理センター	准教授	大江美佐里	木	16:00~17:00	保健管理センター内教員室	事前予約を希望します
保健管理センター	講師	松岡美智子	木	13:30~14:30	保健管理センター内教員室	事前にご連絡ください
分子生命科学研究所(細胞工学部門)	教授	齋藤 成昭	月	13:00~14:00	分子生命科学研究所細胞工学研究部門研究室	
分子生命科学研究所(細胞工学部門)	講師	豊田 雄介	火	13:00~14:00	分子生命科学研究所細胞工学研究部門	
分子生命科学研究所(細胞工学部門)	講師	石川 健	水	13:00~14:00	分子生命科学研究所細胞工学研究部門	
分子生命科学研究所(遺伝情報部門)	教授	佐藤 貴弘	月	16:00~17:00	分子生命科学研究所遺伝情報研究部門内	来室前にご連絡ください (0942 37 6313)
分子生命科学研究所(遺伝情報部門)	准教授	佐野 浩子	金	16:00~17:00	分子生命科学研究所遺伝情報研究部門	
分子生命科学研究所(遺伝情報部門)	講師	椎村 祐樹	水	16:00~17:00	分子生命科学研究所遺伝情報研究部門	
医療検査学科	教授	伴 匡人	月	16:00~17:00	看護・医療検査学科2号館4階2416	
分子生命科学研究所(個体システム生物学研究部門)	准教授	山田 陸裕	水	16:00~17:00		事前にご連絡ください
生物学	准教授	大沼 雅明	月	17:00~18:00	基礎2号館2階生物学教室図書室	
生物学	講師	森部 弘樹	月	16:00~17:00	生物学教室(教育2号館3階)	
生物学	助教	高橋 知子	月	16:00~17:00	生物学教室	
化学	教授	東元祐一郎	月	16:30~17:30	基礎2号館3階化学教室セミナー室	
化学	准教授	本田 健	水-金	12:00~13:00	基礎2号館3階化学教室セミナー室	
化学	助教	坂口 達也	金	16:30~17:30	基礎2号館3階化学教室セミナー室	
物理学	教授	長澤真樹子	木	16:00~17:00	基礎2号館3階物理学教室	後期
解剖学(肉眼・臨床解剖部門)	教授	渡部 功一	水	9:00~12:00	基礎1号館4階解剖学講座(肉眼・臨床)	
解剖学(肉眼・臨床解剖部門)	講師	田平 陽子	水	18:00~19:00	基礎1号館4階解剖学講座(肉眼・臨床)	
解剖学(肉眼・臨床解剖部門)	助教	井上 誠一	水	9:00~12:00	基礎1号館4階解剖学講座(肉眼・臨床)	
解剖学(肉眼・臨床解剖部門)	助教	中村 悠	水	12:00~13:00	基礎1号館4階解剖学講座(肉眼・臨床)	
解剖学(顕微解剖・生体形成部門)	教授	嶋 雄一	月-金	17:30~18:30	基礎1号館4階解剖学講座(顕微解剖・生体形成部門)	事前に連絡をお願いします (内線3153) yshima@med.kurume-u.ac.jp
先端イメージング研究センター	教授	太田 啓介	火	17:00~18:00	基礎1号館4階先端イメージング研究センター	事前に連絡をお願いします (内線3854) kohta@med.kurume-u.ac.jp
解剖学(顕微解剖・生体形成部門)	助教	井上 実紀	月	12:30~13:30	基礎1号館4階解剖学講座(顕微解剖・生体形成部門)	事前に連絡をお願いします (内線3153) inoue_miki@kurume-u.ac.jp
解剖学(顕微解剖・生体形成部門)	助教	嶋 香奈子	月-金	16:00~18:20	基礎1号館4階解剖学講座(顕微解剖・生体形成部門)	事前に連絡をお願いします (内線3153) shima_kanako@med.kurume-u.ac.jp
生理学(脳・神経機能部門)	教授	吉田 史章	木	12:00~13:30	基礎2号館7階生理学講座(脳・神経機能部門)図書室	
生理学(脳・神経機能部門)	准教授	村井 恵良	木	12:00~13:30	基礎2号館7階生理学講座(脳・神経機能部門)図書室	
生理学(脳・神経機能部門)	准教授	菊池 清志				
生理学(統合自律機能部門)	教授	中島 則行	月	12:00~13:00	基礎2号館7階生理学統合自律機能部門	事前連絡が望ましい
生理学(統合自律機能部門)	准教授	柳 圭子	月	12:00~13:00	基礎2号館7階生理学講座(統合自律機能部門)准教授室	事前連絡が望ましい
生理学(統合自律機能部門)	助教	中島 明子	月	12:00~13:00	基礎2号館7階生理学統合自律機能部門	事前にご連絡ください

所 属	役職	氏名	曜日	時間帯始から時間帯終	場 所	備 考
医化学	教授	山本 健	月	12:00 ~ 14:00	基礎2号館6階医化学講座教授室	
医化学	准教授	佐藤 秀明	金	16:00 ~ 17:00	基礎2号館6階医化学講座	
医化学	准教授	杉島 正一	金	17:00 ~ 18:00	基礎2号館6階医化学講座	
医化学	講師	原田 二郎	月	16:00 ~ 17:00	基礎2号館6階医化学講座図書室	
医化学	助教	塚口 舞	月	14:00 ~ 15:00	基礎2号館6階医化学講座	
医化学	助教	王 麗香	月	15:00 ~ 16:00	基礎2号館6階医化学講座	事前にご連絡ください
薬理学	教授	西 昭徳	月	16:00 ~ 17:00	基礎2号館6階薬理学講座図書室	
薬理学	准教授	河原 幸江	水-金	16:00 ~ 17:00	基礎2号館6階薬理学講座	
薬理学	准教授	首藤 隆秀	金	16:00 ~ 17:00	基礎2号館6階薬理学講座講師室	
薬理学	講師	黒岩真帆美	水	16:00 ~ 17:00	基礎2号館6階薬理学講座講師室	
薬理学	助教	大西 克典	水	16:00 ~ 17:00	基礎2号館6階薬理学講座第1研究室	
薬理学	助教	中村 祐樹	水	16:00 ~ 17:00	基礎2号館6階薬理学講座図書室	
病理学	教授	秋葉 純	火	15:00 ~ 17:00	基礎1号館5階病理学講座教授室	事前にご連絡ください
病理学	教授	三好 寛明	火	13:00 ~ 14:00	基礎1号館5階病理学講座教授室	事前にご連絡ください
病理診断科・病理部	准教授	草野 弘宣	水	16:00 ~ 17:00	北館3階病理診断科・病理部部長室	事前にご連絡ください
病理診断科・病理部	講師	古田 拓也	火	14:00 ~ 15:00	基礎1号館5階病理学講座第8研究室	事前にご連絡ください
病理学	講師	中山 正道	火	16:00 ~ 17:00	基礎1号館5階第1研究室	事前にご連絡ください
病理学	講師	近藤礼一郎	火	16:00 ~ 17:00	基礎1号館5階病理学講座講師室	事前にご連絡ください
病理学	助教	谷川 雅彦	水	13:00 ~ 14:00	基礎1号館5階病理学講座第1研究室	事前にご連絡ください
病理学	助教	山田 恭平	火	15:00 ~ 16:00	基礎1号館5階病理学講座第2研究室	事前にご連絡ください
病理学	助教	森坪麻友子	火	13:00 ~ 14:00	基礎1号館5階病理学講座第8研究室	事前にご連絡ください
病理学	助教	塩賀 太郎	木	16:00 ~ 17:00	基礎1号館5階病理学講座第1研究室	事前にご連絡ください
病理学	助教	筒井 佳奈	火	13:00 ~ 14:00	基礎1号館5階病理学講座第6研究室	事前にご連絡ください
病理学	助教	時澤 冴子	火	16:00 ~ 17:00	基礎1号館5階病理学講座第1研究室	事前にご連絡ください
病理学	助教	光山佳菜子	火	15:00 ~ 16:00	基礎1号館5階病理学講座第2研究室	事前にご連絡ください
病理部	助教	木村 美緒	月	14:00 ~ 15:00	基礎1号館5階病理学講座第2研究室	事前にご連絡ください
臨床検査部	准教授	内藤 嘉紀	火	16:00 ~ 17:00	病院北館3階臨床検査部部長室	
感染医学（基礎感染医学部門）	教授	小椋 義俊	月-水	16:00 ~ 18:00	感染医学講座基礎感染医学部門教授室	
感染医学（基礎感染医学部門）	講師	山本 武司	月-水	14:00 ~ 16:00	感染医学講座基礎感染医学部門スタッフ室（1）	事前にご連絡ください
感染医学（基礎感染医学部門）	講師	奥野 未来	月-木	16:00 ~ 18:00	感染医学講座基礎感染医学部門スタッフ室（1）	事前にご連絡ください
感染制御学	教授	渡邊 浩	木	17:00 ~ 18:00	基礎1号館6階感染制御学講座医局	
感染制御学	准教授	原 好勇	火	16:00 ~ 17:00	基礎1号館6階感染制御学講座医局	
感染制御学	講師	後藤 憲志	水	15:00 ~ 16:00	基礎1号館6階感染制御学講座医局	
感染制御学	講師	岩橋 潤	水	16:00 ~ 17:00	基礎1号館6階感染制御学講座医局	
感染医学（真核微生物学部門）	教授	井上 雅広	月	16:00 ~ 17:00	基礎1号館7階感染医学講座（真核微生物学部門）図書室	
感染医学（真核微生物学部門）	准教授	栗原 悠介	月	16:00 ~ 17:00	基礎1号館7階感染医学講座（真核微生物学部門）図書室	
免疫学	教授	溝口 充志	月	16:00 ~ 17:00	基礎1号館7階免疫学講座	
免疫学	教授	溝口恵美子	月	16:00 ~ 17:00	基礎1号館7階免疫学講座	
免疫学	助教	岡田 季之	水	16:00 ~ 17:00	基礎1号館7階免疫学講座	
環境医学	教授	石竹 達也	火	16:00 ~ 17:00	基礎2号館5階環境医学講座図書室	
環境医学	准教授	森松 嘉孝	火	16:00 ~ 17:00	基礎2号館5階環境医学講座図書室	
環境医学	講師	森 美穂子	火	16:00 ~ 17:00	基礎2号館5階環境医学講座図書室	
環境医学	助教	増田 宏	火	16:00 ~ 17:00	基礎2号館5階環境医学講座図書室	
公衆衛生学	教授	谷原 真一	月	17:00 ~ 18:00	基礎2号館5階公衆衛生学講座図書室	
公衆衛生学	准教授	中尾 元幸	火	18:00 ~ 19:00	基礎2号館5階公衆衛生学講座図書室	
公衆衛生学	講師	山内 圭子	木	18:00 ~ 19:00	基礎2号館5階公衆衛生学講座図書室	
公衆衛生学	助教	桑木光太郎	月	16:00 ~ 17:00	基礎2号館5階公衆衛生学講座図書室	
法医学	教授	神田 芳郎	月-金	16:00 ~ 18:30	基礎1号館3階法医学講座教授室	
法医学	准教授	副島美貴子	月-金	16:00 ~ 18:30	基礎1号館3階法医学講座第1研究室	
質量分析医学応用研究施設	教授	渡邊 順子	金	16:00 ~ 17:00	臨床研究棟6階小児科学講座医局	
質量分析医学応用研究施設	講師	田口 顕正	木	16:00 ~ 17:00	病院北館4階内科学講座（腎臓内科部門）医局	事前にご連絡ください
疾患モデル研究センター	教授	塩澤 誠司				事前にご連絡ください
疾患モデル研究センター	講師	坂井 勇介	月-金	9:00 ~ 17:00	基礎3号館6階疾患モデル研究センター	
医学教育研究センター	教授	山田 圭	月 木	10:00 ~ 12:00 16:00 ~ 17:00	教育1号館6階医学教育研究センター	

所 属	役職	氏名	曜日	時間帯	時間開始から時間帯終	場 所	備 考
医学教育研究センター	教授	柏木 孝仁	水	16:00~17:00		教育1号館6階医学教育研究センター	
医学教育研究センター	准教授	小松 誠和	月	16:00~17:00		教育1号館6階医学教育研究センター	
内科学(呼吸器・神経・膠原病内科部門)	教授	星野 友昭	水	12:00~13:00		臨床研究棟7階内科学講座(呼吸器・神経・膠原病内科部門)医局	
内科学(呼吸器・神経・膠原病内科部門)	教授	井田 弘明	金	16:00~17:00		臨床研究棟7階内科学講座(呼吸器・神経・膠原病内科部門)医局	
内科学(呼吸器・神経・膠原病内科部門)	教授	川山 智隆	月 水 木 金	13:00~17:00 10:00~17:00 9:00~17:00 13:00~17:00		臨床研究棟7階内科学講座(呼吸器・神経・膠原病内科部門)医局	金曜日は第1、3、5週のみ (内線:3686,3687)
内科学(呼吸器・神経・膠原病内科部門)	准教授	立石 貴久	火水	16:00~17:00		臨床研究棟7階内科学講座(呼吸器・神経・膠原病内科部門)医局	事前にご連絡ください (内線:3686,3687)
内科学(呼吸器・神経・膠原病内科部門)	講師	時任 高章				臨床研究棟7階内科学講座(呼吸器・神経・膠原病内科部門)医局	事前にご連絡ください (内線:3686,3687)
内科学(呼吸器・神経・膠原病内科部門)	助教	佐々木 潤				臨床研究棟7階内科学講座(呼吸器・神経・膠原病内科部門)医局	事前にご連絡ください (内線:3686,3687)
内科学(消化器内科部門)	教授	川口 巧	水	18:00~19:00		消化器内科医局(臨床研究棟8階)	事前にご連絡ください (内線:3714)
内科学(消化器内科部門)	教授	古賀 浩徳	金	16:00~17:00		基礎2号館4階先端癌治療研究センター肝臓部門	要事前連絡(内線:3357)
内科学(消化器内科部門)	教授	黒松 亮子	火	17:00~18:00		肝がんセンター	在室確認をしてください (内線:6321)
消化器病センター	教授	竹田津英稔	月	17:00~18:00		消化器内科医局(臨床研究棟8階)	事前にご連絡ください (内線:3714)
内科学(消化器内科部門)	准教授	中村 徹	水	14:00~17:00		基礎2号館4階先端癌治療研究センター肝臓部門スタッフ室	事前にご連絡ください (内線:3714)
内科学(消化器内科部門)	講師	向笠 道太	火	17:00~18:00		消化器内科医局(臨床研究棟8階)	事前にご連絡ください (内線:3714)
内科学(消化器内科部門)	助教	寺部 寛哉	月	17:00~18:00		消化器内科医局(臨床研究棟8階)	事前にご連絡ください (内線:3714)
内科学(心臓・血管内科部門)	教授	福本 義弘	火	14:00~15:00		臨床研究棟9階内科学講座(心臓・血管内科部門)教授室	
内科学(心臓・血管内科部門)	准教授	大江 征嗣	水	14:00~17:00		総合診療棟2階循環器病センター	
内科学(心臓・血管内科部門)	准教授	深水 亜子					事前にご連絡ください (内線:3746)
内科学(心臓・血管内科部門)	講師	仲吉 孝晴	月	16:00~17:00		臨床研究棟9階内科学講座(心臓・血管内科部門)医局	
内科学(内分泌代謝内科部門)	教授	野村 政壽	月	16:00~17:00		臨床研究棟9階内科学講座(内分泌代謝内科部門)医局	
内科学(内分泌代謝内科部門)	准教授	蘆田 健二	月	16:00~17:00		臨床研究棟9階内科学講座(内分泌代謝内科部門)医局	
内科学(内分泌代謝内科部門)	講師	蓮澤 奈央	月	16:00~17:00		臨床研究棟9階内科学講座(内分泌代謝内科部門)医局	
内科学(内分泌代謝内科部門)	助教	永山 綾子	月	16:00~17:00		臨床研究棟9階内科学講座(内分泌代謝内科部門)医局	
内科学(内分泌代謝内科部門)	助教	梶島 正治	月	16:00~17:00		臨床研究棟9階内科学講座(内分泌代謝内科部門)医局	
内科学(腎臓内科部門)	教授	深水 圭	火	16:00~17:00		病院北館4階(内科学講座腎臓内科部門)医局	来室前に在室を確認してください
内科学(腎臓内科部門)	准教授	柴田 了	水	16:00~17:00		病院北館4階(内科学講座腎臓内科部門)医局	事前にご連絡ください
内科学(腎臓内科部門)	講師	甲斐田裕介	木	16:00~17:00		病院北館4階(内科学講座腎臓内科部門)医局	事前にご連絡ください
内科学(血液・腫瘍内科部門)	教授	長藤 宏司	月	16:00~17:00		北棟5階内科学(血液・腫瘍)医局	
内科学(血液・腫瘍内科部門)	講師	毛利 文彦	月	16:00~17:00		北棟5階内科学(血液・腫瘍)医局	
小児科学	教授	水落 建輝	月・火	10:00~17:00		臨床研究棟6階小児科学講座医局	事前にご連絡ください
小児科学	教授	西小森隆太	月・金	10:00~17:00		臨床研究棟6階小児科学講座医局	事前にご連絡ください
小児科学	教授	須田 憲治	木	15:00~16:00		臨床研究棟6階小児科学講座医局	事前にご連絡ください
小児科学	准教授	大園 秀一	火・金	14:00~15:00		臨床研究棟6階小児科学講座医局	事前にご連絡ください
小児科学	講師	田中 征治	月	9:00~12:00		臨床研究棟6階小児科学講座医局	事前にご連絡ください
小児科学	講師	原 宗嗣	火・木	11:00~17:00		高次脳疾患研究所	事前にご連絡ください
小児科学	講師	弓削康太郎	火	9:00~12:00		臨床研究棟6階小児科学講座医局	事前にご連絡ください
小児科学	講師	寺町 陽三	金	15:00~17:00		臨床研究棟6階小児科学講座医局	事前にご連絡ください
小児科学	助教	島田 翔					事前にご連絡ください
小児科学	助教	向井 純平	月	14:00~15:00		東棟6階病棟医師室	事前にご連絡ください
小児科学	助教	石井 隆大	火・金	9:00~10:00 16:00~17:00		臨床研究棟6階小児科学講座医局	事前にご連絡ください
小児科学	助教	海野 聡子					事前にご連絡ください
総合周産期母子医療センター	講師	木下 正啓					事前にご連絡ください
総合周産期母子医療センター	助教	嶽間沢昌史	月	15:00~16:00		NICU	事前にご連絡ください
総合周産期母子医療センター	助教	海野 聡子	金	9:00~16:30		臨床研究棟6階小児科学講座医局	事前にご連絡ください
放射線医学	教授	田上 秀一	水	16:00~17:00		病院本館3階画像診断センター	事前にご連絡ください (内線:3790)

所 属	役職	氏名	曜日	時間帯から時間帯	場 所	備 考
放射線医学	教授	藤本 公則	火	16:00～17:00	臨床研究棟10階放射線医学講座教室または病院本館3階画像診断センター	事前にご連絡ください (内線:3790)
放射線医学	教授	内山 雄介	木	16:00～17:00	病院本館3階画像診断センター	事前にご連絡ください (内線:3790)
放射線医学	准教授	小金丸雅道	月	16:00～17:00	臨床研究棟10階放射線医学講座	事前にご連絡ください (内線:3790)
放射線医学	准教授	長田 周治	火	16:00～17:00	病院本館3階画像診断センター	事前にご連絡ください (内線:3790)
放射線医学	助教	宮田 裕作	月	16:00～17:00	放射線腫瘍センター	事前にご連絡ください (内線:5335)
放射線医学	助教	辻 千代子	金	16:00～17:00	放射線腫瘍センター	事前にご連絡ください (内線:5335)
放射線医学	助教	明田 亮輔	月	16:00～17:00	放射線腫瘍センター	事前にご連絡ください (内線:5335)
放射線部(放射線腫瘍センター)	教授	淡河恵津世	金	16:00～17:00	放射線腫瘍センター	事前にご連絡ください (内線:5335)
放射線部(放射線腫瘍センター)	助教	服部 睦行	月	16:00～17:00	放射線腫瘍センター	事前にご連絡ください (内線:5335)
放射線部(画像診断センター)	准教授	倉田 精二	木	16:00～17:00	核医学 PET センター	事前にご連絡ください (内線:3790)
神経精神医学	教授	小曽根基裕	火	17:00～18:00	臨床研究棟10階神経精神医学講座医局	医局へ事前にお問い合わせ下さい。 0942 31 7564 内線3777
神経精神医学	教授	本岡 大道	木	12:00～14:00	総合診療棟2階精神神経科外来	医局へ事前にお問い合わせ下さい。 0942 31 7564 内線3777
臨床研修センター	教授	内野 俊郎	火	14:00～16:00	臨床研究棟10階神経精神医学講座医局	医局へ事前にお問い合わせ下さい。 0942 31 7564 内線3777
医療センター(精神神経科)	准教授	土生川光成	火	11:00～12:00	総合診療棟2階精神科外来	医局へ事前にお問い合わせ下さい。 0942 31 7564 内線3777
神経精神医学	准教授	比江嶋啓至	月	16:00～17:00	臨床研究棟10階神経精神医学講座医局	医局へ事前にお問い合わせ下さい。 0942 31 7564 内線3777
神経精神医学	講師	千葉比呂美	月	11:00～12:00	病院本館東7階精神神経科病棟	医局へ事前にお問い合わせ下さい。 0942 31 7564 内線3777
神経精神医学	助教	石田 哲也	木	16:00～17:00	病院本館西棟2階カウンセリングセンター	医局へ事前にお問い合わせ下さい。 0942 31 7564 内線3777
高次脳疾患研究所	教授	小路 純央	水	16:00～17:00	高次脳疾患研究所医局	事前ご連絡ください
高次脳疾患研究所	教授	高橋 知之	水	16:00～17:00	高次脳疾患研究所	事前ご連絡ください
皮膚科学	教授	後任教授				
皮膚科学	准教授	石井 文人	火	16:00～17:00	臨床研究棟8階皮膚科学講座医局	事前にご連絡ください
皮膚科学	准教授	古賀 浩嗣	水	16:00～17:00	臨床研究棟8階皮膚科学講座医局	事前にご連絡ください
皮膚細胞生物学研究所	助教	Teye Kwesi	水	16:00～17:00	臨床研究棟8階皮膚科学講座医局	事前にご連絡ください
外科学	教授	藤田 文彦	月	18:00～19:00	臨床研究棟1階外科学講座教室	事前にご連絡ください
外科学	教授	光岡 正浩	木	15:00～16:00	臨床研究棟2階外科学講座教室	事前にご連絡ください
外科学	教授	唐 宇飛	月・金	16:00～17:00	総合診療棟2階乳腺外科外来	
外科学	教授	石橋 生哉	水・金	15:00～16:00	臨床研究棟1階外科学講座教室	事前にご連絡ください
先端癌治療研究センター(分子標的)	准教授	主藤 朝也	木	17:00～18:00	基礎2号館2階外科研究室	事前にご連絡ください
外科学	准教授	森 直樹	水	16:00～17:00	西棟10階病棟	事前にご連絡ください
外科学	講師	磯邊 太郎	月・金	月 12:00～16:00 金 16:00～17:00	西棟10階病棟	事前にご連絡ください
外科学	講師	吉田 武史	月・水・金	18:00～19:00	臨床研究棟1階外科医局	事前にご連絡ください
外科学	助教	中川 志乃				事前にご連絡ください
外科学	教授	田山 栄基			臨床研究棟2階外科学講座教室	事前にご連絡ください
外科学	教授	久下 亨				事前にご連絡ください
医療センター(フットケア・下肢血管病センター)	教授	廣松 伸一	火	13:00～14:00	医療センター医局医師室3教授室	
外科学	准教授	酒井 久宗				事前にご連絡ください
外科学	准教授	大塚 裕之				事前にご連絡ください
外科学	准教授	高瀬谷 徹				事前にご連絡ください
外科学	准教授	高木 数実				事前にご連絡ください

所 属	役職	氏名	曜日	時間帯から時間帯	場 所	備 考
集中治療部	准教授	有永 康一	木	13:00～15:00	総合診療棟7階 SICU 記録室	
外科学	講師	庄嶋 賢弘				事前にご連絡ください
外科学	講師	後藤 祐一				事前にご連絡ください
外科学	講師	新谷 悠介				事前にご連絡ください
脳神経外科学	教授	森岡 基浩	金	16:00～18:00	臨床研究棟3階脳神経外科学講座医局	
脳神経外科学	教授	廣畑 優	月	13:00～15:00	臨床研究棟3階脳神経外科学講座医局	
脳神経外科学	教授	中村 英夫	月 金	15:00～17:00 16:00～17:00	臨床研究棟3階脳神経外科学講座医局	
脳神経外科学	准教授	坂田 清彦	月	9:00～12:00	臨床研究棟3階脳神経外科学講座医局	
脳神経外科学	講師	服部 剛典	月	15:00～16:00	臨床研究棟3階脳神経外科学講座医局	
脳神経外科学	講師	折戸 公彦	木	17:00～18:00	臨床研究棟3階脳神経外科学講座医局	
脳神経外科学	助教	音琴 哲也	月	15:00～16:00	臨床研究棟4階脳神経外科学講座医局	
脳神経外科学	助教	菊池 仁	火	15:00～16:00	臨床研究棟5階脳神経外科学講座医局	
整形外科	教授	平岡 弘二	火・木	16:00～17:00	臨床研究棟5階整形外科講座医局	
整形外科	教授	佐藤 公昭	月	16:00～17:00	臨床研究棟5階整形外科講座医局	事前にご連絡ください
リハビリテーション部	教授	松瀬 博夫	月	14:00～16:00	リハビリテーション部医師室	
整形外科	准教授	瀧田 哲矢	月・水・金	16:00～17:00	臨床研究棟5階整形外科講座医局	
整形外科	講師	吉田 史郎	月	16:00～17:00	臨床研究棟5階整形外科講座医局	事前にご連絡ください (0942 31 7568)
整形外科	講師	橋田 竜騎	月	14:00～15:00	リハビリテーション部医師室	事前にご連絡ください
眼科学	教授	吉田 茂生	木	15:00～17:00	臨床研究棟7階眼科教授室	事前にご連絡ください
眼科学	教授	門田 遊	月	17:00～18:00	病院本館西棟13階眼科病棟	事前にご連絡ください
眼科学	教授	春田 雅俊	水	15:00～17:00	臨床研究棟7階眼科学講座医局	事前にご連絡ください
眼科学	助教	坂井貴三彦	月	15:00～16:00	臨床研究棟7階眼科学講座医局	事前にご連絡ください
産婦人科学	教授	津田 尚武	木	16:00～17:00	臨床研究棟3階産婦人科学講座医局	事前にご連絡ください 連絡先 医局内線3567
産婦人科学	准教授	西尾 真	木	16:00～17:00	臨床研究棟3階産婦人科学講座医局	事前にご連絡ください 連絡先 医局内線3567
産婦人科学	講師	堀之内崇士	火	16:00～18:00	臨床研究棟3階産婦人科学講座医局	事前にご連絡ください 連絡先 医局内線3567
産婦人科学	助教	三田尾 拓	火	16:00～17:00	臨床研究棟3階産婦人科学講座医局	事前にご連絡ください 連絡先 医局内線3567
産婦人科学	助教	横峯 正人	火	16:00～17:00	臨床研究棟3階産婦人科学講座医局	事前にご連絡ください 連絡先 医局内線3567
産婦人科学	助教	宗 邦夫	火	16:00～17:00	病院本館西棟5階病棟	事前にご連絡ください 連絡先 医局内線3567
産婦人科学	助教	田崎 和人	木	16:00～17:00	臨床研究棟3階産婦人科学講座医局	事前にご連絡ください 連絡先 医局内線3567
産婦人科学	助教	武藤 愛	火	16:00～17:00	病院本館西棟5階病棟	事前にご連絡ください 連絡先 医局内線3567
産婦人科学	助教	岡村 優	火	16:00～17:00	病院本館西棟5階病棟	事前にご連絡ください 連絡先 医局内線3567
産婦人科学	助教	清水 隆宏	火	16:00～17:00	病院本館西棟5階病棟	事前にご連絡ください 連絡先 医局内線3567
泌尿器科学	教授	井川 掌	木	16:00～17:00	臨床研究棟5階泌尿器科学講座教授室	事前にご連絡ください
泌尿器科学	准教授	名切 信	月	15:00～16:00	臨床研究棟5階泌尿器科学講座医局	事前にご連絡ください
泌尿器科学	講師	上村慶一郎	木	14:00～16:00	臨床研究棟5階泌尿器科学講座医局	事前にご連絡ください
泌尿器科学	講師	西原 聖頭	火	14:00～16:00	臨床研究棟5階泌尿器科学講座講師室	事前にご連絡ください
泌尿器科学	講師	植田 浩介	水	14:00～17:00	臨床研究棟5階泌尿器科学講座医局	事前にご連絡ください
耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	教授	梅野 博仁	水 火	14:00～15:00 14:00～16:00	臨床研究棟4階耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座医局	
耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	教授	千年 俊一	月・木 水	17:00～18:00 18:00～19:00	臨床研究棟4階耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座医局	手術によっては不在
耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	准教授	小野 剛治	月 金	17:00～18:00	臨床研究棟4階耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座医局	手術によっては不在
耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	講師	栗田 卓	月・木・金	14:00～17:00	臨床研究棟4階耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座医局	手術によっては不在
耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	講師	末吉慎太郎	金	17:00～18:00	臨床研究棟4階耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座医局	手術によっては不在
耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	助教	田中久一郎	月	17:00～18:00	臨床研究棟4階耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座医局	手術によっては不在
麻酔学	教授	平木 照之	月・火・木	16:00～17:00	総合診療棟4階中央手術部麻酔科医控室	
麻酔学	准教授	原 将人	月・水	16:00～17:00	総合診療棟4階中央手術部麻酔科医控室	
麻酔学	講師	中川 景子	月・水・金	16:00～17:00	総合診療棟4階中央手術部麻酔科医控室	

所 属	役職	氏名	曜日	時間帯始から時間帯終	場 所	備 考
麻酔学	講師	大下 健輔	月・火・木	16:00～17:00	総合診療棟4階中央手術部麻酔科医控室	
麻酔学	講師	亀山 直光	月・火・木	16:00～17:00	総合診療棟4階中央手術部麻酔科医控室	
救急医学	教授	高須 修	月	12:00～13:00	高度救命救急センター	
高度救命救急センター	教授	山下 典雄	水	12:00～13:00	高度救命救急センター内カンファレンス室	
救急医学	講師	鍋田 雅和	月	12:00～13:00	高度救命救急センター	
救急医学	助教	金苗 幹典	月	12:00～13:00	高度救命救急センター	
救急医学	助教	宮崎 允宏	月	12:00～13:00	高度救命救急センター	
救急医学	助教	国武 和也	月	12:00～13:00	高度救命救急センター	
救急医学	助教	副島 靖寛	月	12:00～13:00	高度救命救急センター	
救急医学	助教	伊勢 将大	月	12:00～13:00	高度救命救急センター	
形成外科・顎顔面外科学	教授	力丸 英明	火	16:00～17:00	臨床研究棟1階形成外科・顎顔面外科学講座カンファレンス室	
形成外科・顎顔面外科学	准教授	守永 吾吾	月	16:00～17:00	臨床研究棟1階形成外科・顎顔面外科学講座カンファレンス室	
形成外科・顎顔面外科学	講師	右田 尚	月	16:00～17:00	臨床研究棟1階形成外科・顎顔面外科学講座カンファレンス室	
形成外科・顎顔面外科学	講師	力丸由起子	水	16:00～17:00	臨床研究棟1階形成外科・顎顔面外科学講座カンファレンス室	
看護学科	教授	益守かづき	火	18:00～19:00	看護・医療検査学科1号館5階研究室4(益守研究室)	事前の予約を希望します
看護学科	教授	田中 佳代	水	17:00～18:00	看護・医療検査学科1号館5階研究室(田中研究室)	事前の予約を希望します
看護学科	教授	重松由佳子	月	17:00～18:00	看護・医療検査学科1号館5階研究室(重松研究室)	事前予約必要 shigematsu_yukako@med.kurume-u.ac.jp
看護学科	教授	古村美津代	金	17:00～18:00	看護・医療検査学科1号館5階研究室(古村研究室)	
看護学科	教授	嵯峨 堅	木・金	16:00～18:00	看護・医療検査学科1号館5階研究室(嵯峨研究室)	メールでの事前予約を希望します saga@med.kurume-u.ac.jp
看護学科	教授	加悦 美恵	水	17:00～18:00	看護・医療検査学科1号館5階研究室10(加悦研究室)	メールでの事前予約を希望します kaetsu@med.kurume-u.ac.jp
看護学科	教授	崎浜 智子	木 金	15:00～18:00 9:00～13:00	看護・医療検査学科1号館5階研究室11(崎浜研究室)	事前予約を希望
看護学科	教授	桐明あゆみ	水	17:00～18:00	看護・医療検査学科1号館5階研究室(桐明研究室)	メールでの事前予約を希望します kiriake_ayumi@med.kurume-u.ac.jp
看護学科	准教授	佐藤 祐佳	水	15:00～18:00	看護・医療検査学科1号館5階研究室(佐藤研究室)	
看護学科	准教授	椛 勇二郎	月～金	12:00～13:00	看護・医療検査学科1号館5階研究室	事前予約を希望
看護学科	准教授	加藤 陽子	月	12:00～13:00	看護・医療検査学科1号館5階研究室	学内メールで事前に予約が好ましい wasaki_youko@kurume-u.ac.jp
看護学科	准教授	恒松佳代子	火	12:00～13:00	看護・医療検査学科1号館5階研究室(恒松研究室)	事前予約を希望
看護学科	准教授	松本 悠貴				事前に連絡ください
看護学科	講師	草場 知子	水	12:00～13:00	看護・医療検査学科1号館5階研究室19(草場研究室)	内線3958
看護学科	講師	河原田康貴	月～金	12:00～13:00	看護・医療検査学科1号館5階研究室(河原田研究室)	メールでの事前予約を希望します y_kawaharada@med.kurume-u.ac.jp
看護学科	講師	姫野 深雪	水	17:00～18:00	看護・医療検査学科1号館5階研究室	メールでの事前予約を希望します miyuki@med.kurume-u.ac.jp
看護学科	講師	渡邊 理恵	水	17:00～18:00	看護・医療検査学科1号館5階研究室(渡邊研究室内線3929)	事前予約を希望 watanabe_rie@kurume-u.ac.jp
看護学科	講師	孫田 千恵	月～木	12:00～13:00	看護・医療検査学科1号館5階研究室(孫田研究室)	
看護学科	講師	徳澤麻梨子		12:00～13:00	看護・医療検査学科1号館5階研究室(徳澤研究室)	
看護学科	講師	永田真理子	月～金	12:00～13:00	看護・医療検査学科1号館5階研究室(永田研究室)	事前の予約を希望します
看護学科	助教	岡村 光子	月～金	12:00～13:00	看護・医療検査学科1号館5階研究室(岡村光子研究室)	事前の予約を希望します
看護学科	助教	石橋 秋奈	火・水・木	12:00～13:00	看護・医療検査学科1号館5階研究室	事前予約を希望
看護学科	助教	竹藤 徳子			看護・医療検査学科1号館5階研究室	事前の予約を希望
看護学科	助教	松本くらら	月～金	12:00～13:00	看護・医療検査学科1号館5階研究室(松本研究室)	事前の予約を希望します
看護学科	助教	松島亜希子	火・木	12:00～13:00	看護・医療検査学科1号館5階研究室(松島研究室)	
歯科口腔医療センター	教授	楠川 仁悟	金	15:00～17:00	臨床研究棟6階歯科口腔医療センター医局	要連絡。
歯科口腔医療センター	准教授	中村 守厳				事前にご連絡ください
歯科口腔医療センター	講師	関 直子				事前にご連絡ください
歯科口腔医療センター	講師	喜久田翔伍				
バイオ統計センター	教授	古川 恭治	金	11:00～12:00	医学部B棟7階バイオ統計センター古川教授室	
バイオ統計センター	教授	安川 圭司	金	11:00～12:00	医学部B棟7階バイオ統計センター安川教授室	

所 属	役職	氏名	曜日	時間帯始から時間帯終	場 所	備 考
医療検査学科	教授	室谷 健太	金	11:00 ~ 12:00	医学部B棟7階バイオ統計センター室谷教授室	
バイオ統計センター	准教授	大山 哲司	木	15:00 ~ 17:00	医学部B棟7階バイオ統計センター大山准教授室	
バイオ統計センター	助教	五百路徹也				メールで事前にご連絡ください
循環器病研究所	教授	青木 浩樹	月	10:00 ~ 11:00	基礎3号館2階循環器病研究所	
外科学(小児外科部門)	教授	加治 建	木	16:00 ~ 17:00	病院北館5階外科学(小児外科)講座医局	
外科学(小児外科部門)	助教	古賀 義法	月	16:00 ~ 17:00	病院北館5階外科学(小児外科)講座医局	
外科学(小児外科部門)	助教	橋詰 直樹	金	16:00 ~ 17:00	病院北館5階外科学(小児外科)講座医局	
保険診療管理部	教授	牛島 高介				事前にご連絡ください
医療安全管理部	教授	横山 晋二	火	16:00 ~ 17:00	医療安全管理部	
循環器病センター	教授	田原 宣広	水	15:00 ~ 16:00	臨床研究棟9階内科学講座(心臓・血管内科部門)医局	事前にご連絡ください(内線3746)
循環器病センター	准教授	佐々木健一郎				事前にご連絡ください(内線3746)
循環器病センター	講師	大野 聡子	火	16:00 ~ 17:00	循環器病研究所	内線8800
医療センター 先進漢方治療センター	教授	恵紙 英昭	火	18:00 ~ 19:00	医療センター先進漢方治療センター	
医療センター 消化器内科	教授	井出 達也	木	16:00 ~ 17:00	医療センター医局	事前にご連絡ください
医療センター 整形外科・関節外科センター	教授	大川 孝浩	月	14:00 ~ 16:00	医療センター整形外科・関節外科センター医局	事前予約必要
医療センター 整形外科・関節外科センター	准教授	後藤 昌史	月~金	17:30 ~ 19:00	医療センター3階西カンファルーム	
医療センター 整形外科・関節外科センター	講師	田淵 幸祐	月 火 金	16:00 ~ 17:00 17:00 ~ 19:00 17:00 ~ 19:00	医療センター医局	
医療センター 整形外科・関節外科センター	助教	大園 宏城				
医療センター 小児科	講師	大津 寧	月	16:00 ~ 17:00	医療センター医局横図書室	事前にご連絡ください
医療検査学科	准教授	関 律子	火	17:00 ~ 18:00	教育2号館1階	
緩和ケアセンター	兼任講師	塗木 京子				講義後1時間程度他、メールで連絡あれば時間調整可
認定看護師教育センター	兼任講師	原 美穂	月~金	8:30 ~ 17:00	総合診療棟6階緩和ケアセンター	
薬剤部	兼任講師	酒井 義朗				事前にメールにてご連絡ください。
薬剤部	兼任講師	高橋 誠	金	17:00 ~ 18:00	薬剤部(総合診療棟1階)	
薬剤部	兼任講師	七田和佳子	月~金			事前にご連絡ください
看護部管理室	兼任講師	吉井 千穂				事前にメールにてご連絡ください。
看護部管理室	兼任講師	西村 知子	月	15:00 ~ 16:00	TQMセンター	事前連絡をお願いします(内線:14234)
西棟5階病棟	兼任講師	市川 博美				事前にご連絡ください
西棟5階病棟	兼任講師	日野 詩織				事前にご連絡ください
新生児病棟	兼任講師	坂田 理絵				事前にご連絡ください sakata_rie@kurume-u.ac.jp
新生児病棟	兼任講師	野間口有加				事前にご連絡ください
西棟10階病棟	兼任講師	物部 千穂			担当講義の部屋	担当講義前の30分
腫瘍センター看護部	兼任講師	副枝 恵美				事前にメールにてご連絡ください。
医療センター栄養室	兼任講師	坂口 美紀	水	13:00 ~ 17:00	医療センター栄養室	来室前に連絡をお願いします。
医療センター看護部管理室	兼任講師	原崎 礼子	水	14:00 ~ 15:00	医療センター看護部管理室	
医療安全・感染対策室	兼任講師	江崎 祐子				事前に連絡をお願いします。
新生児病棟	兼任講師	下地 夏姫				
医療センター4階西入院棟	兼任講師	伊藤 裕子				質問や相談に対応できる時間や方法をその都度連絡していきます。

大学院医学研究科修士課程カリキュラム概要

1 カリキュラムの概要

※ カリキュラム制度の概要・修了要件について

修士課程は履修制度になっており、専攻毎に修了要件が定められている。下記の修了要件、別掲の「授業科目および修了要件」を確認し、履修すること。

授業科目単位の修了要件

令和3年度までの入学者

医科学専攻

学 群	基 礎 科 目	専 門 科 目	大学院 セミナー シリーズ	準専攻 科 目	選択科目
基礎医学群	10単位 以上	12単位以上 (演習4単位、論文指導 演習4単位を含む。)	1単位	講義 4単位 以上	自身が履修 した以外の 科目から3 単位以上
社会医学群					

看護学専攻

修士論文コース

分 野	基 礎 科 目	専 攻 分 野	大学院セミナー シリーズ	特別研究
看護教育管理分野	9単位 以上	共通科目8単位 その他4単位以上	1単位	8単位

専門職養成コース

分 野	共通科目	専攻分野	実習科目
がん看護分野 CNS 養成	講義 14単位以上	共通科目 6単位 専門科目 12単位	10単位
感染症看護分野 CNS 養成	講義 14単位以上	専門科目 20単位	10単位
感染症看護分野 国際実践	講義 10単位以上	専門科目 20単位	6単位
老年看護分野 CNS 養成	講義 14単位以上	共通科目 10単位 専門科目 8単位	10単位
小児看護分野 CNS 養成	講義 14単位以上	専門科目 18単位	10単位

分 野	基礎科目	助産学分野 基礎科目	助産学分野 専門科目	特別研究
助産学分野 助産師資格	14単位以上 (助産学分野専門科目「国 際助産学演習」を含む。)	28単位	8単位 (「国際助産学演習」 を除く。)	8単位
助産学分野 上級実践	8単位以上 (助産学分野専門科目「国 際助産学演習」を含む。)	4単位	10単位 実習2単位 (「国際助産学演習」 を除く。)	8単位

総合生命科学・バイオ統計学専攻

学 群	基礎科目	専門応用科目
総合生命科学群	10単位 以上	26単位以上 (必修科目18単位、選択 科目 8単位を含む)
バイオ統計学群		30単位以上

令和4年度までの入学者

医科学専攻

学 群	基礎科目	専 門 科 目	大学院 セミナー シリーズ	準専攻 科 目	選択科目
基礎医学群	10単位以上	12単位以上 (演習4単位、論文指導 演習4単位を含む。)	1単位	講義 4単位 以上	自身が履修 した以外の 科目から3 単位以上
社会医学群					

看護学専攻

修士論文コース

分 野	基 礎 科 目	専 攻 分 野	大学院セミナー シリーズ	特別研究
看護教育管理分野	9単位 以上	共通科目8単位 その他4単位以上	1単位	8単位

専門職養成コース

分 野	共通科目	専 攻 分 野	実 習 科 目
がん看護分野 CNS養成	講義 14単位以上	共通科目 6単位 専門科目 12単位	10単位
感染症看護分野 CNS養成	講義 14単位以上	専門科目 20単位	10単位
感染症看護分野 国際実践	講義 10単位以上	専門科目 20単位	6単位
老年看護分野 CNS養成	講義 14単位以上	共通科目 10単位 専門科目 8単位	10単位
小児看護分野 CNS養成	講義 14単位以上	専門科目 18単位	10単位

分 野	基礎科目	助産学分野 基礎科目	助産学分野 専門科目	特別研究
助産学分野 助産師資格	8単位以上	31単位	14単位	8単位
助産学分野 上級実践	8単位以上		16単位	8単位

総合生命科学・バイオ統計学専攻

学 群	基礎科目	専門応用科目
総合生命科学群	10単位以上	26単位以上 (必修科目18単位、選択 科目8単位を含む)
バイオ統計学群		30単位以上

令和6年度までの入学者

医科学専攻

学 群	基礎科目	専門科目	大学院 セミナー シリーズ	準専攻 科 目	選択科目
基礎医学群	10単位以上	12単位以上 (演習4単位、論文指導 演習4単位を含む。)	1単位	講義 4単位 以上	自身が履修 した以外の 科目から3 単位以上
社会医学群					

看護学専攻

修士論文コース

分 野	基 礎 科 目	専 攻 分 野	大学院セミナー シリーズ	特別研究
看護教育管理分野	9単位 以上	共通科目8単位 その他4単位以上	1単位	8単位

専門職養成コース

分 野	共通科目	専 攻 分 野	実 習 科 目
がん看護分野 CNS 養成	講義 14単位以上	共通科目 6単位 専門科目 12単位	10単位
感染症看護分野 CNS 養成	講義 14単位以上	専門科目 20単位	10単位
感染症看護分野 国際実践	講義 10単位以上	専門科目 20単位	6単位
老年看護分野 CNS 養成	講義 14単位以上	共通科目 10単位 専門科目 8単位	10単位
小児看護分野 CNS 養成	講義 14単位以上	専門科目 18単位	10単位

分 野	共通科目	助産学分野 基礎科目	助産学分野 専門科目	特別研究
助産学分野 助産師資格	8単位以上	31単位	14単位	8単位
助産学分野 上級実践	8単位以上		16単位	8単位

総合生命科学・バイオ統計学専攻

学 群	基礎科目	専門応用科目
総合生命科学群	10単位以上	26単位以上 (必修科目18単位、選択科目8単位を含む)
バイオ統計学群		30単位以上 (必修科目12単位、選択必修科目7単位、選 択科目11単位を含む)

令和7年度以降の入学者

医科学専攻

学 群	基礎科目	専門科目	大学院 セミナー シリーズ	準専攻 科 目	選択科目
基礎医学群	10単位以上	12単位以上 (演習4単位、論文指導 演習4単位を含む。)	1単位	講義 4単位 以上	自身が履修 した以外の 科目から3 単位以上
社会医学群					

看護学専攻

修士論文コース

分 野	基 礎 科 目	専 攻 分 野	大学院セミナー シリーズ	特別研究
看護教育管理分野	9単位 以上	共通科目8単位 その他4単位以上	1単位	8単位

専門職養成コース

分 野	共通科目	専 攻 分 野	実習科目
がん看護分野 高度実践看護師養成	講義 14単位以上	共通科目 6単位 専門科目 12単位	10単位
感染症看護分野 高度実践看護師養成	講義 14単位以上	専門科目 20単位	10単位
感染症看護分野 国際実践	講義 10単位以上	専門科目 20単位	6単位
老年看護分野 高度実践看護師養成	講義 14単位以上	共通科目 10単位 専門科目 8単位	10単位
小児看護分野 高度実践看護師養成	講義 14単位以上	専門科目 18単位	10単位

分 野	共通科目	助産学分野 基礎科目	助産学分野 専門科目	特別研究
助産学分野 助産師資格	8単位以上	31単位	14単位	8単位
助産学分野 上級実践	8単位以上		16単位	8単位

総合生命科学・バイオ統計学専攻

学 群	基礎科目	専門応用科目
総合生命科学群	10単位以上	26単位以上 (必修科目18単位、選択科目8単位を含む)
バイオ統計学群		30単位以上 (必修科目12単位、選択必修科目7単位、選 択科目11単位を含む)

娵 授業時間割・講義計画について

各学群の授業時間割・講義計画は授業開始前までに配布する。各自で確認のこと。

2 標準修業年限

修士課程 2年（特例として1年）

長期履修学生制度適用者は3年

3 昼夜開講（教育方法の特例適用）による履修及び研究方法

娵 趣旨・目的

社会人が最新の医学知識・技術を学び取り、高度の医学研究能力、専門的職業人としての能力を身につけその成果を社会に還元したいという声に応え、平成15年度から昼夜開講制を導入している。昼夜開講制とは、夜間や特定の時間又は時期に授業・研究指導の時間を設け、医学及び関連分野の研究者、病院勤務者等の社会人に大学院の授業、研究指導をより受け入れ易くする制度である。

[大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）第14条に定める教育方法の特例を適用]

娵 授業科目の開設方法

有職者への便宜を図るため、勤務態様等の特性に応じ、授業科目は第1～5時限の他に、第6時限（18：00～19：30）、第7時限（19：40～21：10）の授業を行う。

また、土曜日、日曜日、夏期休業期間中にも授業科目を開設する。

4 研究題目の決定について

研究題目については、修士課程1学年在学中の8月末日までに決定することとなっているので、指導教授と十分確認のうえ書類を作成し、医学部事務部教務課へ提出すること。

5 学位申請について

本研究科に2年以上在学し、所定の単位を取得し、学位論文を提出してその審査及び最終試験に合格した者に、修士（医科学・看護学）の学位を授与する。ただし、在学期間に関しては、1年以上在学し優れた研究業績を上げた者で所定の要件を満たした場合には、学位を授与することがある。

学位申請に関する手続きについてはカリキュラムブックに詳細を掲載（「修士課程学位論文の申請・審査手続きについて」を参照）しているので各自確認のこと。なお、学位申請に関する事務は、医学部事務部庶務課で行っている（教務課と同じフロア）。この他に学位申請に関する情報を大学院医学研究科ホームページでも紹介しているので参照すること。

また、本学大学院学則により1年次修了が可能であるが、前期修了までに指導教授と確認の上、医学部事務部教務課に事前に相談すること（長期履修学生制度を適用する者は、早期学位取得制度の対象とはならない）。

6 大学院特別講義について

通常の講義とは別に、本学では「大学院医学研究科特別講義」を企画している。国内外の優れた講師の先生を招聘しての講義が行われている。「大学院セミナーシリーズ」として単位修得可能としている（1単位）。

7 「専門看護師認定試験」の受験要件

専門看護師（CNS）は、日本看護協会が設けている認定制度であるが、本修士課程では、専門看護師「がん看護」「感染看護」「老人看護」および「小児看護」の認定試験の受験資格取得に必要な履修科目を設けており、高度実践看護師教育課程（専門看護師38単位）として認定を受けている。なお、専門看護師への申請は、経験年数等が要件になるので留意されたい。

8 授業の実施について

授業の開始日については別途指示する。

履修された科目の授業については、講義計画を元に科目担当責任者に指導方法を確認すること。

9 長期履修学生制度を適用する場合の履修について

長期履修学生制度を適用して履修する場合、3年間で定められた単位を修得し、学位論文審査に合格すれば、学位が授与される。この場合、3年間の長期計画のもと、指導教授と協議のうえ、履修科目を修得すること。

以上

個人情報の取り扱いについて

- * 本学では「個人情報の保護に関する法律」を遵守し、個人情報の適正な取り扱いに努め、安全管理のために必要な措置を講じている。
- * 出願及び入学手続きにあたって提供頂いた個人情報は、入学試験の実施、合格発表、入学手続き、入学後の履修関係、教務・学籍関係、及び学生生活関係に必要な業務において使用している。
- * 本学が取得した個人情報は、本人の承諾なしに第三者へ開示・提供することはない。

授業科目及び修了要件

医 科 学 専 攻

総合生命科学・バイオ統計学専攻

看 護 学 専 攻

(令和2年度までの入学者)

授業科目及び修了要件

医科学専攻【基礎医学群・社会医学群】

区分	授 業 科 目	単 位	配 当	区分	授 業 科 目	単 位	配 当		
		講・演	年次			講・演	年次		
基 礎 科 目	人 体 構 造 学	2	1・2	専 攻 科 目	基 礎 医 学 群	生体構造・細胞生物学	4	1・2	
	人 体 機 能 学	2	1・2			神経科学・臨床生理学	4	1・2	
	臨 床 医 学 概 論	2	1・2			代 謝 病 態 学	4	1・2	
	社 会 医 学 概 論	1	1・2			臨 床 薬 理 学	4	1・2	
	物 理 学 特 論	1	1・2			病 理 ・ 病 態 学	4	1・2	
	生 物 学 特 論	1	1・2			感 染 病 態 学	4	1・2	
	化 学 特 論	1	1・2			生 体 防 御 学	4	1・2	
	医 学 教 育 学	1	1・2			基 礎 医 学 演 習	4	1	
	生 命 倫 理	1	1・2			社 会 医 学 群	環 境 医 学	4	1・2
	臨 床 遺 伝 学	1	1・2				疫 学 ・ 予 防 医 学	4	1・2
	移 植 医 学	1	1・2	人 類 遺 伝 学	4		1・2		
	リハビリテーション医学	1	1・2	医 療 経 営	1		1・2		
	医 学 工 学 概 論	1	1・2	医 療 経 済 学	1		1・2		
	実 験 動 物 学	1	1・2	健 康 科 学	4		1・2		
	看 護 倫 理	2	1・2	リハビリテーションバイオメカニクス学	4		1・2		
	看 護 研 究 方 法	2	1・2	社 会 医 学 演 習	4		1		
	看 護 政 策 論	2	1・2	2つの学群から1つの学群を選択し、 8単位以上（学群演習4単位必修含む）					
	看 護 理 論	2	1・2						
	科	コンサルテーション論	2	1・2	準 専 攻 科 目	自身が選択した専攻科目以外の専攻科目 （講義）から4単位必修			
	目	リサーチナース・CRC養成ユニット	2	1・2					
先端的・分野特異的研究手法体験ユニット		2	1・2						
バイオ統計基礎ユニット		1	1・2						
バイオ統計応用ユニット		2	1・2						
知的財産権論		2	1・2						
臨床研究入門		2	1・2						
医療サービス統計論		2	1・2						
医療サービス知識創造論		2	1・2						
医療サービス・イノベーション論		2	1・2						
臨床薬理学概論		2	1・2						
共通科目	フィジカルアセスメント	2	1・2	論 文 指 導 演 習			4	1～2	
病 態 生 理 学	2	1・2							
10単位以上選択必修				1年次後期から2年次前期にかけて履修。 4単位必修。専攻科目の履修要件に充当する。					
シ ミ ナ ー ス	大学院セミナーシリーズ	1	1・2	選 択 科 目 : 自 身 が 履 修 し た 科 目 以 外 の 科 目 か ら 3 単 位 以 上					
	特別講義（1単位必修）								
合計：30単位以上（修士論文の審査に合格した者）の科目は当該学群を選択する者は必須。									

授業科目及び修了要件

総合生命科学・バイオ統計学専攻【総合生命科学群・バイオ統計学群】

区分	授 業 科 目	単位	配当 年次	区分	授 業 科 目	単位	配当 年次
		講・演				講・演	
基 礎	人 体 構 造 学	2	1・2	専 門 生 命 科 学 群	研 究 マ ネ ジ メ ン ト	2	1
	人 体 機 能 学	2	1・2		サイエンスコミュニケーション	2	1
	臨 床 医 学 概 論	2	1・2		科学文章の書き方と論文作成	2	1
	社 会 医 学 概 論	1	1・2		研 究 倫 理	2	1
	物 理 学 特 論	1	1・2		バ イ オ ベ ン チ ャ ー 論	2	1
	生 物 学 特 論	1	1・2		分 子 細 胞 生 物 学	2	1
	化 学 特 論	1	1・2		ゲ ノ ム 生 物 学 概 論	2	1
	医 学 教 育 学	1	1・2		疾 患 の 生 命 科 学	2	1
	生 命 倫 理	1	1・2		細 胞 内 オ ル ガ ネ ラ の 分 子 生 物 学	2	1
	臨 床 遺 伝 学	1	1・2		細 胞 シ グ ナ リ ン グ	2	1
	移 植 医 学	1	1・2		臓 器 相 関 の 分 子 生 物 学	2	1
	リハビリテーション医学	1	1・2		摂食調節・ストレス・老化の科学	2	1
	医 学 工 学 概 論	1	1・2		生 体 の エ ネ ル ギ ー 代 謝 科 学	2	1
	実 験 動 物 学	1	1・2		バ イ オ サ イ エ ン ス 実 験 法	2	1
科 目	看 護 倫 理	2	1・2	バ イ オ サ イ エ ン ス 実 験 法 (実 習)	2	2	
	看 護 研 究 方 法	2	1・2	実 験 動 物 の サ イ エ ン ス	2	1	
	看 護 政 策 論	2	1・2	実 験 動 物 の サ イ エ ン ス (実 習)	2	2	
	看 護 理 論	2	1・2	モ デ ル 生 物 の サ イ エ ン ス I : 酵 母	2	1	
	コ ン サ ル テ ー シ ョ ン 論	2	1・2	モ デ ル 生 物 の サ イ エ ン ス I : 酵 母 (実 習)	2	2	
	リサーチナース・CRC養成ユニット	2	1・2	モ デ ル 生 物 の サ イ エ ン ス II : シ ョ ウ ジ ョ ウ バ エ 、 線 虫	2	1	
	先端的・分野特異的研究手法体験ユニット	2	1・2	モ デ ル 生 物 の サ イ エ ン ス II : シ ョ ウ ジ ョ ウ バ エ 、 線 虫 (実 習)	2	2	
	バ イ オ 統 計 基 礎 ユ ニ ッ ト	1	1・2	バ イ オ サ イ エ ン ス の デ ー タ ベ ー ス ・ 大 規 模 デ ー タ 解 析 論	2	2	
	バ イ オ 統 計 応 用 ユ ニ ッ ト	2	1・2	バ イ オ サ イ エ ン ス の デ ー タ ベ ー ス ・ 大 規 模 デ ー タ 解 析 論 (実 習)	2	2	
	知 的 財 産 権 論	2	1・2	バ イ オ サ イ エ ン ス 研 究 の プ ロ ト コ ル 作 成 と 研 究 デ ザ イ ン	2	2	
目	臨 床 研 究 入 門	2	1・2	バ イ オ サ イ エ ン ス 研 究 の プ ロ ト コ ル 作 成 と 研 究 デ ザ イ ン (実 習)	2	2	
	医 療 サ ー ビ ス 統 計 論	2	1・2	バ イ オ ベ ン チ ャ ー ・ イ ン タ ー ン シ ッ プ	2	2	
	医 療 サ ー ビ ス 知 識 創 造 論	2	1・2	生 命 倫 理	2	1・2	
	医 療 サ ー ビ ス ・ イ ノ ベ ー シ ョ ン 論	2	1・2	臨 床 試 験 の 基 礎 と デ ー タ 解 析	2	1	
	臨 床 薬 理 学 概 論	2	1・2	医 用 デ ー タ 解 析	2	1	
	フ ィ ジ カ ル ア セ ス メ ン ト	2	1・2	バ イ オ デ ー タ 解 析 入 門	2	1	
	病 態 生 理 学	2	1・2	観 察 デ ー タ 解 析 概 論	2	1	
				ゲ ノ ム サ イ エ ン ス 概 論	2	1	
				バ イ オ イ ン フ ォ マ テ ィ ク ス 特 論	1	1	
		10単位以上選択必修					

区分	授 業 科 目	単 位	配 当 年 次	区 分	授 業 科 目	単 位	配 当 年 次		
		講・演				講・演			
専 門 応 用 科 目	バ イ オ 統 計 学 群	薬物動態・薬力学データの解析	1	1	専 門 応 用 科 目	バ イ オ 統 計 学 群	プロトコル作成と研究デザイン	1	2
		バ イ オ 統 計 基 礎	4	1			観 察 デ ー タ 解 析 特 論	1	1
		バ イ オ 統 計 数 理	4	1			バ イ オ イ ン フ ォ マ テ ィ ク ス 特 論	1	2
		生 存 分 析 と そ の 応 用	2	1			臨 床 デ ー タ 解 析 特 論	1	1
		観 察 デ ー タ 解 析 特 論	1	1			バ イ オ 統 計 セ ミ ナ ー	3	1・2
		環 境 デ ー タ 解 析 特 論	1	1			バ イ オ イ ン フ ォ マ テ ィ ク ス セ ミ ナ ー	3	1・2
		バ イ オ デ ー タ モ デ リ ン グ	2	1			バ イ オ 統 計 セ ミ ナ ー	4	1・2
		バ イ オ デ ー タ マ イ ニ ン グ	2	1			バ イ オ イ ン フ ォ マ テ ィ ク ス セ ミ ナ ー	4	1・2
<p>総合生命科学専攻：合計36単位以上（基礎科目の選択科目から10単位、専門応用科目（総合生命科学）の必修科目18単位、専門応用科目（総合生命科学）の選択科目8単位以上）（修士論文の審査に合格した者）</p> <p>バイオ統計学専攻：専門応用科目（バイオ統計学）の選択科目30単位以上（修士論文の審査に合格した者）</p>									

（注1）講は講義、演は演習を示す。

（注2）バイオ統計セミナー かバイオインフォマティクスセミナー のどちらか一方は必修とする。

（注3）バイオ統計セミナー かバイオインフォマティクスセミナー のどちらか一方は必修とする。

（注4）上記注記2・3を除くすべての科目は、選択必修とする。

（注5）基礎科目を履修することができる

授業科目及び修了要件

看護学専攻 修士論文コース【看護教育管理分野】

区分	授 業 科 目	単 位	配 当	区分	授 業 科 目	単 位	配 当	
		講・演	年次			講・演	年次	
基 礎 科 目	人 体 構 造 学	2	1・2	看護 教育 管理 分野	看護教育管理特論	2	1・2	
	人 体 機 能 学	2	1・2		看護教育管理特論	2	1・2	
	臨 床 医 学 概 論	2	1・2		看護教育管理学演習	2	1・2	
	社 会 医 学 概 論	1	1・2		医療情報管理学演習	4	1・2	
	物 理 学 特 論	1	1・2		保健科学看護特論	2	1・2	
	生 物 学 特 論	1	1・2					
	化 学 特 論	1	1・2		保健科学看護特論	2	1・2	
	医 学 教 育 学	1	1・2					
	生 命 倫 理	1	1・2		教育管理学研究演習	4	1	
	臨 床 遺 伝 学	1	1・2					
	移 植 医 学	1	1・2		教育管理学特別研究	4	2	
	リハビリテーション医学	1	1・2					
	医 学 工 学 概 論	1	1・2		専攻分野共通科目（8単位必修） その他の専攻分野共通科目、 がん看護分野、老年看護分野、小児看護分野 の専攻分野共通科目、または感染症看護分野 の「感染病態学特論」「感染看護学特論」、 または助産学分野の「助産学概論」「ウイメ ンズヘルスト論」から 4単位以上選択必修			
	実 験 動 物 学	1	1・2					
	看 護 倫 理	2	1・2					
	看 護 研 究 方 法	2	1・2					
看 護 政 策 論	2	1・2						
看 護 理 論	2	1・2						
コンサルテーション論	2	1・2						
リサーチナース・CRC養成ユニット	2	1・2						
先端的・分野特異的研究手法体験ユニット	2	1・2						
バイオ統計基礎ユニット	1	1・2						
バイオ統計応用ユニット	2	1・2						
知 的 財 産 権 論	2	1・2						
臨 床 研 究 入 門	2	1・2						
医 療 サ ー ビ ス 統 計 論	2	1・2						
医 療 サ ー ビ ス 知 識 創 造 論	2	1・2						
医 療 サ ー ビ ス ・ イ ノ ベ ー シ ョ ン 論	2	1・2						
臨 床 薬 理 学 概 論	2	1・2						
フ ィ ジ カ ル ア ス セ ス メ ン ト	2	1・2						
病 態 生 理 学	2	1・2						
9単位以上選択必修								
シ ミ ナ ー ズ	大学院セミナーシリーズ	1	1・2	特別研究（8単位必修）				
	特別講義（1単位必修）							
合計：30単位以上（修士論文の審査に合格した者）								

授業科目及び修了要件

看護学専攻 専門職養成コース

【がん看護分野 CNS 養成】

(がん看護専門看護師教育課程【38単位】)

区分	授 業 科 目	単 位	配 当 年 次	区分	授 業 科 目	単 位		配 当 年 次	
		講・演				講・演	実		
共通科目A	看 護 倫 理	2	1・2	が ん 看 護 分 野	専攻分野共通科目	がん診断治療学	2		1・2
	看 護 研 究 方 法	2	1・2		がん看護特論	2		1・2	
	看 護 政 策 論	2	1・2		がん看護援助論	2		1・2	
	看 護 理 論	2	1・2		がん緩和ケア地域連携教育論	2		1・2	
	コンサルテーション論	2	1・2		がん薬物療法看護特論	2		1・2	
共通科目B	臨 床 薬 理 学 概 論	2	1・2		専攻分野専門科目	がん薬物療法看護特論	2		1・2
	フ ィ ジ カ ル ア セ ス メ ン ト	2	1・2		がん緩和ケア特論	2		1・2	
	病 態 生 理 学	2	1・2		がん緩和ケア特論	2		1・2	
					がん看護学特別研究	4		1・2	
共通科目 A + B 14単位以上必修 共通科目 A 8単位以上 共通科目 B 6単位 共通科目は修士論文コースの基礎科目のそれぞれの該当授業科目を読み替える。					野	実習科目	がん看護学実習		2
				がん看護学実習			1	1	
				がん看護学実習			3	2	
				がん看護学実習			2	2	
				がん看護学実習			2	2	
				がん看護学実習			2	2	
すべて必修									
合計：42単位以上（共通科目14単位以上、専攻分野共通科目6単位、同専門科目12単位、実習科目10単位を履修）。修士論文の審査に合格した者（修士論文はCNS申請に即したものが望ましい）									

(注1) 講は講義、演は演習、実は実習を示す。

(注2) 原則として、「がん看護分野 CNS 養成」の学生のための履修とする。

(注3) がん緩和ケア地域連携教育論およびがん看護学特別研究は、日本看護系大学協議会において認定された科目ではない。

授業科目及び修了要件

看護学専攻 専門職養成コース

【感染症看護分野 CNS 養成】

(感染症看護専門看護師教育課程【38単位】)

区分	授 業 科 目	単 位	配 当 年 次	区分	授 業 科 目	単 位		配 当 年 次
		講・演				講・演	実	
共通科目A	看 護 倫 理	2	1・2	感 染 症 看 護 分 野	感 染 制 御 学 特 論	2		1・2
	看 護 研 究 方 法	2	1・2		感 染 看 護 学 特 論	2		1・2
	看 護 政 策 論	2	1・2		感 染 看 護 学 特 論	2		1・2
	看 護 理 論	2	1・2		感 染 看 護 学 特 論	1		1・2
	コンサルテーション論	2	1・2		感 染 看 護 学 特 論	1		1・2
共通科目B	臨 床 薬 理 学 概 論	2	1・2		感 染 看 護 学 特 論	2		1・2
	フィジカルアセスメント	2	1・2		感 染 看 護 学 特 論	2		1・2
	病 態 生 理 学	2	1・2		感 染 症 看 護 援 助 論	2		1・2
共通科目 A + B 14単位以上必修 共通科目 A 8単位以上 共通科目 B 6単位 共通科目は修士論文コースの基礎科目のそれぞれの該当授業科目を読み替える。					感 染 症 看 護 援 助 論	2		1・2
					感 染 看 護 学 特 別 研 究	4		1・2
				感 染 看 護 学 実 習		1	1	
				感 染 看 護 学 実 習		1	1	
				感 染 看 護 学 実 習		2	1・2	
				感 染 看 護 学 実 習		2	1・2	
				実 習 科 目	感 染 看 護 学 実 習	4	2	
すべて必修								
合計：44単位以上（共通科目14単位以上、専攻分野専門科目20単位、実習科目10単位を履修）。 修士論文の審査に合格した者（修士論文は CNS 申請に即したものが望ましい）。								

(注1) 講は講義、演は演習、実の実習を示す。

(注2) 原則として「感染症看護分野 CNS 養成」の学生のための履修とする。

(注3) 感染看護学特別研究は、日本看護系大学協議会において認定された科目ではない。

授業科目及び修了要件

看護学専攻 専門職養成コース

【感染症看護分野 国際実践】

区分	授 業 科 目	単 位	配 当 年 次	区分	授 業 科 目	単 位		配 当 年 次	
		講・演				講・演	実		
共 通 科 目	人 体 構 造 学	2	1・2	感 染 症 看 護 分 野	感 染 制 御 学 特 論	2		1・2	
	人 体 機 能 学	2	1・2		感 染 看 護 学 特 論	2		1・2	
	臨 床 医 学 概 論	2	1・2		感 染 看 護 学 特 論	2		1・2	
	社 会 医 学 概 論	1	1・2		感 染 看 護 学 特 論	1		1・2	
	バ イ オ 統 計 基 礎 ユ ニ ッ ト	1	1・2		感 染 看 護 学 特 論	1		1・2	
	バ イ オ 統 計 応 用 ユ ニ ッ ト	2	1・2		感 染 看 護 学 特 論	2		1・2	
	看 護 理 論	2	1・2		感 染 看 護 学 特 論	2		1・2	
	看 護 倫 理	2	1・2		感 染 症 看 護 援 助 論	2		1・2	
	コ ン サ ル テ ー シ ョ ン 論	2	1・2		感 染 症 看 護 援 助 論	2		1・2	
	看 護 研 究 方 法	2	1・2		感 染 看 護 学 特 別 研 究	4		1・2	
	看 護 政 策 論	2	1・2		実 習 科 目	国 際 感 染 看 護 学 実 習		2	1・2
	大 学 院 セ ミ ナ ー シ リ ー ズ	1	1・2		国 際 感 染 看 護 学 実 習		4	1・2	
	共通科目は修士論文コースの基礎科目のそれぞれの該当授業科目を読み替える。 を含め10単位選択必修				すべて必修				
合計：36単位以上（共通科目10単位、専攻分野専門科目20単位、実習科目6単位）を必修。 修士論文の審査に合格した者									

(注1) 講は講義、演は演習、実は実習を示す。

(注2) 日本看護系大学協議会が実施する感染看護専門看護師認定審査の受験資格は満たさない。

授業科目及び修了要件

看護学専攻 専門職養成コース

【老年看護分野 CNS 養成】

(老年看護専門看護師教育課程【38単位】)

区分	授 業 科 目	単 位	配 当 年 次	区分	授 業 科 目	単 位		配 当 年 次	
		講・演				講・演	実		
共通科目 A	看 護 倫 理	2	1・2	老年看護分野	老年看護学特論	2		1	
	看 護 研 究 方 法	2	1・2		老年看護学特論	2		1	
	看 護 政 策 論	2	1・2		老年看護学特論	2		1	
	看 護 理 論	2	1・2		老年看護学特論	2		1	
	コンサルテーション論	2	1・2		高齢者病態治療学	2		1	
共通科目 B	臨 床 薬 理 学 概 論	2	1・2		専攻分野 専門科目	老年看護学演習	2		1
	フィジカルアセスメント	2	1・2			老年看護学演習	2		1
	病 態 生 理 学	2	1・2			老年看護学特別研究	4		1・2
共通科目 A + B 14単位以上必修 共通科目 A 8 単位以上 共通科目 B 6 単位					実習科目	老年看護学実習		2	1
共通科目は修士論文コースの基礎科目のそれぞれの該当授業科目を読み替える。						老年看護学実習		3	2
				老年看護学実習			5	2	
				すべて必修					
合計：42単位以上（共通科目14単位以上、専攻分野共通科目10単位、同専門科目 8 単位、実習科目10単位を履修）。修士論文の審査に合格した者（修士論文は CNS 申請に即したものが望ましい）。									

(注1) 講は講義、演は演習、実実習を示す。

(注2) 原則として、「老年看護分野 CNS 養成」の学生のための履修とする。

(注3) 老年看護学特別研究は、日本看護系大学協議会において認定された科目ではない。

授業科目及び修了要件

看護学専攻 専門職養成コース

【小児看護分野 CNS 養成】

(日本看護系大学協議会認定教育課程【38単位】)

区分	授 業 科 目	単 位	配 当 年 次	区分	授 業 科 目	単 位	配 当 年 次	
		講・演				講・実		
共通科目 A	看 護 倫 理	2	1・2	小 児 看 護 分 野 共 通 科 目	小 児 看 護 学 特 論	2	1・2	
	看 護 研 究 方 法	2	1・2		小 児 看 護 学 特 論	2	1・2	
	看 護 政 策 論	2	1・2		小 児 看 護 学 特 論	1	1・2	
	看 護 理 論	2	1・2		小 児 看 護 対 象 論	2	1・2	
	コンサルテーション論	2	1・2		小 児 看 護 援 助 論	1	1・2	
共通科目 B	臨 床 薬 理 学 概 論	2	1・2		小 児 看 護 援 助 論	2	1・2	
	フィジカルアセスメント	2	1・2		小 児 看 護 援 助 論	2	1・2	
	病 態 生 理 学	2	1・2		小 児 診 断 治 療 学	2	1・2	
共通科目 A + B 14単位以上必修 共通科目 A 8単位以上 共通科目 B 6単位以上 共通科目は修士論文コースの基礎科目のそれぞれの該当授業科目を読み替える。					野 実 習 科 目	小 児 看 護 学 特 別 研 究	4	1・2
						小 児 看 護 学 実 習	2	1・2
				小 児 看 護 学 実 習		2	1・2	
				小 児 看 護 学 実 習		2	1・2	
				小 児 看 護 学 実 習		2	1・2	
				小 児 看 護 学 実 習		2	1・2	
すべて必修								
合計：42単位以上(共通科目14単位以上、専攻分野共通科目18単位、実習科目10単位を履修) 修士論文の審査に合格した者(修士論文は CNS 申請に即したものが望ましい)								

(注1) 講は講義、演は演習、実実習を示す。

(注2) 原則として、「小児看護分野 CNS 養成」の学生のみの履修とする。

(注3) 小児看護学特別研究は、日本看護系大学協議会において認定された科目ではない。

授業科目及び修了要件

看護学専攻 専門職養成コース

【助産学分野 助産師資格】

区分	授業科目	単位	配当年次	区分	授業科目	単位		配当年次	
		講・演				講・演	実		
基礎	人体構造学	2	1・2	助産学分野基礎科目	基礎助産学	助産学概論	2		1
	人体機能学	2	1・2		基礎助産学	ウィメンズヘルス特論	2		1
	臨床医学概論	2	1・2		基礎助産学	助産と生殖科学	2		1
	社会医学概論	1	1・2		助産診断・技術学	助産学特論	2		1
	物理学特論	1	1・2		助産診断・技術学	助産学特論	2		1
	生物学特論	1	1・2		助産診断・技術学	助産学特論	2		1
	化学特論	1	1・2		助産診断・技術学	助産学特論	2		1
	医学教育学	1	1・2		地域母子保健管理	地域母子保健特論	1		1
	生命倫理	1	1・2		助産管理	助産マネジメント論	2		1
	臨床遺伝学	1	1・2		基礎助産学	助産学基礎実習		8	1・2
	移植医学	1	1・2		基礎助産学	助産学基礎実習		2	1・2
リハビリテーション医学	1	1・2		地域助産学実習		1	2		
基礎	医学工学概論	1	1・2	助産学分野基礎科目28単位必修					
	実験動物学	1	1・2						
	看護倫理	2	1・2						
	看護研究方法	2	1・2						
	看護政策論	2	1・2						
	看護理論	2	1・2						
	コンサルテーション論	2	1・2						
	リサーチナース・CRC養成ユニット	2	1・2						
	先端的・分野特異的研究手法体験ユニット	2	1・2						
	バイオ統計基礎ユニット	1	1・2						
	バイオ統計応用ユニット	2	1・2						
科目	知的財産権論	2	1・2	助産学分野専門科目	周産期医療システム論	1		2	
	臨床研究入門	2	1・2		助産学分野専門科目	ヒューマンセクシュアリティ論	1		1
	医療サービス統計論	2	1・2		助産学分野専門科目	ハイリスク周産期論	1		1
	医療サービス知識創造論	2	1・2		助産学分野専門科目	母子の心理・社会学	1		1
	医療サービス・イノベーション論	2	1・2		助産学分野専門科目	高次助産診断・技術演習	2		1
	臨床薬理学概論	2	1・2		助産学分野専門科目	高次助産診断・技術演習	1		1
	フィジカルアセスメント	2	1・2		助産学分野専門科目	ウィメンズヘルス演習	1		1
	病態生理学	2	1・2		助産学分野専門科目	国際助産学演習	1		1～2
	大学院セミナーシリーズ	1	1・2		特別研究	助産学研究演習	4		1～2
					特別研究	助産学特別研究	4		1～2
					助産学分野専門科目 8 単位必修 (の科目を除く)				
				特別研究 (8 単位必修)					
基礎科目及び助産学分野専門科目「 国際助産学演習 」から14単位以上選択必修									
合計：58単位以上 (修士論文の審査に合格した者)									

授業科目及び修了要件
看護学専攻 専門職養成コース
【助産学分野 上級実践】

区分	授業科目	単位	配当年次	区分	授業科目	単位		配当年次	
		講・演				講・演	実		
基礎科目	人体構造学	2	1・2	助産学分野基礎科目	基礎助産学	ウィメンズヘルス特論	2		1
	人体機能学	2	1・2			助産と生殖科学	2		1
	臨床医学概論	2	1・2	4単位必修					
	社会医学概論	1	1・2						
	物理学特論	1	1・2						
	生物学特論	1	1・2						
	化学特論	1	1・2	助産学分野専門科目	周産期医療システム論	1		2	
	医学教育学	1	1・2		ヒューマンセクシュアリティ論	1		1	
	生命倫理	1	1・2		ハイリスク周産期論	1		1	
	臨床遺伝学	1	1・2		母子の心理・社会学	1		1	
	移植医学	1	1・2		高次助産診断・技術演習	2		1	
	リハビリテーション医学	1	1・2		高次助産診断・技術演習	1		1	
	医学工学概論	1	1・2		ウィメンズヘルス演習	1		1	
	実験動物学	1	1・2		国際助産学演習	1		1～2	
	看護倫理	2	1・2		ハイリスク周産期実習		2	2	
	看護研究方法	2	1・2		ハイリスク周産期実習		2	1	
	看護政策論	2	1・2	上級実践助産学実習		2	1～2		
	看護理論	2	1・2	特別研究	助産学研究演習	4		1～2	
	コンサルテーション論	2	1・2		助産学特別研究	4		1～2	
	リサーチナース・CRC養成ユニット	2	1・2	助産学分野専門科目10単位必修 (の3科目を除く)					
先端的・分野特異的研究手法体験ユニット	2	1・2							
バイオ統計基礎ユニット	1	1・2							
バイオ統計応用ユニット	2	1・2							
知的財産権論	2	1・2	「ハイリスク周産期実習」・「上級実践助産学実習」から2単位選択必修						
臨床研究入門	2	1・2							
医療サービス統計論	2	1・2							
医療サービス知識創造論	2	1・2							
医療サービス・イノベーション論	2	1・2	特別研究(8単位必修)						
臨床薬理学概論	2	1・2							
フィジカルアセスメント	2	1・2							
病態生理学	2	1・2	基礎科目及び助産学分野専門科目「国際助産学演習」から8単位以上選択必修						
大学院セミナーシリーズ	1	1・2							
合計：32単位以上(修士論文の審査に合格した者)									

授業科目及び修了要件

医 科 学 専 攻

総合生命科学・バイオ統計学専攻

看 護 学 専 攻

(令和3年度までの入学者)

授業科目及び修了要件

医科学専攻【基礎医学群・社会医学群】

区分	授 業 科 目	単 位	配 当	区分	授 業 科 目	単 位	配 当	
		講・演	年次			講・演	年次	
基 礎 科 目	人 体 構 造 学	2	1・2	専 攻 科 目	生体構造・細胞生物学	4	1・2	
	人 体 機 能 学	2	1・2		基礎医学群	神経科学・臨床生理学	4	1・2
	臨 床 医 学 概 論	2	1・2		代謝病態学	4	1・2	
	社 会 医 学 概 論	1	1・2		臨床薬理学	4	1・2	
	物 理 学 特 論	1	1・2		病 理 ・ 病 態 学	4	1・2	
	生 物 学 特 論	1	1・2		感 染 病 態 学	4	1・2	
	化 学 特 論	1	1・2		生 体 防 御 学	4	1・2	
	医 学 教 育 学	1	1・2		基礎医学演習	4	1	
	生 命 倫 理	1	1・2		社会医学群	環 境 医 学	4	1・2
	臨 床 遺 伝 学	1	1・2			疫 学 ・ 予 防 医 学	4	1・2
	移 植 医 学	1	1・2			人 類 遺 伝 学	4	1・2
	リハビリテーション医学	1	1・2			健 康 科 学	4	1・2
	医 学 工 学 概 論	1	1・2			リハビリテーションバイオメカニクス学	4	1・2
	実 験 動 物 学	1	1・2			社会医学演習	4	1
	看 護 倫 理	2	1・2		目	2つの学群から1つの学群を選択し、 8単位以上（学群演習4単位必修含む）		
	看 護 研 究 方 法	2	1・2			自身が選択した専攻科目以外の専攻科目 （講義）から4単位必修		
	看 護 政 策 論	2	1・2					
	看 護 理 論	2	1・2					
	コンサルテーション論	2	1・2					
リサーチナース・CRC養成ユニット	2	1・2						
先端的・分野特異的研究手法体験ユニット	2	1・2						
バイオ統計基礎ユニット	1	1・2						
バイオ統計応用ユニット	2	1・2						
知的財産権論	2	1・2						
臨 床 研 究 入 門	2	1・2						
医 療 サ ー ビ ス 統 計 論	2	1・2	共 通 科 目	論 文 指 導 演 習			4	1～2
医 療 サ ー ビ ス 知 識 創 造 論	2	1・2		1年次後期から2年次前期にかけて履修。 4単位必修。専攻科目の履修要件に充当 する。				
医 療 サ ー ビ ス ・ イ ノ ベ ー シ ョ ン 論	2	1・2						
臨 床 薬 理 学 概 論	2	1・2						
フ ィ ジ カ ル ア セ ス メ ン ト	2	1・2						
病 態 生 理 学	2	1・2						
医 療 経 営	2	1・2						
医 療 経 済 学	2	1・2						
10単位以上選択必修								
シ リ ー ズ	大学院セミナーシリーズ	1					1・2	
	特別講義（1単位必修）							
選択科目：自身が履修した科目以外の科目から3単位以上								
合計：30単位以上（修士論文の審査に合格した者）の科目は当該学群を選択する者は必須。								

授業科目及び修了要件

総合生命科学・バイオ統計学専攻【総合生命科学群・バイオ統計学群】

区分	授 業 科 目	単位	配当 年次	区分	授 業 科 目	単位	配当 年次
		講・演				講・演	
基	人 体 構 造 学	2	1・2	専 門 生 命 科 学 群	研 究 マ ネ ジ メ ン ト	2	1
	人 体 機 能 学	2	1・2		サイエンスコミュニケーション	2	1
	臨 床 医 学 概 論	2	1・2		科学文章の書き方と論文作成	2	1
	社 会 医 学 概 論	1	1・2		研 究 倫 理	2	1
	物 理 学 特 論	1	1・2		バ イ オ ベ ン チ ャ ー 論	2	1
	生 物 学 特 論	1	1・2		分 子 細 胞 生 物 学	2	1
	化 学 特 論	1	1・2		ゲノム生物学概論	2	1
	医 学 教 育 学	1	1・2		疾 患 の 生 命 科 学	2	1
	生 命 倫 理	1	1・2		細胞内オルガネラの分子生物学	2	1
	臨 床 遺 伝 学	1	1・2		細 胞 シ グ ナ リ ン グ	2	1
	移 植 医 学	1	1・2		臓器関連の分子生物学	2	1
	リハビリテーション医学	1	1・2		摂食調節・ストレス・老化の科学	2	1
	医 学 工 学 概 論	1	1・2		生体のエネルギー代謝科学	2	1
	実 験 動 物 学	1	1・2		バ イ オ サ イ エ ン ス 実 験 法	2	1
	礎	看 護 倫 理	2		1・2	バ イ オ サ イ エ ン ス 実 験 法 (実 習)	2
看 護 研 究 方 法		2	1・2	実 験 動 物 の サ イ エ ン ス	2	1	
看 護 政 策 論		2	1・2	実 験 動 物 の サ イ エ ン ス (実 習)	2	2	
看 護 理 論		2	1・2	モ デ ル 生 物 の サ イ エ ン ス I : 酵 母	2	1	
コ ン サ ル テ ー シ ョ ン 論		2	1・2	モ デ ル 生 物 の サ イ エ ン ス I : 酵 母 (実 習)	2	2	
リサーチナース・CRC養成ユニット		2	1・2	モ デ ル 生 物 の サ イ エ ン ス II : シ ョ ウ ジ ョ ウ バ エ 、 線 虫	2	1	
先端的・分野特異的研究手法体験ユニット		2	1・2	モ デ ル 生 物 の サ イ エ ン ス II : シ ョ ウ ジ ョ ウ バ エ 、 線 虫 (実 習)	2	2	
科		バ イ オ 統 計 基 礎 ユ ニ ッ ト	1	1・2	バ イ オ サ イ エ ン ス の デ ー タ ベ ー ス ・ 大 規 模 デ ー タ 解 析 論	2	2
		バ イ オ 統 計 応 用 ユ ニ ッ ト	2	1・2	バ イ オ サ イ エ ン ス の デ ー タ ベ ー ス ・ 大 規 模 デ ー タ 解 析 論 (実 習)	2	2
		知 的 財 産 権 論	2	1・2	バ イ オ サ イ エ ン ス 研 究 の プ ロ ト コ ル 作 成 と 研 究 デ ザ イ ン	2	2
	臨 床 研 究 入 門	2	1・2	バ イ オ サ イ エ ン ス 研 究 の プ ロ ト コ ル 作 成 と 研 究 デ ザ イ ン (実 習)	2	2	
	医 療 サ ー ビ ス 統 計 論	2	1・2	バ イ オ ベ ン チ ャ ー ・ イ ン タ ー ン シ ッ プ	2	2	
	医 療 サ ー ビ ス 知 識 創 造 論	2	1・2	バ イ オ 統 計 学 群	生 命 倫 理	2	1・2
	医 療 サ ー ビ ス ・ イ ノ ベ ー シ ョ ン 論	2	1・2		臨 床 試 験 の 基 礎 と デ ー タ 解 析	2	1
	臨 床 薬 理 学 概 論	2	1・2		医 用 デ ー タ 解 析	2	1
	フ ィ ジ カ ル ア セ ス メ ン ト	2	1・2		バ イ オ デ ー タ 解 析 入 門	2	1
	病 態 生 理 学	2	1・2		観 察 デ ー タ 解 析 概 論	2	1
医 療 経 営	2	1・2	ゲノムサイエンス概論		2	1	
医 療 経 済 学	2	1・2	バ イ オ イ ン フ ォ マ テ ィ ク ス 特 論		1	1	
10単位以上選択必修					薬物動態・薬力学データの解析	1	1
					バ イ オ 統 計 基 礎	4	1

区分	授 業 科 目	単 位	配 当 年 次	区 分	授 業 科 目	単 位	配 当 年 次		
		講・演				講・演			
専 門 応 用 科 目	バ イ オ 統 計 学 群	バ イ オ 統 計 数 理	4	1	専 門 応 用 科 目	バ イ オ 統 計 学 群	観 察 デ ー タ 解 析 特 論	1	1
		生 存 分 析 と そ の 応 用	2	1			バ イ オ イ ン フ ォ マ テ ィ ク ス 特 論	1	2
		観 察 デ ー タ 解 析 特 論	1	1			臨 床 デ ー タ 解 析 特 論	1	1
		環 境 デ ー タ 解 析 特 論	1	1			バ イ オ 統 計 セ ミ ナ ー	3	1・2
		バ イ オ デ ー タ モ デ リ ン グ	2	1			バ イ オ イ ン フ ォ マ テ ィ ク ス セ ミ ナ ー	3	1・2
		バ イ オ デ ー タ マ イ ニ ン グ	2	1			バ イ オ 統 計 セ ミ ナ ー	4	1・2
		プ ロ ト コ ル 作 成 と 研 究 デ ザ イ ン	1	2			バ イ オ イ ン フ ォ マ テ ィ ク ス セ ミ ナ ー	4	1・2
<p>総合生命科学専攻：合計36単位以上（基礎科目の選択科目から10単位、専門応用科目（総合生命科学）の必修科目18単位、専門応用科目（総合生命科学）の選択科目8単位以上）（修士論文の審査に合格した者）</p> <p>バイオ統計学専攻：専門応用科目（バイオ統計学）の選択科目30単位以上（修士論文の審査に合格した者）</p>									

（注1）講は講義、演は演習を示す。

（注2）バイオ統計セミナー か バイオインフォマティクスセミナー のどちらか一方は必修とする。

（注3）バイオ統計セミナー か バイオインフォマティクスセミナー のどちらか一方は必修とする。

（注4）上記注記2・3を除くすべての科目は、選択必修とする。

（注5）基礎科目を履修することができる

授業科目及び修了要件

看護学専攻 修士論文コース【看護教育管理分野】

区分	授 業 科 目	単 位	配 当	区分	授 業 科 目	単 位	配 当				
		講・演	年次			講・演	年次				
基 礎 科 目	人 体 構 造 学	2	1・2	看 護 分 野 共 通 科 目	看護教育管理特論	2	1・2				
	人 体 機 能 学	2	1・2		看護教育管理特論	2	1・2				
	臨 床 医 学 概 論	2	1・2		看護教育管理学演習	2	1・2				
	社 会 医 学 概 論	1	1・2		医療情報管理学演習	4	1・2				
	物 理 学 特 論	1	1・2		保健科学看護特論	2	1・2				
	生 物 学 特 論	1	1・2		保健科学看護特論	2	1・2				
	化 学 特 論	1	1・2								
	医 学 教 育 学	1	1・2		教育管理学研究演習	4	1				
	生 命 倫 理	1	1・2								
	臨 床 遺 伝 学	1	1・2		教育管理学特別研究	4	2				
	移 植 医 学	1	1・2								
	リハビリテーション医学	1	1・2		専攻分野共通科目（8単位必修）						
	医学工学概論	1	1・2								
	実 験 動 物 学	1	1・2								
	看 護 倫 理	2	1・2								
看 護 研 究 方 法	2	1・2									
看 護 政 策 論	2	1・2									
看 護 理 論	2	1・2									
コンサルテーション論	2	1・2									
リサーチナース・CRC養成ユニット	2	1・2									
先端的・分野特異的研究手法体験ユニット	2	1・2									
バイオ統計基礎ユニット	1	1・2									
バイオ統計応用ユニット	2	1・2									
知 的 財 産 権 論	2	1・2	その他の専攻分野共通科目、 がん看護分野、老年看護分野、小児看護分野 の専攻分野共通科目、または感染症看護分野 の「感染病態学特論」「感染看護学特論」、 または助産学分野の「助産学概論」「ウイメ ンズヘルステ論」から 4単位以上選択必修								
臨 床 研 究 入 門	2	1・2									
医療サービス統計論	2	1・2									
医療サービス知識創造論	2	1・2									
医療サービス・イノベーション論	2	1・2									
臨 床 薬 理 学 概 論	2	1・2									
フィジカルアセスメント	2	1・2									
病 態 生 理 学	2	1・2									
9単位以上選択必修											
シ ミ ナ ー ズ	大学院セミナーシリーズ	1					1・2	特別研究（8単位必修）			
	特別講義（1単位必修）										
合計：30単位以上（修士論文の審査に合格した者）											

授業科目及び修了要件

看護学専攻 専門職養成コース

【がん看護分野 CNS 養成】

(がん看護専門看護師教育課程【38単位】)

区分	授 業 科 目	単 位	配 当 年 次	区分	授 業 科 目	単 位		配 当 年 次	
		講・演				講・演	実		
共通科目A	看 護 倫 理	2	1・2	が ん 看 護 分 野	専攻分野共通科目	がん診断治療学	2		1・2
	看 護 研 究 方 法	2	1・2		がん看護特論	2		1・2	
	看 護 政 策 論	2	1・2		がん看護援助論	2		1・2	
	看 護 理 論	2	1・2		がん緩和ケア地域連携教育論	2		1・2	
	コンサルテーション論	2	1・2		がん薬物療法看護特論	2		1・2	
共通科目B	臨 床 薬 理 学 概 論	2	1・2		専攻分野専門科目	がん薬物療法看護特論	2		1・2
	フ ィ ジ カ ル ア セ ス メ ン ト	2	1・2		がん緩和ケア特論	2		1・2	
	病 態 生 理 学	2	1・2		がん緩和ケア特論	2		1・2	
					がん看護学特別研究	4		1・2	
共通科目 A + B 14単位以上必修 共通科目 A 8単位以上 共通科目 B 6単位 共通科目は修士論文コースの基礎科目のそれぞれの該当授業科目を読み替える。					野	実習科目	がん看護学実習		2
				がん看護学実習			1	1	
				がん看護学実習			3	2	
				がん看護学実習			2	2	
				がん看護学実習			2	2	
				がん看護学実習			2	2	
すべて必修									
合計：42単位以上（共通科目14単位以上、専攻分野共通科目6単位、同専門科目12単位、実習科目10単位を履修）。修士論文の審査に合格した者（修士論文はCNS申請に即したものが望ましい）									

(注1) 講は講義、演は演習、実は実習を示す。

(注2) 原則として、「がん看護分野 CNS 養成」の学生のための履修とする。

(注3) がん緩和ケア地域連携教育論およびがん看護学特別研究は、日本看護系大学協議会において認定された科目ではない。

授業科目及び修了要件

看護学専攻 専門職養成コース

【感染症看護分野 CNS 養成】

(感染症看護専門看護師教育課程【38単位】)

区分	授 業 科 目	単 位	配 当 年 次	区分	授 業 科 目	単 位		配 当 年 次
		講・演				講・演	実	
共通科目A	看 護 倫 理	2	1・2	感 染 症 看 護 分 野	感 染 制 御 学 特 論	2		1・2
	看 護 研 究 方 法	2	1・2		感 染 看 護 学 特 論	2		1・2
	看 護 政 策 論	2	1・2		感 染 看 護 学 特 論	2		1・2
	看 護 理 論	2	1・2		感 染 看 護 学 特 論	1		1・2
	コンサルテーション論	2	1・2		感 染 看 護 学 特 論	1		1・2
共通科目B	臨 床 薬 理 学 概 論	2	1・2		感 染 看 護 学 特 論	2		1・2
	フィジカルアセスメント	2	1・2		感 染 看 護 学 特 論	2		1・2
	病 態 生 理 学	2	1・2		感 染 症 看 護 援 助 論	2		1・2
共通科目 A + B 14単位以上必修 共通科目 A 8単位以上 共通科目 B 6単位 共通科目は修士論文コースの基礎科目のそれぞれの該当授業科目を読み替える。					感 染 症 看 護 援 助 論	2		1・2
					感 染 看 護 学 特 別 研 究	4		1・2
				感 染 看 護 学 実 習		1	1	
				感 染 看 護 学 実 習		1	1	
				感 染 看 護 学 実 習		2	1・2	
				感 染 看 護 学 実 習		2	1・2	
				実 習 科 目	感 染 看 護 学 実 習	4	2	
すべて必修								
合計：44単位以上（共通科目14単位以上、専攻分野専門科目20単位、実習科目10単位を履修）。 修士論文の審査に合格した者（修士論文は CNS 申請に即したものが望ましい）。								

(注1) 講は講義、演は演習、実の実習を示す。

(注2) 原則として「感染症看護分野 CNS 養成」の学生のための履修とする。

(注3) 感染看護学特別研究は、日本看護系大学協議会において認定された科目ではない。

授業科目及び修了要件

看護学専攻 専門職養成コース

【感染症看護分野 国際実践】

区分	授業科目	単位	配当年次	区分	授業科目	単位		配当年次	
		講・演				講・演	実		
共通科目	人体構造学	2	1・2	感染症看護分野	感染制御学特論	2		1・2	
	人体機能学	2	1・2		感染看護学特論	2		1・2	
	臨床医学概論	2	1・2		感染看護学特論	2		1・2	
	社会医学概論	1	1・2		感染看護学特論	1		1・2	
	バイオ統計基礎ユニット	1	1・2		感染看護学特論	1		1・2	
	バイオ統計応用ユニット	2	1・2		感染看護学特論	2		1・2	
	看護理論	2	1・2		感染看護学特論	2		1・2	
	看護倫理	2	1・2		感染症看護援助論	2		1・2	
	コンサルテーション論	2	1・2		感染症看護援助論	2		1・2	
	看護研究方法	2	1・2		感染看護学特別研究	4		1・2	
	看護政策論	2	1・2		実習科目	国際感染看護学実習		2	1・2
	大学院セミナーシリーズ	1	1・2			国際感染看護学実習		4	1・2
	共通科目は修士論文コースの基礎科目のそれぞれの該当授業科目を読み替える。 を含め10単位選択必修				すべて必修				
合計：36単位以上（共通科目10単位、専攻分野専門科目20単位、実習科目6単位）を必修。 修士論文の審査に合格した者									

(注1) 講は講義、演は演習、実は実習を示す。

(注2) 日本看護系大学協議会が実施する感染看護専門看護師認定審査の受験資格は満たさない。

授業科目及び修了要件

看護学専攻 専門職養成コース

【老年看護分野 CNS 養成】

(老年看護専門看護師教育課程【38単位】)

区分	授 業 科 目	単 位	配 当 年 次	区分	授 業 科 目	単 位		配 当 年 次	
		講・演				講・演	実		
共通科目 A	看 護 倫 理	2	1・2	老年看護分野	老年看護学特論	2		1	
	看 護 研 究 方 法	2	1・2		老年看護学特論	2		1	
	看 護 政 策 論	2	1・2		老年看護学特論	2		1	
	看 護 理 論	2	1・2		老年看護学特論	2		1	
	コンサルテーション論	2	1・2		高齢者病態治療学	2		1	
共通科目 B	臨 床 薬 理 学 概 論	2	1・2		専攻分野 専門科目	老年看護学演習	2		1
	フィジカルアセスメント	2	1・2			老年看護学演習	2		1
	病 態 生 理 学	2	1・2			老年看護学特別研究	4		1・2
共通科目 A + B 14単位以上必修 共通科目 A 8 単位以上 共通科目 B 6 単位					実習科目	老年看護学実習		2	1
共通科目は修士論文コースの基礎科目のそれぞれの該当授業科目を読み替える。						老年看護学実習		3	2
				老年看護学実習			5	2	
				すべて必修					
合計：42単位以上（共通科目14単位以上、専攻分野共通科目10単位、同専門科目 8 単位、実習科目10単位を履修）。修士論文の審査に合格した者（修士論文は CNS 申請に即したものが望ましい）。									

(注1) 講は講義、演は演習、実実習を示す。

(注2) 原則として、「老年看護分野 CNS 養成」の学生のための履修とする。

(注3) 老年看護学特別研究は、日本看護系大学協議会において認定された科目ではない。

授業科目及び修了要件

看護学専攻 専門職養成コース

【小児看護分野 CNS 養成】

(日本看護系大学協議会認定教育課程【38単位】)

区分	授 業 科 目	単 位	配 当 年 次	区分	授 業 科 目	単 位	配 当 年 次	
		講・演				講・実		
共通科目 A	看 護 倫 理	2	1・2	小 児 看 護 分 野 共 通 科 目	小 児 看 護 学 特 論	2	1・2	
	看 護 研 究 方 法	2	1・2		小 児 看 護 学 特 論	2	1・2	
	看 護 政 策 論	2	1・2		小 児 看 護 学 特 論	1	1・2	
	看 護 理 論	2	1・2		小 児 看 護 対 象 論	2	1・2	
	コンサルテーション論	2	1・2		小 児 看 護 援 助 論	1	1・2	
共通科目 B	臨 床 薬 理 学 概 論	2	1・2		小 児 看 護 援 助 論	2	1・2	
	フィジカルアセスメント	2	1・2		小 児 看 護 援 助 論	2	1・2	
	病 態 生 理 学	2	1・2		小 児 診 断 治 療 学	2	1・2	
共通科目 A + B 14単位以上必修 共通科目 A 8単位以上 共通科目 B 6単位以上 共通科目は修士論文コースの基礎科目のそれぞれの該当授業科目を読み替える。					野 実 習 科 目	小 児 看 護 学 特 別 研 究	4	1・2
						小 児 看 護 学 実 習	2	1・2
				小 児 看 護 学 実 習		2	1・2	
				小 児 看 護 学 実 習		2	1・2	
				小 児 看 護 学 実 習		2	1・2	
				小 児 看 護 学 実 習		2	1・2	
すべて必修								
合計：42単位以上(共通科目14単位以上、専攻分野共通科目18単位、実習科目10単位を履修) 修士論文の審査に合格した者(修士論文は CNS 申請に即したものが望ましい)								

(注1) 講は講義、演は演習、実実習を示す。

(注2) 原則として、「小児看護分野 CNS 養成」の学生のための履修とする。

(注3) 小児看護学特別研究は、日本看護系大学協議会において認定された科目ではない。

授業科目及び修了要件

看護学専攻 専門職養成コース

【助産学分野 助産師資格】

区分	授業科目	単位	配当年次	区分	授業科目	単位		配当年次	
		講・演				講・演	実		
基礎	人体構造学	2	1・2	助産学	基礎助産学	助産学概論	2		1
	人体機能学	2	1・2		助産学特論	2		1	
	臨床医学概論	2	1・2		助産と生殖科学	2		1	
	社会医学概論	1	1・2		助産学特論	2		1	
	物理学特論	1	1・2		助産学特論	2		1	
	生物学特論	1	1・2		助産学特論	2		1	
	化学特論	1	1・2		助産学特論	2		1	
	医学教育学	1	1・2		地域母子保健特論	1		1	
	生命倫理	1	1・2		助産マネジメント論	2		1	
	臨床遺伝学	1	1・2		助産学基礎実習		8	1・2	
	移植医学	1	1・2		助産学基礎実習	2		1・2	
基礎	リハビリテーション医学	1	1・2	地域助産学実習		1	2		
	医学工学概論	1	1・2	助産学分野基礎科目28単位必修					
	実験動物学	1	1・2						
	看護倫理	2	1・2						
	看護研究方法	2	1・2						
	科目	看護政策論	2	1・2	助産学分野専門科目	周産期医療システム論	1		2
		看護理論	2	1・2		ヒューマンセクシュアリティ論	1		1
		コンサルテーション論	2	1・2		ハイリスク周産期論	1		1
		リサーチナース・CRC養成ユニット	2	1・2		母子の心理・社会学	1		1
		先端的・分野特異的研究手法体験ユニット	2	1・2		高次助産診断・技術演習	2		1
		バイオ統計基礎ユニット	1	1・2		高次助産診断・技術演習	1		1
バイオ統計応用ユニット		2	1・2	ウィメンズヘルス演習		1		1	
知的財産権論		2	1・2	国際助産学演習		1		1～2	
臨床研究入門		2	1・2	特別研究		助産学研究演習	4		1～2
医療サービス統計論		2	1・2			助産学特別研究	4		1～2
医療サービス知識創造論		2	1・2						
医療サービス・イノベーション論	2	1・2	助産学分野専門科目 8 単位必修 (の科目を除く)						
臨床薬理学概論	2	1・2							
フィジカルアセスメント	2	1・2							
病態生理学	2	1・2							
大学院セミナーシリーズ	1	1・2	特別研究 (8 単位必修)						
基礎科目及び助産学分野専門科目「 国際助産学演習 」から14単位以上選択必修									
合計：58単位以上 (修士論文の審査に合格した者)									

授業科目及び修了要件
看護学専攻 専門職養成コース
【助産学分野 上級実践】

区分	授業科目	単位	配当年次	区分	授業科目	単位		配当年次	
		講・演				講・演	実		
基礎科目	人体構造学	2	1・2	助産学分野基礎科目	基礎助産学	ウィメンズヘルス特論	2		1
	人体機能学	2	1・2			助産と生殖科学	2		1
	臨床医学概論	2	1・2	4単位必修					
	社会医学概論	1	1・2						
	物理学特論	1	1・2						
	生物学特論	1	1・2						
	化学特論	1	1・2	助産学分野専門科目	周産期医療システム論	1		2	
	医学教育学	1	1・2		ヒューマンセクシュアリティ論	1		1	
	生命倫理	1	1・2		ハイリスク周産期論	1		1	
	臨床遺伝学	1	1・2		母子の心理・社会学	1		1	
	移植医学	1	1・2		高次助産診断・技術演習	2		1	
	リハビリテーション医学	1	1・2		高次助産診断・技術演習	1		1	
	医学工学概論	1	1・2		ウィメンズヘルス演習	1		1	
	実験動物学	1	1・2		国際助産学演習	1		1～2	
	看護倫理	2	1・2		ハイリスク周産期実習		2	2	
	看護研究方法	2	1・2		ハイリスク周産期実習		2	1	
	看護政策論	2	1・2	上級実践助産学実習		2	1～2		
	看護理論	2	1・2	特別研究	助産学研究演習	4		1～2	
	コンサルテーション論	2	1・2		助産学特別研究	4		1～2	
	知的財産権論	2	1・2	助産学分野専門科目10単位必修 (の3科目を除く)					
臨床研究入門	2	1・2							
医療サービス統計論	2	1・2							
医療サービス知識創造論	2	1・2							
医療サービス・イノベーション論	2	1・2	「ハイリスク周産期実習」・「上級実践助産学実習」から2単位選択必修						
臨床薬理学概論	2	1・2							
フィジカルアセスメント	2	1・2							
病態生理学	2	1・2	特別研究(8単位必修)						
大学院セミナーシリーズ	1	1・2							
基礎科目及び助産学分野専門科目「国際助産学演習」から8単位以上選択必修									
合計：32単位以上(修士論文の審査に合格した者)									

授業科目及び修了要件

医 科 学 専 攻

総合生命科学・バイオ統計学専攻

看 護 学 専 攻

(令和4年度までの入学者)

授業科目及び修了要件

医科学専攻【基礎医学群・社会医学群】

区分	授 業 科 目	単 位	配 当	区分	授 業 科 目	単 位	配 当		
		講・演	年次			講・演	年次		
基礎 科 目	人 体 構 造 学	2	1・2	専 攻 科 目	基礎 医学 群	生体構造・細胞生物学	4	1・2	
	人 体 機 能 学	2	1・2			神経科学・臨床生理学	4	1・2	
	臨 床 医 学 概 論	2	1・2			代 謝 病 態 学	4	1・2	
	社 会 医 学 概 論	1	1・2			臨 床 薬 理 学	4	1・2	
	物 理 学 特 論	1	1・2			病 理 ・ 病 態 学	4	1・2	
	生 物 学 特 論	1	1・2			感 染 病 態 学	4	1・2	
	化 学 特 論	1	1・2			生 体 防 御 学	4	1・2	
	医 学 教 育 学	1	1・2			基礎医学演習	4	1	
	生 命 倫 理	1	1・2			社 会 医 学 群	環 境 医 学	4	1・2
	臨 床 遺 伝 学	1	1・2				疫 学 ・ 予 防 医 学	4	1・2
	移 植 医 学	1	1・2	人 類 遺 伝 学	4		1・2		
	リハビリテーション医学	1	1・2	健 康 科 学	4		1・2		
	医 学 工 学 概 論	1	1・2	リハビリテーションバイオメカニクス学	4		1・2		
	実 験 動 物 学	1	1・2	社会医学演習	4		1		
	看 護 倫 理	2	1・2	2つの学群から1つの学群を選択し、 8単位以上（学群演習4単位必修含む）					
	看 護 研 究 方 法	2	1・2						
	看 護 政 策 論	2	1・2						
	看 護 理 論	2	1・2						
	コンサルテーション論	2	1・2						
	先端的・分野特異的研究手法体験ユニット	2	1・2	準 専 攻 科 目	自身が選択した専攻科目以外の専攻科目 （講義）から4単位必修				
バイオ統計基礎ユニット	1	1・2							
バイオ統計応用ユニット	2	1・2							
知的財産権論	2	1・2							
臨床研究入門	2	1・2							
臨 床 薬 理 学 概 論	2	1・2	共 通 科 目	論 文 指 導 演 習	4	1～2			
フイジカルアセスメント	2	1・2		1年次後期から2年次前期にかけて履修。 4単位必修。専攻科目の履修要件に充当 する。					
病 態 生 理 学	2	1・2							
医 療 経 営	2	1・2							
医 療 経 済 学	2	1・2							
10単位以上選択必修									
シ ミ ナ ー ズ	大学院セミナーシリーズ	1					1・2		
	特別講義（1単位必修）								
選択科目：自身が履修した科目以外の科目から3単位以上									
合計：30単位以上（修士論文の審査に合格した者） の科目は当該学群を選択する者は必須。									

授業科目及び修了要件

総合生命科学・バイオ統計学専攻【総合生命科学群・バイオ統計学群】

区分	授 業 科 目	単 位	配 当 年 次	区分	授 業 科 目	単 位	配 当 年 次	
		講・演				講・演		
基	人 体 構 造 学	2	1・2	専	研 究 倫 理	2	1	
	人 体 機 能 学	2	1・2		分 子 細 胞 生 物 学	2	1	
	臨 床 医 学 概 論	2	1・2		ゲノム生物学概論	2	1	
	社 会 医 学 概 論	1	1・2		オミクス解析特論	1	1	
	物 理 学 特 論	1	1・2		バイオインフォマティクス特論	1	2	
	生 物 学 特 論	1	1・2		研究マネジメント	2	1	
	化 学 特 論	1	1・2		サイエンスコミュニケーション	2	1	
	医 学 教 育 学	1	1・2		科学文章の書き方と論文作成	2	1	
	生 命 倫 理	1	1・2		バイオベンチャー論	2	1	
	臨 床 遺 伝 学	1	1・2		疾患の生命科学	2	1	
礎	移 植 医 学	1	1・2	門	細胞内オルガネラの分子生物学	2	1	
	リハビリテーション医学	1	1・2		細胞シグナリング	2	1	
	医 学 工 学 概 論	1	1・2		臓器関連の分子生物学	2	1	
	実 験 動 物 学	1	1・2		摂食調節・ストレス・老化の科学	2	1	
	看 護 倫 理	2	1・2		生体のエネルギー代謝科学	2	1	
	看 護 研 究 方 法	2	1・2		バイオサイエンス実験法	2	1	
	看 護 政 策 論	2	1・2		バイオサイエンス実験法(実習)	2	2	
	看 護 理 論	2	1・2		実験動物のサイエンス	2	1	
	コンサルテーション論	2	1・2		実験動物のサイエンス(実習)	2	2	
	先端的・分野特異的研究手法体験ユニット	2	1・2		モデル生物のサイエンスI：酵母	2	1	
科	バイオ統計基礎ユニット	1	1・2	合	モデル生物のサイエンスI：酵母(実習)	2	2	
	バイオ統計応用ユニット	2	1・2		モデル生物のサイエンスII：ショウジョウバエ、線虫	2	1	
	知 的 財 産 権 論	2	1・2		モデル生物のサイエンスII：ショウジョウバエ、線虫(実習)	2	2	
	臨 床 研 究 入 門	2	1・2		バイオサイエンスのデータベース・大規模データ解析論	2	2	
	臨 床 薬 理 学 概 論	2	1・2		バイオサイエンスのデータベース・大規模データ解析論(実習)	2	2	
	フ ィ ジ カ ル ア セ ス メ ン ト	2	1・2		バイオサイエンス研究のプロトコル作成と研究デザイン	2	2	
	病 態 生 理 学	2	1・2		バイオサイエンス研究のプロトコル作成と研究デザイン(実習)	2	2	
	医 療 経 営	2	1・2		バイオベンチャー・インターンシップ	2	2	
	医 療 経 済 学	2	1・2		群	総合生命・バイオ共通科目および総合生命科学群から26単位以上		
	10単位以上選択必修							

区分	授業科目	単位	配当年次	区分	授業科目	単位	配当年次
		講・演				講・演	
専門 応用 科学 群 科目	臨床試験の基礎とデータ解析	2	1	専門 応用 科学 群 科目	環境データ解析特論	1	1
	医用データ解析	2	1		バイオデータモデリング	2	1
	バイオデータ解析入門	2	1		機械学習特論	2	1
	観察データ解析概論	2	1		プロトコル作成と研究デザイン	1	2
	ゲノムサイエンス概論	2	1		観察データ解析特論	1	1
	薬物動態・薬力学データの解析	1	1		臨床データ解析特論	1	1
	バイオ統計基礎	4	1		バイオ統計セミナー	3	1・2
	バイオ統計数理	4	1		バイオインフォマティクスセミナー	3	1・2
	生存分析とその応用	2	1		バイオ統計セミナー	4	1・2
	観察データ解析特論	1	1		バイオインフォマティクスセミナー	4	1・2
<p>総合生命科学専攻：合計36単位以上（基礎科目の選択科目から10単位、専門応用科目（総合生命科学）の必修科目18単位、専門応用科目（総合生命科学）の選択科目8単位以上）（修士論文の審査に合格した者）</p> <p>バイオ統計学専攻：専門応用科目（バイオ統計学）の選択科目30単位以上（修士論文の審査に合格した者）</p>							

（注1）講は講義、演は演習を示す。

（注2）バイオ統計セミナー かバイオインフォマティクスセミナー のどちらか一方は必修とする。

（注3）バイオ統計セミナー かバイオインフォマティクスセミナー のどちらか一方は必修とする。

（注4）上記注記2・3を除くすべての科目は、選択必修とする。

（注5）基礎科目を履修することができる

授業科目及び修了要件

看護学専攻 修士論文コース【看護教育管理分野】

区分	授 業 科 目	単 位	配 当	区分	授 業 科 目	単 位	配 当				
		講・演	年次			講・演	年次				
基 礎 科 目	人 体 構 造 学	2	1・2	専 攻 分 野 共 通 科 目	看護教育管理特論	2	1・2				
	人 体 機 能 学	2	1・2		看護教育管理特論	2	1・2				
	臨 床 医 学 概 論	2	1・2		看護教育管理学演習	2	1・2				
	社 会 医 学 概 論	1	1・2		医療情報管理学演習	4	1・2				
	物 理 学 特 論	1	1・2		保 健 科 学 看 護 特 論	2	1・2				
	生 物 学 特 論	1	1・2								
	化 学 特 論	1	1・2		保 健 科 学 看 護 特 論	2	1・2				
	医 学 教 育 学	1	1・2								
	生 命 倫 理	1	1・2		教 育 管 理 学 研 究 演 習	4	1				
	臨 床 遺 伝 学	1	1・2								
	移 植 医 学	1	1・2		教 育 管 理 学 特 別 研 究	4	2				
	リハビリテーション医学	1	1・2								
	医 学 工 学 概 論	1	1・2		専攻分野共通科目（8単位必修）						
	実 験 動 物 学	1	1・2								
	看 護 倫 理	2	1・2								
	看 護 研 究 方 法	2	1・2								
	看 護 政 策 論	2	1・2								
	看 護 理 論	2	1・2								
	コンサルテーション論	2	1・2								
	先端的・分野特異的研究手法体験ユニット	2	1・2								
バイオ統計基礎ユニット	1	1・2									
バイオ統計応用ユニット	2	1・2									
知 的 財 産 権 論	2	1・2	その他の専攻分野共通科目、 がん看護分野、老年看護分野、小児看護分野 の専攻分野共通科目、または感染症看護分野 の「感染病態学特論」「感染看護学特論」、 または助産学分野の「助産学概論」「ウイメ ンズヘルス特論」から 4単位以上選択必修								
臨 床 研 究 入 門	2	1・2									
臨 床 薬 理 学 概 論	2	1・2									
フ ィ ジ カ ル ア ス セ ス メ ン ト	2	1・2									
病 態 生 理 学	2	1・2									
9単位以上選択必修											
シ セ リ ミ ナ ー ズ	大学院セミナーシリーズ	1					1・2	特別研究（8単位必修）			
特別講義（1単位必修）											
合計：30単位以上（修士論文の審査に合格した者）											

授業科目及び修了要件

看護学専攻 専門職養成コース

【がん看護分野 CNS 養成】

(がん看護専門看護師教育課程【38単位】)

区分	授 業 科 目	単 位	配 当 年 次	区分	授 業 科 目	単 位		配 当 年 次		
		講・演				講・演	実			
共通科目A	看 護 倫 理	2	1・2	が ん 看 護 分 野	専 攻 分 野 共 通 科 目	が ん 診 断 治 療 学	2		1・2	
	看 護 研 究 方 法	2	1・2			が ん 看 護 特 論	2		1・2	
	看 護 政 策 論	2	1・2			が ん 看 護 援 助 論	2		1・2	
	看 護 理 論	2	1・2			が ん 緩 和 ケ ア 地 域 連 携 教 育 論	2		1・2	
	コ ン サ ル テ ー シ ョ ン 論	2	1・2			が ん 薬 物 療 法 看 護 特 論	2		1・2	
共通科目B	臨 床 薬 理 学 概 論	2	1・2		専 攻 分 野 専 門 科 目	が ん 薬 物 療 法 看 護 特 論	2		1・2	
	フ ィ ジ カ ル ア セ ス メ ン ト	2	1・2			が ん 緩 和 ケ ア 特 論	2		1・2	
	病 態 生 理 学	2	1・2			が ん 緩 和 ケ ア 特 論	2		1・2	
						が ん 看 護 学 特 別 研 究	4		1・2	
共通科目 A + B 14単位以上必修 共通科目 A 8単位以上 共通科目 B 6単位 共通科目は修士論文コースの基礎科目のそれぞれの該当授業科目を読み替える。						野	実 習 科 目	が ん 看 護 学 実 習		2
				が ん 看 護 学 実 習					1	1
				が ん 看 護 学 実 習					3	2
				が ん 看 護 学 実 習					2	2
				が ん 看 護 学 実 習					2	2
				が ん 看 護 学 実 習					2	2
すべて必修										
合計：42単位以上（共通科目14単位以上、専攻分野共通科目6単位、同専門科目12単位、実習科目10単位を履修）。修士論文の審査に合格した者（修士論文はCNS申請に即したものが望ましい）										

(注1) 講は講義、演は演習、実は実習を示す。

(注2) 原則として、「がん看護分野 CNS 養成」の学生のための履修とする。

(注3) がん緩和ケア地域連携教育論およびがん看護学特別研究は、日本看護系大学協議会において認定された科目ではない。

授業科目及び修了要件

看護学専攻 専門職養成コース

【感染症看護分野 CNS 養成】

(感染症看護専門看護師教育課程【38単位】)

区分	授 業 科 目	単 位	配 当 年 次	区分	授 業 科 目	単 位		配 当 年 次
		講・演				講・演	実	
共通科目A	看 護 倫 理	2	1・2	感 染 症 看 護 分 野	感 染 制 御 学 特 論	2		1・2
	看 護 研 究 方 法	2	1・2		感 染 看 護 学 特 論	2		1・2
	看 護 政 策 論	2	1・2		感 染 看 護 学 特 論	2		1・2
	看 護 理 論	2	1・2		感 染 看 護 学 特 論	1		1・2
	コンサルテーション論	2	1・2		感 染 看 護 学 特 論	1		1・2
共通科目B	臨 床 薬 理 学 概 論	2	1・2		感 染 看 護 学 特 論	2		1・2
	フィジカルアセスメント	2	1・2		感 染 看 護 学 特 論	2		1・2
	病 態 生 理 学	2	1・2		感 染 症 看 護 援 助 論	2		1・2
共通科目 A + B 14単位以上必修 共通科目 A 8単位以上 共通科目 B 6単位 共通科目は修士論文コースの基礎科目のそれぞれの該当授業科目を読み替える。					感 染 症 看 護 援 助 論	2		1・2
					感 染 看 護 学 特 別 研 究	4		1・2
				感 染 看 護 学 実 習		1	1	
				感 染 看 護 学 実 習		1	1	
				感 染 看 護 学 実 習		2	1・2	
				感 染 看 護 学 実 習		2	1・2	
				実 習 科 目	感 染 看 護 学 実 習		4	2
すべて必修								
合計：44単位以上（共通科目14単位以上、専攻分野専門科目20単位、実習科目10単位を履修）。 修士論文の審査に合格した者（修士論文は CNS 申請に即したものが望ましい）。								

(注1) 講は講義、演は演習、実の実習を示す。

(注2) 原則として「感染症看護分野 CNS 養成」の学生のための履修とする。

(注3) 感染看護学特別研究は、日本看護系大学協議会において認定された科目ではない。

授業科目及び修了要件

看護学専攻 専門職養成コース

【感染症看護分野 国際実践】

区分	授 業 科 目	単 位	配 当 年 次	区分	授 業 科 目	単 位		配 当 年 次	
		講・演				講・演	実		
共 通 科 目	人 体 構 造 学	2	1・2	感 染 症 看 護 分 野	感 染 制 御 学 特 論	2		1・2	
	人 体 機 能 学	2	1・2		感 染 看 護 学 特 論	2		1・2	
	臨 床 医 学 概 論	2	1・2		感 染 看 護 学 特 論	2		1・2	
	社 会 医 学 概 論	1	1・2		感 染 看 護 学 特 論	1		1・2	
	バ イ オ 統 計 基 礎 ユ ニ ッ ト	1	1・2		感 染 看 護 学 特 論	1		1・2	
	バ イ オ 統 計 応 用 ユ ニ ッ ト	2	1・2		感 染 看 護 学 特 論	2		1・2	
	看 護 理 論	2	1・2		感 染 看 護 学 特 論	2		1・2	
	看 護 倫 理	2	1・2		感 染 症 看 護 援 助 論	2		1・2	
	コ ン サ ル テ ー シ ョ ン 論	2	1・2		感 染 症 看 護 援 助 論	2		1・2	
	看 護 研 究 方 法	2	1・2		感 染 看 護 学 特 別 研 究	4		1・2	
	看 護 政 策 論	2	1・2		実 習 科 目	国 際 感 染 看 護 学 実 習		2	1・2
	大 学 院 セ ミ ナ ー シ リ ー ズ	1	1・2			国 際 感 染 看 護 学 実 習		4	1・2
	共通科目は修士論文コースの基礎科目のそれぞれの該当授業科目を読み替える。 を含め10単位選択必修				すべて必修				
合計：36単位以上（共通科目10単位、専攻分野専門科目20単位、実習科目6単位）を必修。 修士論文の審査に合格した者									

(注1) 講は講義、演は演習、実は実習を示す。

(注2) 日本看護系大学協議会が実施する感染看護専門看護師認定審査の受験資格は満たさない。

授業科目及び修了要件

看護学専攻 専門職養成コース

【老年看護分野 CNS 養成】

(老年看護専門看護師教育課程【38単位】)

区分	授 業 科 目	単 位	配 当 年 次	区分	授 業 科 目	単 位		配 当 年 次	
		講・演				講・演	実		
共通科目 A	看 護 倫 理	2	1・2	老年看護分野	老年看護学特論	2		1	
	看 護 研 究 方 法	2	1・2		老年看護学特論	2		1	
	看 護 政 策 論	2	1・2		老年看護学特論	2		1	
	看 護 理 論	2	1・2		老年看護学特論	2		1	
	コンサルテーション論	2	1・2		高齢者病態治療学	2		1	
共通科目 B	臨 床 薬 理 学 概 論	2	1・2		老年看護学演習	2		1	
	フィジカルアセスメント	2	1・2		老年看護学演習	2		1	
	病 態 生 理 学	2	1・2		老年看護学特別研究	4		1・2	
共通科目 A + B 14単位以上必修 共通科目 A 8 単位以上 共通科目 B 6 単位					実習科目	老年看護学実習		2	1
共通科目は修士論文コースの基礎科目のそれぞれの該当授業科目を読み替える。					老年看護学実習		3	2	
				老年看護学実習		5	2		
				すべて必修					
合計：42単位以上（共通科目14単位以上、専攻分野共通科目10単位、同専門科目 8 単位、実習科目10単位を履修）。修士論文の審査に合格した者（修士論文は CNS 申請に即したものが望ましい）。									

(注1) 講は講義、演は演習、実実習を示す。

(注2) 原則として、「老年看護分野 CNS 養成」の学生のための履修とする。

(注3) 老年看護学特別研究は、日本看護系大学協議会において認定された科目ではない。

授業科目及び修了要件

看護学専攻 専門職養成コース

【小児看護分野 CNS 養成】

(日本看護系大学協議会認定教育課程【38単位】)

区分	授 業 科 目	単 位	配 当 年 次	区分	授 業 科 目	単 位	配 当 年 次	
		講・演				講・実		
共通科目 A	看 護 倫 理	2	1・2	小 児 看 護 分 野 共 通 科 目	小 児 看 護 学 特 論	2	1・2	
	看 護 研 究 方 法	2	1・2		小 児 看 護 学 特 論	2	1・2	
	看 護 政 策 論	2	1・2		小 児 看 護 学 特 論	1	1・2	
	看 護 理 論	2	1・2		小 児 看 護 対 象 論	2	1・2	
	コンサルテーション論	2	1・2		小 児 看 護 援 助 論	1	1・2	
共通科目 B	臨 床 薬 理 学 概 論	2	1・2		小 児 看 護 援 助 論	2	1・2	
	フィジカルアセスメント	2	1・2		小 児 看 護 援 助 論	2	1・2	
	病 態 生 理 学	2	1・2		小 児 診 断 治 療 学	2	1・2	
共通科目 A + B 14単位以上必修 共通科目 A 8単位以上 共通科目 B 6単位以上 共通科目は修士論文コースの基礎科目のそれぞれの該当授業科目を読み替える。					野 実 習 科 目	小 児 看 護 学 特 別 研 究	4	1・2
						小 児 看 護 学 実 習	2	1・2
				小 児 看 護 学 実 習		2	1・2	
				小 児 看 護 学 実 習		2	1・2	
				小 児 看 護 学 実 習		2	1・2	
				小 児 看 護 学 実 習		2	1・2	
				すべて必修				
合計：42単位以上(共通科目14単位以上、専攻分野共通科目18単位、実習科目10単位を履修) 修士論文の審査に合格した者(修士論文は CNS 申請に即したものが望ましい)								

(注1) 講は講義、演は演習、実実習を示す。

(注2) 原則として、「小児看護分野 CNS 養成」の学生のための履修とする。

(注3) 小児看護学特別研究は、日本看護系大学協議会において認定された科目ではない。

授業科目及び修了要件

看護学専攻 専門職養成コース

【助産学分野 助産師資格】

区分	授業科目	単位	配当年次	区分	授業科目	単位	配当年次	
		講・演				講・演		
基	人体構造学	2	1・2	助産分野基礎科目	基礎助産学	助産学概論	2	1
	人体機能学	2	1・2		基礎助産学	ウィメンズヘルステ論	2	1
	臨床医学概論	2	1・2		基礎助産学	助産と生殖科学	2	1
	社会医学概論	1	1・2		助産診断・技術学	助産学特論 - 妊娠期	2	1
	物理学特論	1	1・2		助産診断・技術学	助産学特論 - 分娩期	2	1
	生物学特論	1	1・2		助産診断・技術学	助産学特論 - 産褥期	2	1
	化学特論	1	1・2		助産診断・技術学	助産学特論 - 乳幼児期	2	1
	医学教育学	1	1・2		助産診断・技術学	助産学特論 - ハイリスク	2	1
	生命倫理	1	1・2		助産母子地域	地域母子保健特論	2	1
	臨床遺伝学	1	1・2		助産管理	助産マネジメント論	2	1
	移植医学	1	1・2		基礎助産実習学	助産学基礎実習	8	1～2
	礎	リハビリテーション医学	1		1・2	基礎助産実習学	助産学基礎実習	2
医学工学概論		1	1・2	基礎助産実習学	地域助産学実習	1	1～2	
実験動物学		1	1・2	助産学分野基礎科目31単位必修				
科		看護倫理	2	1・2	助産学分野専門科目	ヒューマンセクシュアリティ論	1	1
		看護研究方法	2	1・2		ハイリスク周産期論	2	1
		看護政策論	2	1・2		母子の心理・社会学	2	1
		看護理論	2	1・2		高次助産診断・技術演習	2	1
		コンサルテーション論	2	1・2		高次助産診断・技術演習	1	1
		先端的・分野特異的手法ユニット	2	1・2		ウィメンズヘルス演習	1	1
		バイオ統計基礎ユニット	1	1・2		助産技術演習	1	1
		バイオ統計応用ユニット	2	1・2		周産期医療政策・環境論	2	2
		知的財産権論	2	1・2		国際助産論	1	2
	臨床研究入門	2	1・2	ハイリスクシミュレーション演習		1	2	
	臨床薬理学概論	2	1・2	助産学分野専門科目14単位必修				
	目	フィジカルアセスメント	2	1・2		研特別	助産学研究演習	4
病態生理学		2	1・2	助産学特別研究	4		1～2	
大学院セミナーシリーズ		1	1・2	特別研究8単位必修				
基礎科目から8単位以上選択必修（看護研究方法・バイオ統計基礎ユニットは選択必修。）								
合計：61単位以上（修士論文の審査に合格した者）								

授業科目及び修了要件

看護学専攻 専門職養成コース

【助産学分野 上級実践】

区分	授業科目	単位	配当年次	区分	授業科目	単位	配当年次	
		講・演				講・演		
基礎科目	人体構造学	2	1・2	助産学分野専門科目	ヒューマンセクシュアリティ論	1	1	
	人体機能学	2	1・2		ハイリスク周産期論	2	1	
	臨床医学概論	2	1・2		母子の心理・社会学	2	1	
	社会医学概論	1	1・2		高次助産診断・技術演習	2	1	
	物理学特論	1	1・2		高次助産診断・技術演習	1	1	
	生物学特論	1	1・2		ウィメンズヘルス演習	1	1	
	化学特論	1	1・2		周産期医療政策・環境論	2	2	
	医学教育学	1	1・2		国際助産論	1	2	
	生命倫理	1	1・2		ハイリスク周産期実習	2	1～2	
	臨床遺伝学	1	1・2		ハイリスク周産期実習	2	1～2	
	移植医学	1	1・2		上級実践助産学実習	2	1～2	
	リハビリテーション医学	1	1・2		助産学分野専門科目16単位(ハイリスク周産期実習もしくは上級実践助産学実習から2単位選択必修)			
	医学工学概論	1	1・2		研究特別	助産学研究演習	4	1～2
	実験動物学	1	1・2	助産学特別研究		4	1～2	
	看護倫理	2	1・2	特別研究(8単位必修)				
	看護研究方法	2	1・2	分野				
	看護政策論	2	1・2					
	看護理論	2	1・2					
	コンサルテーション論	2	1・2					
	先端的・分野特異的手法ユニット	2	1・2					
	バイオ統計基礎ユニット	1	1・2					
	バイオ統計応用ユニット	2	1・2					
	知的財産権論	2	1・2					
臨床研究入門	2	1・2						
臨床薬理学概論	2	1・2						
フィジカルアセスメント	2	1・2						
病態生理学	2	1・2						
大学院セミナーシリーズ	1	1・2						
基礎科目から8単位以上選択必修(看護研究方法・バイオ統計基礎ユニットは選択必修。)								
合計：32単位以上(修士論文の審査に合格した者)								

授業科目及び修了要件

医 科 学 専 攻

総合生命科学・バイオ統計学専攻

看 護 学 専 攻

(令和5年度までの入学者)

授業科目及び修了要件

医科学専攻【基礎医学群・社会医学群】

区分	授 業 科 目	単 位	配 当	区分	授 業 科 目	単 位	配 当				
		講・演	年次			講・演	年次				
基礎 科 目	人 体 構 造 学	2	1・2	専 攻 科 目	基礎 医学 群	生体構造・細胞生物学	4	1・2			
	人 体 機 能 学	2	1・2			神経科学・臨床生理学	4	1・2			
	臨 床 医 学 概 論	2	1・2			代 謝 病 態 学	4	1・2			
	社 会 医 学 概 論	1	1・2			臨 床 薬 理 学	4	1・2			
	物 理 学 特 論	1	1・2			病 理 ・ 病 態 学	4	1・2			
	生 物 学 特 論	1	1・2			感 染 病 態 学	4	1・2			
	化 学 特 論	1	1・2			生 体 防 御 学	4	1・2			
	医 学 教 育 学	1	1・2			基礎医学演習	4	1			
	生 命 倫 理	1	1・2			社 会 医 学 群	環 境 医 学	4	1・2		
	臨 床 遺 伝 学	1	1・2				疫 学 ・ 予 防 医 学	4	1・2		
	移 植 医 学	1	1・2	人 類 遺 伝 学	4		1・2				
	リハビリテーション医学	1	1・2	健 康 科 学	4		1・2				
	医 学 工 学 概 論	1	1・2	リハビリテーションバイオメカニクス学	4		1・2				
	実 験 動 物 学	1	1・2	社会医学演習	4		1				
	看 護 理 論	2	1・2	2つの学群から1つの学群を選択し、 8単位以上（学群演習4単位必修含む）							
	看 護 倫 理	2	1・2								
	コンサルテーション論	2	1・2								
	先端的・分野特異的研究手法体験ユニット	2	1・2								
	看 護 研 究 方 法	2	1・2								
	看 護 政 策 論	2	1・2								
目	バイオ統計基礎ユニット	1	1・2	準 専 攻 科 目	自身が選択した専攻科目以外の専攻科目 （講義）から4単位必修						
	バイオ統計応用ユニット	2	1・2								
	知 的 財 産 権 論	2	1・2								
	臨 床 研 究 入 門	2	1・2								
	臨 床 薬 理 学 概 論	2	1・2					共 通 科 目	論 文 指 導 演 習	4	1～2
	フイジカルアセスメント	2	1・2						1年次後期から2年次前期にかけて履修。 4単位必修。専攻科目の履修要件に充当 する。		
	病 態 生 理 学	2	1・2								
	医 療 経 営	2	1・2								
	医 療 経 済 学	2	1・2								
	10単位以上選択必修										
シ ミ ナ ー ズ	大学院セミナーシリーズ	1	1・2								
	特別講義（1単位必修）										
選択科目：自身が履修した科目以外の科目から3単位以上											
合計：30単位以上（修士論文の審査に合格した者） の科目は当該学群を選択する者は必須。											

授業科目及び修了要件

総合生命科学・バイオ統計学専攻【総合生命科学群】

区分	授 業 科 目	単位	配当 年次	区分	授 業 科 目	単位	配当 年次
		講・演				講・演	
基	人 体 構 造 学	2	1・2	専 門	研 究 倫 理	2	1
	人 体 機 能 学	2	1・2		分 子 細 胞 生 物 学	2	1
	臨 床 医 学 概 論	2	1・2		ゲノム生物学概論	2	1
	社 会 医 学 概 論	1	1・2		オミクス解析特論	1	1
	物 理 学 特 論	1	1・2		バイオインフォマティクス特論	1	2
	生 物 学 特 論	1	1・2		研究マネジメント	2	1
	化 学 特 論	1	1・2		サイエンスコミュニケーション	2	1
	医 学 教 育 学	1	1・2		科学文章の書き方と論文作成	2	1
	生 命 倫 理	1	1・2		バイオベンチャー論	2	1
	臨 床 遺 伝 学	1	1・2		疾患の生命科学	2	1
礎	移 植 医 学	1	1・2	総 合	細胞内オルガネラの分子生物学	2	1
	リハビリテーション医学	1	1・2		細胞シグナリング	2	1
	医 学 工 学 概 論	1	1・2		臓器関連の分子生物学	2	1
	実 験 動 物 学	1	1・2		摂取調節・ストレス・老化の科学	2	1
	看 護 理 論	2	1・2		生体のエネルギー代謝科学	2	1
	看 護 倫 理	2	1・2		バイオサイエンス実験法	2	1
	コンサルテーション論	2	1・2		実験動物のサイエンス	2	1
	先端的・分野特異的研究 手法体験ユニット	2	1・2		モデル生物のサイエンス：酵母	2	1
	看 護 研 究 方 法	2	1・2		モデル生物のサイエンス： ショウジョウバエ、線虫	2	1
	看 護 政 策 論	2	1・2		バイオサイエンスのデータ ベース・大規模データ解析論	2	2
科	バイオ統計基礎ユニット	1	1・2	学 科	バイオサイエンス研究のプロ トコル作成と研究デザイン	2	2
	バイオ統計応用ユニット	2	1・2		バイオサイエンス実験法(実習)		2
	知 的 財 産 権 論	2	1・2		実験動物のサイエンス(実習)		2
	臨 床 研 究 入 門	2	1・2		モデル生物のサイエンス：酵母(実習)		2
	臨 床 薬 理 学 概 論	2	1・2		モデル生物のサイエンス： ショウジョウバエ、線虫(実習)		2
	フジカルアセスメント	2	1・2		バイオサイエンスのデータベ ース・大規模データ解析論(実習)		2
	病 態 生 理 学	2	1・2		バイオサイエンス研究のプロ トコル作成と研究デザイン(実習)		2
	医 療 経 営	2	1・2		バイオベンチャー・ インターンシップ		2
	医 療 経 済 学	2	1・2				
	10単位以上選択必修				総合生命・バイオ共通科目および総合生命 科学群から26単位以上		

総合生命科学専攻：合計36単位以上（基礎科目の選択科目から10単位、専門応用科目（総合生命・バイオ共通科目および総合生命科学）の必修科目18単位、専門応用科目（総合生命科学）の選択科目8単位以上）（修士論文の審査に合格した者）

授業科目及び修了要件

総合生命科学・バイオ統計学専攻【バイオ統計学群】

区分	授 業 科 目	単 位	配 当 年 次	区分	授 業 科 目	単 位	配 当 年 次	
		講・演				講・演		
専 門 応 用 科 目	バイ オ 必 修 科 目	バイ オ 統 計 基 礎	4	1	専 門 応 用 科 目	医 用 デ ー タ 解 析	2	1
		バイ オ 統 計 数 理	4	1		観 察 デ ー タ 解 析 概 論	2	1
		バイ オ デ ー タ 解 析 入 門	2	1		ゲ ノ ム サ イ エ ン ス 概 論	2	1
		臨 床 試 験 の 基 礎 と デ ー タ 解 析	2	1		薬 物 動 態 ・ 薬 力 学 デ ー タ の 解 析	1	1
	バイ オ 選 択 必 修 科 目	バイ オ 統 計 セ ミ ナ ー	3	1・2		生 存 分 析 と そ の 応 用	2	1
		バイ オ イ ン フ ォ マ テ ィ ク ス セ ミ ナ ー	3	1・2		観 察 デ ー タ 解 析 特 論	1	1
		バイ オ 統 計 セ ミ ナ ー	4	1・2		観 察 デ ー タ 解 析 特 論	1	1
		バイ オ イ ン フ ォ マ テ ィ ク ス セ ミ ナ ー	4	1・2		環 境 デ ー タ 解 析 特 論	1	1
	総 合 生 命 ・ バ イ オ 共 通 選 択 科 目	研 究 倫 理	2	1		バ イ オ デ ー タ モ デ リ ン グ	2	1
		分 子 細 胞 生 物 学	2	1		機 械 学 習 特 論	2	1
		ゲ ノ ム 生 物 学 概 論	2	1		プ ロ ト コ ル 作 成 と 研 究 デ ザ イ ン	1	2
		オ ミ ク ス 解 析 特 論	1	1		臨 床 デ ー タ 解 析 特 論	1	1
		バイ オ イ ン フ ォ マ テ ィ ク ス 特 論	1	2				
<p>バイオ統計学専攻：合計30単位以上（専門応用科目（バイオ統計学群）の必修科目12単位、選択必修科目7単位、専門応用科目（総合生命・バイオ共通選択科目およびバイオ選択科目）の選択科目から11単位以上（修士論文の審査に合格した者）</p> <p>1．バイオ統計セミナー か バイオインフォマティクスセミナー のどちらか一方は必修する。</p> <p>2．バイオ統計セミナー か バイオインフォマティクスセミナー のどちらか一方は必修する。</p>								

授業科目及び修了要件

看護学専攻 修士論文コース【看護教育管理分野】

区分	授 業 科 目	単 位	配 当	区分	授 業 科 目	単 位	配 当	
		講・演	年次			講・演	年次	
基 礎 科 目	人 体 構 造 学	2	1・2	専 攻 分 野 共 通 科 目 分 野 特 別 研 究	看護教育管理特論	2	1・2	
	人 体 機 能 学	2	1・2		看護教育管理特論	2	1・2	
	臨 床 医 学 概 論	2	1・2		看護教育管理学演習	2	1・2	
	社 会 医 学 概 論	1	1・2		医療情報管理学演習	4	1・2	
	物 理 学 特 論	1	1・2		保健科学看護特論	2	1・2	
	生 物 学 特 論	1	1・2		保健科学看護特論	2	1・2	
	化 学 特 論	1	1・2		教育管理学研究演習	4	1	
	医 学 教 育 学	1	1・2		教育管理学特別研究	4	2	
	生 命 倫 理	1	1・2		専攻分野共通科目（8単位必修）			
	臨 床 遺 伝 学	1	1・2					
	移 植 医 学	1	1・2					
	リハビリテーション医学	1	1・2		その他の専攻分野共通科目、 がん看護分野、老年看護分野、小児看護分野 の専攻分野共通科目、または感染症看護分野 の「感染病態学特論」「感染看護学特論」、 または助産学分野の「助産学概論」「ウイメ ンズヘルス特論」から 4単位以上選択必修			
	医 学 工 学 概 論	1	1・2					
	実 験 動 物 学	1	1・2					
	看 護 理 論	2	1・2					
	看 護 倫 理	2	1・2					
	コンサルテーション論	2	1・2					
	先端的・分野特異的研究手法体験ユニット	2	1・2					
	看 護 研 究 方 法	2	1・2					
看 護 政 策 論	2	1・2						
バイオ統計基礎ユニット	1	1・2						
バイオ統計応用ユニット	2	1・2						
知 的 財 産 権 論	2	1・2						
臨 床 研 究 入 門	2	1・2						
臨 床 薬 理 学 概 論	2	1・2						
フイジカルアセスメント	2	1・2						
病 態 生 理 学	2	1・2						
医 療 経 営	2	1・2						
医 療 経 済 学	2	1・2						
9単位以上選択必修								
シ リ ミ ナ ー ズ	大学院セミナーシリーズ	1	1・2	特別研究（8単位必修）				
	特別講義（1単位必修）							
合計：30単位以上（修士論文の審査に合格した者）								

授業科目及び修了要件

看護学専攻 専門職養成コース

【がん看護分野 CNS 養成】

(がん看護専門看護師教育課程【38単位】)

区分	授 業 科 目	単 位	配 当 年次	区分	授 業 科 目	単 位		配 当 年次	
		講・演				講・演	実		
共通科目A	看 護 理 論	2	1・2	が ん 看 護 分 野	専攻分野共通科目	がん診断治療学	2		1・2
	看 護 倫 理	2	1・2		がん看護特論	2		1・2	
	コンサルテーション論	2	1・2		がん看護援助論	2		1・2	
	看護研究方法	2	1・2		がん緩和ケア地域連携教育論	2		1・2	
	看護政策論	2	1・2		がん薬物療法看護特論	2		1・2	
共通科目B	臨床薬理学概論	2	1・2		専攻分野専門科目	がん薬物療法看護特論	2		1・2
	フィジカルアセスメント	2	1・2		がん緩和ケア特論	2		1・2	
	病 態 生 理 学	2	1・2		がん緩和ケア特論	2		1・2	
					がん看護学特別研究	4		1・2	
共通科目 A + B 14単位以上必修 共通科目 A 8単位以上 共通科目 B 6単位 共通科目は修士論文コースの基礎科目のそれぞれの該当授業科目を読み替える。					野	実習科目	がん看護学実習		2
				がん看護学実習			1	1	
				がん看護学実習			3	2	
				がん看護学実習			2	2	
				がん看護学実習			2	2	
				すべて必修					
合計：42単位以上（共通科目14単位以上、専攻分野共通科目6単位、同専門科目12単位、実習科目10単位を履修）。修士論文の審査に合格した者（修士論文はCNS申請に即したものが望ましい）									

(注1) 講は講義、演は演習、実は実習を示す。

(注2) 原則として、「がん看護分野 CNS 養成」の学生のための履修とする。

(注3) がん緩和ケア地域連携教育論およびがん看護学特別研究は、日本看護系大学協議会において認定された科目ではない。

授業科目及び修了要件

看護学専攻 専門職養成コース

【感染症看護分野 CNS 養成】

(感染症看護専門看護師教育課程【38単位】)

区分	授 業 科 目	単 位	配 当 年 次	区分	授 業 科 目	単 位		配 当 年 次
		講・演				講・演	実	
共通科目 A	看 護 理 論	2	1・2	感 染 症 看 護 分 野	感 染 制 御 学 特 論	2		1・2
	看 護 倫 理	2	1・2		感 染 看 護 学 特 論	2		1・2
	コンサルテーション論	2	1・2		感 染 看 護 学 特 論	2		1・2
	看 護 研 究 方 法	2	1・2		感 染 看 護 学 特 論	1		1・2
	看 護 政 策 論	2	1・2		感 染 看 護 学 特 論	1		1・2
共通科目 B	臨 床 薬 理 学 概 論	2	1・2		感 染 看 護 学 特 論	2		1・2
	フィジカルアセスメント	2	1・2		感 染 看 護 学 特 論	2		1・2
	病 態 生 理 学	2	1・2		感 染 症 看 護 援 助 論	2		1・2
共通科目 A + B 14単位以上必修 共通科目 A 8単位以上 共通科目 B 6単位 共通科目は修士論文コースの基礎科目のそれぞれの該当授業科目を読み替える。					感 染 症 看 護 援 助 論	2		1・2
					感 染 看 護 学 特 別 研 究	4		1・2
				感 染 看 護 学 実 習		1	1	
				感 染 看 護 学 実 習		1	1	
				感 染 看 護 学 実 習		2	1・2	
				感 染 看 護 学 実 習		2	1・2	
				実 習 科 目	感 染 看 護 学 実 習		4	2
すべて必修								
合計：44単位以上（共通科目14単位以上、専攻分野専門科目20単位、実習科目10単位を履修）。 修士論文の審査に合格した者（修士論文は CNS 申請に即したものが望ましい）。								

(注1) 講は講義、演は演習、実の実習を示す。

(注2) 原則として「感染症看護分野 CNS 養成」の学生のための履修とする。

(注3) 感染看護学特別研究は、日本看護系大学協議会において認定された科目ではない。

授業科目及び修了要件

看護学専攻 専門職養成コース

【感染症看護分野 国際実践】

区分	授業科目	単位	配当年次	区分	授業科目	単位		配当年次	
		講・演				講・演	実		
共通科目	人体構造学	2	1・2	感染症看護分野	感染制御学特論	2		1・2	
	人体機能学	2	1・2		感染看護学特論	2		1・2	
	臨床医学概論	2	1・2		感染看護学特論	2		1・2	
	社会医学概論	1	1・2		感染看護学特論	1		1・2	
	バイオ統計基礎ユニット	1	1・2		感染看護学特論	1		1・2	
	バイオ統計応用ユニット	2	1・2		感染看護学特論	2		1・2	
	看護理論	2	1・2		感染看護学特論	2		1・2	
	看護倫理	2	1・2		感染症看護援助論	2		1・2	
	コンサルテーション論	2	1・2		感染症看護援助論	2		1・2	
	看護研究方法	2	1・2		感染看護学特別研究	4		1・2	
	看護政策論	2	1・2		実習科目	国際感染看護学実習		2	1・2
	大学院セミナーシリーズ	1	1・2			国際感染看護学実習		4	1・2
	共通科目は修士論文コースの基礎科目のそれぞれの該当授業科目を読み替える。 を含め10単位選択必修				すべて必修				
合計：36単位以上（共通科目10単位、専攻分野専門科目20単位、実習科目6単位）を必修。 修士論文の審査に合格した者									

(注1) 講は講義、演は演習、実は実習を示す。

(注2) 日本看護系大学協議会が実施する感染看護専門看護師認定審査の受験資格は満たさない。

授業科目及び修了要件

看護学専攻 専門職養成コース

【老年看護分野 CNS 養成】

(老年看護専門看護師教育課程【38単位】)

区分	授 業 科 目	単 位	配 当 年 次	区分	授 業 科 目	単 位		配 当 年 次	
		講・演				講・演	実		
共通科目 A	看 護 理 論	2	1・2	老年看護分野	老年看護学特論	2		1	
	看 護 倫 理	2	1・2		老年看護学特論	2		1	
	コンサルテーション論	2	1・2		老年看護学特論	2		1	
	看護研究方法	2	1・2		老年看護学特論	2		1	
	看護政策論	2	1・2		高齢者病態治療学	2		1	
共通科目 B	臨床薬理学概論	2	1・2		専攻分野専門科目	老年看護学演習	2		1
	フィジカルアセスメント	2	1・2			老年看護学演習	2		1
	病態生理学	2	1・2			老年看護学特別研究	4		1・2
共通科目 A + B 14単位以上必修 共通科目 A 8単位以上 共通科目 B 6単位					実習科目	老年看護学実習		2	1
共通科目は修士論文コースの基礎科目のそれぞれの該当授業科目を読み替える。						老年看護学実習		3	2
				老年看護学実習			5	2	
					すべて必修				
合計：42単位以上（共通科目14単位以上、専攻分野共通科目10単位、同専門科目8単位、実習科目10単位を履修）。修士論文の審査に合格した者（修士論文はCNS申請に即したものが望ましい）。									

(注1) 講は講義、演は演習、実実習を示す。

(注2) 原則として、「老年看護分野 CNS 養成」の学生のための履修とする。

(注3) 老年看護学特別研究は、日本看護系大学協議会において認定された科目ではない。

授業科目及び修了要件

看護学専攻 専門職養成コース

【小児看護分野 CNS 養成】

(日本看護系大学協議会認定教育課程【38単位】)

区分	授 業 科 目	単 位	配 当 年 次	区分	授 業 科 目	単 位	配 当 年 次	
		講・演				講・実		
共通科目 A	看 護 理 論	2	1・2	小 児 看 護 分 野 共 通 科 目	小 児 看 護 学 特 論	2	1・2	
	看 護 倫 理	2	1・2		小 児 看 護 学 特 論	2	1・2	
	コンサルテーション論	2	1・2		小 児 看 護 学 特 論	1	1・2	
	看護研究方法	2	1・2		小 児 看 護 対 象 論	2	1・2	
	看護政策論	2	1・2		小 児 看 護 援 助 論	1	1・2	
共通科目 B	臨床薬理学概論	2	1・2		小 児 看 護 援 助 論	2	1・2	
	フィジカルアセスメント	2	1・2		小 児 看 護 援 助 論	2	1・2	
	病 態 生 理 学	2	1・2		小 児 診 断 治 療 学	2	1・2	
共通科目 A + B 14単位以上必修 共通科目 A 8単位以上 共通科目 B 6単位以上 共通科目は修士論文コースの基礎科目のそれぞれの該当授業科目を読み替える。					野 実 習 科 目	小 児 看 護 学 特 別 研 究	4	1・2
						小 児 看 護 学 実 習	2	1・2
				小 児 看 護 学 実 習		2	1・2	
				小 児 看 護 学 実 習		2	1・2	
				小 児 看 護 学 実 習		2	1・2	
				小 児 看 護 学 実 習		2	1・2	
すべて必修								
合計：42単位以上(共通科目14単位以上、専攻分野共通科目18単位、実習科目10単位を履修) 修士論文の審査に合格した者(修士論文は CNS 申請に即したものが望ましい)								

(注1) 講は講義、演は演習、実実習を示す。

(注2) 原則として、「小児看護分野 CNS 養成」の学生のための履修とする。

(注3) 小児看護学特別研究は、日本看護系大学協議会において認定された科目ではない。

授業科目及び修了要件

看護学専攻 専門職養成コース

【助産学分野 助産師資格】

区分	授業科目	単位	配当年次	区分	授業科目	単位	配当年次	
		講・演				講・演		
基礎科目	人体構造学	2	1・2	助産学分野基礎科目	基礎助産学	助産学概論	2	1
	人体機能学	2	1・2		助産学特論 - 妊娠期	2	1	
	臨床医学概論	2	1・2		助産学特論 - 分娩期	2	1	
	社会医学概論	1	1・2		助産学特論 - 産褥期	2	1	
	物理学特論	1	1・2		助産学特論 - 産褥期	2	1	
	生物学特論	1	1・2		助産学特論 - 乳幼児期	2	1	
	化学特論	1	1・2		助産学特論 - 乳幼児期	2	1	
	医学教育学	1	1・2		助産学特論 - ハイリスク	2	1	
	生命倫理	1	1・2		助産学特論 - ハイリスク	2	1	
	臨床遺伝学	1	1・2		助産学特論 - ハイリスク	2	1	
	移植医学	1	1・2		助産学特論 - ハイリスク	2	1	
	リハビリテーション医学	1	1・2		助産学特論 - ハイリスク	2	1	
	医学工学概論	1	1・2		助産学特論 - ハイリスク	2	1	
	実験動物学	1	1・2		助産学特論 - ハイリスク	2	1	
	看護理論	2	1・2		助産学特論 - ハイリスク	2	1	
	看護倫理	2	1・2		助産学特論 - ハイリスク	2	1	
	コンサルテーション論	2	1・2		助産学特論 - ハイリスク	2	1	
	先端的・分野特異的手法ユニット	2	1・2		助産学特論 - ハイリスク	2	1	
	看護研究方法	2	1・2		助産学特論 - ハイリスク	2	1	
	看護政策論	2	1・2		助産学特論 - ハイリスク	2	1	
	バイオ統計基礎ユニット	1	1・2		助産学特論 - ハイリスク	2	1	
	バイオ統計応用ユニット	2	1・2		助産学特論 - ハイリスク	2	1	
	知的財産権論	2	1・2		助産学特論 - ハイリスク	2	1	
	臨床研究入門	2	1・2		助産学特論 - ハイリスク	2	1	
	臨床薬理学概論	2	1・2		助産学特論 - ハイリスク	2	1	
	フィジカルアセスメント	2	1・2		助産学特論 - ハイリスク	2	1	
	病態生理学	2	1・2		助産学特論 - ハイリスク	2	1	
	医療経営	2	1・2		助産学特論 - ハイリスク	2	1	
医療経済学	2	1・2	助産学特論 - ハイリスク	2	1			
大学院セミナーシリーズ	1	1・2	助産学特論 - ハイリスク	2	1			
				助産学分野基礎科目	基礎助産学	助産学基礎実習	8	1～2
				助産学分野基礎科目	助産学基礎実習	助産学基礎実習	2	1～2
				助産学分野基礎科目	助産学基礎実習	地域助産学実習	1	1～2
				助産学分野基礎科目31単位必修				
				助産学分野専門科目	ヒューマンセクシュアリティ論	1	1	
				助産学分野専門科目	ハイリスク周産期論	2	1	
				助産学分野専門科目	母子の心理・社会学	2	1	
				助産学分野専門科目	高次助産診断・技術演習	2	1	
				助産学分野専門科目	高次助産診断・技術演習	1	1	
				助産学分野専門科目	ウィメンズヘルス演習	1	1	
				助産学分野専門科目	助産技術演習	1	1	
				助産学分野専門科目	周産期医療政策・環境論	2	2	
				助産学分野専門科目	国際助産論	1	2	
				助産学分野専門科目	ハイリスクシミュレーション演習	1	2	
				助産学分野専門科目14単位必修				
				研特別	助産学研究演習	4	1～2	
				研特別	助産学特別研究	4	1～2	
				特別研究8単位必修				
基礎科目から8単位以上選択必修（看護研究方法・バイオ統計応用ユニットは選択必修。）								
合計：61単位以上（修士論文の審査に合格した者）								

授業科目及び修了要件
看護学専攻 専門職養成コース
【助産学分野 上級実践】

区分	授業科目	単位	配当年次	区分	授業科目	単位	配当年次	
		講・演				講・演		
基	人体構造学	2	1・2	助産学 分野 専門 科目	ヒューマンセクシュアリティ論	1	1	
	人体機能学	2	1・2		ハイリスク周産期論	2	1	
	臨床医学概論	2	1・2		母子の心理・社会学	2	1	
	社会医学概論	1	1・2		高次助産診断・技術演習	2	1	
	物理学特論	1	1・2		高次助産診断・技術演習	1	1	
	生物学特論	1	1・2		ウィメンズヘルス演習	1	1	
	化学特論	1	1・2		周産期医療政策・環境論	2	2	
	医学教育学	1	1・2		国際助産論	1	2	
	生命倫理	1	1・2		ハイリスク周産期実習	2	1～2	
	臨床遺伝学	1	1・2		ハイリスク周産期実習	2	1～2	
	移植医学	1	1・2		上級実践助産学実習	2	1～2	
礎	リハビリテーション医学	1	1・2	助産学 分野 学 目	助産学分野専門科目16単位（ハイリスク周産期実習 もしくは上級実践助産学実習から2単位選択必修）			
	医学工学概論	1	1・2		研特 究別	助産学研究演習	4	1～2
	実験動物学	1	1・2			助産学特別研究	4	1～2
	看護倫理	2	1・2		特別研究（8単位必修）			
	看護研究方法	2	1・2					
	看護政策論	2	1・2					
	看護理論	2	1・2					
	コンサルテーション論	2	1・2					
	先端的・分野特異的手法ユニット	2	1・2					
	バイオ統計基礎ユニット	1	1・2					
	バイオ統計応用ユニット	2	1・2					
科	知的財産権論	2	1・2					
	臨床研究入門	2	1・2					
	臨床薬理学概論	2	1・2					
	フィジカルアセスメント	2	1・2					
	病態生理学	2	1・2					
	医療経営	2	1・2					
	医療経済学	2	1・2					
	大学院セミナーシリーズ	1	1・2					
	基礎科目から8単位以上選択必修（看護研究方法・バイオ統計応用ユニットは選択必修。）							
	合計：32単位以上（修士論文の審査に合格した者）							

授業科目及び修了要件

医 科 学 専 攻

総合生命科学・バイオ統計学専攻

看 護 学 専 攻

(令和6年度までの入学者)

授業科目及び修了要件

医科学専攻【基礎医学群・社会医学群】

区分	授 業 科 目	単 位	配 当	区分	授 業 科 目	単 位	配 当	
		講・演	年次			講・演	年次	
基礎 専攻 科 目	人 体 構 造 学	2	1・2	基礎 医 学 群	生体構造・細胞生物学	4	1・2	
	人 体 機 能 学	2	1・2		神経科学・臨床生理学	4	1・2	
	臨 床 医 学 概 論	2	1・2		代 謝 病 態 学	4	1・2	
	社 会 医 学 概 論	1	1・2		臨 床 薬 理 学	4	1・2	
	物 理 学 特 論	1	1・2		病 理 ・ 病 態 学	4	1・2	
	生 物 学 特 論	1	1・2		感 染 病 態 学	4	1・2	
	化 学 特 論	1	1・2		生 体 防 御 学	4	1・2	
	医 学 教 育 学	1	1・2		化学生物学(ケミカルバイオロジー)	4	1・2	
	生 命 倫 理	1	1・2		基礎医学演習	4	1	
	臨 床 遺 伝 学	1	1・2		社会 医 学 群	環 境 医 学	4	1・2
	移 植 医 学	1	1・2	疫 学 ・ 予 防 医 学		4	1・2	
	リハビリテーション医学	1	1・2	人 類 遺 伝 学		4	1・2	
	医 学 工 学 概 論	1	1・2	健 康 科 学		4	1・2	
	実 験 動 物 学	1	1・2	リハビリテーションバイオメカニクス学		4	1・2	
	看 護 理 論	2	1・2	社会医学演習		4	1	
	看 護 倫 理	2	1・2	2つの学群から1つの学群を選択し、 8単位以上(学群演習4単位必修含む)				
	コンサルテーション論	2	1・2					
	先端的・分野特異的研究手法体験ユニット	2	1・2	自身が選択した専攻科目以外の専攻科目 (講義)から4単位必修				
	看 護 研 究 方 法	2	1・2					
	看 護 政 策 論	2	1・2					
バイオ統計基礎ユニット	1	1・2						
バイオ統計応用ユニット	2	1・2						
知 的 財 産 権 論	2	1・2						
臨 床 研 究 入 門	2	1・2						
臨 床 薬 理 学 概 論	2	1・2						
フイジカルアセスメント	2	1・2						
病 態 生 理 学	2	1・2						
医 療 経 営	2	1・2	共 通 科 目	論 文 指 導 演 習	4	1～2		
医 療 経 済 学	2	1・2		1年次後期から2年次前期にかけて履修。 4単位必修。専攻科目の履修要件に充当 する。				
10単位以上選択必修								
シ ミ ナ ー ズ	大学院セミナーシリーズ	1		1・2				
	特別講義(1単位必修)							
選択科目：自身が履修した科目以外の科目から3単位以上								
合計：30単位以上(修士論文の審査に合格した者) の科目は当該学群を選択する者は必須。								

授業科目及び修了要件

総合生命科学・バイオ統計学専攻【総合生命科学群】

区分	授 業 科 目	単位	配当 年次	区分	授 業 科 目	単位	配当 年次
		講・演				講・演	
基	人 体 構 造 学	2	1・2	専 門	研 究 倫 理	2	1
	人 体 機 能 学	2	1・2		分 子 細 胞 生 物 学	2	1
	臨 床 医 学 概 論	2	1・2		ゲノム生物学概論	2	1
	社 会 医 学 概 論	1	1・2		オミクス解析特論	1	1
	物 理 学 特 論	1	1・2		バイオインフォマティクス特論	1	2
	生 物 学 特 論	1	1・2		研究マネジメント	2	1
	化 学 特 論	1	1・2		サイエンスコミュニケーション	2	1
	医 学 教 育 学	1	1・2		科学文章の書き方と論文作成	2	1
	生 命 倫 理	1	1・2		バイオベンチャー論	2	1
	臨 床 遺 伝 学	1	1・2		疾患の生命科学	2	1
礎	移 植 医 学	1	1・2	総 合	細胞内オルガネラの分子生物学	2	1
	リハビリテーション医学	1	1・2		細胞シグナリング	2	1
	医 学 工 学 概 論	1	1・2		臓器関連の分子生物学	2	1
	実 験 動 物 学	1	1・2		摂取調節・ストレス・老化の科学	2	1
	看 護 理 論	2	1・2		生体のエネルギー代謝科学	2	1
	看 護 倫 理	2	1・2		バイオサイエンス実験法	2	1
	コンサルテーション論	2	1・2		実験動物のサイエンス	2	1
	先端的・分野特異的研究 手法体験ユニット	2	1・2		モデル生物のサイエンス：酵母	2	1
	看 護 研 究 方 法	2	1・2		モデル生物のサイエンス： ショウジョウバエ、線虫	2	1
	看 護 政 策 論	2	1・2		バイオサイエンスのデータ ベース・大規模データ解析論	2	2
科	バイオ統計基礎ユニット	1	1・2	学 科	バイオサイエンス研究のプロ トコル作成と研究デザイン	2	2
	バイオ統計応用ユニット	2	1・2		バイオサイエンス実験法(実習)		2
	知 的 財 産 権 論	2	1・2		実験動物のサイエンス(実習)		2
	臨 床 研 究 入 門	2	1・2		モデル生物のサイエンス：酵母(実習)		2
	臨 床 薬 理 学 概 論	2	1・2		モデル生物のサイエンス： ショウジョウバエ、線虫(実習)		2
	フジカルアセスメント	2	1・2		バイオサイエンスのデータベ ース・大規模データ解析論(実習)		2
	病 態 生 理 学	2	1・2		バイオサイエンス研究のプロ トコル作成と研究デザイン(実習)		2
	医 療 経 営	2	1・2		バイオベンチャー・ インターンシップ		2
	医 療 経 済 学	2	1・2				
	10単位以上選択必修				総合生命・バイオ共通科目および総合生命 科学群から26単位以上		

総合生命科学専攻：合計36単位以上（基礎科目の選択科目から10単位、専門応用科目（総合生命・バイオ共通科目および総合生命科学）の必修科目18単位、専門応用科目（総合生命科学）の選択科目8単位以上）（修士論文の審査に合格した者）

授業科目及び修了要件

総合生命科学・バイオ統計学専攻【バイオ統計学群】

区分	授 業 科 目	単 位	配 当 年 次	区分	授 業 科 目	単 位	配 当 年 次	
		講・演				講・演		
専 門 応 用 科 目	バイ オ 必 修 科 目	バイ オ 統 計 基 礎	4	1	専 門 応 用 科 目	医 用 デ ー タ 解 析	2	1
		バイ オ 統 計 数 理	4	1		観 察 デ ー タ 解 析 概 論	2	1
		バイ オ デ ー タ 解 析 入 門	2	1		ゲ ノ ム サ イ エ ン ス 概 論	2	1
		臨 床 試 験 の 基 礎 と デ ー タ 解 析	2	1		薬 物 動 態 ・ 薬 力 学 デ ー タ の 解 析	1	1
	バイ オ 選 択 必 修 科 目	バイ オ 統 計 セ ミ ナ ー	3	1・2		生 存 分 析 と そ の 応 用	2	1
		バイ オ イ ン フ ォ マ テ ィ ク ス セ ミ ナ ー	3	1・2		観 察 デ ー タ 解 析 特 論	1	1
		バイ オ 統 計 セ ミ ナ ー	4	1・2		観 察 デ ー タ 解 析 特 論	1	1
		バイ オ イ ン フ ォ マ テ ィ ク ス セ ミ ナ ー	4	1・2		環 境 デ ー タ 解 析 特 論	1	1
	総 合 生 命 ・ バイ オ 共 通 選 択 科 目	研 究 倫 理	2	1		バイ オ デ ー タ モ デ リ ン グ	2	1
		分 子 細 胞 生 物 学	2	1		機 械 学 習 特 論	2	1
		ゲ ノ ム 生 物 学 概 論	2	1		プ ロ ト コ ル 作 成 と 研 究 デ ザ イン	1	2
		オ ミ ク ス 解 析 特 論	1	1		臨 床 デ ー タ 解 析 特 論	1	1
		バイ オ イ ン フ ォ マ テ ィ ク ス 特 論	1	2				
<p>バイオ統計学専攻：合計30単位以上（専門応用科目（バイオ統計学群）の必修科目12単位、選択必修科目7単位、専門応用科目（総合生命・バイオ共通選択科目およびバイオ選択科目）の選択科目から11単位以上（修士論文の審査に合格した者）</p> <p>1．バイオ統計セミナー か バイオインフォマティクスセミナー のどちらか一方は必修する。</p> <p>2．バイオ統計セミナー か バイオインフォマティクスセミナー のどちらか一方は必修する。</p>								

授業科目及び修了要件

看護学専攻 修士論文コース【看護教育管理分野】

区分	授 業 科 目	単 位	配 当	区分	授 業 科 目	単 位	配 当				
		講・演	年次			講・演	年次				
基 礎 科 目	人 体 構 造 学	2	1・2	専 攻 分 野 共 通 科 目	看護教育管理特論	2	1・2				
	人 体 機 能 学	2	1・2		看護教育管理特論	2	1・2				
	臨 床 医 学 概 論	2	1・2		看護教育管理学演習	2	1・2				
	社 会 医 学 概 論	1	1・2		医療情報管理学演習	4	1・2				
	物 理 学 特 論	1	1・2		保健科学看護特論	2	1・2				
	生 物 学 特 論	1	1・2		保 健 科 学 看 護 特 論	2	1・2				
	化 学 特 論	1	1・2								
	医 学 教 育 学	1	1・2		保 健 科 学 看 護 特 論	2	1・2				
	生 命 倫 理	1	1・2								
	臨 床 遺 伝 学	1	1・2		教 育 管 理 学 研 究 演 習	4	1				
	移 植 医 学	1	1・2								
	リハビリテーション医学	1	1・2		教 育 管 理 学 特 別 研 究	4	2				
	医 学 工 学 概 論	1	1・2								
	実 験 動 物 学	1	1・2		専攻分野共通科目（8単位必修）						
	看 護 理 論	2	1・2								
	看 護 倫 理	2	1・2								
	コンサルテーション論	2	1・2								
	先端的・分野特異的研究手法体験ユニット	2	1・2								
	看 護 研 究 方 法	2	1・2								
	看 護 政 策 論	2	1・2								
バイオ統計基礎ユニット	1	1・2									
バイオ統計応用ユニット	2	1・2									
知 的 財 産 権 論	2	1・2	その他の専攻分野共通科目、 がん看護分野、老年看護分野、小児看護分野 の専攻分野共通科目、または感染症看護分野 の「感染病態学特論」「感染看護学特論」、 または助産学分野の「助産学概論」「ウイメ ンズヘルス特論」から 4単位以上選択必修								
臨 床 研 究 入 門	2	1・2									
臨 床 薬 理 学 概 論	2	1・2									
フイジカルアセスメント	2	1・2									
病 態 生 理 学	2	1・2									
医 療 経 営	2	1・2									
医 療 経 済 学	2	1・2									
9単位以上選択必修											
シ リ ミ ナ ー ズ	大学院セミナーシリーズ	1					1・2	特別研究（8単位必修）			
	特別講義（1単位必修）										
合計：30単位以上（修士論文の審査に合格した者）											

授業科目及び修了要件

看護学専攻 専門職養成コース

【がん看護分野 CNS 養成】

(がん看護専門看護師教育課程【38単位】)

区分	授 業 科 目	単 位	配 当 年次	区分	授 業 科 目	単 位		配 当 年次
		講・演				講・演	実	
共通科目A	看 護 理 論	2	1・2	が ん 看 護 分 野	がん診断治療学	2		1・2
	看 護 倫 理	2	1・2		がん看護特論	2		1・2
	コンサルテーション論	2	1・2		がん看護援助論	2		1・2
	看護研究方法	2	1・2		がん緩和ケア地域連携教育論	2		1・2
	看護政策論	2	1・2		がん薬物療法看護特論	2		1・2
共通科目B	臨床薬理学概論	2	1・2		がん薬物療法看護特論	2		1・2
	フィジカルアセスメント	2	1・2		がん緩和ケア特論	2		1・2
	病 態 生 理 学	2	1・2		がん緩和ケア特論	2		1・2
					がん看護学特別研究	4		1・2
共通科目 A + B 14単位以上必修 共通科目 A 8単位以上 共通科目 B 6単位 共通科目は修士論文コースの基礎科目のそれぞれの該当授業科目を読み替える。					野	実習科目		
				がん看護学実習			2	1
				がん看護学実習			1	1
				がん看護学実習			3	2
				がん看護学実習			2	2
				がん看護学実習			2	2
すべて必修								
合計：42単位以上（共通科目14単位以上、専攻分野共通科目6単位、同専門科目12単位、実習科目10単位を履修）。修士論文の審査に合格した者（修士論文はCNS申請に即したものが望ましい）								

(注1) 講は講義、演は演習、実は実習を示す。

(注2) 原則として、「がん看護分野 CNS 養成」の学生のための履修とする。

(注3) がん緩和ケア地域連携教育論およびがん看護学特別研究は、日本看護系大学協議会において認定された科目ではない。

授業科目及び修了要件

看護学専攻 専門職養成コース

【感染症看護分野 CNS 養成】

(感染症看護専門看護師教育課程【38単位】)

区分	授 業 科 目	単 位	配 当 年 次	区分	授 業 科 目	単 位		配 当 年 次
		講・演				講・演	実	
共通科目 A	看 護 理 論	2	1・2	感 染 症 看 護 分 野	感 染 制 御 学 特 論	2		1・2
	看 護 倫 理	2	1・2		感 染 看 護 学 特 論	2		1・2
	コンサルテーション論	2	1・2		感 染 看 護 学 特 論	2		1・2
	看 護 研 究 方 法	2	1・2		感 染 看 護 学 特 論	1		1・2
	看 護 政 策 論	2	1・2		感 染 看 護 学 特 論	1		1・2
共通科目 B	臨 床 薬 理 学 概 論	2	1・2		感 染 看 護 学 特 論	2		1・2
	フィジカルアセスメント	2	1・2		感 染 看 護 学 特 論	2		1・2
	病 態 生 理 学	2	1・2		感 染 症 看 護 援 助 論	2		1・2
共通科目 A + B 14単位以上必修 共通科目 A 8単位以上 共通科目 B 6単位 共通科目は修士論文コースの基礎科目のそれぞれの該当授業科目を読み替える。					感 染 症 看 護 援 助 論	2		1・2
					感 染 看 護 学 特 別 研 究	4		1・2
				感 染 看 護 学 実 習		1	1	
				感 染 看 護 学 実 習		1	1	
				感 染 看 護 学 実 習		2	1・2	
				感 染 看 護 学 実 習		2	1・2	
				実 習 科 目	感 染 看 護 学 実 習		4	2
すべて必修								
合計：44単位以上（共通科目14単位以上、専攻分野専門科目20単位、実習科目10単位を履修）。 修士論文の審査に合格した者（修士論文は CNS 申請に即したものが望ましい）。								

(注1) 講は講義、演は演習、実の実習を示す。

(注2) 原則として「感染症看護分野 CNS 養成」の学生のための履修とする。

(注3) 感染看護学特別研究は、日本看護系大学協議会において認定された科目ではない。

授業科目及び修了要件

看護学専攻 専門職養成コース

【感染症看護分野 国際実践】

区分	授業科目	単位	配当年次	区分	授業科目	単位		配当年次	
		講・演				講・演	実		
共通科目	人体構造学	2	1・2	感染症看護分野	感染制御学特論	2		1・2	
	人体機能学	2	1・2		感染看護学特論	2		1・2	
	臨床医学概論	2	1・2		感染看護学特論	2		1・2	
	社会医学概論	1	1・2		感染看護学特論	1		1・2	
	バイオ統計基礎ユニット	1	1・2		感染看護学特論	1		1・2	
	バイオ統計応用ユニット	2	1・2		感染看護学特論	2		1・2	
	看護理論	2	1・2		感染看護学特論	2		1・2	
	看護倫理	2	1・2		感染症看護援助論	2		1・2	
	コンサルテーション論	2	1・2		感染症看護援助論	2		1・2	
	看護研究方法	2	1・2		感染看護学特別研究	4		1・2	
	看護政策論	2	1・2		実習科目	国際感染看護学実習		2	1・2
	大学院セミナーシリーズ	1	1・2			国際感染看護学実習		4	1・2
	共通科目は修士論文コースの基礎科目のそれぞれの該当授業科目を読み替える。 を含め10単位選択必修				すべて必修				
合計：36単位以上（共通科目10単位、専攻分野専門科目20単位、実習科目6単位）を必修。 修士論文の審査に合格した者									

（注1）講は講義、演は演習、実は実習を示す。

（注2）日本看護系大学協議会が実施する感染看護専門看護師認定審査の受験資格は満たさない。

授業科目及び修了要件

看護学専攻 専門職養成コース

【老年看護分野 CNS 養成】

(老年看護専門看護師教育課程【38単位】)

区分	授 業 科 目	単 位	配 当 年 次	区分	授 業 科 目	単 位		配 当 年 次
		講・演				講・演	実	
共通科目 A	看 護 理 論	2	1・2	老 年 看 護 分 野	専攻分野共通科目 老年看護学特論	2		1
	看 護 倫 理	2	1・2		老年看護学特論	2		1
	コンサルテーション論	2	1・2		老年看護学特論	2		1
	看 護 研 究 方 法	2	1・2		老年看護学特論	2		1
	看 護 政 策 論	2	1・2		高年齢者病態治療学	2		1
共通科目 B	臨 床 薬 理 学 概 論	2	1・2	専攻分野専門科目	老年看護学演習	2		1
	フィジカルアセスメント	2	1・2		老年看護学演習	2		1
	病 態 生 理 学	2	1・2		老年看護学特別研究	4		1・2
共通科目 A + B 14単位以上必修 共通科目 A 8 単位以上 共通科目 B 6 単位				実習科目	老年看護学実習		2	1
共通科目は修士論文コースの基礎科目のそれぞれの該当授業科目を読み替える。					老年看護学実習		3	2
					老年看護学実習		5	2
				すべて必修				
合計：42単位以上（共通科目14単位以上、専攻分野共通科目10単位、同専門科目8単位、実習科目10単位を履修）。修士論文の審査に合格した者（修士論文はCNS申請に即したものが望ましい）。								

(注1) 講は講義、演は演習、実の実習を示す。

(注2) 原則として、「老年看護分野 CNS 養成」の学生のための履修とする。

(注3) 老年看護学特別研究は、日本看護系大学協議会において認定された科目ではない。

授業科目及び修了要件

看護学専攻 専門職養成コース

【小児看護分野 CNS 養成】

(日本看護系大学協議会認定教育課程【38単位】)

区分	授 業 科 目	単 位	配 当 年 次	区分	授 業 科 目	単 位	配 当 年 次	
		講・演				講・実		
共通科目 A	看 護 理 論	2	1・2	小 児 看 護 分 野 共 通 科 目	小 児 看 護 学 特 論	2	1・2	
	看 護 倫 理	2	1・2		小 児 看 護 学 特 論	2	1・2	
	コンサルテーション論	2	1・2		小 児 看 護 学 特 論	1	1・2	
	看護研究方法	2	1・2		小 児 看 護 対 象 論	2	1・2	
	看護政策論	2	1・2		小 児 看 護 援 助 論	1	1・2	
共通科目 B	臨床薬理学概論	2	1・2		小 児 看 護 援 助 論	2	1・2	
	フィジカルアセスメント	2	1・2		小 児 看 護 援 助 論	2	1・2	
	病 態 生 理 学	2	1・2		小 児 診 断 治 療 学	2	1・2	
共通科目 A + B 14単位以上必修 共通科目 A 8単位以上 共通科目 B 6単位以上 共通科目は修士論文コースの基礎科目のそれぞれの該当授業科目を読み替える。					野 実 習 科 目	小 児 看 護 学 特 別 研 究	4	1・2
						小 児 看 護 学 実 習	2	1・2
				小 児 看 護 学 実 習		2	1・2	
				小 児 看 護 学 実 習		2	1・2	
				小 児 看 護 学 実 習		2	1・2	
				小 児 看 護 学 実 習		2	1・2	
				すべて必修				
合計：42単位以上(共通科目14単位以上、専攻分野共通科目18単位、実習科目10単位を履修) 修士論文の審査に合格した者(修士論文は CNS 申請に即したものが望ましい)								

(注1) 講は講義、演は演習、実実習を示す。

(注2) 原則として、「小児看護分野 CNS 養成」の学生のみの履修とする。

(注3) 小児看護学特別研究は、日本看護系大学協議会において認定された科目ではない。

授業科目及び修了要件

看護学専攻 専門職養成コース

【助産学分野 助産師資格】

区分	授業科目	単位	配当年次	区分	授業科目	単位	配当年次	
		講・演				講・演		
基礎科目	人体構造学	2	1・2	助産学分野基礎科目	基礎助産学	助産学概論	2	1
	人体機能学	2	1・2		助産学特論 - 妊娠期	2	1	
	臨床医学概論	2	1・2		助産学特論 - 分娩期	2	1	
	社会医学概論	1	1・2		助産学特論 - 産褥期	2	1	
	物理学特論	1	1・2		助産学特論 - 産褥期	2	1	
	生物学特論	1	1・2		助産学特論 - 乳幼児期	2	1	
	化学特論	1	1・2		助産学特論 - 乳幼児期	2	1	
	医学教育学	1	1・2		助産学特論 - ハイリスク	2	1	
	生命倫理	1	1・2		助産学特論 - ハイリスク	2	1	
	臨床遺伝学	1	1・2		助産学特論 - ハイリスク	2	1	
	移植医学	1	1・2		助産学特論 - ハイリスク	2	1	
	リハビリテーション医学	1	1・2		助産学特論 - ハイリスク	2	1	
	医学工学概論	1	1・2		助産学特論 - ハイリスク	2	1	
	実験動物学	1	1・2		助産学特論 - ハイリスク	2	1	
	看護理論	2	1・2		助産学特論 - ハイリスク	2	1	
	看護倫理	2	1・2		助産学特論 - ハイリスク	2	1	
	コンサルテーション論	2	1・2		助産学特論 - ハイリスク	2	1	
	先端的・分野特異的手法ユニット	2	1・2		助産学特論 - ハイリスク	2	1	
	看護研究方法	2	1・2		助産学特論 - ハイリスク	2	1	
	看護政策論	2	1・2		助産学特論 - ハイリスク	2	1	
科目	バイオ統計基礎ユニット	1	1・2	助産学分野専門科目	基礎助産学	助産学基礎実習	8	1～2
	バイオ統計応用ユニット	2	1・2		基礎助産学	助産学基礎実習	2	1～2
	知的財産権論	2	1・2		基礎助産学	地域助産学実習	1	1～2
	臨床研究入門	2	1・2		助産学分野基礎科目31単位必修			
	臨床薬理学概論	2	1・2		助産学分野基礎科目31単位必修			
	フィジカルアセスメント	2	1・2		助産学分野基礎科目31単位必修			
	病態生理学	2	1・2		助産学分野基礎科目31単位必修			
	医療経営	2	1・2		助産学分野基礎科目31単位必修			
	医療経済学	2	1・2		助産学分野基礎科目31単位必修			
	大学院セミナーシリーズ	1	1・2		助産学分野基礎科目31単位必修			
特別研究				助産学分野基礎科目31単位必修				
				助産学分野基礎科目31単位必修				
				助産学分野基礎科目31単位必修				
基礎科目から8単位以上選択必修（看護研究方法・バイオ統計応用ユニットは選択必修。）								
合計：61単位以上（修士論文の審査に合格した者）								

授業科目及び修了要件
看護学専攻 専門職養成コース
【助産学分野 上級実践】

区分	授業科目	単位	配当年次	区分	授業科目	単位	配当年次	
		講・演				講・演		
基	人体構造学	2	1・2	助産学 分野 専門 科目	ヒューマンセクシュアリティ論	1	1	
	人体機能学	2	1・2		ハイリスク周産期論	2	1	
	臨床医学概論	2	1・2		母子の心理・社会学	2	1	
	社会医学概論	1	1・2		高次助産診断・技術演習	2	1	
	物理学特論	1	1・2		高次助産診断・技術演習	1	1	
	生物学特論	1	1・2		ウィメンズヘルス演習	1	1	
	化学特論	1	1・2		周産期医療政策・環境論	2	2	
	医学教育学	1	1・2		国際助産論	1	2	
	生命倫理	1	1・2		ハイリスク周産期実習	2	1～2	
	臨床遺伝学	1	1・2		ハイリスク周産期実習	2	1～2	
	移植医学	1	1・2		上級実践助産学実習	2	1～2	
礎	リハビリテーション医学	1	1・2	助産学 分野 学 分 野	助産学分野専門科目16単位(ハイリスク周産期実習もしくは上級実践助産学実習から2単位選択必修)			
	医学工学概論	1	1・2		研 究 特 別	助産学研究演習	4	1～2
	実験動物学	1	1・2			助産学特別研究	4	1～2
	看護倫理	2	1・2		特別研究(8単位必修)			
	看護研究方法	2	1・2					
	看護政策論	2	1・2					
	看護理論	2	1・2					
	コンサルテーション論	2	1・2					
	先端的・分野特異的手法ユニット	2	1・2					
	バイオ統計基礎ユニット	1	1・2					
	バイオ統計応用ユニット	2	1・2					
目	知的財産権論	2	1・2					
	臨床研究入門	2	1・2					
	臨床薬理学概論	2	1・2					
	フィジカルアセスメント	2	1・2					
	病態生理学	2	1・2					
	医療経営	2	1・2					
	医療経済学	2	1・2					
	大学院セミナーシリーズ	1	1・2					
	基礎科目から8単位以上選択必修(看護研究方法・バイオ統計応用ユニットは選択必修。)							
	合計：32単位以上(修士論文の審査に合格した者)							

授業科目及び修了要件

医 科 学 専 攻

総合生命科学・バイオ統計学専攻

看 護 学 専 攻

(令和7年度以降の入学者)

授業科目及び修了要件

医科学専攻【基礎医学群・社会医学群】

区分	授 業 科 目	単 位	配 当	区分	授 業 科 目	単 位	配 当
		講・演	年次			講・演	年次
基礎	人 体 構 造 学	2	1・2	専攻	生体構造・細胞生物学	4	1・2
	人 体 機 能 学	2	1・2		神経科学・臨床生理学	4	1・2
	臨 床 医 学 概 論	2	1・2		代 謝 病 態 学	4	1・2
	社 会 医 学 概 論	1	1・2		臨 床 薬 理 学	4	1・2
	物 理 学 特 論	1	1・2		病 理 ・ 病 態 学	4	1・2
	生 物 学 特 論	1	1・2		感 染 病 態 学	4	1・2
	化 学 特 論	1	1・2		生 体 防 御 学	4	1・2
	医 学 教 育 学	4	1・2		化学生物学(ケミカルバイオロジー)	4	1・2
	生 命 倫 理	1	1・2		基礎医学演習	4	1
	臨 床 遺 伝 学	1	1・2		社会医学群	環 境 医 学	4
	移 植 医 学	1	1・2	疫 学 ・ 予 防 医 学		4	1・2
	リハビリテーション医学	1	1・2	人 類 遺 伝 学		4	1・2
	医 学 工 学 概 論	1	1・2	健 康 科 学		4	1・2
	実 験 動 物 学	1	1・2	リハビリテーションバイオメカニクス学		4	1・2
	看 護 理 論	2	1・2	社 会 医 学 演 習		4	1
	看 護 倫 理	2	1・2	2つの学群から1つの学群を選択し、 8単位以上(学群演習4単位必修含む)			
	コンサルテーション論	2	1・2				
	先端的・分野特異的研究手法体験ユニット	2	1・2				
	看 護 研 究 方 法	2	1・2				
	基礎	看 護 政 策 論	2	1・2	準専攻科目	自身が選択した専攻科目以外の専攻科目 (講義)から4単位必修	
バイオ統計基礎ユニット		1	1・2				
バイオ統計応用ユニット		2	1・2				
知的財産権論		2	1・2				
臨 床 研 究 入 門		2	1・2				
臨 床 薬 理 学 概 論		2	1・2				
フイジカルアセスメント		2	1・2				
病 態 生 理 学		2	1・2				
医 療 経 営		2	1・2				
医 療 経 済 学		2	1・2				
看 護 管 理 論	2	1・2					
10単位以上選択必修				共通科目	論 文 指 導 演 習	4	1～2
10単位以上選択必修					1年次後期から2年次前期にかけて履修。 4単位必修。専攻科目の履修要件に充当する。		
シ リ ー ズ	大学院セミナーシリーズ	1	1・2				
特別講義(1単位必修)							
選択科目：自身が履修した科目以外の科目から3単位以上							
合計：30単位以上(修士論文の審査に合格した者) の科目は当該学群を選択する者は必須。							

授業科目及び修了要件

総合生命科学・バイオ統計学専攻【総合生命科学群】

区分	授 業 科 目	単 位	配 当 年 次	区分	授 業 科 目	単 位	配 当 年 次
		講・演				講・演	
基	人 体 構 造 学	2	1・2	専 門	研 究 倫 理	2	1
	人 体 機 能 学	2	1・2		分 子 細 胞 生 物 学	2	1
	臨 床 医 学 概 論	2	1・2		ゲノム生物学概論	2	1
	社 会 医 学 概 論	1	1・2		オミクス解析特論	1	1
	物 理 学 特 論	1	1・2		バイオインフォマティクス特論	1	2
	生 物 学 特 論	1	1・2		研究マネジメント	2	1
	化 学 特 論	1	1・2		サイエンスコミュニケーション	2	1
	医 学 教 育 学	4	1・2		科学文章の書き方と論文作成	2	1
	生 命 倫 理	1	1・2		バイオベンチャー論	2	1
	臨 床 遺 伝 学	1	1・2		疾患の生命科学	2	1
礎	移 植 医 学	1	1・2	総 合	細胞内オルガネラの分子生物学	2	1
	リハビリテーション医学	1	1・2		細胞シグナリング	2	1
	医 学 工 学 概 論	1	1・2		臓器関連の分子生物学	2	1
	実 験 動 物 学	1	1・2		摂食・ストレス・老化の科学	2	1
	看 護 理 論	2	1・2		生体のエネルギー代謝科学	2	1
	看 護 倫 理	2	1・2		バイオサイエンス実験法	2	1
	コンサルテーション論	2	1・2		実験動物のサイエンス	2	1
	先端的・分野特異的研究手法体験ユニット	2	1・2		モデル生物のサイエンス：酵母	2	1
	看 護 研 究 方 法	2	1・2		モデル生物のサイエンス：ショウジョウバエ、線虫	2	1
	看 護 政 策 論	2	1・2		バイオサイエンスのデータベース・大規模データ解析論	2	2
科	バイオ統計基礎ユニット	1	1・2	生 命 科 学 目 群	バイオサイエンス研究のプロトコル作成と研究デザイン	2	2
	バイオ統計応用ユニット	2	1・2		バイオサイエンス実験法(実習)		2
	知 的 財 産 権 論	2	1・2		実験動物のサイエンス(実習)		2
	臨 床 研 究 入 門	2	1・2		モデル生物のサイエンス：酵母(実習)		2
	臨 床 薬 理 学 概 論	2	1・2		モデル生物のサイエンス：ショウジョウバエ、線虫(実習)		2
	フジカルアセスメント	2	1・2		バイオサイエンスのデータベース・大規模データ解析論(実習)		2
	病 態 生 理 学	2	1・2		バイオサイエンス研究のプロトコル作成と研究デザイン(実習)		2
	医 療 経 営	2	1・2		バイオベンチャー・インターンシップ		2
	医 療 経 済 学	2	1・2				
	看 護 管 理 論	2	1・2				
10単位以上選択必修				総合生命・バイオ共通科目および総合生命科学群から26単位以上			
総合生命科学専攻：合計36単位以上（基礎科目の選択科目から10単位、専門応用科目（総合生命・バイオ共通科目および総合生命科学）の必修科目18単位、専門応用科目（総合生命科学）の選択科目8単位以上）（修士論文の審査に合格した者）							

授業科目及び修了要件

総合生命科学・バイオ統計学専攻【バイオ統計学群】

区分	授 業 科 目	単 位	配 当 年 次	区分	授 業 科 目	単 位	配 当 年 次	
		講・演				講・演		
専 門 応 用 科 目	バイ オ 必 修 科 目	バイ オ 統 計 基 礎	4	1	専 門 応 用 科 目	医 用 デ ー タ 解 析	2	1
		バイ オ 統 計 数 理	4	1		観 察 デ ー タ 解 析 概 論	2	1
		バイ オ デ ー タ 解 析 入 門	2	1		ゲ ノ ム サ イ エ ン ス 概 論	2	1
		臨 床 試 験 の 基 礎 と デ ー タ 解 析	2	1		薬 物 動 態 ・ 薬 力 学 デ ー タ の 解 析	1	1
	バイ オ 選 択 必 修 科 目	バイ オ 統 計 セ ミ ナ ー	3	1・2		生 存 分 析 と そ の 応 用	2	1
		バイ オ イ ン フ ォ マ テ ィ ク ス セ ミ ナ ー	3	1・2		観 察 デ ー タ 解 析 特 論	1	1
		バイ オ 統 計 セ ミ ナ ー	4	1・2		観 察 デ ー タ 解 析 特 論	1	1
		バイ オ イ ン フ ォ マ テ ィ ク ス セ ミ ナ ー	4	1・2		環 境 デ ー タ 解 析 特 論	1	1
	総 合 生 命 ・ バ イ オ 共 通 選 択 科 目	研 究 倫 理	2	1		バ イ オ デ ー タ モ デ リ ン グ	2	1
		分 子 細 胞 生 物 学	2	1		機 械 学 習 特 論	2	1
		ゲ ノ ム 生 物 学 概 論	2	1		プ ロ ト コ ル 作 成 と 研 究 デ ザ イ ン	1	2
		オ ミ ク ス 解 析 特 論	1	1		臨 床 デ ー タ 解 析 特 論	1	1
		バイ オ イ ン フ ォ マ テ ィ ク ス 特 論	1	2				
<p>バイオ統計学専攻：合計30単位以上（専門応用科目（バイオ統計学群）の必修科目12単位、選択必修科目7単位、専門応用科目（総合生命・バイオ共通選択科目およびバイオ選択科目）の選択科目から11単位以上（修士論文の審査に合格した者）</p> <p>1．バイオ統計セミナー か バイオインフォマティクスセミナー のどちらか一方は必修する。</p> <p>2．バイオ統計セミナー か バイオインフォマティクスセミナー のどちらか一方は必修する。</p>								

授業科目及び修了要件

看護学専攻 修士論文コース【看護教育管理分野】

区分	授 業 科 目	単 位	配 当	区分	授 業 科 目	単 位	配 当		
		講・演	年次			講・演	年次		
基 礎	人 体 構 造 学	2	1・2	看 護 教 育 管 理 分 野	看護教育管理特論	2	1・2		
	人 体 機 能 学	2	1・2						
	臨 床 医 学 概 論	2	1・2		看護教育管理特論	2	1・2		
	社 会 医 学 概 論	1	1・2						
	物 理 学 特 論	1	1・2		看護教育管理学演習	2	1・2		
	生 物 学 特 論	1	1・2						
	化 学 特 論	1	1・2		医療情報管理学演習	4	1・2		
	医 学 教 育 学	4	1・2						
	生 命 倫 理	1	1・2		保健科学看護特論	2	1・2		
	臨 床 遺 伝 学	1	1・2						
	移 植 医 学	1	1・2		保健科学看護特論	2	1・2		
	リハビリテーション医学	1	1・2						
	医 学 工 学 概 論	1	1・2		教育管理学研究演習	4	1		
	実 験 動 物 学	1	1・2						
看 護 理 論	2	1・2	教育管理学特別研究	4	2				
看 護 倫 理	2	1・2							
科 目	コンサルテーション論	2	1・2	特 別 研 究	教育管理学研究演習	4	1		
	先端的・分野特異的研究手法体験ユニット	2	1・2						
	看 護 研 究 方 法	2	1・2		教育管理学特別研究	4	2		
	看 護 政 策 論	2	1・2						
	バイオ統計基礎ユニット	1	1・2		専攻分野共通科目（8単位必修）				
	バイオ統計応用ユニット	2	1・2						
	知 的 財 産 権 論	2	1・2						
	臨 床 研 究 入 門	2	1・2		その他の専攻分野共通科目、 がん看護分野、老年看護分野、小児看護分野 の専攻分野共通科目、または感染症看護分野 の「感染病態学特論」「感染看護学特論」、 または助産学分野の「助産学概論」「ウイメ ンズヘルステ論」から 4単位以上選択必修				
	臨 床 薬 理 学 概 論	2	1・2						
	フ ィ ジ カ ル ア ス セ ス メ ン ト	2	1・2						
病 態 生 理 学	2	1・2							
医 療 経 営	2	1・2							
医 療 経 済 学	2	1・2							
看 護 管 理 論	2	1・2							
9単位以上選択必修									
シ ミ ナ ー	大学院セミナーシリーズ	1	1・2	特別研究（8単位必修）					
	特別講義（1単位必修）								
合計：30単位以上（修士論文の審査に合格した者）									

授業科目及び修了要件

看護学専攻 専門職養成コース

【がん看護分野 高度実践看護師養成】

(がん看護専門看護師教育課程【38単位】)

区分	授 業 科 目	単 位	配 当 年 次	区分	授 業 科 目	単 位		配 当 年 次	
		講・演				講・演	実		
共通科目A	看 護 理 論	2	1・2	が ん 看 護 分 野	専攻分野共通科目	がん診断治療学	2		1・2
	看 護 倫 理	2	1・2		がん看護特論	2		1・2	
	コンサルテーション論	2	1・2		がん看護援助論	2		1・2	
	看 護 研 究 方 法	2	1・2		がん緩和ケア地域連携教育論	2		1・2	
	看 護 政 策 論	2	1・2		がん薬物療法看護特論	2		1・2	
共通科目B	臨 床 薬 理 学 概 論	2	1・2		専攻分野専門科目	がん薬物療法看護特論	2		1・2
	フイジカルアセスメント	2	1・2		がん緩和ケア特論	2		1・2	
	病 態 生 理 学	2	1・2		がん緩和ケア特論	2		1・2	
					がん看護学特別研究	4		1・2	
共通科目 A + B 14単位以上必修 共通科目 A 8単位以上 共通科目 B 6単位 共通科目は修士論文コースの基礎科目のそれぞれの該当授業科目を読み替える。					野	実習科目	がん看護学実習		2
				がん看護学実習			1	1	
				がん看護学実習			3	2	
				がん看護学実習			2	2	
				がん看護学実習			2	2	
				がん看護学実習			2	2	
すべて必修									
合計：42単位以上（共通科目14単位以上、専攻分野共通科目6単位、同専門科目12単位、実習科目10単位を履修）。修士論文の審査に合格した者（修士論文はCNS申請に即したものが望ましい）									

(注1) 講は講義、演は演習、実は実習を示す。

(注2) 原則として、「がん看護分野 高度実践看護師養成」の学生のための履修とする。

(注3) がん緩和ケア地域連携教育論およびがん看護学特別研究は、日本看護系大学協議会において認定された科目ではない。

授業科目及び修了要件

看護学専攻 専門職養成コース

【感染症看護分野 高度実践看護師養成】

(感染症看護専門看護師教育課程【38単位】)

区分	授 業 科 目	単 位	配 当 年 次	区分	授 業 科 目	単 位		配 当 年 次	
		講・演				講・演	実		
共通科目A	看 護 理 論	2	1・2	感 染 症 看 護 分 野 専 門 科 目	感 染 制 御 学 特 論	2		1・2	
	看 護 倫 理	2	1・2		感 染 看 護 学 特 論	2		1・2	
	コ ン サ ル テ ー シ ョ ン 論	2	1・2		感 染 看 護 学 特 論	2		1・2	
	看 護 研 究 方 法	2	1・2		感 染 看 護 学 特 論	1		1・2	
	看 護 政 策 論	2	1・2		感 染 看 護 学 特 論	1		1・2	
共通科目B	臨 床 薬 理 学 概 論	2	1・2		感 染 看 護 学 特 論	2		1・2	
	フ ィ ジ カ ル ア セ ス メ ン ト	2	1・2		感 染 看 護 学 特 論	2		1・2	
	病 態 生 理 学	2	1・2		感 染 症 看 護 援 助 論	2		1・2	
共通科目 A + B 14単位以上必修 共通科目 A 8単位以上 共通科目 B 6単位 共通科目は修士論文コースの基礎科目のそれぞれの該当授業科目を読み替える。					感 染 症 看 護 分 野	感 染 症 看 護 援 助 論	2		1・2
						感 染 看 護 学 特 別 研 究	1		1・2
				感 染 看 護 学 特 別 研 究		3		1・2	
				実 習 科 目 すべて必修				感 染 看 護 学 実 習	
感 染 看 護 学 実 習		4	1						
感 染 看 護 学 実 習		4	1・2						
合計：44単位以上（共通科目14単位以上、専攻分野専門科目20単位、実習科目10単位を履修）。 修士論文の審査に合格した者（修士論文はCNS申請に即したものが望ましい）。									

(注1) 講は講義、演は演習、実実習を示す。

(注2) 原則として「感染症看護分野 高度実践看護師養成」の学生のための履修とする。

(注3) 感染看護学特別研究は、日本看護系大学協議会において認定された科目ではない。

授業科目及び修了要件

看護学専攻 専門職養成コース

【感染症看護分野 国際実践】

区分	授業科目	単位		区分	授業科目	単位		配当年次	
		講・演	年次			講・演	実		
共通科目	人体構造学	2	1・2	感染症看護分野	感染制御学特論	2		1・2	
	人体機能学	2	1・2		感染看護学特論	2		1・2	
	臨床医学概論	2	1・2		感染看護学特論	2		1・2	
	社会医学概論	1	1・2		感染看護学特論	1		1・2	
	バイオ統計基礎ユニット	1	1・2		感染看護学特論	1		1・2	
	バイオ統計応用ユニット	2	1・2		感染看護学特論	2		1・2	
	看護理論	2	1・2		感染看護学特論	2		1・2	
	看護倫理	2	1・2		感染症看護援助論	2		1・2	
	コンサルテーション論	2	1・2		感染症看護援助論	2		1・2	
	看護研究方法	2	1・2		感染看護学特別研究	1		1・2	
	看護政策論	2	1・2		感染看護学特別研究	3		1・2	
	大学院セミナーシリーズ	1	1・2		実習科目	国際感染看護学実習		2	1・2
	共通科目は修士論文コースの基礎科目のそれぞれの該当授業科目を読み替える。 を含め10単位選択必修					国際感染看護学実習		4	1・2
					すべて必修				
合計：36単位以上（共通科目10単位、専攻分野専門科目20単位、実習科目6単位）を必修。 修士論文の審査に合格した者									

(注1) 講は講義、演は演習、実の実習を示す。

(注2) 日本看護系大学協議会が実施する感染看護専門看護師認定審査の受験資格は満たさない。

授業科目及び修了要件

看護学専攻 専門職養成コース

【老年看護分野 高度実践看護師養成】

(老年看護専門看護師教育課程【38単位】)

区分	授 業 科 目	単 位	配 当 年 次	区分	授 業 科 目	単 位		配 当 年 次	
		講・演				講・演	実		
共通科目A	看 護 理 論	2	1・2	老年看護分野	老年看護学特論	2		1	
	看 護 倫 理	2	1・2		老年看護学特論	2		1	
	コンサルテーション論	2	1・2		老年看護学特論	2		1	
	看護研究方法	2	1・2		老年看護学特論	2		1	
	看護政策論	2	1・2		高齢者病態治療学	2		1	
共通科目B	臨床薬理学概論	2	1・2		老年看護学演習	2		1	
	フィジカルアセスメント	2	1・2		老年看護学演習	2		1	
	病 態 生 理 学	2	1・2		老年看護学特別研究	4		1・2	
共通科目A + B 14単位以上必修 共通科目A 8単位以上 共通科目B 6単位					実習科目	老年看護学実習		2	1
共通科目は修士論文コースの基礎科目のそれぞれの該当授業科目を読み替える。					老年看護学実習		3	2	
				老年看護学実習		5	2		
				すべて必修					
合計：42単位以上（共通科目14単位以上、専攻分野共通科目10単位、同専門科目8単位、実習科目10単位を履修）。修士論文の審査に合格した者（修士論文はCNS申請に即したものが望ましい）。									

(注1) 講は講義、演は演習、実実習を示す。

(注2) 原則として、「老年看護分野 高度実践看護師養成」の学生のための履修とする。

(注3) 老年看護学特別研究は、日本看護系大学協議会において認定された科目ではない。

授業科目及び修了要件

看護学専攻 専門職養成コース

【小児看護分野 高度実践看護師養成】

(日本看護系大学協議会認定教育課程【38単位】)

区分	授 業 科 目	単 位	配 当 年 次	区分	授 業 科 目	単 位	配 当 年 次	
		講・演				講・実		
共通科目 A	看 護 理 論	2	1・2	小 児 看 護 分 野 共 通 科 目	小 児 看 護 学 特 論	1	1・2	
	看 護 倫 理	2	1・2		小 児 看 護 学 特 論	1	1・2	
	コンサルテーション論	2	1・2		小 児 看 護 学 特 論	2	1・2	
	看護研究方法	2	1・2		小 児 看 護 対 象 論	2	1・2	
	看護政策論	2	1・2		小 児 看 護 援 助 論	2	1・2	
共通科目 B	臨床薬理学概論	2	1・2		小 児 看 護 援 助 論	2	1・2	
	フィジカルアセスメント	2	1・2		小 児 看 護 援 助 論	2	1・2	
	病 態 生 理 学	2	1・2		小 児 診 断 治 療 学	2	1・2	
共通科目 A + B 14単位以上必修 共通科目 A 8単位以上 共通科目 B 6単位以上 共通科目は修士論文コースの基礎科目のそれぞれの該当授業科目を読み替える。					野 実 習 科 目	小 児 看 護 学 特 別 研 究	4	1・2
						小 児 看 護 学 実 習	2	1・2
				小 児 看 護 学 実 習		2	1・2	
				小 児 看 護 学 実 習		2	1・2	
				小 児 看 護 学 実 習		2	1・2	
				小 児 看 護 学 実 習		2	1・2	
すべて必修								
合計：42単位以上(共通科目14単位以上、専攻分野共通科目18単位、実習科目10単位を履修) 修士論文の審査に合格した者(修士論文はCNS申請に即したものが望ましい)								

(注1) 講は講義、演は演習、実実習を示す。

(注2) 原則として、「小児看護分野 高度実践看護師養成」の学生のための履修とする。

(注3) 小児看護学特別研究は、日本看護系大学協議会において認定された科目ではない。

授業科目及び修了要件

看護学専攻 専門職養成コース

【助産学分野 助産師資格】

区分	授業科目	単位	配当年次	区分	授業科目	単位	配当年次	
		講・演				講・演		
基	人体構造学	2	1・2	助産分野基礎科目	基礎助産学	2	1	
	人体機能学	2	1・2		基礎助産学	2	1	
	臨床医学概論	2	1・2		基礎助産学	2	1	
	社会医学概論	1	1・2		助産学特論 - 妊娠期	2	1	
	物理学特論	1	1・2		助産学特論 - 分娩期	2	1	
	生物学特論	1	1・2		助産学特論 - 産褥期	2	1	
	化学特論	1	1・2		助産学特論 - 乳幼児期	2	1	
	医学教育学	4	1・2		助産学特論 - ハイリスク	2	1	
	生命倫理	1	1・2		助産学特論 - ハイリスク	2	1	
	臨床遺伝学	1	1・2		助産学特論 - ハイリスク	2	1	
	移植医学	1	1・2		助産学特論 - ハイリスク	2	1	
	リハビリテーション医学	1	1・2		助産学特論 - ハイリスク	2	1	
	医学工学概論	1	1・2		助産学特論 - ハイリスク	2	1	
	実験動物学	1	1・2		助産学特論 - ハイリスク	2	1	
礎	看護理論	2	1・2	助産学分野専門科目	地域母子保健特論	2	1	
	看護倫理	2	1・2		助産管理	2	1	
	コンサルテーション論	2	1・2		基礎助産学	8	1～2	
	先端的・分野特異的手法ユニット	2	1・2		基礎助産学	2	1～2	
	看護研究方法	2	1・2		基礎助産学	1	1～2	
	看護政策論	2	1・2		助産学分野基礎科目31単位必修			
	バイオ統計基礎ユニット	1	1・2		ヒューマンセクシュアリティ論	1	1	
	バイオ統計応用ユニット	2	1・2		ハイリスク周産期論	2	1	
	知的財産権論	2	1・2		母子の心理・社会学	2	1	
	臨床研究入門	2	1・2		高次助産診断・技術演習	2	1	
	臨床薬理学概論	2	1・2		高次助産診断・技術演習	1	1	
	フィジカルアセスメント	2	1・2		ウイメンズヘルス演習	1	1	
	病態生理学	2	1・2		助産技術演習	1	1	
	医療経営	2	1・2		周産期医療政策・環境論	2	2	
目	医療経済学	2	1・2	国際助産論	1	2		
	看護管理論	2	1・2	ハイリスクシミュレーション演習	1	2		
	大学院セミナーシリーズ	1	1・2	助産学分野専門科目14単位必修				
				研特別	助産学研究演習	4	1～2	
					助産学特別研究	4	1～2	
				特別研究8単位必修				
基礎科目から8単位以上選択必修（看護研究方法・バイオ統計応用ユニットは選択必修。）								
合計：61単位以上（修士論文の審査に合格した者）								

授業科目及び修了要件

看護学専攻 専門職養成コース

【助産学分野 上級実践】

区分	授業科目	単位	配当年次	区分	授業科目	単位	配当年次	
		講・演				講・演		
基	人体構造学	2	1・2	助産学分野専門科目	ヒューマンセクシュアリティ論	1	1	
	人体機能学	2	1・2		ハイリスク周産期論	2	1	
	臨床医学概論	2	1・2		母子の心理・社会学	2	1	
	社会医学概論	1	1・2		高次助産診断・技術演習	2	1	
	物理学特論	1	1・2		高次助産診断・技術演習	1	1	
	生物学特論	1	1・2		ウィメンズヘルス演習	1	1	
	化学特論	1	1・2		周産期医療政策・環境論	2	2	
	医学教育学	4	1・2		国際助産論	1	2	
	生命倫理	1	1・2		ハイリスク周産期実習	2	1～2	
	臨床遺伝学	1	1・2		ハイリスク周産期実習	2	1～2	
	移植医学	1	1・2		上級実践助産学実習	2	1～2	
	礎	リハビリテーション医学	1		1・2	助産学	助産学分野専門科目16単位（ハイリスク周産期実習 もしくは上級実践助産学実習から2単位選択必修）	
医学工学概論		1	1・2	研特別	助産学研究演習		4	1～2
実験動物学		1	1・2		助産学特別研究		4	1～2
看護倫理		2	1・2	特別研究（8単位必修）				
看護研究方法		2	1・2	分野				
看護政策論		2	1・2					
看護理論		2	1・2					
コンサルテーション論		2	1・2					
先端的・分野特異的手法ユニット		2	1・2					
バイオ統計基礎ユニット		1	1・2					
バイオ統計応用ユニット		2	1・2					
知的財産権論		2	1・2					
臨床研究入門	2	1・2						
臨床薬理学概論	2	1・2						
フィジカルアセスメント	2	1・2						
目	病態生理学	2	1・2					
	医療経営	2	1・2					
	医療経済学	2	1・2					
	看護管理論	2	1・2					
	大学院セミナーシリーズ	1	1・2					
	基礎科目から8単位以上選択必修（看護研究方法・バイオ統計応用ユニットは選択必修。）							
	合計：32単位以上（修士論文の審査に合格した者）							

修士課程 学位論文の申請・審査手続きについて

1. 申請書類〔1月指定日までに庶務課へ提出（締切厳守）〕

学位論文審査願	1通
主論文	4通（印刷公表が望ましい）
参考論文	各2通（作成している者のみ）
論文目録	1通
論文要旨	1通
履歴書	1通
単位修得証明書	1通
写真	1枚

については所定の書式を大学院医学研究科ホームページよりダウンロードすること。

提出する前に内容について医学部事務部庶務課において**チェックを受ける必要がある**ため余裕をもって作成すること。

2. 口述試験〔期間：2月1日～2月第3水曜日〕

試験は、主査と副査が担当する。

試験日と場所は、主査と副査が協議し決める。

希望者は集談会で発表することができる。

3. 学位記授与式〔3月下旬〕

詳細については、該当者宛後日、総務課より文書にて通知する。

2025年度（令和7年度）大学院医学研究科修士課程

学年暦および主要な行事予定

区分	月	日	曜日	行 事
前 期	4月	2日		大学院入学式 大学院新入学生オリエンテーション
		3日		履修登録開始
		7日		履修登録締切
		8日		健康診断（4月8日～11日） 新入生は4月10日・11日のみ
		11日		
	15日		前期授業開始（8月5日まで：15週）	
	6月	上旬		現住所調査（全学年対象）
	8月	5日		前期授業終了
	8月	6日		夏期休暇開始（9月7日まで：5週） 研究題目調査予定（1年次対象）
	後 期	9月	7日	
8日				後期授業開始（1月5日まで：15週）
下旬				学位申請に関する通知（最終学年次対象）
10月		中旬		研究題目確認調査予定（最終学年次対象）
12月		8日		大学院医学研究科研究発表会
		9日		
12月		24日		冬期休暇開始（1月4日まで：2週）
1月		4日		冬期休暇終了
		5日		後期授業終了
		9日		修士学位論文提出期限予定
3月	25日		大学院学位記授与式（AM11：00～筑水会館2階イベントホール）	

通常の授業期間以外にも、集中講義、特別講義等を実施する。
学位記授与式は修了日によって日時、場所が異なることがある。詳細は案内状にて確認すること。

2025年度(令和7年度)大学院医学研究科修士課程 7曜表

4月	日	月	火	水	木	金	土	10月	日	月	火	水	木	金	土
	6	7	8	9	10	11	12		5	6	7	8	9	10	11
13	14	15	16	17	18	19	12		14	15	16	17	18		
20	21	22	23	24	25	26	19	20	21	22	23	24	25		
27	28	29	30				26	27	28	29	30	31			
履修登録締切								前期授業開始							
5月	日	月	火	水	木	金	土	11月	日	月	火	水	木	金	土
	11	12	13	14	15	16	17		2		4	5	6	7	8
18	19	20	21	22	23	24	9	10	11	12	13	14	15		
25	26	27	28	29	30	31	16	17	18	19	20	21	22		
							30		25	26	27	28	29		
6月	日	月	火	水	木	金	土	12月	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6	7		7	8	9	10	11	12	13
8	9	10	11	12	13	14	14	15	16	17	18	19	20		
15	16	17	18	19	20	21	21	22	23	24	25	26	27		
22	23	24	25	26	27	28	28	29	30	31					
29	30														
7月	日	月	火	水	木	金	土	1月	日	月	火	水	木	金	土
	6	7	8	9	10	11	12		4	5	6	7	8	9	10
13	14	15	16	17	18	19	11		13	14	15	16	17		
20		22	23	24	25	26	18	19	20	21	22	23	24		
27	28	29	30	31			25	26	27	28	29	30	31		
							後期授業終了								
8月	日	月	火	水	木	金	土	2月	日	月	火	水	木	金	土
	3	4	5	6	7	8	9		1	2	3	4	5	6	7
10		12	13	14	15	16	8	9	10		12	13	14		
17	18	19	20	21	22	23	15	16	17	18	19	20	21		
24	25	26	27	28	29	30	22		24	25	26	27	28		
31							前期授業終了								
9月	日	月	火	水	木	金	土	3月	日	月	火	水	木	金	土
	7	8	9	10	11	12	13		1	2	3	4	5	6	7
14		16	17	18	19	20	8	9	10	11	12	13	14		
21	22		24	25	26	27	15	16	17	18	19		21		
28	29	30					22	23	24	25	26	27	28		
							29	30	31						
後期授業開始															

= 祝日及び振替休日

入学式：4月2日

前期授業：4月15日 ~ 8月5日

後期授業：9月8日 ~ 1月5日

夏季休暇：8月6日 ~ 9月7日

冬季休暇：12月24日 ~ 1月4日

研究発表会：12月8日、9日

...授業期間

期間外であっても授業を行うことがある

各専攻科目の主な研究分野と指導教授

医科学専攻

学群	専攻科目	主な研究分野	指導教授	
基礎医学	生体構造・細胞生物学	肉眼解剖学的研究 臨床解剖学的研究（低侵襲治療法の開発など） ・心臓、血管系の形態 ・運動器の機能解剖学（下肢など） ・胸腹部内臓の解剖学 ・頭頸部顔面領域の解剖学 ・移植組織（皮弁など）の血行形態の解析	解剖学 （肉眼・臨床解剖部門） 渡部 功一	
		・次世代シーケンスを用いた転写制御機構の研究 ・単一細胞解析による新たな細胞集団の同定と機能解明 ・ゲノム編集マウスの作成による遺伝子の発現制御機構の研究	解剖学 （顕微解剖・生体形成部門） 嶋 雄一	
		・先端的顕微鏡観察技術の開発およびその応用による生体構造解析 ・FIB-SEM tomography など電顕三次元解析技術を用いた細胞性ネットワークの可視化とその生理学的意義 ・3D光電子相関顕微鏡法（CLEM）によるミトコンドリアの空間的動的構造解析 ・エクソソーム分泌の動的可視化 ・骨・筋・血管・神経の機能解剖学	先端イメージング 研究センター 太田 啓介	
	学群	神経科学・臨床生理学	・神経生理学研究 神経精神疾患を引き起こす発症機構の解明と、それに対する生理学的知見を活用した新規治療法の開発 ・神経科学 ・神経・精神病態学 ・電気神経生理学 ・光遺伝学	生理学 （脳・神経機能部門） 吉田 史章
			・イオンチャネルの電気生理学および分子生物学的解析 ・細胞内シグナリングの生理学 ・神経の活動電位発生メカニズムの解析 ・中枢神経系におけるHCNチャネルの機能解析	生理学 （統合自律機能部門） 中島 則行
		代謝病態学	1．心血管病、糖尿病、痛風などの代謝性疾患、がん、自己免疫病のゲノム解析と分子病態の解明、ならびに上記疾患のエピゲノムバイオマーカー同定とその疾病罹患における意義の解明 2．単一遺伝病の家系分析と責任遺伝子の同定	医化学 山本 健

学群	専攻科目	主な研究分野	指導教授
基	臨床薬理学	神経・精神薬理学 1. ドーパミンにより活性化される細胞内情報伝達系、特にリン酸化シグナルの研究 2. ドーパミン神経の変性と再生に関する研究 3. Microdialysis法を用いた神経伝達物質放出に関する研究 4. 薬物依存の神経化学的及び行動薬理学的研究	薬理学 西 昭 徳
	病理・病態学	人体病理、腫瘍の組織発生 ・リンパ腫を主体とした血液疾患の分子臨床病理学的検討 ・腫瘍周囲環境分子の空間的発現・変異解析 ・病理画像 AI を用いたバイオマーカーの検索	病理学 秋 葉 純 病理学 三 好 寛 明
礎	感染病態学	細菌学 ゲノム微生物学 病原性進化学 細菌に対する感染防衛機構 細菌感染症の新規治療薬の開発	感染医学 (基礎感染医学部門) 小 椋 義 俊
		感染症 院内感染対策 熱帯医学 旅行医学	感染制御学 渡 邊 浩
医	感染病態学	ウイルス学 生化学(ウイルス遺伝子複製酵素の解析) 分子生物学(ウイルス遺伝子とタンパク質の解析)	医学教育研究センター 柏 木 孝 仁
		リボソーム DNA 系統樹上、われわれ哺乳類から最もはなれた最古の真核生物であるキネトプラスト科に属するアフリカ睡眠病を起こすブルーストリパノゾーマ原虫を用い、哺乳類にも存在するリン酸化依存性シャペロン14-3-3分子のシグナル伝達機構の差異の解明及び、ヒト14-3-3分子の新しい機能の発見に主眼を置く。また、14-3-3分子のシグナルの影響を受ける分子をターゲットとした治療薬のスクリーニングも行う。	感染医学 (真核微生物学部門) 井 上 雅 広
群	生体防御学	免疫全般、特に腸管免疫及び免疫抑制細胞を利用した免疫治療に関する研究	免疫学 溝 口 充 志
		マウスモデルおよびヒト臨床検体を用いた、炎症性腸疾患(IBD) 発症における第一線の生体防御である腸管細胞上皮細胞の機能的機序解明	免疫学 溝 口 恵 美 子

学群	専攻科目	主な研究分野	指導教授
基礎医学群	化学生物学 (ケミカルバイオロジー)	核酸アプタマーのスクリーニングと疾患モデル動物への応用 タンパク質の翻訳後修飾による機能制御 ケミカルバイオロジーを基盤とする創薬シーズの探索	自然科学・化学 東元 祐一郎
社会医学群	疫学・予防医学	・医療政策 ・医療経済 ・疫学 ・医療リアルワールドデータ分析	公衆衛生学 谷原 真一
	環境医学	産業医学 1) 高圧環境(潜水)の健康影響 2) 振動障害の予防と健康管理 3) 医療・福祉従事者の健康管理 環境医学 1) 電磁波の生体への健康影響 2) 室内空気汚染、シックハウス症候群 地域保健 1) HIA(Health Impact Assessment)の適用研究	環境医学 石竹 達也
	人類遺伝学	・血液型、血清蛋白の法医学的研究 ・血液型物質合成酵素フコース転移酵素群の人類遺伝学的研究	法医学 神田 芳郎
	健康科学	運動(身体活動)を主体とした生活習慣の変化と疾病予防に関する臨床的研究。身体活動や栄養摂取が生活習慣病の病態および動脈硬化危険因子に及ぼす影響に関する研究	学長直属 吉田 典子
	リハビリテーションバイオメカニクス学	・筋骨格系のリハビリテーション医学 ・運動療法による健康増進 ・慢性疼痛に対する運動療法 ・電気刺激療法 ・運動器のバイオメカニクス ・不活動による筋骨格系の萎縮と予防法に関する研究 ・筋骨連関と運動に関する研究 ・宇宙空間での筋骨格機能の維持、運動法に関する研究	大学病院 リハビリテーション部 松瀬 博夫

総合生命科学・バイオ統計学専攻

学群	専攻科目	主な研究分野	指導教授
総合生命科学群	遺伝情報学	<ul style="list-style-type: none"> ・ 飢餓適応に関する研究（特に、摂食制御と体温制御の側面からの理解）〔分子生物学・神経内分泌学〕 ・ 食嗜好の形成機構に関する研究〔分子生物学・神経内分泌学〕 ・ 新規生理活性ペプチドの探索研究〔分子生物学・生化学〕 	分子生命科学研究所 （遺伝情報研究部門） 佐藤 貴弘
	細胞工学	細胞増殖制御の分子生物学 1．栄養環境変化に対する増殖抑制機構の解明 2．染色体分配の正確性を保障する分子機構の解明	分子生命科学研究所 （細胞工学部門） 齋藤 成昭
	研究マネジメント	<p>研究のソフト面について学び、研究者として、また研究者を支援するリサーチアドミニストレーター（URA）として独立していける能力を身につける。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．科学文章の書き方 2．研究費獲得、アカデミックポジション応募のための申請書の書き方 3．科学プレゼンテーション 4．知的財産マネジメント 5．産学研究連携マネジメント 6．研究者倫理学 	分子生命科学研究所 （遺伝情報研究部門） 佐藤 貴弘
バイオ統計学群	（授業科目については P76 参照）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生存時間データの解析手法 ・ 環境疫学データの統計モデリングとリスク解析 ・ ベイズ統計モデル 	バイオ統計センター 古川 恭治
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 機械学習を用いたバイタル／生活習慣データの解析 ・ 生体機能イメージングの統計学的画像再構成法の開発 ・ 疾患におけるレドックスの統計解析 	バイオ統計センター 安川 圭司
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 効率的な臨床試験デザイン開発・研究 ・ 診断法比較のための統計解析法の開発・研究 ・ 実践的なバイオ統計コンサルテーション 	医療検査学科 室谷 健太

看護学専攻

コース	専攻分野	主な研究分野	指導教授
修士論文コース	看護教育管理分野	<p>看護教育管理におけるゼネラリストの養成</p> <p>1. 益守かづき 小児看護・小児保健領域・子どもとその家族における倫理問題及び教育管理に関する研究</p> <p>2. 田中 佳代 人の性や生殖にかかわる健康問題と支援における教育管理に関する研究</p> <p>3. 重松由佳子 地域で生活する人々への健康支援及び住民・専門職の教育管理に関する研究</p> <p>4. 古村美津代 老年看護、高齢者とその家族における倫理問題および教育管理に関する研究</p> <p>5. 嵯峨 堅 ・人体構造の基本と看護学領域への応用研究 ・人体解剖学、肉眼解剖学、組織学、形態形成、比較解剖学など ・研究・教育標本作製（ヒト、各種動物） ・解剖学教育、教育教材開発、プレゼンテーション技法研究</p> <p>6. 加悦 美恵 看護教育と管理および看護技術や看護倫理に関する研究</p> <p>7. 崎浜 智子 ・看護管理領域における実践的課題の探求と質向上に関する研究 ・看護教育・管理領域におけるキャリア支援に関する研究 ・看護管理者のコンピテンシーに関する研究</p> <p>8. 桐明あゆみ ・慢性疾患患者と家族の看護における倫理的課題、および教育管理に関する研究</p>	<p>看護学科 益守 かづき</p> <p>看護学科 田中 佳代</p> <p>看護学科 重松 由佳子</p> <p>看護学科 古村 美津代</p> <p>看護学科 嵯峨 堅</p> <p>看護学科 加悦 美恵</p> <p>看護学科 崎浜 智子</p> <p>看護学科 桐明 あゆみ</p>
専門職養成コース	がん看護分野 高度実践看護師養成 日本看護系大学協議会認定課程	<p>・がんと共に生きる患者とその家族の療養生活支援に関する研究</p> <p>・がん患者と家族を支えるケアシステムに関する研究</p>	<p>看護学科 桐明 あゆみ</p>
	感染症看護分野 高度実践看護師養成・国際実践 日本看護系大学協議会認定課程	<p>・医療関連感染症の予防と管理に関する課題研究</p> <p>・感染症の实地疫学調査に関する研究</p> <p>・感染症に伴う倫理的課題に関する研究</p> <p>・感染症の歴史と社会に関する研究</p>	<p>看護学科 崎浜 智子</p>

コース	専攻分野	主な研究分野	指導教授
専門 職 養成 コース	老年看護分野 高度実践看護師養成 日本看護系大学協 議会認定課程	1. 認知症高齢者および介護者の支援に関する研究 2. 高齢者の健康問題と看護支援に関する研究 (在宅・施設) 3. 高齢者のケアシステムに関する研究	看護学科 古村 美津代
	小児看護分野 高度実践看護師養成 日本看護系大学協 議会認定課程	1. 病気を抱える子どもと家族のケアに関する研究 2. 子どものヘルスプロモーションに関する研究 3. 子どもと家族に関わるケアシステムに関する研究	看護学科 益守 かづき
	助産学分野 助産師資格・ 上級実践	1. 周産期の母子に対する助産ケアと健康支援に関する研究 2. 女性のライフステージにおけるウィメンズヘルスに関する研究 3. 糖尿病を持つ女性のウィメンズヘルスに関する研究	看護学科 田中 佳代

参考 1. の指導教授は令和7年度退職予定である。

2025年度（令和7年度）大学院医学研究科修士課程 科目責任者一覧

科目コード	科目区分	科目名	科目の英語表記	単位数	講・演・実習別	担当者氏名	科目担当者 役職
A010001001	基礎科目	人体構造学	Human Anatomy	2	講義	渡部 功一	教授
A010001002	基礎科目	人体機能学	Human Physiology	2	講義	山本 健	教授
A010001003	基礎科目	臨床医学概論	Introduction to Clinical Medicine	2	講義	川口 巧	教授
A010001004	基礎科目	社会医学概論	Introduction to Social Medicine	1	講義	神田 芳郎	教授
A010001005	基礎科目	物理学特論	Advanced Physics	1	講義	長澤真樹子	教授
A010001006	基礎科目	生物学特論	Advanced Biology	1	講義	大沼 雅明	准教授
A010001007	基礎科目	化学特論	Advanced Chemistry	1	講義	東元祐一郎	教授
A010001008	基礎科目	医学教育学	Medical Education	4	講義	山田 圭	教授
A010001009	基礎科目	生命倫理	Bioethics	1	講義	神田 芳郎	教授
A010001010	基礎科目	臨床遺伝学	Clinical Genetics	1	講義	渡邊 順子	教授
A010001011	基礎科目	移植医学	Transplant Medicine	1	講義	後藤 祐一	講師
A010001012	基礎科目	リハビリテーション医学	Rehabilitation Medicine	1	講義	松瀬 博夫	教授
A010001013	基礎科目	医学工学概論	Introduction to Medical Engineering	1	講義	吉田 茂生	教授
A010001013	基礎科目	医学工学概論	Introduction to Medical Engineering	1	講義	平木 照之	教授
A010001015	基礎科目	実験動物学	Laboratory Animal Science	1	講義	塩澤 誠司	教授
A010001017	基礎科目	看護理論	Nursing Theory	2	講義	益守かづき	教授
A010001018	基礎科目	看護倫理	Nursing Ethics	2	講義	益守かづき	教授
A010001019	基礎科目	コンサルテーション論	Nursing Consultation	2	講義	桐明あゆみ	教授
A010001020	基礎科目	先端的・分野特異的研究手法体験ユニット	Advanced and Specialized Research Techniques (Lab)	2	講義	西 昭徳	教授
A010001022	基礎科目	大学院セミナーシリーズ	Special Lecture Series for Graduate Students	1	講義	溝口 充志	教授
A010001023	基礎科目	看護研究方法	Nursing Research	2	講義	加悦 美恵	教授
A010001024	基礎科目	看護政策論	Nursing Policy	2	講義	重松由佳子	教授
A010001025	基礎科目	論文指導演習	Writing Medical Papers (Practicum)	4	演習	各指導教授	教授
A010001026	基礎科目	バイオ統計基礎ユニット	Introductory Biostatistics	1	講義	大山 哲司	准教授
A010001027	基礎科目	バイオ統計応用ユニット	Applied Biostatistics	2	講義	室谷 健太	教授
A010001028	基礎科目	知的財産権論	Introduction to Intellectual Property The Basis and Practice	2	講義	松尾 綾	主幹
A010001029	基礎科目	臨床研究入門	Introduction to clinical research	2	講義	溝口 充志	教授
A010001033	基礎科目	臨床薬理学概論	Clinical Pharmacology for Nursing Practice	2	講義	西 昭徳	教授
A010001034	基礎科目	フィジカルアセスメント	Physical Assessment	2	講義	崎浜 智子	教授
A010001035	基礎科目	病態生理学	Pathophysiology for Nursing Practice	2	講義	松本 悠貴	准教授
A010001036	基礎科目	看護管理論	Nursing Management	2	講義	崎浜 智子	教授
A020101001	基礎医学群	生体構造・細胞生物学	Human Anatomy and Cell Biology	4	講義	嶋 雄一	教授
A020101002	基礎医学群	神経科学・臨床生理学	Clinical Neurophysiology	4	講義	吉田 史章	教授
A020101003	基礎医学群	代謝病態学	Biochemistry of Metabolic Disorders	4	講義	山本 健	教授
A020101004	基礎医学群	臨床薬理学	Clinical Pharmacology	4	講義	西 昭徳	教授
A020101005	基礎医学群	病理・病態学	Pathophysiology	4	講義	秋葉 純	教授

科目コード	科目区分	科目名	科目の英語表記	単位数	講・演・実習別	担当者氏名	科目担当者役職
A020101005	基礎医学群	病理・病態学	Pathophysiology	4	講義	三好 寛明	教授
A020101006	基礎医学群	感染病態学	Pathology of Infectious Diseases	4	講義	渡邊 浩	教授
A020101007	基礎医学群	生体防御学	Bioregulation	4	講義	溝口 充志	教授
A020101009	基礎医学群	化学生物学(ケミカルバイオロジー)	Chemical Biology	4	講義	東元祐一郎	教授
A020102001	基礎医学群演習	解剖学 肉眼・臨床解剖分野	Gross Anatomy (Lab)	4	演習	渡部 功一	教授
A020102002	基礎医学群演習	解剖学 顕微解剖・生体形成分野	Microscopic and Developmental Anatomy (Lab)	4	演習	嶋 雄一	教授
A020102003	基礎医学群演習	生理学 脳機能分野	Brain Functions (Lab)	4	演習	吉田 史章	教授
A020102004	基礎医学群演習	生理学 統合自律機能分野	Integrated Autonomic Functions (Lab)	4	演習	中島 則行	教授
A020102005	基礎医学群演習	医化学	Medical Biochemistry (Lab)	4	演習	山本 健	教授
A020102006	基礎医学群演習	薬理学	Pharmacology (Lab)	4	演習	西 昭徳	教授
A020102007	基礎医学群演習	病理学	Pathology (Lab)	4	演習	秋葉 純	教授
A020102007	基礎医学群演習	病理学	Pathology (Lab)	4	演習	三好 寛明	教授
A020102008	基礎医学群演習	感染医学(基礎感染医学)	Infectious Disease (Lab)	4	演習	小椋 義俊	教授
A020102009	基礎医学群演習	感染制御学	Infection Control and Prevention (Lab)	4	演習	渡邊 浩	教授
A020102011	基礎医学群演習	免疫学	Immunology (Lab)	4	演習	溝口 充志	教授
A020102013	基礎医学群演習	感染医学(真核微生物学)	Parasitology (Lab)	4	演習	井上 雅広	教授
A020102015	基礎医学群演習	化学生物学	Chemical Biology (Lab)	4	演習	東元祐一郎	教授
A030101001	社会医学群	環境医学	Environmental Medicine	4	講義	石竹 達也	教授
A030101002	社会医学群	疫学・予防医学	Epidemiology and Preventative Medicine	4	講義	谷原 真一	教授
A030101004	社会医学群	人類遺伝学	Human Genetics	4	講義	神田 芳郎	教授
A030101005	社会医学群	健康科学	Health Science	4	講義	吉田 典子	教授
A030101006	社会医学群	リハビリテーションバイオメカニクス学	Rehabilitation Biomechanics	4	講義	松瀬 博夫	教授
A030101007	基礎科目	医療経営	Healthcare Management	2	講義	梶原 晃	教授
A030101008	基礎科目	医療経済学	Healthcare Economics	2	講義	梶原 晃	教授
A030102001	社会医学群演習	環境医学	Environmental Medicine (Lab)	4	演習	石竹 達也	教授
A030102002	社会医学群演習	公衆衛生学	Public Health (Lab)	4	演習	谷原 真一	教授
A030102004	社会医学群演習	法医学・人類遺伝学	Forensic Medicine (Lab)	4	演習	神田 芳郎	教授
A030102005	社会医学群演習	健康科学	Health Science (Lab)	4	演習	吉田 典子	教授
A030102006	社会医学群演習	リハビリテーションバイオメカニクス学	Rehabilitation Biomechanics (Lab)	4	演習	松瀬 博夫	教授
A041001006	総合生命科学群	研究マネジメント	Reserch Management	2	講義	佐藤 貴弘	教授
A041001007	総合生命科学群	サイエンスコミュニケーション	Science communication	2	講義	佐藤 貴弘	教授
A041001008	総合生命科学群	科学文章の書き方と論文作成	Scientific writing for research paper	2	講義	佐藤 貴弘	教授
A041001009	総合生命科学群・バイオ統計学群 共通科目	研究倫理	Research ethics	2	講義	佐藤 貴弘	教授
A041001010	総合生命科学群	バイオベンチャー論	Bioventure studies	2	講義	佐藤 貴弘	教授
A041001011	総合生命科学群・バイオ統計学群 共通科目	分子細胞生物学	Molecular cell biology	2	講義	齋藤 成昭	教授
A041001012	総合生命科学群・バイオ統計学群 共通科目	ゲノム生物学概論	Biology of gene	2	講義	齋藤 成昭	教授
A041001013	総合生命科学群	疾患の生命科学	Life Science of diseases	2	講義	青木 浩樹	教授

科目コード	科目区分	科目名	科目の英語表記	単位数	講・演・実習別	担当者氏名	科目担当者 役職
A041001014	総合生命科学群	細胞内オルガネラの分子生物学	Molecular biology of intracellular organelle	2	講義	伴 匡人	教授
A041001015	総合生命科学群	細胞シグナリング	Cell signaling	2	講義	伴 匡人	教授
A041001016	総合生命科学群	臓器相関の分子生物学	Molecular biology of organ interaction	2	講義	佐藤 貴弘	教授
A041001017	総合生命科学群	摂食・ストレス・老化の科学	Science of Eating, Stress, and Aging	2	講義	佐藤 貴弘	教授
A041001018	総合生命科学群	生体のエネルギー代謝科学	Science of energy metabolism	2	講義	佐藤 貴弘	教授
A041001019	総合生命科学群	バイオサイエンス実験法	Experimental methods of bioscience	2	講義	齋藤 成昭	教授
A041001020	総合生命科学群	実験動物のサイエンス	Science of experimental animals	2	講義	塩澤 誠司	教授
A041001021	総合生命科学群	モデル生物のサイエンス : 酵母	Science of model organism : Yeast	2	講義	齋藤 成昭	教授
A041001022	総合生命科学群	モデル生物のサイエンス : ショウジョウバエ、線虫	Science of model organism : fly, nematode	2	講義	佐藤 貴弘	教授
A041001023	総合生命科学群	バイオサイエンスのデータベース・大規模データ解析論	Data base analysis of bioscience: Analysis of mega-data	2	講義	齋藤 成昭	教授
A041001024	総合生命科学群	バイオサイエンス研究のプロトコル作成と研究デザイン	Making of protocol and research design of bioscience	2	講義	青木 浩樹	教授
A041003001	総合生命科学群	バイオサイエンス実験法(実習)	Experimental methods of bioscience (Training)	2	実習	齋藤 成昭	教授
A041003002	総合生命科学群	実験動物のサイエンス(実習)	Science of experimental animals (Training)	2	実習	塩澤 誠司	教授
A041003003	総合生命科学群	モデル生物のサイエンス : 酵母(実習)	Science of model organism : Yeast (Training)	2	実習	齋藤 成昭	教授
A041003004	総合生命科学群	モデル生物のサイエンス : ショウジョウバエ、線虫(実習)	Science of model organism : fly, nematode (Training)	2	実習	佐藤 貴弘	教授
A041003005	総合生命科学群	バイオサイエンスのデータベース・大規模データ解析論(実習)	Data base analysis of bioscience: Analysis of mega-data (Training)	2	実習	齋藤 成昭	教授
A041003006	総合生命科学群	バイオサイエンス研究のプロトコル作成と研究デザイン(実習)	Making of protocol and research design of bioscience (Training)	2	実習	青木 浩樹	教授
A041003007	総合生命科学群	バイオベンチャー・インターンシップ	Internship of bio venture	2	実習	佐藤 貴弘	教授
A060102016	がん看護分野 高度実践看護師養成	がん看護学特別研究	Oncology Nursing Special Study	4	演習	桐明あゆみ	教授
A060102017	がん看護分野 高度実践看護師養成	がん診断治療学	Diagnosis and Treatment of Cancer	2	講義	藤田 文彦	教授
A060102018	がん看護分野 高度実践看護師養成	がん看護特論	Advanced Practice in Cancer Nursing	2	講義	桐明あゆみ	教授
A060102019	がん看護分野 高度実践看護師養成	がん看護援助論	Advanced Nursing Intervention for Cancer Patients	2	講義	桐明あゆみ	教授
A060102020	がん看護分野 高度実践看護師養成	がん薬物療法看護特論	Advanced Practice in Cancer Chemotherapy Nursing	2	講義	桐明あゆみ	教授
A060102021	がん看護分野 高度実践看護師養成	がん薬物療法看護特論	Advanced Practice in Cancer Chemotherapy Nursing	2	講義	桐明あゆみ	教授
A060102022	がん看護分野 高度実践看護師養成	がん緩和ケア特論	Advanced Practice Palliative Care Nursing	2	講義	桐明あゆみ	教授
A060102023	がん看護分野 高度実践看護師養成	がん緩和ケア特論	Advanced Practice Palliative Care Nursing	2	講義	桐明あゆみ	教授
A060102024	がん看護分野 高度実践看護師養成	がん看護学実習	Practicum in Advanced Oncology Nursing	2	実習	桐明あゆみ	教授
A060102025	がん看護分野 高度実践看護師養成	がん看護学実習	Practicum in Advanced Oncology Nursing	1	実習	桐明あゆみ	教授
A060102026	がん看護分野 高度実践看護師養成	がん看護学実習	Practicum in Advanced Oncology Nursing	3	実習	桐明あゆみ	教授
A060102027	がん看護分野 高度実践看護師養成	がん看護学実習	Practicum in Advanced Oncology Nursing	2	実習	桐明あゆみ	教授
A060102028	がん看護分野 高度実践看護師養成	がん看護学実習	Practicum in Advanced Oncology Nursing	2	実習	桐明あゆみ	教授
A060102029	がん看護分野 高度実践看護師養成	がん緩和ケア地域連携教育論	Palliative Care Education and Regional Cooperation	2	講義	桐明あゆみ	教授
A070101002	バイオ統計学群	臨床試験の基礎とデータ解析	Biostatistical Methodology in Clinical Trials	2	講義	室谷 健太	教授
A070101003	バイオ統計学群	医用データ解析	Medical Data Analysis	2	講義	川口 淳	非常勤講師
A070101006	バイオ統計学群	バイオデータ解析入門	Introduction to Bio-Data Analysis	2	講義	大山 哲司	准教授
A070101010	バイオ統計学群	観察データ解析概論	Introduction to Statistical Epidemiology	2	講義	米本 孝二	非常勤講師
A070101011	バイオ統計学群	ゲノムサイエンス概論	Introduction to Genome Science	2	講義	山田 亮	客員教授

科目コード	科目区分	科目名	科目の英語表記	単位数	講・演・実習別	担当者氏名	科目担当者役職
A070101019	バイオ統計学群	薬物動態・薬力学データの解析	Introduction to Pharmacokinetic/Pharmacodynamic	1	講義	安川 圭司	教授
A070101020	バイオ統計学群	生存分析とその応用	Survival Analysis	2	講義	赤澤 宏平	客員教授
A070101023	バイオ統計学群	観察データ解析特論	Observational Data Analysis	1	講義	小笹晃太郎	客員教授
A070101024	バイオ統計学群	バイオ統計セミナー	Biostatistics Seminar	3	演習	安川 圭司	教授
A070101025	バイオ統計学群	バイオインフォマティクスセミナー	Bioinformatics Seminar	3	演習	古川 恭治	教授
A070101028	バイオ統計学群	観察データ解析特論	Observational Data Analysis	1	講義	田栗 正隆	非常勤講師
A070101032	バイオ統計学群	バイオ統計セミナー	Biostatistics Seminar	4	演習	安川 圭司	教授
A070101033	バイオ統計学群	バイオインフォマティクスセミナー	Bioinformatics Seminar	4	演習	古川 恭治	教授
A070101034	バイオ統計学群	バイオデータモデリング	Bio-Data Modeling	2	講義	江村 剛志	客員教授
A070101036	バイオ統計学群	プロトコル作成と研究デザイン	Research Protocol Design	1	講義	室谷 健太	教授
A070101037	バイオ統計学群	バイオ統計基礎	Basic Biostatistics	4	講義	古川 恭治	教授
A070101038	バイオ統計学群	バイオ統計数理	Theoretical Biostatistics	4	講義	大山 哲司	准教授
A070101039	バイオ統計学群	環境データ解析特論	Environmental Statistics	1	講義	古川 恭治	教授
A070101040	バイオ統計学群	臨床データ解析特論	Biostatistical Methods in Clinical trials	1	講義	平川 晃弘	非常勤講師
A070101041	総合生命科学群・バイオ統計学群 共通科目	オミクス解析特論	Omics analysis	1	講義	中柄 昌弘	非常勤講師
A070101042	総合生命科学群・バイオ統計学群 共通科目	バイオインフォマティクス特論	Bioinformatics	1	講義	井元 清哉	非常勤講師
A070101043	バイオ統計学群	機械学習特論	Machine learning	2	講義	松本晃太郎	非常勤講師
A080101007	感染症看護分野 高度実践看護師養成・国際実践	感染制御学特論	Infectious Disease	2	講義	渡邊 浩	教授
A080101008	感染症看護分野 高度実践看護師養成・国際実践	感染看護学特論	Advanced Infection Control Nursing	2	講義	崎浜 智子	教授
A080101009	感染症看護分野 高度実践看護師養成・国際実践	感染看護学特論	Advanced Infection Control Nursing	2	講義	崎浜 智子	教授
A080101010	感染症看護分野 高度実践看護師養成・国際実践	感染看護学特論	Advanced Infection Control Nursing	1	講義	崎浜 智子	教授
A080101011	感染症看護分野 高度実践看護師養成・国際実践	感染看護学特論	Advanced Infection Control Nursing	1	講義	崎浜 智子	教授
A080101012	感染症看護分野 高度実践看護師養成・国際実践	感染看護学特論	Advanced Infection Control Nursing	2	講義	崎浜 智子	教授
A080101013	感染症看護分野 高度実践看護師養成・国際実践	感染看護学特論	Advanced Infection Control Nursing	2	講義	崎浜 智子	教授
A080101014	感染症看護分野 高度実践看護師養成・国際実践	感染症看護援助論	Advanced Nursing Intervention in Infection Control	2	講義	崎浜 智子	教授
A080101015	感染症看護分野 高度実践看護師養成・国際実践	感染症看護援助論	Advanced Nursing Intervention in Infection Control	2	講義	崎浜 智子	教授
A080102003	感染症看護分野 高度実践看護師養成・国際実践	感染看護学特別研究	Research in Infection Control Nursing	1	演習	崎浜 智子	教授
A080102004	感染症看護分野 高度実践看護師養成・国際実践	感染看護学特別研究	Research in Infection Control Nursing	3	演習	崎浜 智子	教授
A080103003	感染症看護分野 高度実践看護師養成・国際実践	国際感染看護学実習	International Nursing Practice In Infection Control	2	実習	崎浜 智子	教授
A080103004	感染症看護分野 高度実践看護師養成・国際実践	国際感染看護学実習	International Nursing Practice In Infection Control	4	実習	崎浜 智子	教授
A080103005	感染症看護分野 高度実践看護師養成・国際実践	感染看護学実習	Clinical Practicum in Advanced Nursing Care and Infection Control	2	実習	崎浜 智子	教授
A080103006	感染症看護分野 高度実践看護師養成・国際実践	感染看護学実習	Clinical Practicum in Advanced Nursing Care and Infection Control	4	実習	崎浜 智子	教授
A080103007	感染症看護分野 高度実践看護師養成・国際実践	感染看護学実習	Clinical Practicum in Advanced Nursing Care and Infection Control	4	実習	崎浜 智子	教授
A090101010	老年看護分野 高度実践看護師養成	老年看護学特論	Advanced Gerontological Nursing	2	講義	古村美津代	教授
A090101011	老年看護分野 高度実践看護師養成	老年看護学特論	Advanced Gerontological Nursing	2	講義	古村美津代	教授
A090101012	老年看護分野 高度実践看護師養成	老年看護学特論	Advanced Gerontological Nursing	2	講義	古村美津代	教授
A090101013	老年看護分野 高度実践看護師養成	老年看護学特論	Advanced Gerontological Nursing	2	講義	古村美津代	教授

科目コード	科目区分	科目名	科目の英語表記	単位数	講・演・実習別	担当者氏名	科目担当者 役職
A090101014	老年看護分野 高度実践看護師養成	高齢者病態治療学	Geriatric Pathophysiology Based Treatment	2	講義	小路 純央	教授
A090102001	老年看護分野 高度実践看護師養成	老年看護学特別研究	Gerontological Nursing Special Study	4	演習	古村美津代	教授
A090102002	老年看護分野 高度実践看護師養成	老年看護学演習	Gerontological Nursing Seminar	2	演習	古村美津代	教授
A090102003	老年看護分野 高度実践看護師養成	老年看護学演習	Gerontological Nursing Seminar	2	演習	古村美津代	教授
A090103002	老年看護分野 高度実践看護師養成	老年看護学実習	Clinical Practice of Gerontological Nursing	3	実習	古村美津代	教授
A090103003	老年看護分野 高度実践看護師養成	老年看護学実習	Clinical Practice of Gerontological Nursing	2	実習	古村美津代	教授
A090103004	老年看護分野 高度実践看護師養成	老年看護学実習	Clinical Practice of Gerontological Nursing	5	実習	古村美津代	教授
A100101001	小児看護分野 高度実践看護師養成	小児看護学特論	Advanced Pediatric and Child Health Nursing	1	講義	益守かづき	教授
A100101002	小児看護分野 高度実践看護師養成	小児看護学特論	Advanced Pediatric and Child Health Nursing	1	講義	益守かづき	教授
A100101003	小児看護分野 高度実践看護師養成	小児看護学特論	Advanced Pediatric and Child Health Nursing	2	講義	益守かづき	教授
A100101004	小児看護分野 高度実践看護師養成	小児看護対象論	Theory in Nursing for Child Health	2	講義	益守かづき	教授
A100101005	小児看護分野 高度実践看護師養成	小児看護援助論	Advanced Intervention for Pediatric and Child Health Nursing	2	講義	益守かづき	教授
A100101006	小児看護分野 高度実践看護師養成	小児看護援助論	Advanced Intervention for Pediatric and Child Health Nursing	2	講義	益守かづき	教授
A100101007	小児看護分野 高度実践看護師養成	小児看護援助論	Advanced Intervention for Pediatric and Child Health Nursing	2	講義	益守かづき	教授
A100101008	小児看護分野 高度実践看護師養成	小児診断治療学	Pediatric Diagnosis and Treatment	2	講義	水落 建輝	教授
A100102001	小児看護分野 高度実践看護師養成	小児看護学特別研究	Pediatric and Child Health Special Study	4	演習	益守かづき	教授
A100103001	小児看護分野 高度実践看護師養成	小児看護学実習	Advanced Practicum in Pediatric and Child Health Nursing	2	実習	益守かづき	教授
A100103002	小児看護分野 高度実践看護師養成	小児看護学実習	Advanced Practicum in Pediatric and Child Health Nursing	2	実習	益守かづき	教授
A100103003	小児看護分野 高度実践看護師養成	小児看護学実習	Advanced Practicum in Pediatric and Child Health Nursing	2	実習	益守かづき	教授
A100103004	小児看護分野 高度実践看護師養成	小児看護学実習	Advanced Practicum in Pediatric and Child Health Nursing	2	実習	益守かづき	教授
A100103005	小児看護分野 高度実践看護師養成	小児看護学実習	Advanced Practicum in Pediatric and Child Health Nursing	2	実習	益守かづき	教授
A110101001	看護教育管理分野	看護教育管理特論	Nursing Education Management	2	講義	加悦 美恵	教授
A110101002	看護教育管理分野	看護教育管理特論	Nursing Education Management	2	講義	加悦 美恵	教授
A110101003	看護教育管理分野	保健科学看護特論	Advanced Health Nursing Science	2	講義	重松由佳子	教授
A110101004	看護教育管理分野	保健科学看護特論	Advanced Health Nursing Science	2	講義	重松由佳子	教授
A110102001	看護教育管理分野	看護教育学演習	Nursing Education and Management (Lab)	2	演習	加悦 美恵	教授
A110102002	看護教育管理分野	医療情報管理学演習	Medical Informatics	4	演習	桜 勇三郎	准教授
A110102003	看護教育管理分野	教育学研究演習	Education and Management Research (Lab)	4	演習	益守かづき	教授
A110102003	看護教育管理分野	教育学研究演習	Education and Management Research (Lab)	4	演習	桐明あゆみ	教授
A110102003	看護教育管理分野	教育学研究演習	Education and Management Research (Lab)	4	演習	古村美津代	教授
A110102003	看護教育管理分野	教育学研究演習	Education and Management Research (Lab)	4	演習	嵯峨 堅	教授
A110102003	看護教育管理分野	教育学研究演習	Education and Management Research (Lab)	4	演習	崎浜 智子	教授
A110102003	看護教育管理分野	教育学研究演習	Education and Management Research (Lab)	4	演習	重松由佳子	教授
A110102003	看護教育管理分野	教育学研究演習	Education and Management Research (Lab)	4	演習	加悦 美恵	教授
A110102003	看護教育管理分野	教育学研究演習	Education and Management Research (Lab)	4	演習	田中 佳代	教授
A110102004	看護教育管理分野	教育学特別研究	Education and Management Special Study	4	演習	益守かづき	教授
A110102004	看護教育管理分野	教育学特別研究	Education and Management Special Study	4	演習	桐明あゆみ	教授

科目コード	科目区分	科目名	科目の英語表記	単位数	講・演・実習別	担当者氏名	科目担当者 役職
A110102004	看護教育管理分野	教育管理学特別研究	Education and Management Special Study	4	演習	古村美津代	教授
A110102004	看護教育管理分野	教育管理学特別研究	Education and Management Special Study	4	演習	嵯峨 堅	教授
A110102004	看護教育管理分野	教育管理学特別研究	Education and Management Special Study	4	演習	崎浜 智子	教授
A110102004	看護教育管理分野	教育管理学特別研究	Education and Management Special Study	4	演習	重松由佳子	教授
A110102004	看護教育管理分野	教育管理学特別研究	Education and Management Special Study	4	演習	加悦 美恵	教授
A110102004	看護教育管理分野	教育管理学特別研究	Education and Management Special Study	4	演習	田中 佳代	教授
A120101001	助産学分野 助産師資格	助産学概論	Introduction to Midwifery	2	講義	田中 佳代	教授
A120101002	助産学分野 助産師資格	ウイメンズヘルステ論	Women's Health	2	講義	田中 佳代	教授
A120101003	助産学分野 助産師資格	助産と生殖科学	Midwifery and Reproduction Science	2	講義	田中 佳代	教授
A120101009	助産学分野 助産師資格	助産マネジメント論	Midwifery Management	2	講義	田中 佳代	教授
A120101011	助産学分野 助産師資格	ヒューマンセクシュアリティ論	Human sexuality	1	講義	田中 佳代	教授
A120101014	助産学分野 助産師資格	助産学特論 - 妊娠期	Midwifery for perinatal families	2	講義	加藤 陽子	准教授
A120101015	助産学分野 助産師資格	助産学特論 - 分娩期	Midwifery for parturient women	2	講義	加藤 陽子	准教授
A120101016	助産学分野 助産師資格	助産学特論 - 産褥期	Midwifery for parturient women	2	講義	加藤 陽子	准教授
A120101017	助産学分野 助産師資格	助産学特論 - 乳幼児期	Midwifery for Newborn & Infant	2	講義	永田真理子	講師
A120101018	助産学分野 助産師資格	助産学特論 - ハイリスク	Midwifery for the high risk perinatal	2	講義	加藤 陽子	准教授
A120101019	助産学分野 助産師資格	地域母子保健特論	Community Maternal and Child Health	2	講義	田中 佳代	教授
A120101020	助産学分野 助産師資格	ハイリスク周産期論	Basics for high-risk perinatal period	2	講義	加藤 陽子	准教授
A120101021	助産学分野 助産師資格	母子の心理・社会学	Mother and child of social Psychology	2	講義	田中 佳代	教授
A120102001	助産学分野 助産師資格	高次助産診断・技術演習	Highly advanced Midwifery Diagnosis	2	演習	永田真理子	講師
A120102002	助産学分野 助産師資格	高次助産診断・技術演習	Highly advanced Midwifery Diagnosis	1	演習	永田真理子	講師
A120102003	助産学分野 助産師資格	ウイメンズヘルス演習	Practicum for Women's Health	1	演習	田中 佳代	教授
A120102005	助産学分野 助産師資格	助産学研究演習	Midwifery Research (Lab)	4	演習	田中 佳代	教授
A120102006	助産学分野 助産師資格	助産学特別研究	Midwifery Research	4	演習	田中 佳代	教授
A120102007	助産学分野 助産師資格	助産技術演習	Training for midwifery practice	1	演習	加藤 陽子	准教授
A120102008	助産学分野 助産師資格	周産期医療政策・環境論	Perinatal medical policy and environment	2	演習	田中 佳代	教授
A120102009	助産学分野 助産師資格	国際助産論	International Midwifery	1	演習	田中 佳代	教授
A120102010	助産学分野 助産師資格	ハイリスクシミュレーション演習	Simulation training for midwife	1	演習	加藤 陽子	准教授
A120103001	助産学分野 助産師資格	助産学基礎実習	Basic Practicum in Midwifery	8	実習	田中 佳代	教授
A120103002	助産学分野 助産師資格	助産学基礎実習	Basic Practicum in Midwifery	2	実習	田中 佳代	教授
A120103003	助産学分野 助産師資格	地域助産学実習	Clinical Practicum in Midwifery Home	1	実習	田中 佳代	教授
A120103004	助産学分野 助産師資格	ハイリスク周産期実習	Practicum in HighRisk Perinatal	2	実習	田中 佳代	教授
A120103005	助産学分野 助産師資格	ハイリスク周産期実習	Practicum in HighRisk Perinatal	2	実習	田中 佳代	教授
A120103006	助産学分野 助産師資格	上級実践助産学実習	The upper grade Practicum in Midwifery	2	実習	田中 佳代	教授

規 則 集

久留米大学大学院学則

第1章 総 則

(目 的)

第1条 久留米大学大学院(以下「本大学院」という。)は、学校教育法に基づき、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究め、文化の進展に寄与することを目的とする。

2 第2条第1項に規定する各研究科又は専攻の人材育成及び教育研究上の目的については、別に定める。

(課程及び組織)

第2条 本大学院に比較文化研究科、心理学研究科、ビジネス研究科及び医学研究科を設け、比較文化研究科、心理学研究科及び医学研究科に博士課程を、ビジネス研究科に修士課程をおく。ただし、医学研究科には博士課程の他に修士課程をおく。

2 比較文化研究科及び心理学研究科は、前期博士課程(2年)及び後期博士課程(3年)に区分し、前者を修士課程として取り扱うものとし、後者を博士課程として取り扱うものとする。医学研究科は、前期・後期の区分を設けないものとする。

3 前期博士課程は、広い視野に立って精深な学識を授け、専攻分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要な高度の能力を養うものとする。

4 後期博士課程は、専攻分野について、研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うものとする。

(専 攻)

第3条 本大学院の各研究科の専攻は、次の表のとおりとする。

研究科名	課程名	専攻名
比較文化研究科	前期博士課程	比較文化専攻
	後期博士課程	比較文化専攻
心理学研究科	前期博士課程	臨床心理学専攻 人間行動心理学専攻
	後期博士課程	心理学専攻
ビジネス研究科	修士課程	ビジネス専攻
医学研究科	修士課程	医科学専攻 看護学専攻 総合生命科学・バイオ統計学専攻
	博士課程	生理系専攻 病理系専攻 社会医学系専攻 個別最適医療系専攻

第2章 修業年限、在学期間、学年学期及び休業

(修業年限)

第4条 標準修業年限は、次のとおりとする。

比較文化研究科 前期博士課程2年、後期博士課程3年

心理学研究科 前期博士課程2年、後期博士課程3年

ビジネス研究科 修士課程2年

医学研究科 修士課程2年、博士課程4年

2 比較文化研究科若しくは心理学研究科の前期博士課程又はビジネス研究科若しくは医学研究科の修士課程において入学を許された者のうち、職業を有している等の事情により、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、修了することを希望する旨を申し出ることができる。(これに該当する者を「長期履修学生」という。)

3 長期履修学生の修業年限は、比較文化研究科前期博士課程及びビジネス研究科修士課程においては4年、心理学研究科前期博士課程及び医学研究科修士課程においては3年とする。

4 長期履修の申請手続きについては、所定の書式により申請を行わなければならない。

5 長期履修の申請要件については、別に定める。

6 長期履修については、当該研究科委員会が相当と認め得たときは許可する。

7 長期履修の許可後、標準修業年限への変更及び修業年限の短縮は認めない。

(在学期間)

第5条 在学期間は、次のとおりとする。

比較文化研究科 前期博士課程4年、後期博士課程6年を超えることができない。

心理学研究科 前期博士課程4年、後期博士課程6年を超えることができない。

ビジネス研究科 修士課程4年を超えることができない。

医学研究科 修士課程4年、博士課程8年を超えることができない。

2 長期履修学生の在学年限は、前項の規定にかかわらず、比較文化研究科前期博士課程及びビジネス研究科修士課程においては6年、心理学研究科前期博士課程及び医学研究科修士課程においては5年を超えることができない。

(学年及び学期)

第6条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

2 学年は、次の2期にわけらる。

前期 4月1日から10月15日まで

後期 10月16日から翌年3月31日まで

(休業)

第7条 休業日は、本大学学則第27条を準用する。

第3章 学生定員

(学生定員)

第8条 本大学院の学生定員は、次の表のとおりとする。

研究科名	専攻名	前期博士課程		後期博士課程	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
比較文化研究科	比較文化専攻	30名	60名	12名	36名
心理学研究科	臨床心理学専攻	15名	30名		
	人間行動心理学専攻	5名	10名		
	心理学専攻			5名	15名

研究科名	専攻名	修士課程		博士課程	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
ビジネス研究科	ビジネス専攻	12名	24名		
医学研究科	医科学専攻	8名	16名		
	看護学専攻	15名	30名		
	総合生命科学・バイオ統計学専攻	8名	16名		
	生理系専攻			4名	16名
	病理系専攻			3名	12名
	社会医学系専攻			8名	32名
	個別最適医療系専攻			20名	80名

第4章 授業科目、履修方法、単位取得の認定

(授業科目及び単位)

第9条 本大学院は、各専攻分野に関する高度の専門的知識及び能力を修得させるとともに、当該専攻分野に関連する基礎的素養を涵養する教育上の目的を達成するため、必要な科目を設置する。

2 本大学院における授業科目及びその配当単位数は、別表第1の1、別表第1の2、別表第1の3、別表第2の1、別表第2の2、別表第2の3、別表第3、別表第4の1及び別表第4の2のとおりとする。

(履修方法)

第10条 学生は、その在学期間中に、それぞれの専攻において定められた授業科目につき所定の単位を履修し、かつ、学位論文を提出して、その審査及び最終試験に合格しなければならない。

(教育方法の特例)

第10条の2 医学研究科においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。

(履修の認定)

第11条 授業科目の履修の認定は、試験あるいは研究報告等により行い、合格した科目については所定の単位を与える。

(他大学の大学院における授業科目の履修)

第11条の2 研究科において教育上有益と認めるときは、他大学の大学院(外国の大学院を含む。)との協定に基づき、学生が当該大学院の授業科目を履修することができる。

(他大学の大学院等における研究指導)

第11条の3 研究科において教育上有益と認めるときは、他大学の大学院又は研究所等(外国の大学院又は研究機関を含む。)との協定に基づき、学生が当該大学院等において必要な研究指導を受けることができる。

(最終試験)

第12条 最終試験は、学位論文を中心とし、これに関連する授業科目について行うものとする。

第5章 教員免許状及び資格取得等に関する事項

(免許状に関する事項)

第12条の2 中学校教諭一種免許状及び高等学校教諭一種免許状授与の所要資格を有する者で、当該免許教科に係る中学校教諭及び高等学校教諭の専修免許状の所要資格を取得しようとする者は、教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則に定める所要の単位を取得しなければならない。

2 本大学院の比較文化研究科、心理学研究科及びビジネス研究科において、当該所要資格を取得できる中学校教諭及び高等学校教諭の専修免許状の免許教科の種類は、次の表に掲げるとおりとする。取得方法については、別に定める。

研究科名	専攻名	免許教科の種類
比較文化研究科	比較文化専攻	中学校教諭専修免許状 国語
		中学校教諭専修免許状 社会
		中学校教諭専修免許状 英語
		高等学校教諭専修免許状 国語
		高等学校教諭専修免許状 地理歴史
		高等学校教諭専修免許状 公民
		高等学校教諭専修免許状 英語
心理学研究科	臨床心理学専攻	高等学校教諭専修免許状 公民
	人間行動心理学専攻	高等学校教諭専修免許状 公民
ビジネス研究科	ビジネス専攻	高等学校教諭専修免許状 商業

(日本語教育)

第12条の3 本大学院の比較文化研究科に、外国人に日本語を教育する教員の養成を行うために必要な授業科目を開設する。

2 前項の取扱いについては、別に定める。

(公認心理師国家試験受験資格)

第12条の4 大学院心理学研究科における公認心理師国家試験受験資格取得志望者は、公認心理師法に定める所要単位を修得しなければならない。

2 前項の取扱いについては、別に定める。

第6章 学 位

(学 位)

第13条 本大学において授与する学位は、次のとおりとする。

比較文化研究科 修士、博士

心理学研究科 修士、博士

ビジネス研究科 修士

医学研究科 修士、博士

(学位の授与)

第14条 修士及び博士の学位は、次の者に対して、学長がこれを授与する。

修士の学位は、比較文化研究科若しくは心理学研究科の前期博士課程又はビジネス研究科若しくは医学研究科の修士課程において2年以上在学し、所定の単位を履修し、かつ、学位論文審査及び最終試験に合格した者

博士の学位は、比較文化研究科若しくは心理学研究科においては5年以上(前期博士課程の在学期間を含む。)又は医学研究科博士課程においては4年以上在学し、所定の単位を履修し、かつ、学位論文審査及び最終試験に合格した者

2 前項の規定にかかわらず、優れた研究業績を上げた者については、ビジネス研究科修士課程若しくは医学研究科修士課程において1年以上又は医学研究科博士課程において3年以上在学すればたりるものとする。ただし、ビジネス研究科修士課程及び医学研究科修士課程における長期履修学生には適用しない。

ビジネス研究科修士課程又は医学研究科修士課程 1年以上

比較文化研究科後期博士課程又は心理学研究科後期博士課程

3年以上(前期博士課程の在学期間を含む。ただし、当該課程に2年を超えて在学し修了した者にあっては、2年在学したものと換算する。)

(博士課程によらない学位授与)

第15条 比較文化研究科及び医学研究科の課程を経ない者で学位論文を提出し、その審査及び試験に合格し、前条第2号に該当する者と同等以上の学力があると認められた者には、博士の学位を学長が授与する。ただし、心理学研究科に係る博士については、研究科課程が完成し、かつ、前条第2号による学位授与が行われた後これを行うものとする。

(学位記の様式)

第16条 学位記の様式は、別に定める。

(博士学位論文の公表)

第17条 博士の学位を授与された者は、当該博士の学位を授与された日から1年以内に、当該博士の学位の授与に係る論文の全文を公表するものとし、この場合には「久留米大学審査学位論文」と明記し

なければならない。ただし、当該博士の学位を授与される前に既に印刷公表したときは、この限りでない。

- 2 博士の学位を授与された者が行う前項の規定による公表は、インターネットの利用により行うものとする。

第7章 入学、再入学及び転入学

(入学資格)

第18条 比較文化研究科前期博士課程、心理学研究科前期博士課程、ビジネス研究科修士課程及び医学研究科修士課程に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。ただし、心理学研究科前期博士課程及びビジネス研究科修士課程については第8号を、医学研究科修士課程については、第9号及び第10号を適用しない。

学校教育法第83条に定める大学の卒業者

学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者

外国において、学校教育における16年の課程を修了した者

専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
文部科学大臣の指定した者

学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学させる本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの

本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したもの

学校教育法第83条に定める大学に3年以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）であって本研究科が定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの

外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者

我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

第18条の2 比較文化研究科後期博士課程及び心理学研究科後期博士課程に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

修士の学位又は専門職学位を有する者

外国において修士の学位又は専門職に相当する学位を授与された者

外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者

我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者

文部科学大臣の指定した者

本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、24歳に達したものの

第18条の3 医学研究科博士課程に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

大学（医学、歯学、獣医学又は修業年限が6年の薬学の学部）を卒業した者

外国において、学校教育法における18年の課程（最終の課程は医学、歯学、獣医学又は薬学）を修了した者

文部科学大臣の指定した者

本大学院において、個別の入学資格審査により、大学（医学、歯学、獣医学又は修業年限が6年の薬学の学部）を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で24歳に達した者

（入学の時期）

第19条 入学の時期は、毎学年の始めとする。ただし、医学研究科においては、教育上支障がない場合は、学年の途中においても入学を許可することができる。

（入学者の選抜）

第20条 入学者の選抜については、別に定める。

（入学の手続）

第21条 入学（再入学及び転入学を含む。）を許可された者は、別に定めるところにより入学の手続を行い、かつ、誓約書を提出しなければならない。

2 前項の規定に反した者に対しては、入学許可の取消しを行うことがある。

（再入学）

第22条 課程の途中において退学した者で、再び同一専攻に入学を志願する者には、退学後2年以内限り、これを許可することがある。

（転入学）

第23条 他大学院学生が本大学院に転入学しようとするときは、当該大学院設置の大学の学長又は所属研究科科長の紹介状を添え、学長に転入学願を提出しなければならない。

2 前項の願出があったときは、欠員ある場合に限り選考のうえ許可することがある。

第8章 休学、復学、転学及び退学

（休学）

第24条 学生は、次の場合学長の許可を得て、その学期又は学年を限り休学することができる。

病気のため引続き2カ月以上就学不能のとき。

その他特別の事由があるとき。

第25条 疾病その他の事由によって学習することが不相当と認められる場合には、学長は休学を命ずることができる。

第26条 休学の期間は、通算して研究科の修業年限を超えることができない。

2 休学期間は、在学年数に算入しない。

3 長期履修学生については、通算して2年を超えて休学することができない。

(復 学)

第27条 休学の期間満了の場合又は休学期間内であっても、その理由が消滅した場合には、学長の許可を得て復学することができる。

(転 学)

第28条 学生が他の大学院に転学しようとするときは、事由を具して、学生の所属する研究科科長を経て、学長に転学願を提出しなければならない。

(退 学)

第29条 学生が退学しようとするときは、事由を具して学長に願い出て、その許可を得なければならない。

第9章 納 入 金

(入学検定料)

第30条 入学、再入学及び転入学を志願する者は、入学検定料を納入しなければならない。

2 入学検定料の納入額及び納入の時期は、別表第5に定める。

(入 学 金)

第31条 入学、再入学及び転入学を許可された者は、入学金を納入しなければならない。(ただし、別に定める場合を除く。)

2 入学金の納入額及び納入の時期は、別表第5に定める。

(授 業 料)

第32条 学生は、授業料を納入しなければならない。(ただし、別に定める場合を除く。)

2 授業料の納入額及び納入の時期は、別表第5に定める。

3 長期履修学生の授業料の額は、標準修業年限で支払う額を長期履修学生の修業年限(3年又は4年)に平分して得た額とする。ただし、長期履修学生の修業年限を超えて在学する場合は別表第5による。

(教育充実料)

第32条の2 学生は、教育充実料を納入しなければならない。(ただし、別に定める場合を除く。)

2 教育充実料の納入額及び納入の時期は、別表第5に定める。

3 長期履修学生の教育充実料の額は、標準修業年限で支払う額を長期履修学生の修業年限(3年又は4年)に平分して得た額とする。ただし、長期履修学生の修業年限を超えて在学する場合は別表第5による。

(実験実習料)

第33条 学生(比較文化研究科及びビジネス研究科の学生は除く。)は、実験実習料を納入しなければならない。(ただし、別に定める場合を除く。)

2 実験実習料の納入額及び納入の時期は、別表第5に定める。

3 長期履修学生の実験実習料の額は、標準修業年限で支払う額を長期履修学生の修業年限(3年又は4年)に平分して得た額とする。ただし、長期履修学生の修業年限を超えて在学する場合は別表第5による。

(休学時在籍料)

第33条の2 学生は、休学中、別表第5に定める休学時在籍料を納入しなければならない。

(学納金の返還)

第34条 入学金、授業料その他の既納の学納金は返還しない。ただし、第14条第2項に該当する者で修士課程を1年以上2年未満、博士課程を3年以上4年未満で修了する者については、授業料及び実験実習料を月割りで返還する。

第10章 職員組織

(科長)

第35条 各研究科に科長をおく。

2 科長の選出については、別に定める。

(教員)

第35条の2 本大学院における授業及び研究指導は、その有資格者がこれを行う。

(事務員)

第36条 本大学院の事務を処理するため事務員若干名をおく。

第11章 運営組織

(研究科委員会)

第37条 各研究科に研究科委員会をおき、所属教授をもって組織する。ただし、必要ある場合には、准教授をこれに参加させることができる。

2 研究科委員会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり審議のうえ意見を述べるものとする。

学生の入学及び課程の修了に関する事項

学位の授与に関する事項

前2号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、研究科委員会の意見を聴くことが必要なものとして学長が別に定める事項

3 研究科委員会は、前項に規定するもののほか、学長及び研究科長等(以下「学長等」という。)がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。

4 研究科科長は、研究科委員会を招集し、その議長となる。

5 研究科委員会に関する規程は、別に定める。

第38条 削除

第39条 削除

第40条 削除

第12章 研究指導施設

(研究室、実験実習室)

第41条 本大学院に学生研究室及び実験実習室をおく。

2 学部及び研究所の施設は、必要に応じ、学生の研究及び指導のために用いる。

第13章 科目等履修生、委託生、外国人学生、研究生、特別聴講学生及び特別研究学生

(科目等履修生、委託生、外国人学生、研究生、特別聴講学生、特別研究学生)

第42条 本大学院に科目等履修生、委託生、外国人学生、研究生、特別聴講学生及び特別研究学生制度をおく。

2 前項に関する規定は、別に定める。

第14章 厚生保健施設

(厚生保健施設)

第43条 本大学学則第80条に掲げる厚生保健施設を大学院学生にも使用させる。

第15章 賞 罰

(表 彰)

第44条 人物及び学業の優秀な者は、表彰することがある。

(懲 戒)

第45条 この学則又はこれに基づき定められた学内諸規則に違反し、学生としての本分にもとる行為があった者は、懲戒する。懲戒は情状により戒告、停学及び退学とする。

2 懲戒退学は、次の各号の一に該当する者に対してこれを命ずる。

性行不良にして改善の見込みなしと認められる者

成業の見込みなしと認められる者

正当の理由なくして出席常でない者

学校の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

附 則

第1条 この規則は、昭和31年4月1日から施行する。ただし、第15条の規定は、第14条の規定による博士の学位の授与があった日から適用する。

第2条 この規則に定めるもののほか、本大学学則及び同共通細則の規定は大学院に準用する。

2 本大学学則及び共通細則をこの学則に準用する場合は、「学部長」を「研究科科长」と読みかえるものとする。

附 則

この規則は、昭和42年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、昭和43年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、昭和43年7月23日から施行し、昭和43年4月1日から適用する。

附 則（44.11.28）

この規則は、昭和45年4月1日から施行する。

附 則（45.8.25）

この規則は、昭和47年4月1日から施行する。

附 則（51.12.7）

この規則は、昭和51年12月7日から施行し、昭和51年4月1日から適用する。

附 則（52.2.8）

この規則は、昭和52年4月1日から施行する。

附 則（54.1.26）

この学則は、昭和54年4月1日から施行する。

附 則（56.12.25）

1 この学則は、昭和57年3月1日から施行する。

2 学則第30条、第31条及び第32条については、昭和56年度までの入学生には適用せず改正前の規定による。

附 則（59.7.27）

この学則は、昭和59年9月1日から施行する。

附 則（60.9.27）

この学則は、昭和61年4月1日から施行する。

附 則（61.1.24）

1 この学則は、昭和61年4月1日から施行する。

2 学則第31条及び第32条については、昭和60年度までの入学生には適用せず改正前の規定による。

附 則（62.2.27）

1 この学則は、昭和62年4月1日から施行する。

2 学則第32条及び第33条については、昭和61年度までの入学生には適用せず改正前の規定による。

附 則（63.1.29）

この学則は、昭和63年4月1日から施行する。

附 則（63.10.28）

この学則は、昭和64年4月1日から施行する。

附 則（1.3.24）

1 この学則は、平成元年4月1日から施行する。

2 入学金については、学則第31条第2項の定めにかかわらず、平成元年度入学者で平成元年3月31日までに入学の意思表示をした者には適用せず、改正前の規定による。

附 則（1.8.25）

この学則は、平成2年4月1日から施行する。

附 則（2.1.26）

- 1 この学則は、平成2年4月1日から施行する。
- 2 第32条第2項については、平成元年度までの入学生には適用せず、改正前の規定による。
附則(2.10.23)
この学則は、平成3年4月1日から施行する。
附則(3.3.22)
この学則は、平成3年4月1日から施行する。
附則(3.9.28)
この学則は、平成3年9月28日から施行し、同年7月1日から適用する。
附則(3.9.28)
この学則は、平成3年10月1日から施行する。
附則(3.12.20)
- 1 この学則は、平成4年4月1日から施行する。
- 2 学則第31条及び第32条については、平成3年度までの入学生には適用せず、改正前の規定による。
附則(4.3.27)
この学則は、平成4年4月1日から施行する。
附則(4.8.28)
この学則は、平成4年8月28日から施行する。
附則(5.10.29)
- 1 この学則は、平成6年4月1日から施行する。
- 2 学則第12条の2については、平成6年度入学生から適用する。
附則(5.12.24)
この学則は、平成6年4月1日から施行する。
附則(6.1.28)
- 1 この学則は、平成6年4月1日から施行する。
- 2 学則第31条及び第32条については、平成5年度までの入学生には適用せず、改正前の規定による。
附則(6.11.25)
この学則は、平成6年11月25日から施行する。
附則(6.11.25)
- 1 この学則は、平成7年4月1日から施行する。
- 2 学則第32条については、平成6年度までの入学生には適用せず、改正前の規定による。
附則(6.12.22)
この学則は、平成7年4月1日から施行する。
附則(7.2.24)
この学則は、平成7年4月1日から施行する。
附則(8.3.28)
- 1 この学則は、平成8年4月1日から施行する。
- 2 第12条の2については、平成8年度入学生から適用する。
附則(8.9.27)
この学則は、平成8年10月1日から施行する。

附 則 (8 . 12 . 20)

- 1 この学則は、平成9年4月1日から施行する。
- 2 学則第32条については、平成8年度までの入学生には適用せず、改正前の規定による。

附 則 (9 . 3 . 28)

この学則は、平成9年4月1日から施行する。

附 則 (10 . 1 . 30)

この学則は、平成10年4月1日から施行する。

附 則 (10 . 1 . 30)

この学則は、平成10年4月1日から施行する。

附 則 (10 . 3 . 27)

- 1 この学則は、平成10年4月1日から施行する。
- 2 第18条の3については、平成10年度入学生から適用する。

附 則 (11 . 1 . 29)

- 1 この学則は、平成11年4月1日から施行する。
- 2 学則第32条については、平成10年度までの入学生には適用せず、改正前の規定による。

附 則 (11 . 2 . 26)

この学則は、平成11年4月1日から施行する。

附 則 (11 . 7 . 23)

- 1 この学則は、平成12年4月1日から施行する。
- 2 学則第14条第2項及び第32条第2項については、平成11年度までの入学生には適用せず、改正前の規定による。

附 則 (12 . 2 . 25)

この学則は、平成12年4月1日から施行する。

附 則 (12 . 5 . 26)

- 1 この学則は、平成13年4月1日から施行する。
- 2 学則第8条の規定にかかわらず心理学研究科前期博士課程及び医学研究科修士課程については、平成13年度の学生の収容定員は、次の表のとおりとする。

年度	摘要	研 究 科	専 攻	収容定員
13		心 理 学 研 究 科	臨 床 心 理 学 専 攻	15
			人 間 行 動 心 理 学 専 攻	5
		医 学 研 究 科	医 科 学 専 攻	10

- 3 学則第8条の規定にかかわらず心理学研究科後期博士課程については、平成13年度及び平成14年度の学生の収容定員は、次の表のとおりとする。

年度	摘要	研 究 科	専 攻	収容定員
13		心 理 学 研 究 科	心 理 学 専 攻	5
14		心 理 学 研 究 科	心 理 学 専 攻	10

附 則 (13 . 2 . 23)

- 1 この学則は、平成13年4月1日から施行する。
- 2 学則第8条の規定にかかわらず比較文化研究科前期博士課程、心理学研究科前期博士課程・後期博士課程及び医学研究科修士課程・博士課程については、平成13年度から平成15年度までの学生の収容定員は、次の表のとおりとする。

年度	摘要	研究科名	専攻名	課程名	収容定員
13		比較文化研究科	比較文化専攻	前期博士課程	72名
			臨床心理学専攻	前期博士課程	15名
	心理学研究科		人間行動心理学専攻	前期博士課程	5名
			心理学専攻	後期博士課程	5名
			医学研究科	修士課程	10名
	医学研究科		生理学専攻	博士課程	43名
			病理系専攻	博士課程	35名
			社会医学系専攻	博士課程	21名
			内科系専攻	博士課程	52名
			外科系専攻	博士課程	70名
14	心理学研究科		心理学専攻	後期博士課程	10名
			医学研究科	修士課程	38名
	医学研究科		生理系専攻	博士課程	30名
			病理系専攻	博士課程	18名
			社会医学系専攻	博士課程	48名
			内科系専攻	博士課程	60名
15	医学研究科		生理系専攻	博士課程	33名
			病理系専攻	博士課程	25名
			社会医学系専攻	博士課程	15名
			内科系専攻	博士課程	44名
			外科系専攻	博士課程	50名

附則(13.9.28)

この学則は、平成14年4月1日から施行する。

附則(14.2.22)

この学則は、平成14年4月1日から施行する。

附則(14.3.22)

- 1 この学則は、平成14年4月1日から施行する。
- 2 学則第9条別表第3の1及び別表第3の2については、平成13年度までの入学生には適用せず、改正前の規定による。

附則(14.5.24)

- 1 この学則は、平成15年4月1日から施行する。
- 2 削除

附則(15.2.28)

この学則は、平成15年4月1日から施行する。

附 則 (15 . 9 . 26)

この学則は、平成15年10月1日から施行する。

附 則 (15 . 4 . 25)

この学則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則 (15 . 9 . 26)

- 1 この学則は、平成16年4月1日から施行する。
- 2 学則第8条の規定にかかわらず比較文化研究科後期博士課程及び医学研究科修士課程については、平成16年度及び平成17年度の学生の収容定員は、次の表のとおりとする。

年度	摘要	研究科名	専攻名	課程名	収容定員
16		比較文化研究科	比較文化専攻	後期博士課程	24名
		医学研究科	医科学専攻	修士課程	35名
17		比較文化研究科	比較文化専攻	後期博士課程	30名

附 則 (16 . 1 . 23)

この学則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則 (16 . 3 . 26)

この学則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則 (16 . 3 . 26)

- 1 この学則は、平成17年4月1日から施行する。
- 2 学則第8条の規定にかかわらずビジネス研究科修士課程については、平成17年度の学生の収容定員は、次の表のとおりとする。

年度	摘要	研究科名	専攻名	収容定員
17		ビジネス研究科	ビジネス専攻	12名

附 則 (17 . 9 . 24)

この学則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則 (17 . 1 . 28)

この学則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則 (17 . 1 . 28)

この学則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則 (18 . 1 . 27)

- 1 この学則は、平成18年4月1日から施行する。
- 2 学則第9条の別表第1の1及び別表第1の2の論文指導の単位数の改正及び九州アジア政策文化コースの廃止については、平成17年度までの入学生には適用せず、改正前の規定による。

附 則 (18 . 11 . 24)

この学則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則 (19 . 1 . 26)

- 1 この学則は、平成19年4月1日から施行する。

2 学則第9条の別表第1の2に係る保健・福祉社会文化コースのコース名称変更及び日本語教育学文化コースの一部科目のB類からA類への区分変更については、平成18年度までの入学生には適用せず、改正前の規定による。

3 学則第32条の2については、平成18年度までの入学生には適用せず、改正前の規定による。

附 則 (19.3.26)

この学則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則 (20.1.25)

この学則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則 (20.3.28)

1 この学則は、平成20年4月1日から施行する。

2 学則第9条の規定にかかわらず、医学研究科修士課程の平成19年度入学者のうち、臨床看護学群がん看護論がん看護専門看護師教育課程履修希望者については、以下のとおり科目を読み替えるものとする。

授業科目及び配当単位数（平成19年度入学者）			授業科目及び配当単位数（読替後）			
区 分	授 業 科 目	単位数	区 分	授 業 科 目	単位数	備 考
基礎科目	看 護 倫 理	2	共通科目	看 護 倫 理	2	
基礎科目	看 護 管 理 論	2	共通科目	看 護 研 究 方 法	2	
基礎科目	コンサルテーション論	2	共通科目	コンサルテーション論	2	
基礎科目	看 護 理 論	2	共通科目	看 護 理 論	2	
専門科目	が ん 看 護 論 〔 が ん と 免 疫 〕	2	専攻分野 共通科目	が ん と 治 療 学	2	がんと治療学、 がんと免疫を 整理統合した もの
特別科目	が ん と 治 療 学	2				
専門科目	が ん 看 護 論 〔 が ん 看 護 理 論 〕	2	専攻分野 共通科目	が ん 看 護 学 特 論	2	
特別科目	が ん 看 護 援 助 論	2	専攻分野 共通科目	が ん 看 護 援 助 論	2	
特別科目	が ん 化 学 療 法 に お け る 看 護 学	2	専攻分野 専攻科目	が ん 化 学 療 法 看 護 特 論	2	
特別科目	が ん タ ー ミ ナ ル 看 護 学	2	専攻分野 専攻科目	緩 和 ケ ア 特 論	2	
専門科目	臨 床 看 護 学 演 習 〔 が ん 看 護 〕	8	専攻分野 共通科目	が ん 看 護 援 助 論	2	臨床看護学演習〔がん看護〕 の2単位分
			専攻分野 専攻科目	が ん 看 護 学 課 題 研 究	2	臨床看護学演習2 単位分(臨地実習 と関連したもの)
特別科目	臨 床 看 護 学 実 践 演 習	8	専攻分野 専攻科目	が ん 看 護 学 課 題 研 究	2	臨床看護学演習2 単位分(臨地実習 と関連したもの)
			実習科目	が ん 看 護 学 実 習	4	
			実習科目	が ん 看 護 学 実 習	2	

附 則 (20 . 9 . 17)

この学則は、平成20年9月1日から施行する。

附 則 (20 . 4 . 25)

- 1 この学則は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 学則第8条の規定にかかわらず比較文化研究科前期博士課程については、平成21年度の学生の収容定員は、次の表のとおりとする。

年度	摘要	研究科名	専攻名	課程名	収容定員
21		比較文化研究科	比較文化専攻	前期博士課程	78名

附 則 (21 . 2 . 27)

この学則は、平成21年4月1日から施行する。

附 則 (21 . 6 . 26)

- 1 この学則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 学則第8条の規定にかかわらず医学研究科博士課程については、平成22年度から平成24年度までの学生の収容定員は、次の表のとおりとする。

年度	摘要	研究科名	専攻名	課程名	収容定員
22		医学研究科	生理系専攻	博士課程	25名
			病理系専攻	博士課程	18名
			社会医学系専攻	博士課程	17名
23		医学研究科	生理系専攻	博士課程	22名
			病理系専攻	博士課程	16名
			社会医学系専攻	博士課程	22名
24		医学研究科	生理系専攻	博士課程	19名
			病理系専攻	博士課程	14名
			社会医学系専攻	博士課程	27名

附 則 (21 . 11 . 27)

- 1 この学則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 学則第32条第2項、第32条の2第2項、第33条第2項の別表第5の授業料、教育充実料及び実験実習料については、平成21年度までの入学生には適用せず、改正前の規定による。
- 3 学則第33条の2については、平成21年度までの入学生には適用せず、改正前の規定による。

附 則 (22 . 2 . 26)

この学則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則 (23 . 2 . 25)

この学則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則 (23 . 3 . 24)

- 1 この学則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 第9条別表第1の1、別表第1の2、別表第1の3に係る改正については、平成22年度以前の入学生が改正された科目を既に履修修得している場合は、改正前の規定による。

附 則 (24. 2. 24)

この学則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則 (24. 4. 27)

この学則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則 (24. 3. 22)

この学則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則 (25. 2. 22)

この学則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則 (25. 3. 22)

この学則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則 (26. 1. 24)

この学則は、平成26年1月24日から施行し、平成25年4月1日から適用する。

附 則 (26. 2. 28)

この学則は、平成26年4月1日から施行する。

附 則 (26. 4. 25)

この学則は、平成26年4月25日から施行し、同年4月1日から適用する。

附 則 (27. 2. 27)

この学則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則 (27. 3. 27)

この学則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則 (28. 1. 22)

この学則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則 (28. 2. 26)

1 この学則は、平成28年4月1日から施行する。

2 学則第9条別表第4の1及び第4の2については、平成27年度までの入学生には適用せず、改正前の規定による。

附 則 (28. 2. 26)

この学則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則 (28. 7. 22)

この学則は、平成28年8月1日から施行する。

附 則 (28. 7. 22)

この学則は、平成29年4月1日から施行する。

附 則 (29. 2. 24)

1 この学則は、平成29年4月1日から施行する。

2 学則第9条別表第4の1及び第4の2については、平成28年度までの入学生には適用せず、改正前の規定による。

附 則 (29. 11. 24)

1 この学則は、平成30年4月1日から施行する。

2 学則第9条別表第2の1及び第2の2については、平成29年度までの入学生には適用せず、改正前

の規定による。

附 則 (29 . 12 . 22)

- 1 この学則は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 学則第9条別表第4の1については、平成29年度までの入学生には適用せず、改正前の規定による。

附 則 (30 . 12 . 27)

- 1 この学則は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 学則第8条の規定にかかわらず医学研究科修士課程については、平成31年度の学生の収容定員は、次の表のとおりとする。

年度	適用	研究科名	専攻名	収容定員
31		医学研究科	医科学専攻	18名
			総合生命科学・バイオ統計学専攻	8名

- 3 学則第9条の別表第4の1については、平成30年度までの入学生には適用せず、改正前の規定による。

附 則 (1 . 12 . 26)

- 1 この学則は、令和2年4月1日から施行する。
- 2 別表第2の1については、令和元年度以前入学生が改正された科目を既に履修修得している場合は、改正前の規定による。

附 則 (2 . 1 . 24)

この学則は、令和2年4月1日から施行する。

附 則 (2 . 3 . 27)

この学則は、令和2年4月1日から施行する。

附 則 (3 . 2 . 26)

- 1 この学則は、令和3年4月1日から施行する。
- 2 学則第9条別表第1の1、別表第1の2、別表第2の1及び別表第2の2については、令和2年度以前入学生が改正された科目を既に履修修得している場合は、改正前の規定による。

附 則 (3 . 2 . 26)

この学則は、令和3年4月1日から施行する。

附 則 (3 . 5 . 28)

- 1 この学則は、令和4年4月1日から施行する。
- 2 学則第9条別表第4の1については、令和3年度までの入学生には適用せず、改正前の規定による。

附 則 (4 . 2 . 25)

- 1 この学則は、令和4年4月1日から施行する。
- 2 学則第9条別表第2の1については、令和3年度以前入学生が改正された科目を既に履修修得している場合は、改正前の規定による。
- 3 学則第9条別表第2の2については、令和3年度以前入学生には適用せず、改正前の規定による。

附 則 (4 . 2 . 25)

- 1 この学則は、令和4年4月1日から施行する。
- 2 学則第9条別表第4の1については、令和3年度以前入学生が改正された科目を既に履修修得して

いる場合は、改正前の規定による。

附 則（４．２．25）

この学則は、令和５年４月１日から施行する。

附 則（５．２．24）

- 1 この学則は、令和５年４月１日から施行する。
- 2 学則第９条別表第１の２に係る欧米文化・言語教育学（英語・日本語）コースへのコース名称変更については、令和４年度以前の入学生には適用せず、改正前の規定による。
- 3 学則第９条別表第２の１及び別表第２の２については、令和４年度以前入学生が改正された科目を既に履修修得している場合は、改正前の規定による。

附 則（５．２．24）

この学則は、令和５年４月１日から施行する。

附 則（６．２．22）

- 1 この学則は、令和６年４月１日から施行する。
- 2 学則第９条別表第４の２については、令和５年度以前入学生が改正された科目を既に履修修得している場合は、改正前の規定による。

附 則（７．１．24）

- 1 この学則は、令和７年４月１日から施行する。
- 2 学則第９条別表第４の１及び４の２については、令和６年度以前入学生が改正された科目を既に履修修得している場合は、改正前の規定による。

別表第1の1（第9条関係）

比較文化研究科前期博士課程（比較文化専攻）総合文化コース

授業科目及び配当単位数					
	授業科目区分		授業科目区分		
	授業科目	単位数	授業科目	単位数	
基礎科目	人文科学方法論特講	2	文化構造機能論特講		
	人文科学方法論特講	2		中世日本文学研究	4
	社会科学方法論特講	2		中世日本文学研究	4
	社会科学方法論特講	2		近世日本文学研究	4
	情報科学方法論特講	2		近世日本文学研究	4
	情報科学方法論特講	2		近代日本文学研究	4
専門科目 （文化理論研究領域）	文化構造機能論特講			近代日本文学研究	4
	中国文学思想研究	4		近現代日本文学研究	4
	中国文学思想研究	4		近現代日本文学研究	4
	古文書学研究	4		日本語方言論研究	4
	古文書学研究	4		日本語方言論研究	4
	人文地理学研究	4		日本比較文学研究	4
	人文地理学研究	4		日本比較文学研究	4
	文化財情報管理論研究	4		法文化論特講	
	文化財情報管理論研究	4		比較法哲学研究	4
	文化財保存管理学研究	4		比較法哲学研究	4
	文化財保存管理学研究	4		比較憲法研究	4
	文化構造機能論特講			比較憲法研究	4
	日本史学研究	4	比較法医学研究	4	
	日本史学研究	4	比較法医学研究	4	
	東洋史学研究	4	比較民法研究 A	4	
	東洋史学研究	4	比較民法研究 B	4	
	中国社会史研究	4	比較民法研究 C	4	
	中国社会史研究	4	比較民法研究 A	4	
	比較宗教史学研究	4	比較民法研究 B	4	
	比較宗教史学研究	4	比較民法研究 C	4	
	文化構造機能論特講		比較民法研究 C	4	
	日本漢詩文研究	4	比較民事法研究	4	
	日本漢詩文研究	4	比較民事法研究	4	
	日本語学研究	4	比較民事訴訟法研究	4	
	日本語学研究	4	比較民事訴訟法研究	4	
	言語文化構造論研究	4	比較刑法研究	4	
	言語文化構造論研究	4	比較刑法研究	4	
	古代日本語研究	4	比較刑事訴訟法研究	4	
	古代日本語研究	4	比較刑事訴訟法研究	4	
	上代日本文学研究	4	比較商法研究	4	
上代日本文学研究	4	比較商法研究	4		
中古日本文学研究	4	比較会社法研究	4		
中古日本文学研究	4	比較会社法研究	4		
		比較税法研究	4		

授業科目及び配当単位数						
授業科目区分		単位数	授業科目区分			
授業科目			授業科目			
専門科目 (文化理論研究領域)	法文化論特講		専門科目 (文化理論研究領域)	経済機能論特講		
	比較税法研究	4		経済統計論研究 B	4	
	比較行政法研究	4		流通システム論研究	4	
	比較行政法研究	4		流通システム論研究	4	
	比較社会保障法研究	4		国際貿易論研究	4	
	比較社会保障法研究	4		国際貿易論研究	4	
	比較知的財産法研究	4		非営利組織研究	4	
	比較知的財産法研究	4		非営利組織研究	4	
	比較労働法研究	4		オペレーションズリサーチ研究	4	
	比較労働法研究	4		オペレーションズリサーチ研究	4	
	政治文化論特講			ミクロ経済学研究	4	
	理論政治学研究	4		マクロ経済学研究	4	
	理論政治学研究	4		金融論研究	4	
	日本政治思想史研究	4		金融論研究	4	
	日本政治思想史研究	4		国際金融論研究	4	
	西洋政治思想史研究	4		国際金融論研究	4	
	西洋政治思想史研究	4		東南アジア経済論研究	4	
	東洋政治思想史研究	4		東南アジア経済論研究	4	
	東洋政治思想史研究	4		財政学研究	4	
	比較政治論研究	4		財政学研究	4	
	比較政治論研究	4		総合理論経済学研究	4	
	東アジア政治史研究	4		総合理論経済学研究	4	
	東アジア政治史研究	4		経済史特講		
	国際政治史研究	4		比較経済史研究	4	
	国際政治史研究	4		比較経済史研究	4	
	国際政治理論研究	4		中国財政史研究	4	
	国際政治理論研究	4		中国財政史研究	4	
	平和学研究	4		中国財政史研究	4	
	平和学研究	4		西欧経済史研究	4	
	環境政治論研究	4		西欧経済史研究	4	
	環境政治論研究	4		環境論特講		
	国際関係研究	4		環境学分野	環境政策研究	4
	経済機能論特講				環境政策研究	4
	理論経済学研究	4			環境法研究	4
	理論経済学研究	4			環境経済学研究	4
	経済政策研究	4			環境経済学研究	4
	経済政策研究	4			地球環境政治論研究	4
	国際経済論研究	4			環境アセスメント研究	4
	国際経済論研究	4			環境リスク論研究	4
	経済統計論研究	4			環境文化論研究	4
	経済統計論研究	4			地域環境論研究	4
経済統計論研究 B	4	自然環境論研究	4			
		環境エネルギー論研究	4			

授業科目及び配当単位数						
授業科目区分		単位数	授業科目区分			
授業科目			授業科目			
専門科目 (文化理論研究領域)	環境論特講		専門科目 (文化理論研究領域)	ソーシャルワーク研究	4	
	環境学分野	環境教育論研究		4	家族政策論研究	4
		環境福祉学研究		4	家族政策論研究	4
		アジア地域環境論研究		4	高齢者保健福祉研究	4
		アジア地域環境論研究		4	高齢者保健福祉研究	4
		都市社会地理学研究		4	公的扶助研究	4
	地理学分野	都市社会地理学研究		4	公的扶助研究	4
		経済地理学研究		4	福祉社会学研究	4
		経済地理学研究		4	福祉社会学研究	4
		地理情報システム研究		4	家族社会学研究	4
		環境地理学研究		4	家族社会学研究	4
		環境地理学研究		4	ジェンダー論研究	4
		観光地理学研究		4	ジェンダー論研究	4
		観光地理学研究		4	都市社会学研究	4
		地誌学研究		4	都市社会学研究	4
		地誌学研究		4	社会構造論研究	4
		地誌学研究		4	社会構造論研究	4
		地理学野外研究		2	産業社会学研究	4
		地理学野外研究		2	産業社会学研究	4
		歴史地理学研究		2	環境社会学研究	4
		歴史地理学研究		2	環境社会学研究	4
	保健医療分野	精神保健学研究		4	計量社会学研究	4
		精神保健学研究		4	計量社会学研究	4
		精神医学研究		4	数理科学方法論研究	4
		精神医学研究		4	政治社会学研究	4
		生理心理学研究		4	数理情報処理研究	4
		生理心理学研究		4	社会学研究	4
		精神科リハビリテーション		4		
	保健福祉機能論特講	精神保健福祉論研究		4	日本文化構造機能論特講	
		地域保健学研究		4	日本思想史研究	4
		地域保健学研究		4	日本思想史研究	4
		社会福祉学研究		4	対照日本語学研究	4
		社会福祉学研究		4	対照日本語学研究	4
		家族福祉論研究		4	日本法・政治文化論特講	
		家族福祉論研究		4	日本現代政治史研究	4
		老人福祉論研究		4	日本現代政治史研究	4
		老人福祉論研究		4	日本法医学研究	4
		児童福祉論研究		4	日本法医学研究	4
		医療福祉論研究		4	日本経済・企業機能論特講	
		地域福祉論研究		4	日本経済史研究	4
地域福祉論研究		4	日本経済史研究	4		
社会福祉分野	学校ソーシャルワーク研究	4	アジア中東地域文化特講			
			中国思想史研究	4		

授業科目及び配当単位数					
授業科目区分		単位数	授業科目区分		
授業科目			授業科目		
専門科目 (地域文化研究領域)	アジア中東地域文化特講		専門科目 (地域文化研究領域)	欧米地域文化特講	
	中国思想史研究	4		EU 経済研究	4
	中国文学史研究	4		EU 経済研究	4
	中国文学史研究	4		EU 政治研究	4
	中国政治史研究	4		EU 政治研究	4
	中国政治史研究	4		イギリス文学研究	4
	東アジア地域政治研究	4		イギリス文学研究	4
	中国現代政治外交史研究	4		世界演劇研究	4
	中国現代政治外交史研究	4		世界演劇研究	4
	中近東文化研究	4		世界英語文学研究	4
	中近東文化研究	4		世界英語文学研究	4
	中近東政治研究	4		英語教育・教育行政研究	4
	中近東政治研究	4		英語教育・教育行政研究	4
	ASEAN 研究	4		言語習得研究	4
	ASEAN 研究	4		言語習得研究	4
	イスラエル文化研究	4		アメリカ政治研究	4
	イスラエル文化研究	4		アメリカ政治研究	4
	朝鮮政治史研究	4		ラテンアメリカ地域研究	4
	朝鮮政治史研究	4	古代ローマ史研究	4	
	欧米地域文化特講		書科	古代ローマ史研究	4
フランス経済史研究	4	論文指導		1	
ドイツ・オーストリア政治研究	4	論文指導		2	
ドイツ・オーストリア政治研究	4				

別表第1の2（第9条関係）

比較文化研究科前期博士課程（比較文化専攻）専修文化コース

授業科目及び配当単位数						
	授業科目区分		授業科目区分	単位数		
	授業科目	単位数			授業科目	単位数
法文化コース	基礎科目	憲法特講	4	理論・思想研究	理論政治学特講	4
		憲法特講	4		理論政治学特講	4
		民法特講 A	4		西洋政治思想特講	4
		民法特講 B	4		西洋政治思想特講	4
		民法特講 C	4		日本政治思想特講	4
		民法特講 A	4		日本政治思想特講	4
		民法特講 B	4		東洋政治思想特講	4
		民法特講 C	4		東洋政治思想特講	4
		民事法特講	4		国際政治理論特講	4
		民事法特講	4		国際政治理論特講	4
		商法特講	4		比較政治論特講	4
		商法特講	4		比較政治論特講	4
		会社法特講	4		平和学特講	4
		会社法特講	4		平和学特講	4
		刑法特講	4		地球環境政治論特講	4
		刑法特講	4		政治思想史特講	4
	民事訴訟法特講	4	政治思想史特講	4		
	民事訴訟法特講	4	政治社会学特講	4		
	刑事訴訟法特講	4	数理情報処理特講	4		
	刑事訴訟法特講	4	日本政治外交史特講	4		
	行政法特講	4	日本政治外交史特講	4		
	行政法特講	4	現代日本政治史特講	4		
	法哲学特講	4	現代日本政治史特講	4		
	法哲学特講	4	朝鮮政治史特講	4		
	特殊研究科目	税法特講	4	政治史研究	朝鮮政治史特講	4
		税法特講	4		中国政治外交史特講	4
		労働法特講	4		中国政治外交史特講	4
		労働法特講	4		東アジア政治史特講	4
		国際関係特講	4		東アジア政治史特講	4
		国際法特講	4		国際政治史特講	4
		国際法特講	4		国際政治史特講	4
		社会保障法特講	4		地域政治研究	アジア地域政治特講
社会保障法特講		4	アメリカ地域政治特講			4
法医学特講		4	アメリカ地域政治特講			4
法医学特講		4	中近東地域政治特講			4
日本法医学特講		4	中近東地域政治特講			4
日本法医学特講		4	アフリカ地域政治特講			4
知的財産法特講		4	アフリカ地域政治特講			4
知的財産法特講		4	スラヴ地域政治特講			4

授業科目及び配当単位数								
授業科目区分		単位数	授業科目区分		単位数			
						授業科目		
政治文化コース	地域政治研究	スラヴ地域政治特講	4	経済文化コース	経済機能論	ツーリズム特講	4	
		ヨーロッパ地域政治特講	4			ツーリズム特講	4	
		ヨーロッパ地域政治特講	4			財政学特講	4	
		EU 政治特講	4			財政学特講	4	
		ASEAN 政治特講	4		経済史・歴史	西洋経済史特講	4	
		ASEAN 政治特講	4			西洋経済史特講	4	
		イスラム政治特講	4			日本経済史特講	4	
		イスラム政治特講	4			日本経済史特講	4	
		イスラム政治特講	4			中国経済史特講	4	
経済文化コース	理論経済	理論経済学特講	4	日本・東アジア・イスラム文化コース	A類	中国経済史特講	4	
		理論経済学特講	4			日本思想史特講	4	
		理論経済学特講	4			日本思想史特講	4	
	経済統計	経済統計論特講	4			日本漢詩文特講	4	
		経済統計論特講	4			日本漢詩文特講	4	
		経済統計論特講 B	4			近代日本文学特講	4	
		経済統計論特講 B	4			近代日本文学特講	4	
		経済地理学特講	4			近現代日本文学特講	4	
		経済地理学特講	4			近現代日本文学特講	4	
	経済機能論	イギリス経済論特講	4			日本・イスラム比較文化特講	4	
		イギリス経済論特講	4			日本・イスラム比較文化特講	4	
		文化教育行財政特講	4			朝鮮政治史特講	4	
		文化教育行財政特講	4		朝鮮政治史特講	4		
		文化経済論特講	4		中国文学史特講	4		
		文化経済論特講	4		中国文学史特講	4		
		環境政策特講	4		イスラム文化特講	4		
		環境政策特講	4		イスラム文化特講	4		
		非営利組織特講	4		中近東政治特講	4		
		非営利組織特講	4		中近東政治特講	4		
		経済機能論	国際経済論特講		4	英米文化・言語教育学(英語・日本語)コース	イギリス文化論特講	4
	国際経済論特講		4		イギリス文化論特講		4	
	オペレーションズリサーチ特講		4		イギリス小説特講		4	
	オペレーションズリサーチ特講		4		イギリス小説特講		4	
	ミクロ経済学特講		4		イギリス詩特講		4	
	マクロ経済学特講		4		イギリス詩特講		4	
	経済政策特講		4		イギリス批評特講		4	
	経済政策特講		4		イギリス批評特講		4	
	経済機能論		アジア地域環境論特講		4		アメリカ文化論特講	4
			アジア地域環境論特講		4		アメリカ文化論特講	4
			国際貿易論特講		4		アメリカ小説特講	4
国際貿易論特講			4	アメリカ小説特講	4			
東南アジア経済論特講			4	イギリス思想特講	4			
東南アジア経済論特講			4	イギリス思想特講	4			

授業科目及び配当単位数							
	授業科目区分		単位数	授業科目区分			
	授業科目			授業科目	単位数		
英米文化・言語教育学（英語・日本語）コース	A類	イギリス歴史特講	4	健康文化コース	健康行動・トレーニング論特講	4	
		イギリス歴史特講	4		身体動作論特講	4	
		日英社会構造比較特講	4		運動処方論特講	4	
		日英社会構造比較特講	4		健康度情報論特講	2	
		世界演劇論特講	4		運動コンディショニング論特講	2	
		世界演劇論特講	4		運動障害論特講	4	
		世界英語文学特講	4		アスレティック・リハビリテーション論特講	4	
		世界英語文学特講	4		バイオメカニクス特講	4	
		古代ローマ史特講	4		機能解剖学特講	4	
		古代ローマ史特講	4		健康心理学特講	2	
	B類	英語音声学特講	4	保健福祉社会学コース	健康文化・スポーツ医学	スポーツ・カウンセリング論特講	4
		英語音声学特講	4		伝統医学論特講（漢方）	2	
		英語統語論特講	4		伝統医学論特講（食養）	2	
		英語統語論特講	4		生涯スポーツ経営論特講	2	
		英語意味論特講	4		保健医療分野	精神保健学特講	4
		英語意味論特講	4			精神保健学特講	4
		英語教育・教育行政学特講	4			精神科リハビリテーション学特講	4
		英語教育・教育行政学特講	4			精神科リハビリテーション学特講	4
		対照言語学特講	4			医療心理学特講	4
		対照言語学特講	4			医療心理学特講	4
	第2言語習得機構	4	精神保健福祉論特講	4			
	言語教授法機構	4	障害心理学特講	4			
	研究方法論特講	4	地域保健学特講	4			
	日本語教育方法論特講	4	地域保健学特講	4			
	C類	日本語構造論特講	4	社会福祉分野	社会福祉学特講	4	
		日本語教授法実習	4		社会福祉学特講	4	
		日本語音声学特講	4		社会福祉援助技術特講	4	
		社会言語学特講	4		障害者福祉論特講	4	
		量的研究方法論特講	4		児童福祉論特講	4	
		言語テスト特講	4		家族福祉論特講	4	
	D類	異文化コミュニケーション特講	4	社会福祉社会学コース	家族福祉論特講	4	
		異文化コミュニケーション特講	4		老人福祉論特講	4	
		フランス文学特講	4		老人福祉論特講	4	
		フランス文学特講	4		地域福祉論特講	4	
		フランス歴史特講	4		地域福祉論特講	4	
	健康文化コース	健康科学	フランス歴史特講	4	社会福祉分野	医療福祉論特講	4
運動生理学特講			4	学校ソーシャルワーク特講		4	
運動生化学特講			2	家族政策論特講		4	
運動細胞生物学特講			2	家族政策論特講		4	
身体構成学特講			4	高齢者保健福祉論特講		4	
健康栄養学特講			2	公的扶助特講		4	
				公的扶助特講	4		

授業科目及び配当単位数						
	授業科目区分		単位数	授業科目区分		
	授業科目			授業科目	単位数	
保健福祉社会学コース	社会学分野	人間形成論特講	4	環境コース	地球環境政治論特講	4
		人間形成論特講	4		自治体環境行政法特講	2
		福祉社会学特講	4		企業環境法特講	2
		家族社会学特講	4		環境アセスメント制度特講	2
		ジェンダー論特講	4		環境アセスメント制度特講	2
		ジェンダー論特講	4		地理情報システム特講	4
		都市社会学特講	4		環境リスク論特講	4
		都市社会学特講	4		環境マネジメント特講	4
		計量社会学特講	4		地域環境保全論特講	4
		計量社会学特講	4		地域環境論特講	4
	社会学分野	理論社会学特講	4		自然環境論特講	4
		理論社会学特講	4		環境エネルギー論特講	4
		文献調査法特講	4		環境教育特講	4
		文献調査法特講	4		非営利組織特講	4
		産業社会学特講	4		アジア地域環境論特講	4
		産業社会学特講	4		アジア地域環境論特講	4
		政治社会学特講	4		環境経済論特講	4
		数理情報処理特講	4		環境経済論特講	4
		社会学研究特講	4		環境福祉学特講	4
地理科学文化コース	経済地理学特講	4	地域社会・経済コース	ミクロ経済学特講	4	
	経済地理学特講	4		ミクロ経済学特講	4	
	人文地理学特講	4		マクロ経済学特講	4	
	人文地理学特講	4		マクロ経済学特講	4	
	都市社会地理学特講	4		経済政策特講	4	
	都市社会地理学特講	4		経済開発特講	4	
	地理情報システム特講	4		金融論特講	4	
	地理学野外調査	2		国際貿易論特講	4	
	地理学野外調査	2		国際経済論特講	4	
	歴史地理学特講	2		国際金融論特講	4	
	歴史地理学特講	2		ジェンダー経済論特講	4	
	環境政策特講	4		筑後川流域社会経済論特講	4	
	環境政策特講	4		日本経済論特講	4	
	環境地理学特講	4		日本经济社会論特講	4	
	環境地理学特講	4		西洋経済史特講	4	
	観光地理学特講	4		ヨーロッパ社会経済論特講	4	
	観光地理学特講	4		イギリス社会経済論特講	4	
	地誌学特講	4		スウェーデン社会経済論特講	4	
	地誌学特講	4		フィリピン社会経済論特講	4	
	地誌学特講	4		東南アジア社会経済論特講	4	
環境コース	環境文化論特講	4	イスラム社会経済論特講	4		
	環境政策特講	4	ジェンダー社会論特講	4		
	環境政策特講	4	福祉社会論特講	4		

授業科目及び配当単位数							
	授業科目区分		単位数	授業科目区分		単位数	
	授業科目			授業科目			
経済コース 地域社会・	東南アジア経済論特講		4	経済コース 地域社会・	文化財保存管理論特講		4
	スペイン社会経済論特講		4		文化財保存管理論特講		4
	ラテンアメリカ社会経済論特講		4		論文指導		1
	文化財情報管理論特講		4		論文指導		2
	文化財情報管理論特講		4				

別表第1の3（第9条関係）

比較文化研究科後期博士課程（比較文化専攻）

授業科目及び配当単位数				
授業科目区分		単位数	授業科目区分	
授業科目			授業科目	
文化構造機能論研究系			法文化論研究系	
文化構造機能論特研			法文化論特研	
比較宗教文化学特別研究	4		比較税法特別研究	4
中国文学思想特別研究	4		政治文化論研究系	
人文地理学特別研究	4		政治文化論特研	
文化構造機能論特研			比較行政法特別研究	4
日本史学特別研究	4		理論政治学特別研究	4
日本漢文学史特別研究	4		政治思想史特別研究	4
中国思想史特別研究	4		西洋政治思想特別研究	4
東洋史学特別研究	4		日本現代政治史特別研究	4
中国社会史特別研究	4		東アジア地域政治特別研究	4
中国文学史特別研究	4		ドイツ・オーストリア政治特別研究	4
中国政治史特別研究	4		比較政治論特別研究	4
朝鮮政治史特別研究	4		国際政治理論特別研究	4
文化構造機能論特研			アメリカ政治特別研究	4
イギリス小説特別研究	4		EU 政治特別研究	4
イギリス詩特別研究	4		中近東政治特別研究	4
イギリス批評特別研究	4		ASEAN 政治特別研究	4
世界演劇論特別研究	4		朝鮮現代政治史特別研究	4
世界英語文学特別研究	4		経済機能論研究系	
古代ローマ史特別研究	4		経済機能論特研	
言語習得特別研究	4		理論経済学特別研究	4
日本漢詩文特別研究	4		比較経営論特別研究	4
日本思想史特別研究	4		経済統計論特別研究	4
日本言語学特別研究	4		商業論特別研究	4
言語文化構造論特別研究	4		流通経済論特別研究	4
古代日本語特別研究	4		証券経済論特別研究	4
上代日本文学特別研究	4		経営戦略論特別研究	4
中古日本文学特別研究	4		管理会計史特別研究	4
中世日本文学特別研究	4		韓国経済特別研究	4
近世日本文学特別研究	4		日本経済史特別研究	4
近現代日本文学特別研究	4		中国財政史特別研究	4
法文化論研究系			西欧経済史特別研究	4
法文化論特研			比較経済史特別研究	4
比較法哲学特別研究	4		社会科学方法論特別研究	4
比較憲法特別研究	4		経済政策特別研究	4
比較民法特別研究	4		国際ビジネス論特別研究	4
比較民事法特別研究	4		マーケティング論特別研究	4
比較刑法特別研究	4		人的資源管理論特別研究	4

授業科目及び配当単位数				
授業科目区分		単位数	授業科目区分	
授業科目			授業科目	
経済機能論研究系			保健福祉機能論特研	
経済機能論特研			家族福祉論特別研究	4
	資本金論特別研究	4	家族政策論特別研究	4
	オペレーションズ・リサーチ特別研究	4	老人福祉論特別研究	4
	総合理論経済学特別研究	4	地域福祉論特別研究	4
	原価計算論特別研究	4	精神医学特別研究	4
	会計監査論特別研究	4	精神保健学特別研究	4
	経営学史特別研究	4	福祉社会論特別研究	4
	国際金融論特別研究	4	ソーシャルワーク特別研究	4
環境論研究系			社会構造論特別研究	4
環境論特研			都市社会学特別研究	4
	環境政策特別研究	4	計量社会学特別研究	4
	環境法特別研究	4	数理科学方法論特別研究	4
	環境経済学特別研究	4	高齢者保健福祉特別研究	4
	環境アセスメント特別研究	4	論文指導	4
	環境リスク論特別研究	4		
	環境福祉学特別研究	4		
	環境教育論特別研究	4		
	地域環境論特別研究	4		
	都市社会地理学特別研究	4		
	経済地理学特別研究	4		
	地理学野外特別研究	2		
	地誌学特別研究	4		

別表第2の1（第9条関係）

心理学研究科前期博士課程（臨床心理学専攻）

授業科目及び配当単位数					
	授業科目区分	単位数	授業科目区分	単位数	
	授業科目		授業科目		
基礎科目	臨床心理学特論	4	専門	心の健康教育に関する理論と実践（健康心理学特論）	2
	臨床心理面接特論	4		健康心理学研究特論	2
	臨床心理査定演習（心理的アセスメントに関する理論と実践）	2		健康心理学研究特論	2
	臨床心理査定演習	2		健康心理学研究特論	2
	臨床心理基礎実習	2		健康心理学研究特論	2
	心理実践実習	2		投映法特論	2
	臨床心理実習（心理実践実習）	2		福祉分野に関する理論と支援の展開（障害者（児）心理学特論）	2
	臨床心理実習	2		臨床薬理学特論	2
専門	心理実践実習	2	科目	心理支援に関する理論と実践（心理療法特論）	2
	心理実践実習	2		教育分野に関する理論と支援の展開（学校臨床心理学特論）	2
	臨床心理面接実習	4		キャリアカウンセリングの理論と実際	2
	心理学研究法特論（研究倫理を含む）	2		小児科学	2
	心理統計解析特論	2		行動療法特論	2
	心理統計解析特論	2		保健医療分野に関する理論と支援の展開（神経生理学特論）	2
	臨床心理学研究特論	2		臨床心理地域援助特論	2
	臨床心理学研究特論	2		産業・労働分野に関する理論と支援の展開	2
	臨床心理学研究特論	2		知覚心理学特論	2
	家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践（家族心理学特論）	2		目	論文指導
発達心理学特論	2	論文指導	4		
認知心理学特論	2	論文指導	2		
教育心理学特論	2	論文指導	2		
教育心理学特論	2	論文指導	4		
科目	司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開（犯罪心理学特論）	2			
	社会心理学特論	2			

別表第2の2（第9条関係）

心理学研究科前期博士課程（人間行動心理学専攻）

授業科目及び配当単位数					
	授業科目区分		授業科目区分	単位数	
	授業科目	単位数			授業科目
基礎科目	心理学研究法特論(研究倫理を含む)	2	専門科目	認知心理学特論	2
	心理統計解析特論	2		認知心理学研究特論	2
	心理統計解析特論	2		認知心理学研究特論	2
専門科目	人間行動心理学研究 A	2		認知心理学研究特論	2
	人間行動心理学研究 B	2		認知心理学研究特論	2
	人間行動心理学研究 A	2		知覚心理学特論	2
	人間行動心理学研究 B	2		知覚心理学研究特論	2
	人間行動心理学研究 A	2		知覚心理学研究特論	2
	人間行動心理学研究 B	2		知覚心理学研究特論	2
	発達心理学特論	2		知覚心理学研究特論	2
	発達心理学研究特論	2	キャリアカウンセリングの理論と実際	2	
	発達心理学研究特論	2	行動療法特論	2	
	発達心理学研究特論	2	その他の科目	福祉分野に関する理論と支援の展開(障害者(児)心理学特論)	2
	社会心理学特論	2		臨床薬理学特論	2
	社会心理学研究特論	2		保健医療分野に関する理論と支援の展開(精神医学特論)	2
	社会心理学研究特論	2		教育分野に関する理論と支援の展開(学校臨床心理学特論)	2
	社会心理学研究特論	2		論文指導	4
	教育心理学特論	2		論文指導	4
	教育心理学研究特論	2		論文指導	2
	教育心理学研究特論	2	論文指導	2	
教育心理学研究特論	2	論文指導	4		

別表第2の3（第9条関係）

心理学研究科後期博士課程（心理学専攻）

（平成31年度以前入学生適用）

授業科目及び配当単位数				
	授業科目区分	単位数	授業科目区分	単位数
	授業科目		授業科目	
人間行動心理・臨床心理	認知心理学特別研究	4	論文指導	4
	社会心理学特別研究	4	論文指導	4
	発達心理学特別研究	4	論文指導	4
	教育心理学特別研究	4		
	心理学研究法特別研究	4		
	健康心理学特別研究	4		
	臨床心理学特別研究	4		
	臨床心理学特別研究	4		
	臨床心理学特別研究	4		
	精神医学特別研究	4		
	心理学研究推進特別研究	4		

（令和2年度以降入学生適用）

授業科目及び配当単位数				
	授業科目区分	単位数	授業科目区分	単位数
	授業科目		授業科目	
人間行動心理・臨床心理	認知心理学特別研究	2	論文指導	4
	認知心理学特別研究	2	論文指導	4
	社会心理学特別研究	2	論文指導	4
	社会心理学特別研究	2		
	発達心理学特別研究	2		
	発達心理学特別研究	2		
	教育心理学特別研究	2		
	教育心理学特別研究	2		
	心理学研究法特別研究	2		
	心理学研究法特別研究	2		
	健康心理学特別研究	2		
	健康心理学特別研究	2		
	臨床心理学特別研究A	2		
	臨床心理学特別研究A	2		
	臨床心理学特別研究B	2		
	臨床心理学特別研究B	2		
	臨床心理学特別研究C	2		
	臨床心理学特別研究C	2		
	臨床心理学特別研究D	2		
	臨床心理学特別研究D	2		
	精神医学特別研究	2		
	精神医学特別研究	2		
心理学研究推進特別研究	2			
心理学研究推進特別研究	2			

別表第3 (第9条関係)

ビジネス研究科修士課程 (ビジネス専攻)

授業科目及び配当単位数				
授業科目区分		単位数	授業科目区分	
授業科目			授業科目	
基礎科目			アカウンティングコース	
商学	2	簿記原理	4	
経営学	2	財務諸表論	4	
会計学	2	財務会計論	4	
基礎情報科学	2	会計情報論	4	
会社法	2	キャッシュフロー会計論	4	
演習		管理会計論	4	
演習 (研究指導)	4	管理会計史	4	
演習 (論文指導)	4	原価計算論	4	
演習 (研究指導)	2	国際会計論	4	
演習 (研究指導)	2	知財会計論	4	
演習 (研究指導)	2	経営分析論	4	
演習 (論文指導)	2	会計監査論	4	
マネジメントコース		原価企画論	4	
経営管理論	4	原価管理論	4	
経営診断論	4	税務会計論	4	
経営組織論	4	法人税法	4	
経営財務論	4			
経営史	4			
交通論	4			
証券市場論	4			
人的資源管理論	4			
商業論	4			
マーケティング論	4			
国際マーケティング論	4			
流通システム論	4			
保険論	4			
国際物流論	4			
経営戦略論	4			
経営情報システム論	4			
IT ビジネス論	4			
ロジスティックス論	4			
イノベーションマネジメント論	4			
NPO 経営論	4			
地域産業論	4			
国際ビジネス論	4			
比較経営論	4			
金融論	4			
経営科学論	4			
経営政策論	4			
サービスビジネス論	4			
観光ビジネス論	4			

別表第4の1(第9条関係)

医学研究科修士課程

		授業科目区分		単位数				授業科目区分		単位数		
		授業科目		講	演 実			授業科目		講	演 実	
基礎科目		人体構造学		2		感染症看護分野	専攻分野専門科目	感染制御学特論		2		
		人体機能学		2				感染看護学特論		2		
		臨床医学概論		2				感染看護学特論		2		
		社会医学概論		1				感染看護学特論		1		
		物理学特論		1				感染看護学特論		1		
		生物学特論		1				感染看護学特論		2		
		化学特論		1				感染看護学特論		2		
		医学教育学		4				感染症看護援助論		2		
		生命倫理		1				感染症看護援助論		2		
		臨床遺伝学		1				感染看護学特別研究		1		
		移植医学		1				感染看護学特別研究		3		
		リハビリテーション医学		1				感染看護学実習			2	
		医学工学概論		1				感染看護学実習			4	
		実験動物学		1				感染看護学実習			4	
		看護理論		2			国際感染看護学実習			2		
		看護倫理		2			国際感染看護学実習			4		
		コンサルテーション論		2			老年看護分野	共通科目	老年看護学特論		2	
		先端的・分野特異的研究手法体験ユニット		2					老年看護学特論		2	
		大学院セミナーシリーズ		1					老年看護学特論		2	
		看護研究方法		2					老年看護学特論		2	
		看護政策論		2					高齢者病態治療学		2	
		バイオ統計基礎ユニット		1					老年看護学演習		2	
		バイオ統計応用ユニット		2					老年看護学演習		2	
		知的財産権論		2				専門科目	老年看護学特別研究		4	
		臨床研究入門		2					科目実習	老年看護学実習		2
		臨床薬理学概論		2						老年看護学実習		3
		フィジカルアセスメント		2				老年看護学実習			5	
		病態生理学		2				小児看護分野	共通科目	小児看護学特論		1
医療経営		2		小児看護学特論		1						
医療経済学		2		小児看護学特論		2						
看護管理論		2		小児看護対象論		2						
科目共通	論文指導演習		4		小児看護援助論		2					
					小児看護援助論		2					
専攻科目	基礎医学群	生体構造・細胞生物学		4		小児看護援助論				2		
		神経科学・臨床生理学		4		小児看護援助論			2			
		代謝病態学		4		小児看護援助論			2			
		臨床薬理学		4		小児診断治療学			2			
		病理・病態学		4		小児看護学特別研究			4			
		感染病態学		4		実習科目	小児看護学実習			2		
		生体防御学		4			小児看護学実習			2		
		化学生物学(ケミカルバイオロジー)		4			小児看護学実習			2		
		基礎医学演習		4			小児看護学実習		2			
		社会医学群	環境医学		4		助産学分野基礎科目	基礎助産学	助産学概論		2	
	免疫・予防医学			4		ウィメンズヘルス特論				2		
	人類遺伝学			4		技術助産学		助産と生殖科学		2		
	健康科学			4				助産学特論 - 妊娠期		2		
	リハビリテーションバイオメカニクス学		4		助産学特論 - 分娩期				2			
社会医学演習		4		助産学特論 - 産褥期				2				
看護教育管理分野	共通科目	看護教育管理特論		2				助産学特論 - 乳幼児期		2		
		看護教育管理特論		2				助産学特論 - ハイリスク		2		
		看護教育管理学演習		2		地域母子保健助産管理		地域母子保健特論		2		
	医療情報管理学演習		4		助産管理			助産マネジメント論		2		
	保健科学看護特論		2									
	特別研究	保健科学看護特論		2								
教育管理学研究演習			4									
	教育管理学特別研究		4									

		授業科目区分		単位数				授業科目区分		単位数	
		授業科目		講	演			実	授業科目		講
がん看護分野	共通科目	がん診断治療学	2			助産学分野	助産学 基礎実習	助産学基礎実習		8	
		がん看護特論	2					助産学基礎実習		2	
		がん看護援助論	2					地域助産学実習		1	
		がん緩和ケア地域連携教育論	2					ヒューマンセクシュアリティ論	1		
	専攻科目	がん薬物療法看護特論	2					ハイリスク周産期論	2		
		がん薬物療法看護特論	2					母子の心理・社会学	2		
		緩和ケア看護特論	2					高次助産診断・技術演習	2		
		緩和ケア看護特論	2					高次助産診断・技術演習	1		
		がん看護学特別研究	4					ウィメンズヘルス演習	1		
	実習科目	がん看護学実習		2				助産技術演習	1		
		がん看護学実習		1				周産期医療政策・環境論	2		
		がん看護学実習		3				国際助産論	1		
		がん看護学実習		2				ハイリスクシミュレーション演習	1		
がん看護学実習			2		ハイリスク周産期実習		2				
						特別研究	助産学研究演習		4		
							助産学特別研究		4		
総合生命科学群	専門応用科目	研究マネジメント	2			総合生命科学群	専門応用科目	バイオサイエンス実験法	2		
		サイエンスコミュニケーション	2					バイオサイエンス実験法(実習)		2	
		科学文章の書き方と論文作成	2					実験動物のサイエンス	2		
		バイオベンチャー論	2					実験動物のサイエンス(実習)		2	
		疾患の生命科学	2					モデル生物のサイエンス : 酵母	2		
		細胞内オルガネラの分子生物学	2					モデル生物のサイエンス : 酵母(実習)		2	
		細胞シグナリング	2					モデル生物のサイエンス : ショウジョウバエ	2		
		臓器関連の分子生物学	2					モデル生物のサイエンス : ショウジョウバエ(実習)		2	
		摂食・ストレス・老化の科学	2					バイオサイエンスのデータベース・大規模データ解析論	2		
		生体のエネルギー代謝科学	2					バイオサイエンスのデータベース・大規模データ解析論(実習)		2	
バイオ統計学群	専門応用科目	臨床試験の基礎とデータ解析	2			バイオ統計学群	専門応用科目	バイオサイエンス研究のプロトコル作成と研究デザイン	2		
		医用データ解析	2					バイオサイエンス研究のプロトコル作成と研究デザイン(実習)		2	
		バイオ統計データ解析入門	2					バイオベンチャー・インターンシップ		2	
		観察データ解析概論	2					生存分析とその応用	2		
		ゲノムサイエンス概論	2					観察データ解析特論	1		
		薬物動態・薬力学データの解析	1					バイオ統計セミナー	3		
		バイオ統計基礎	4					バイオインフォマティクスセミナー	3		
バイオ統計数理	4			プロトコル作成と研究デザイン	1						
総合生命科学群・ バイオ統計学群	共通科目	研究倫理	2			バイオ統計学群	専門応用科目	観察データ解析特論	1		
		分子細胞生物学	2					バイオ統計セミナー	4		
		ゲノム生物学概論	2					バイオインフォマティクスセミナー	4		
		オミクス解析特論	1					環境データ解析特論	1		
		バイオインフォマティクス特論	1					バイオデータモデリング	2		
							機械学習特論		2		
							臨床データ解析特論		1		

(注) 講は講義、演は演習、実実習を示す。

別表第4の2（第9条関係）

医学研究科博士課程

専攻名	専攻科目	授業科目及び配当単位数		
		授業科目	単位数	
			講	実
共通科目		ゲノムドラフトの解明	1	
		遺伝子多型（SNVs）	1	
		ゲノム創薬の進歩	1	
		免疫関連分子とT細胞抗原レセプター多様性の解明	1	
		臨床・基礎研究と生命倫理（コンサルテーション）	1	
		科学的根拠に基づく医療（EBM）	1	
		先端的・分野特異的研究手法体験ユニット	2	
		バイオ統計基礎ユニット	1	
		バイオ統計応用ユニット	2	
		医学英語論文スキルアップ	1	
		大学院セミナーシリーズ（特別講義）	1	
		知的財産権論	2	
		臨床試験実習		2
		トランスレーショナルリサーチ実習		2
		臨床研究入門	2	
		臨床研究入門	2	
		実験動物学	1	
		医療経営／基礎	2	
		医療経営／上級	2	
		医療経済学／基礎	2	
		医療経済学／上級	2	
		論文の解剖学（初級）	1	
		論文の解剖学（中級）	1	
論文実習		論文基礎研究実習		2
		論文応用研究実習		2
		研究発表	1	
生理系	解剖分野 肉眼・臨床解剖学	系統解剖学総論	1	
		骨学実習		1
		系統解剖学実習		9
		臨床解剖学実習		2
		系統解剖学各論 運動器系	2	
		系統解剖学各論 脈管・神経系	3	
	系統解剖学各論 内臓・感覚器系	2		
	生体形成分野 顕微解剖学	組織学総論（一般論、顕微・電顕・組織化学）	4	
		器官別組織学	4	
		組織学研究実習（一般論）		2
		組織学研究実習（光学顕微鏡；実態・透過・蛍光・共焦点レーザー顕微鏡、その応用）		3
		組織学研究実習（電子顕微鏡；透過型・走査型、その応用）		3
	組織学研究実習（器官別応用）		4	
	脳機能分野 生理学	生理学総論 -（1）生体膜と物質輸送	1	
		生理学総論 -（2）興奮性膜	2	
		生理学総論 伝達物質と受容体	2	
		生理学総論 -（1）神経系の発生・分化と可塑性	1	
		生理学総論 -（2）高次脳機能	1	
		生理学各論 細胞内情報伝達過程	1	
		生理学実習 -（1）微小電極による細胞内電位記録（静止電位・活動電位・シナプス電位）		3
生理学実習 -（1）パッチクランプ法によるイオン電流記録			2	
生理学実習 -（2）色素注入法による神経細胞の形態観察			1	
生理学実習 -（3）神経細胞の単離・培養		1		

専攻名	専攻科目	授業科目及び配当単位数		
		授業科目	単位数	
			講	実
生理系	脳機能生理学 分野	生理学実習 - (4) 神経・グリア細胞内 Ca ²⁺ 測定		1
		生理学実習 細胞外記録法によるインパルスおよび集合電位記録		3
		生理学実習 - (1) HPLC による化学伝達物質の同定と放出測定		1
		生理学各論 脳とその疾患	1	
	統合自律機能生理学 分野	分子細胞生理学総論	4	
		分子細胞生理学各論	4	
		分子生理学実習		4
		細胞生理学実習		4
		神経生理学実習		4
	医化学	代謝学	4	
		酵素の精製法と結晶化		4
		遺伝生化学解析		4
		生体物質論	4	
		酵素学	4	
		蛋白質解析技術		4
		疾患プロテオミクス解析学	4	
		疾患プロテオミクス解析実習		4
	薬理学	臨床薬理学	4	
		中枢神経薬理学	4	
		細胞間・細胞内情報伝達	4	
		リン酸化シグナル解析		4
		マウス脳内 AAV ウイルス注入法および行動実験手法		4
		行動薬理学解析		4
	分子生命科学	分子遺伝学	4	
		生体高分子化学	4	
		細胞生物学	4	
		タンパク質科学	2	
		蛋白質精製分析実習		2
		生体高分子化学実習		4
		遺伝子単離法実習		2
		疾患遺伝子解析実習		2
		蛋白質化学実習		1
		細胞周期制御論実習		4
		染色体機能学実習		4
	蛋白質反応解析	4		
	病理系	病理学	病理学総論	6
一般外科病理学			4	
肝臓病理学			2	
病理学総論実習 肉眼観察・顕微鏡観察(剖検、迅速診断を含む)				7
一般外科病理学実習				5
肝臓病理学実習				4
肝臓分子病理学実習				4
肝臓分子病理学			2	
神経病理学			2	
血液・腫瘍病理学			2	
血液・腫瘍分子病理学			2	
腫瘍・炎症免疫病理学			2	
神経病理学実習				4
血液・腫瘍病理学実習				4
血液・腫瘍分子病理学実習				4
腫瘍・炎症免疫病理学実習		4		

専攻名	専攻科目	授業科目及び配当単位数		
		授業科目	単位数	
			講	実
病理系	基礎感染医学分野 感染医学	細菌遺伝学	2	
		分子生物学	2	
		化学療法	2	
		分子生物学実習		6
		細菌遺伝学実習		4
		化学療法実習		2
		感染と生体応答	2	
		感染免疫学実習		4
	感染制御学	ウイルス学総論	2	
		感染症学総論	2	
		ウイルス学各論	2	
		臨床感染症総論	2	
		ウイルス学実習（基礎編）		4
		ウイルス学実習（基礎編）		4
		ウイルス学実習（応用編）		4
	真核微生物学分野 感染医学	原虫のシグナル伝達	4	
		原虫の遺伝子発現	4	
		原虫のシグナル伝達実習		6
		原虫の遺伝子発現実習		4
		原虫の感染による宿主脂質代謝の変化		1
		原虫の感染による宿主脂質代謝の変化		1
	免疫学	コンピューター免疫学	2	
		腫瘍免疫学	2	
		疾患免疫学	2	
		粘膜免疫学	2	
		コンピューター免疫学実習		2
		腫瘍免疫学実習		4
疾患免疫学実習			4	
粘膜免疫学実習			4	
社会医学系	環境医学	環境医学総論	4	
		産業医学総論	4	
		環境医学研究		4
		産業医学研究		4
		産業医学研究		4
	公衆衛生学	公衆衛生学総論	4	
		公衆衛生学各論	4	
		公衆衛生学研究 1		4
		公衆衛生学研究 2		4
		公衆衛生学研究 3		4
		公衆衛生学研究 4		4
	健康科学	健康科学総論	4	
		運動負荷テスト実習		4
		健康度・形態測定実習		4
		健康・スポーツ医学実習		4
		健康教育学	2	
精神保健学 1		2		
精神保健学 2		2		
Well-beingのためのコミュニケーション心理学	2			

専攻名	専攻科目	授業科目及び配当単位数		
		授業科目	単位数	
			講	実
社会医学系	法医学・人類遺伝学	法医学各論	2	
		人類遺伝学総論	2	
		人類遺伝学各論	2	
		法医学概論	2	
		法医学実習 1		4
		法医学実習 2		4
		人類遺伝学実習 1		4
		人類遺伝学実習 2		4
	バイオ統計学	離散データ解析大意	2	
		臨床試験の基礎とデータ解析大意	2	
		先端疫学統計	1	
		先端オミクス解析特論	1	
		先端バイオインフォマティクス特論	1	
		ゲノム統計学大意	2	
		生存データ分析大意	2	
		バイオデータ解析大意	2	
		先端環境データ解析	1	
		観察データ解析大意	2	
		先端観察データ解析	1	
		先端薬物動態・薬力学データ解析	1	
		先端臨床データ解析	1	
		バイオ統計学講究		4
		バイオ統計学講究		4
		バイオ統計学講究		4
		バイオ統計学講究		4
		バイオデータ解析演習		2
	バイオデータ解析演習		2	
	プロトコル作成と研究デザイン実習		1	
	看護学	基礎看護技術総論	2	
		健康支援看護特論	2	
		健康支援看護特論	2	
		健康支援看護特論	2	
		健康支援看護特論	2	
		健康支援看護研究実習		12
		健康支援看護研究実習		12
		性・生殖看護学特論	2	
性・生殖看護学研究実習			12	
小児看護支援特論		2		
小児看護支援特論		2		
小児看護学研究実習			12	
高齢者看護学特論		2		
高齢者看護学研究実習			6	
高齢者看護学研究実習			6	
公衆衛生看護学特論		2		
公衆衛生看護学研究実習			12	
病態研究		2		
看護人体構造学	2			
看護人体構造学実習		12		

専攻名	専攻科目	授業科目及び配当単位数			
		授業科目	単位数		
			講	実	
個別最適医療系	先端癌治療学	癌集学治療学総論	2		
		消化器癌総論	2		
		免疫生物学・細胞性免疫学	2		
		ニューロオンコロジー	2		
		肝の発癌機構と治療	2		
		消化器癌の免疫機構と治療	2		
		肝発癌の予防および肝癌治療の実習		2	
		癌集学治療学の実際		4	
		消化器癌の遺伝子解析		4	
		肝の発癌機構の解析法		2	
		肝癌治療の基礎研究実習		2	
		消化管前癌病変モデル作製		2	
		消化管前癌病変モデルの免疫機序の解析法		2	
		ユニット 悪性腫瘍専門医養成	臨床腫瘍学・基礎編	4	
			臨床腫瘍学・臨床編	4	
			放射線腫瘍療法セミナー	4	
	放射線療法・総論		2		
	放射線療法・概論		4		
	悪性腫瘍の集学的治療の実習			12	
	放射線腫瘍治療学実習			8	
	応用臨床画像診断学実習			8	
	専門科目 心血管先端医療学	血管生物学総論	2		
		血栓症総論	2		
		循環制御調節解析学	2		
		循環器分子生物学	2		
		血管再生医療総論	2		
		心臓血管病外科治療学総論	2		
		冠動脈再建外科学	2		
		末梢血管疾患学総論	2		
		小児心疾患の先端医療	2		
		血管平滑筋細胞学	2		
		遺伝子発現解析法		3	
		心血管系細胞培養実験法		3	
		組織遺伝子発現解析法		3	
		組織移植実習		3	
		内皮前駆細胞標識実習		3	
		血小板機能検査実習		2	
		心血管病検査法の実際		2	
		高次脳疾患学	発達神経学	2	
	小児神経学		2		
	中枢神経系放射線診断学		4		
	高次脳機能診断学		4		
	脳損傷治療学		4		
	高次脳機能障害治療学		4		
	睡眠覚醒障害の病態と治療		4		
	機能性精神障害の認知機能		4		
	実践的脳虚血負荷実習			2	
中枢神経分子遺伝学手技			4		
中枢神経系放射線診断学実習			4		
機能性脳画像実習		4			

専攻名	専攻科目	授業科目及び配当単位数		
		授業科目	単位数	
			講	実
個別最適医療系	高次脳疾患学	高次脳機能診断学実習		4
		認知機能測定実習		4
		精神症状評価実習		4
		精神疾患リハビリテーション実習		2
		神経外傷・腫瘍学実習		4
		中枢神経機能学	4	
		マイクロダイアリシス法		4
	皮膚細胞生物学	自己免疫性水疱症総論	2	
		遺伝性皮膚疾患総論	2	
		皮膚免疫学総論	2	
		毛髪科学総論	2	
		免疫組織学実習		4
		蛋白解析実習		2
		遺伝子操作実習		2
		細胞生物学実習		4
		皮膚免疫学実習		4
		毛髪科学実習		2
	専門科目 先進医療対象疾患学	呼吸器疾患学総論	4	
		感染症医学総論	4	
		自己免疫・アレルギー疾患学総論	4	
		消化器疾患学総論	4	
		血液疾患学総論	4	
		内分泌代謝疾患学総論	4	
		腎疾患総論	4	
		小児外科学総論	4	
		整形外科学総論	4	
		視覚病態学	4	
		産婦人科・新生児医学総論	4	
		耳鼻咽喉・頭頸部外科学総論	4	
		包括的顎口腔機能再生学	4	
		救急医学総論	4	
		臨床画像医学・放射線腫瘍学総論	4	
		生体機能管理学総論	4	
		皮膚分子病態学総論	4	
		遺伝性疾患学総論	4	
		再建医学総論	4	
		泌尿器科学総論	4	
		呼吸器疾患学実習		4
		感染症医学実習		4
		自己免疫・アレルギー疾患学実習		4
		消化器疾患学実習		4
		血液疾患学実習		4
		内分泌代謝疾患学実習		4
腎疾患実習			4	
小児外科学実習			4	
整形外科学実習			4	
眼科学実習			4	
産婦人科・新生児医学実習			4	
耳鼻咽喉・頭頸部外科学実習			4	
包括的顎口腔機能再生学実習			4	

専攻名	専攻科目	授業科目及び配当単位数		
		授業科目	単位数	
			講	実
個別最適医療系	専門科目 先進医療対象 疾患学	救急医学実習		4
		臨床画像医学・放射線腫瘍学実習		4
		生体機能管理学実習		4
		皮膚分子病態学実習		4
		遺伝性疾患学実習		4
		再建医学実習		4
		泌尿器科学実習		4

- (注1) 講は講義・実の実験又は実習を示す。
- (注2) 専攻科目20単位のうち、講義から8単位以上、実験又は実習から12単位以上履修すること。
- (注3) 共通科目は6単位以上履修すること。
- (注4) 論文実習は「論文基礎研究実習(2単位)」を2年次に、「論文応用研究実習(2単位)」を3年次に履修すること。
- (注5) 個別最適医療系先端癌治療学「悪性腫瘍専門医養成ユニット」を履修する場合、以下の条件に合致すること。
- ・個別最適医療系先端癌治療学を専攻科目又は専攻科目分担を行っているものを対象とする。
 - ・「化学・薬物療法専門医養成コース」については、個別最適医療系先端癌治療学の「癌集学治療学総論(2単位)」「消化器癌総論(2単位)」「消化器癌の免疫機構と治療(2単位)」「ニューロオンコロジー(2単位)」「がんワクチン療法の実際(2単位)」「肝発癌の予防および肝癌治療の実習(2単位)」「臨床腫瘍学・基礎編(4単位)」「臨床腫瘍学・臨床編(4単位)」「悪性腫瘍の集学的治療の実習(12単位)」を必修とする。
実習については、1～3年次のうち、1年間集中的に履修すること。
 - ・「放射線療法専門医養成コース」については、「放射線療法・総論(2単位)」「放射線療法・概論(4単位)」「臨床腫瘍学・基礎編(4単位)」「放射線腫瘍療法セミナー(4単位)」「放射線腫瘍治療学実習(8単位)」「応用臨床画像診断学実習(8単位)」を必修とする。

別表第5（第30条 - 第33条関係）

項目	研究科	比較文化 研究科	心理学 研究科	ビジネス 研究科	医学研究科	医学研究科 修士課程 看護学専攻 (助産学分野 助産師資格)	医学研究科 修士課程 看護学専攻 (助産学分野 上級実践)	納入期限
	金額・ 期限	納入金額	納入金額	納入金額	納入金額	納入金額	納入金額	
入学検定料		32,000円	32,000円	32,000円	30,000円	30,000円	30,000円	入学願書 受付締切日
入学金								
前期博士課程								
本学卒業生		120,000円	120,000円	120,000円	120,000円	120,000円	120,000円	入学手続締切日
その他の者		240,000円	240,000円	240,000円	240,000円	240,000円	240,000円	入学手続締切日
後期博士課程					250,000円			入学手続締切日
本学前期博士課程 修了者以外の者		240,000円	240,000円					入学手続締切日
授業料								
前期博士課程								
前期		275,000円	275,000円	275,000円	240,000円	400,000円	240,000円	4月末日*
後期		275,000円	275,000円	275,000円	240,000円	400,000円	240,000円	10月末日
後期博士課程								
前期		275,000円	275,000円		240,000円			4月末日*
後期		275,000円	275,000円		240,000円			10月末日
教育充実料								
前期博士課程								
前期		5,000円	25,000円	5,000円	30,000円	30,000円	30,000円	4月末日*
後期		5,000円	25,000円	5,000円	30,000円	30,000円	30,000円	10月末日
後期博士課程								
前期		5,000円	25,000円					4月末日*
後期		5,000円	25,000円					10月末日
実験実習料								
前期博士課程								
前期			25,000円		60,000円	120,000円	90,000円	4月末日*
後期			25,000円		60,000円	120,000円	90,000円	10月末日
後期博士課程								
前期			25,000円		60,000円			4月末日*
後期			25,000円		60,000円			10月末日
休学時在籍料(月額)		10,000円	10,000円	10,000円	10,000円	10,000円	10,000円	休学手続時

備考

- *印は、新入生については、入学手続締切日と読替えるものとする。
- ビジネス研究科及び医学研究科については、前期博士課程を修士課程、後期博士課程を博士課程と読替えるものとする。
- 長期履修学生の授業料等については第32条第3項、第32条の2第3項、第33条第3項を参照する。

久留米大学大学院医学研究科規程

第1章 医学研究科の目的

第1条 久留米大学大学院医学研究科（以下「本研究科」という。）は、医学・医療の分野で先駆的な学術研究を推進するとともに、幅広い視野、高度の専門性と豊かな教養及び人間性を備え、国際的に活躍し、地域医療に貢献しうる優れた人材を育成することを目的とする。

2 本研究科修士課程は、各専攻分野の研究能力及び高度の専門性が求められる職業を担うための卓越した能力、教養、人間性を備えた人材を育成することを目的とする。

3 本研究科博士課程は、医学・医療の各専攻分野において、自立した研究者として学術研究を推進する能力をもつ人材を育成するとともに、高度に専門的な医療業務に従事するために必要とされる幅広い学識、国際的視野並びに豊かな教養と人間性を備えた人材を育成することを目的とする。

第2章 入 学

第2条 入学時期、入学手続及び入学者選抜の方法は、医学研究科委員会の議を経て定める。

第3条 入学者の決定は、医学研究科委員会の議を経て、学長が行う。

第3章 授業科目及び履修方法

第4条 本研究科は、その目的を達成するため必要な教育課程を編成し、学生に対し学位論文の作成等に対する指導の計画を策定する。

2 前項の取扱いについては、別に定める。

3 専攻別授業科目及びその配当単位数は、久留米大学大学院学則（以下「大学院学則」という。）第9条の別表第4の1及び別表第4の2のとおりとする。ただし、研究科委員会の議を経て臨時に科目を開設することができる。

4 本研究科は、学生に対して、授業・研究指導の方法、内容及び1年間の授業並びに研究指導の計画をあらかじめ明示する。

第5条 研究科における授業及び研究指導には、原則として、本大学医学部の教授、准教授及び講師が担当する。

2 特定の科目は、本大学医学部以外の教員が担当することがある。

第6条 博士課程の修了に必要な授業科目の修得単位は30単位以上とし、次のように履修するものとする。

（平成27年度までの入学者）

専 攻 名	専 攻 科 目	論 文 実 習	共 通 科 目
生 理 系 病 理 系 社 会 医 学 系 個 別 最 適 医 療 系	20単位以上 （講義8単位、実習12単位を含む）	4 単位	6 単位以上

専攻名	コース名	専攻科目 (必修)	コース科目 (必修)	共通科目
個別最適医療系先端癌治療学 悪性腫瘍専門医養成ユニット	化学・薬物療法 専門医 養成コース	12単位	講義8単位、 実習12単位	6単位以上
	放射線療法専門医 養成コース	4単位	講義4単位、 実習16単位	
	緩和医療専門医 養成コース	4単位	講義8単位、 実習16単位	

(平成29年度までの入学者)

専攻名	専攻科目	論文実習	共通科目
生理系 病理系 社会医学系 個別最適医療系	20単位以上 (講義8単位、実習12単 位を含む。)	5単位	6単位以上

専攻名	コース名	専攻科目 (必修)	コース科目 (必修)	論文実習	共通科目
個別最適医療系先端癌治療学 悪性腫瘍専門医養成ユニット	化学・薬物療法 専門医 養成コース	12単位	講義8単位、 実習12単位	5単位	6単位以上
	放射線療法専門医 養成コース	4単位	講義4単位、 実習16単位		
	緩和医療専門医 養成コース	4単位	講義8単位、 実習16単位		

(令和3年度までの入学者)

専攻名	コース名	論文実習	共通科目
生理系 病理系 社会医学系 個別最適医療系	20単位以上 (講義8単位、実習12単 位を含む。)	5単位	6単位以上

専攻名	コース名	専攻科目 (必修)	コース科目 (必修)	論文実習	共通科目
個別最適医療系先端癌治療学 悪性腫瘍専門医養成ユニット	化学・薬物療法 専門医 養成コース	12単位	講義8単位、 実習12単位	5単位	6単位以上
	放射線療法専門医 養成コース	4単位	講義4単位、 実習16単位		
	緩和医療専門医 養成コース	4単位	講義8単位、 実習16単位		
	希少がん診療 養成コース	4単位	講義4単位、 実習12単位		

(令和5年度までの入学者)

専攻名	専攻科目	論文実習	共通科目
生理系 病理系 社会医学系 個別最適医療系	20単位以上 (講義8単位、実習12単位を含む)	5単位	6単位以上

専攻名	専攻科目	専攻科目 (必修)	コース科目 (必修)	論文実習	共通科目
個別最適医療系先端 癌治療学悪性腫瘍 専門医養成ユニット	化学・薬物療法 専門医 養成コース	12単位	講義8単位、 実習12単位	5単位	6単位以上
	放射線療法専門医 養成コース	4単位	講義4単位、 実習16単位		
	希少がん診療 養成コース	4単位	講義4単位、 実習12単位		

(令和6年度以降の入学者)

専攻名	専攻科目	論文実習	共通科目
生理系 病理系 社会医学系 個別最適医療系	20単位以上 (講義8単位、実習12単位を含む)	5単位	6単位以上

専攻名	専攻科目	専攻科目 (必修)	コース科目 (必修)	論文実習	共通科目
個別最適医療系 先端癌治療学悪性腫瘍 専門医養成ユニット	化学・薬物療法 専門医 養成コース	12単位	講義8単位、 実習12単位	5単位	6単位以上
	放射線療法専門医 養成コース	4単位	講義10単位、 実習16単位		
	希少がん診療 養成コース	4単位	講義4単位、 実習12単位		

2 修士課程の修了に必要な授業科目の修得単位は30単位以上とし、次のように履修するものとする。
(平成27年度までの入学者)

学 群	基礎科目	専 門 科 目	大 学 院 セミナー シリーズ	準専攻 科 目	選 択 科 目
基礎医学群 社会医学群 分子生命科学群 臨床看護学群	10単位 以上	12単位以上 (演習4単位、論文指導 演習4単位を含む)	1単位	講義 4単位 以上	自身が履修した 以外の科目から 3単位以上
バイオ統計学群		30単位以上 (演習7単位を含む)			

学 群	共 通 科 目	専 攻 分 野	実 習 科 目
臨床看護学群がん看護論 がん看護専門看護師教育課程	講 義 10単位以上	共通科目 8単位 専攻科目 6単位	8単位
臨床看護学群臨床基礎看護論 感染看護専門看護師教育課程	講 義 10単位以上	専攻科目 16単位	6単位
臨床看護学群老年看護論 老人看護専門看護師教育課程	講 義 10単位以上	共通科目 10単位 専攻科目 6単位以上	6単位
臨床看護学群小児看護論 小児看護専門看護師教育課程	講 義 14単位以上	共通科目 16単位	10単位

感染看護専門看護師教育課程アドバンスプログラムコース

学 群	共 通 科 目	専 攻 分 野	実 習 科 目
臨床看護学群臨床基礎看護論 感染看護専門看護師教育課程	講 義 10単位以上	専攻科目 16単位	6単位

学 群	共通科目	専 攻 分 野	大 学 院 セミナーシリーズ	準 専 攻 科 目
基礎医学群感染病態学 社会医学群環境医学 臨床看護学群	10単位 以上	12単位以上 (演習4単位、論文指導 演習4単位を含む)	1単位	講義8単位 実習6単位

(平成28年度までの入学者)

医科学専攻

学 群	基礎科目	専 門 科 目	大 学 院 セミナー シリーズ	準専攻 科 目	選 択 科 目
基礎医学群 社会医学群 分子生命科学群	10単位 以上	12単位以上 (演習4単位、論文指導 演習4単位を含む。)	1単位	講義 4単位 以上	自身が履修した 以外の科目から 3単位以上
バイオ統計学群		30単位以上 (演習7単位を含む。)			

看護学専攻

修士論文コース

分野	基礎科目	専攻分野	大学院 セミナーシリーズ	特別研究
看護教育管理分野	9単位以上	共通科目 8単位 その他 4単位以上	1単位	8単位

専門職養成コース

分野	共通科目	専攻分野	実習科目
がん看護分野 CNS養成	講義 10単位	共通科目 8単位 専門科目 8単位	8単位
感染症看護分野 CNS養成・国際実践	講義 10単位	専門科目 18単位	6単位
老年看護分野 CNS養成	講義 10単位	共通科目 10単位 専門科目 8単位	6単位
小児看護分野 CNS養成	講義 14単位以上	専門科目 18単位	10単位

分野	基礎科目	助産学分野 基礎科目	助産学分野 専門科目	大学院 セミナーシリーズ	特別研究
助産学分野 助産師資格 (助産学分野専門科目「国際助産学演習」を含む。)	13単位以上	28単位	8単位 (「国際助産学演習」 を除く。)	1単位	8単位
助産学分野 上級実践 (助産学分野専門科目「国際助産学演習」を含む。)	7単位以上	4単位	10単位 実習 2単位 (「国際助産学演習」 を除く。)	1単位	8単位

(平成29年度までの入学者)

医科学専攻

学群	基礎科目	専門科目	大学院 セミナー シリーズ	準専攻 科目	選択科目
基礎医学群 社会医学群 分子生命科学群	10単位 以上	12単位以上 (演習 4単位、論文指導 演習 4単位を含む。)	1単位	講義 4単位 以上	自身が履修した 以外の科目から 3単位以上
バイオ統計学群		30単位以上 (演習 7単位を含む。)			

看護学専攻

修士論文コース

分野	基礎科目	専攻分野	大学院 セミナーシリーズ	特別研究
看護教育管理分野	9単位以上	共通科目 8単位 その他 4単位以上	1単位	8単位

専門職養成コース

分 野	共通科目	専 攻 分 野	実習科目
がん看護分野 CNS 養成	講 義 14単位以上	共通科目 6単位 専門科目 12単位	10単位
感染症看護分野 CNS 養成	講 義 14単位以上	専門科目 20単位	10単位
感染症看護分野 国際実践	講 義 10単位以上	専門科目 20単位	6単位
老年看護分野 CNS 養成	講 義 14単位以上	共通科目 10単位 専門科目 8単位	10単位
小児看護分野 CNS 養成	講 義 14単位以上	専門科目 18単位	10単位

分 野	基礎科目	助産学分野 基礎科目	助産学分野 専門科目	大学院 セミナーシリーズ	特別研究
助産学分野 助産師資格	13単位以上 (助産学分野専門科目「国際助産学演習」を含む。)	28単位	8単位 (「国際助産学演習」 を除く。)	1単位	8単位
助産学分野 上級実践	7単位以上 (助産学分野専門科目「国際助産学演習」を含む。)	4単位	10単位 実習2単位 (「国際助産学演習」 を除く。)	1単位	8単位

(平成30年度までの入学者)

医科学専攻

学 群	基礎科目	専 門 科 目	大 学 院 セミナー シリーズ	準専攻 科 目	選 択 科 目
基礎医学群 社会医学群 分子生命科学群	10単位 以上	12単位以上 (演習4単位、論文指導 演習4単位を含む。)	1単位	講義 4単位 以上	自身が履修した 以外の科目から 3単位以上
バイオ統計学群		30単位以上 (演習7単位を含む。)			

看護学専攻

修士論文コース

分 野	基礎科目	専攻分野	大学院 セミナーシリーズ	特別研究
看護教育管理分野	9単位以上	共通科目8単位 その他4単位以上	1単位	8単位

専門職養成コース

分 野	共通科目	専 攻 分 野	実習科目
がん看護分野 CNS 養成	講 義 14単位以上	共通科目 6単位 専門科目 12単位	10単位
感染症看護分野 CNS 養成	講 義 14単位以上	専門科目 20単位	10単位
感染症看護分野 国際実践	講 義 10単位以上	専門科目 20単位	6単位
老年看護分野 CNS 養成	講 義 14単位以上	共通科目 10単位 専門科目 8単位	10単位
小児看護分野 CNS 養成	講 義 14単位以上	専門科目 18単位	10単位

分 野	基礎科目	助産学分野 基礎科目	助産学分野 専門科目	特別研究
助産学分野 助産師資格	14単位以上 (助産学分野専門科目「国 際助産学演習」を含む。)	28単位	8単位 (「国際助産学演習」を除く。)	8単位
助産学分野 上級実践	8単位以上 (助産学分野専門科目「国 際助産学演習」を含む。)	4単位	10単位 実習2単位 (「国際助産学演習」を除く。)	8単位

(令和3年度までの入学者)

医科学専攻

学 群	基礎科目	専 門 科 目	大 学 院 セミナー シリーズ	準専攻 科 目	選 択 科 目
基礎医学群 社会医学群	10単位 以上	12単位以上 (演習4単位、論文指導 演習4単位を含む。)	1単位	講義 4単位 以上	自身が履修した 以外の科目から 3単位以上

看護学専攻

修士論文コース

分 野	基礎科目	専攻分野	大学院 セミナーシリーズ	特別研究
看護教育管理分野	9単位以上	共通科目8単位 その他4単位以上	1単位	8単位

専門職養成コース

分 野	共通科目	専 攻 分 野	実習科目
がん看護分野 C N S 養成	講 義 14単位以上	共通科目 6単位 専門科目 12単位	10単位
感染症看護分野 C N S 養成	講 義 14単位以上	専門科目 20単位	10単位
感染症看護分野 国際実践	講 義 10単位以上	専門科目 20単位	6単位
老年看護分野 C N S 養成	講 義 14単位以上	共通科目 10単位 専門科目 8単位	10単位
小児看護分野 C N S 養成	講 義 14単位以上	専門科目 18単位	10単位

分 野	基礎科目	助産学分野 基礎科目	助産学分野 専門科目	特別研究
助産学分野 助産師資格	14単位以上 (助産学分野専門科目「国 際助産学演習」を含む。)	28単位	8単位 (「国際助産学演習」を除く。)	8単位
助産学分野 上級実践	8単位以上 (助産学分野専門科目「国 際助産学演習」を含む。)	4単位	10単位 実習2単位 (「国際助産学演習」を除く。)	8単位

総合生命科学・バイオ統計学専攻

学 群	基 礎 科 目	専 門 応 用 科 目
総合生命科学群	10単位以上	26単位以上 (必修科目18単位、選択 科目8単位を含む)
バイオ統計学群		30単位以上

(令和4年度までの入学者)

医科学専攻

学 群	基礎科目	専 門 科 目	大 学 院 セミナー シリーズ	準専攻 科 目	選 択 科 目
基礎医学群	10単位 以上	12単位以上 (演習4単位、論文指導 演習4単位を含む。)	1単位	講義 4単位 以上	自身が履修した 以外の科目から 3単位以上
社会医学群					

看護学専攻

修士論文コース

分野	基礎科目	専攻分野	大学院 セミナーシリーズ	特別研究
看護教育管理分野	9単位以上	共通科目 8単位 その他 4単位以上	1単位	8単位

専門職養成コース

分野	共通科目	専攻分野	実習科目
がん看護分野 CNS養成	講義 14単位以上	共通科目 6単位 専門科目 12単位	10単位
感染症看護分野 CNS養成	講義 14単位以上	専門科目 20単位	10単位
感染症看護分野 国際実践	講義 10単位以上	専門科目 20単位	6単位
老年看護分野 CNS養成	講義 14単位以上	共通科目 10単位 専門科目 8単位	10単位
小児看護分野 CNS養成	講義 14単位以上	専門科目 18単位	10単位

分野	基礎科目	助産学分野 基礎科目	助産学分野 専門科目	特別研究
助産学分野 助産師資格	8単位以上	31単位	14単位	8単位
助産学分野 上級実践	8単位以上		16単位	8単位

総合生命科学・バイオ統計学専攻

学群	基礎科目	専門応用科目
総合生命科学群	10単位以上	26単位以上 (必修科目18単位、選択科目8単位を含む)
バイオ統計学群		30単位以上

(令和6年度までの入学者)

医科学専攻

学群	基礎科目	専門科目	大学院 セミナー シリーズ	準専攻 科目	選択科目
基礎医学群 社会医学群	10単位以上	12単位以上 (演習4単位、論文指導 演習4単位を含む。)	1単位	講義 4単位 以上	自身が履修した以外の 科目から3 単位以上

看護学専攻

修士論文コース

分野	基礎科目	専攻分野	大学院セミナーシリーズ	特別研究
看護教育管理分野	9単位以上	共通科目 8単位 その他 4単位以上	1単位	8単位

専門職養成コース

分野	共通科目	専攻分野	実習科目
がん看護分野 CNS 養成	講義 14単位以上	共通科目 6単位 専門科目 12単位	10単位
感染症看護分野 CNS 養成	講義 14単位以上	専門科目 20単位	10単位
感染症看護分野 国際実践	講義 10単位以上	専門科目 20単位	6単位
老年看護分野 CNS 養成	講義 14単位以上	共通科目 10単位 専門科目 8単位	10単位
小児看護分野 CNS 養成	講義 14単位以上	専門科目 18単位	10単位

分野	共通科目	助産学分野 基礎科目	助産学分野 専門科目	特別研究
助産学分野 助産師資格	8単位以上	31単位	14単位	8単位
助産学分野 上級実践	8単位以上		16単位	8単位

総合生命科学・バイオ統計学専攻

学群	基礎科目	専門応用科目
総合生命科学群	10単位以上	26単位以上 (必修科目18単位、選択科目 8単位を含む)
バイオ統計学群		30単位以上 (必修科目12単位、選択必修科目 7単位、選択科目11単位を含む)

(令和7年度以降の入学者)

医科学専攻

学群	基礎科目	専門科目	大学院セミナーシリーズ	準専攻科目	選択科目
基礎医学群 社会医学群	10単位以上	12単位以上 (演習 4単位、論文指導 演習 4単位を含む。)	1単位	講義 4単位以上	自身が履修した以外の科目から 3単位以上

看護学専攻

修士論文コース

分野	基礎科目	専攻分野	大学院セミナーシリーズ	特別研究
看護教育管理分野	9単位以上	共通科目 8単位 その他 4単位以上	1単位	8単位

専門職養成コース

分野	共通科目	専攻分野	実習科目
がん看護分野 高度実践看護師養成	講義 14単位以上	共通科目 6単位 専門科目 12単位	10単位
感染症看護分野 高度実践看護師養成	講義 14単位以上	専門科目 20単位	10単位
感染症看護分野 国際実践	講義 10単位以上	専門科目 20単位	6単位
老年看護分野 高度実践看護師養成	講義 14単位以上	共通科目 10単位 専門科目 8単位	10単位
小児看護分野 高度実践看護師養成	講義 14単位以上	専門科目 18単位	10単位

分野	共通科目	助産学分野 基礎科目	助産学分野 専門科目	特別研究
助産学分野 助産師資格	8単位以上	31単位	14単位	8単位
助産学分野 上級実践	8単位以上		16単位	8単位

総合生命科学・バイオ統計学専攻

学群	基礎科目	専門応用科目
総合生命科学群	10単位以上	26単位以上 (必修科目18単位、選択科目 8単位を含む)
バイオ統計学群		30単位以上 (必修科目12単位、選択必修科目 7単位、選択科目11単位を含む)

第7条 大学院学則第11条の2の規定により、研究科において教育上有益と認めるときは、学生は、研究科委員会の議を経て、本学又は研究科と協定している他大学（外国の大学を含む。以下同じ。）の大学院の授業科目を履修することができる。

2 前項の規定により履修した授業科目について修得した単位は、研究科委員会の議を経て、10単位を限度として第6条に規定する単位として認めることができる。

第8条 大学院学則第11条の3の規定により、研究科において教育上有益と認めるときは、学生は、研究科委員会の議を経て、本学又は研究科と協定している他大学の大学院又は研究所等（外国の研究機

関を含む。)において研究指導を受けることができる。

第9条 学生は、専攻科目指導教授（修士課程においては「指導教授」に読み替える。以下同じ。）の指示を受け、博士課程にあつては2年次が始まる前までに、修士課程にあつては入学後所定の期日にそれぞれその研究題目を決定しなければならない。

第10条 学生は、前条によるほか、入学当初及び毎学年当初、専攻科目指導教授の指示を受け、当該学年内に履修しようとする授業科目を定め、所定の様式により届出でなければならない。

第4章 試 験

第11条 学生が単位修得を行う場合は、指導教授に確認の上、入学当初及び毎学年当初に履修届を提出しなければならない。

第12条 学生は、履修した授業科目について単位を取得しようとするときは、試験を受けなければならない。

2 試験は、原則として学期末に行う。

3 病気その他の事由により試験を受けることができなかつた者については、科目担当教員が特に必要と認めた場合、追試験を行うことがある。

第13条 各授業科目の試験成績はA A（100～90）・A（89～80）・B（79～70）・C（69～60）・D（59以下）の評語をもってあらわし、C以上を合格とする。

2 試験の成績判定基準は、当該科目に対する基礎及び専門学力の知識について、予め明示された達成目標に対する到達度を確認し、かつ講義・実習に対する参画意欲も加味して総合的に評価される。

3 合格した授業科目については、所定の単位を与える。

4 不合格の授業科目については、次の学期に追試験を受けることができる。

第14条 学位論文は、博士課程にあつては研究科に3年以上在学し、修士課程にあつては1年以上在学し、所定の単位を取得した後でなければ、これを提出することができない。

第15条 学位論文は、指定の期日以内に提出しなければならない。

第16条 最終試験の成績は、合格及び不合格の2種とする。

第17条 学位論文及び最終試験の合格及び不合格は、審査委員会の報告に基づき、研究科委員会の議を経て決定する。

2 学位論文及び最終試験の審査基準については、別に定める。

3 審査委員会の委員は、研究科委員会において選出する。

第18条 大学院学則第10条による試験は、口頭試問及び筆答試問とする。

第5章 専攻の変更

第19条 専攻の変更は、原則として認めない。ただし、特別の事情あるものに限り、研究科委員会の議を経て許可することがある。

第20条 専攻を変更した後の修業年限は、研究科委員会の議を経て、専攻の履修科目の内容により決定する。

2 前項により修業年限を変更された者の在学年限は、大学院学則第5条による修士課程4年、博士課程8年を超えることができない。

第6章 再入学

第21条 再入学者は、前在学中に所属した専攻に所属するものとする。

第22条 再入学者の修業年限は、研究科委員会の議を経て、これを決定する。

2 前項により再入学を許可された者の在学年限は、大学院学則第5条による修士課程4年、博士課程8年を超えることができない。

第23条 再入学者の前在学中における取得単位は、研究科委員会の議を経て、第6条に規定する単位に加えることができる。

第7章 転入学

第24条 転入学者の修業年限は、研究科委員会の議を経て、これを決定する。この場合の修業年限には、他大学院における在学期間を含めることができる。ただし、休学等の期間は算入しないものとする。

2 前項により転入学を許可された者の在学年限は、大学院学則第5条による修士課程4年、博士課程8年を超えることができない。

第25条 転入学者の他大学院における取得単位は、研究科委員会の議を経て、第6条に規定する単位に加えることができる。

第8章 科目等履修生

第26条 大学院の学生以外の者で、特定の授業科目の履修を願い出る者がいるときは、正規の学生の学修に妨げない限り選考の上、科目等履修生として許可することがある。

第27条 科目等履修生として志願する者は、所定の願書に履歴書及び関係書類を添え、所定の期日までに年度ごと願出しなければならない。

第28条 科目等履修生として志願する者は、大学院の入学資格を有する者でなければならない。

第29条 科目等履修生として許可された者は、受講料等を次の表により納入しなければならない。

科目等履修生	区 分	金 額
	選 考 料	30,000円
	登 録 料	30,000円
	受 講 料	1単位につき、25,000円

第30条 科目等履修生が、選択した授業科目を履修して、その試験に合格したときは、その授業科目の所定の単位を与えることができる。

2 科目等履修生の授業科目、試験、単位認定等に関しては、正規の学生に関する規定を準用する。

第9章 委託生

第31条 官庁又は公共団体等から1学期以上を在学期間とし、学習科目を指定して学生委託の願出があるときは、選考の上、委託生として入学を許可することがある。

第32条 入学の手続、入学資格及び授業料については、第27条、第28条及び第29条に準ずる。

第33条 委託生に関しては、本章の規定のほか、正規の学生に関する規定を準用する。

第10章 外国人学生

第34条 削 除

第35条 外国大学の卒業者については、その大学の種類、修学年限等について調査し、日本の大学と同等以上と認められた者について入学資格を認める。

第36条 前条による外国人学生の入学志願については、大学院学則第21条に定める入学手続上の書類のほかに、研究科委員会において、必要とする書類を提出させた上、日本語又は英語で試験を行う。

第37条 本学卒業の外国人又は本学以外の日本の大学を卒業した外国人の入学については、一般学生と同様に取扱うことを原則とするが、特に事情ある者については、特別選考を行うことがある。

第11章 特別聴講学生及び特別研究学生

第38条 研究科の授業科目を履修しようとする他の大学院の学生があるときは、当該大学院との協定に基づき、特別聴講学生として受入れることができる。

第39条 研究科において特定の課題について研究指導を受けようとする者（他の大学院等の学生等）があるときは、研究科委員会の議を経て、当該大学院等との協定に基づき、特別研究学生として受入れることができる。

第12章 教育内容等を改善するための研修

第40条 本研究科は、授業、研究指導の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修並びに研究を実施する。

2 前項の目的を達成するため、本研究科は必要に応じて関係教員を招集し、研修会等を実施する。

第13章 納入金の減免

第41条 大学院学則第31条、第32条及び第33条の入学金、授業料、教育充実料及び実験実習料については、特に必要がある場合には研究科委員会の議を経て減免することができる。

2 本学又は研究科と協定している外国の大学に留学する者の留学期間の本学における授業料及び実験実習料は、原則として、1年を限度として、これを免除する。

3 休学中の授業料及び実験実習料は、月割額にて免除する。

4 休学中の既納の授業料及び実験実習料については、復学後の納入額にて調整する。ただし、申出により返還できるものとする。

5 休学中の教育充実料は、その納期に属さない分は免除する。

6 4月1日から翌年3月31日までの学年を休学する者については、休学時在籍料を除く納入金を免除する。

7 大学院医学研究科学生納入金減額規程に基づいて減額を決定された者については、既納の学納金のうちから免除額を返還する。

附 則

この規程は、昭和31年4月1日から施行する。

附 則(54.1.26)

この規程は、昭和54年4月1日から施行する。

附 則(56.12.25)

この規程は、昭和57年3月1日から施行する。

附 則(60.9.27)

この規程は、昭和61年4月1日から施行する。

附 則(61.2.28)

この規程は、昭和61年4月1日から施行する。

附 則(62.2.27)

この規程は、昭和62年4月1日から施行する。

附 則(63.1.29)

この規程は、昭和63年4月1日から施行する。

附 則(63.12.23)

この規程は、昭和64年4月1日から施行する。

附 則(1.3.24)

この規程は、平成元年4月1日から施行する。

附 則(2.1.26)

この規程は、平成2年4月1日から施行する。

附 則(3.9.28)

この規程は、平成3年10月1日から施行する。

附 則(3.12.20)

この規程は、平成4年4月1日から施行する。

附 則(4.8.28)

この規程は、平成4年8月28日から施行する。

附 則(4.12.25)

この規程は、平成4年12月25日から施行する。

附 則(5.12.24)

この規程は、平成6年4月1日から施行する。

附 則(6.11.25)

この規程は、平成6年11月25日から施行する。

附 則(6.11.25)

この規程は、平成7年4月1日から施行する。

附 則(8.12.20)

この規程は、平成9年1月1日から施行する。

附 則(12.5.26)

この規程は、平成13年4月1日から施行する。

附 則(14.3.22)

この規程は、平成14年4月1日から施行する。ただし、平成13年度までの入学生には適用せず、改正

前の規定による。

附 則 (14 . 5 . 24)

この規程は、平成15年4月1日から施行する。

附 則 (15 . 2 . 28)

この規程は、平成15年4月1日から施行する。

附 則 (15 . 9 . 26)

この規程は、平成15年10月1日から施行する。

附 則 (15 . 9 . 26)

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

附 則 (16 . 3 . 26)

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

附 則 (18 . 11 . 24)

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則 (20 . 3 . 28)

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

附 則 (21 . 2 . 27)

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則 (21 . 11 . 27)

1 この規程は、平成22年4月1日から施行する。

2 第39条第6項における休学時在籍料については、平成22年度入学生から適用する。

附 則 (22 . 2 . 26)

この規程は、平成22年4月1日から施行する。

附 則 (23 . 2 . 25)

この規程は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成23年11月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成24年8月1日から施行する。

附 則 (24 . 11 . 22)

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

附 則 (25 . 3 . 22)

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

附 則 (27 . 2 . 27)

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則 (27 . 3 . 27)

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則 (27 . 6 . 26)

この規程は、平成27年7月1日から施行する。

附 則 (28 . 2 . 26)

この規程は、平成28年4月1日から施行する。

附 則 (29 . 2 . 24)

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

附 則 (29 . 12 . 22)

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

附 則 (30 . 12 . 27)

この規程は、平成31年4月1日から施行する。

附 則 (2 . 12 . 16)

この規程は、令和3年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和3年6月17日から施行し、同年4月1日から適用する。

附 則

この規程は、令和4年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和4年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和4年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和5年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和6年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和7年4月1日から施行する。

久留米大学学位規則

(昭和34年11月11日)

第1章 総 則

(目 的)

第1条 この規則は、学位規則(昭和28年文部省令第9号)久留米大学大学院学則及び久留米大学学則(以下「学則」という。)により定めるよう規定されている事項、その他久留米大学(以下「本学」という。)が授与する学位について必要な事項を定めることを目的とする。

(学位の種類)

第2条 本学において授与する学位は、次のとおりとする。

大学院	比較文化研究科	修士(文学、社会学、保健福祉学、法学、政治学、経済学、 学術)	博士(文学、社会学、保健福祉学、法学、政治学、経済学、 商学、学術)
	心理学研究科	修士(臨床心理学、心理学)	博士(心理学)
	ビジネス研究科	修士(商学、経営学)	
	医学研究科	修士(医科学、看護学)	博士(医学、医学バイオ統計学、看護学)
大学	文学部	国際文化学科	学士(文学)
		社会福祉学科	学士(社会福祉学)
		心理学科	学士(心理学)
		情報社会学科	学士(社会学)
	人間健康学部	総合子ども学科	学士(教育学)
		スポーツ医科学科	学士(スポーツ医科学)
	法学部	法律学科	学士(法学)
		国際政治学科	学士(法学)
	経済学部	経済学科	学士(経済学)
		文化経済学科	学士(経済学)
	商学部	商学科	学士(商学)
	医学部	医学科	学士(医学)
		看護学科	学士(看護学)

(学位の授与)

第3条 本学において所定の課程を終えた者には、学則の定めるところにより学位を授与する。

第2章 比較文化研究科、心理学研究科、ビジネス研究科及び医学研究科の学位記に関する事項

(修士論文の提出)

第3条の2 修士論文の審査を申請し得る者は、比較文化研究科前期博士課程、心理学研究科前期博士課程、ビジネス研究科又は医学研究科修士課程に1年以上在学し、所定の科目について20単位以上修得しなければ提出することができない。

2 論文は、在学期間中に提出するものとし、その期日は各研究科委員会において定める。

3 論文は、論文審査願に論文目録・論文要旨及び履歴書を添えて、各研究科科長を経て学長に提出するものとする。

(博士論文の提出)

第4条 博士論文の審査を申請し得る者は、比較文化研究科後期博士課程又は心理学研究科後期博士課程においては2年以上在学し、所定の科目について16単位以上を修得し、また、医学研究科博士課程においては3年以上在学し、所定の科目について15単位以上修得しなければ提出することができない。

2 論文は、在学期間中に提出するものとし、その期日は各研究科委員会において定める。

3 論文は、論文審査願に論文目録・論文要旨・履歴書及び審査料を添えて、当該研究科科長を経て学長に提出するものとする。

4 論文には、参考として他の論文を添付することができる。

(論文)

第5条 学長は、審査のため必要があるときは、論文の副本・訳本・参考資料等の提出を求めることがある。

2 受理した論文は返還しない。

(論文の審査付託)

第6条 学長は、論文を受理したときは、当該研究科委員会に、その審査を付託するものとする。

(審査委員)

第7条 各研究科委員会は、論文審査委員(以下「審査委員」という。)を定めて、論文の審査及び最終試験を行う。

2 審査委員は、3名以上とし、必要に応じ、研究科委員以外の者を加えることができる。

(最終試験)

第8条 最終試験は、論文を中心とし、これに関連ある科目について、口答及び筆答により行うものとする。

(審査期間)

第9条 論文の審査及び最終試験は、原則として、論文を受理した後速やかに終了するものとする。

(審査結果の報告)

第10条 審査委員は、論文審査及び最終試験を終了したときは、審査及び最終試験の結果の要旨を、文書をもって、当該研究科委員会に報告しなければならない。

(学位授与の議決等)

第11条 当該研究科委員会は、前条の報告にもとづき、学位を授与すべきか否かを決定する。

2 前項の決定を行うには、構成員の3分の2以上が出席し、出席者の3分の2以上の賛成があることを必要とする。

第12条 当該研究科委員会の前条の決定を行ったときは、その氏名・論文審査要旨・最終試験の成績及び議決の結果を、文書をもって、学長に報告しなければならない。

(論文提出による博士)

第13条 博士の学位は、第3条の規定にかかわらず、本学大学院の後期博士課程又は博士課程を経ない者が、論文を提出して、その審査に合格し、かつ、専攻学術に関し、後期博士課程又は博士課程を終えて学位を授与される者と同以上の学力があることを、試問により確認された場合にも授与することができる。

2 前項により博士の学位を請求しようとする者は、学位申請書に、学位論文・同目録・論文要旨・履歴書及び審査料を添え、当該研究科科長を経て、学長に提出しなければならない。

(試問)

第14条 前条第1項の試問は、口答及び筆答によるものとし、専攻学術に関し、後期博士課程又は博士課程を終えて学位を授与される者と同以上の学力を有し、かつ、研究を指導する能力を有するか否

かについて行う。この場合、外国語については、原則として2種類を課するものとする。

2 前項の試問は、第7条に定める審査委員が行い、これについては第9条及び第10条の規定を準用する。

(論文提出による博士の規程の準用)

第15条 第13条による学位申請論文の提出・審査・学力の確認等に関しては、第4条第4項から第12条までの規定を準用する。(ただし、最終試験とあるを学力の確認に読み替える。)

(学位の交付)

第16条 学長は、第12条の報告にもとづき、学位を授与すべき者に所定の学位記を授与し、学位記を授与できない者には、その旨を通知する。

(報告及び審査要旨の公表)

第17条 学長は、前条により博士の学位を授与したときは、文部科学大臣に所定の報告書を提出するとともに、学位を授与した日から3月以内に、その論文の内容の要旨及び論文審査の結果の要旨をインターネットの利用により公表するものとする。

(学位論文の公表)

第18条 博士の学位を授与された者は、当該博士の学位を授与された日から1年以内に、当該博士の学位の授与に係る論文の全文を公表するものとする。ただし、当該博士の学位を授与される前に既に公表したときは、この限りではない。

2 前項により論文を公表する場合には、久留米大学において審査を受けた学位論文であることを明記しなければならない。

3 博士の学位を授与された者が行う前2項の規定による公表は、インターネットの利用により行うものとする。

第3章 学位の名称、取消及び書類様式

(学位の名称)

第19条 本学の修士、博士又は学士の学位を授与された者が、学位の名称を用いるときは、「修士(文学、社会学、保健福祉学、臨床心理学、心理学、法学、政治学、経済学、商学、経営学、学術、医科学、看護学)(久留米大学)」、「博士(文学、社会学、保健福祉学、心理学、法学、政治学、経済学、商学、学術、医学、医学バイオ統計学、看護学)(久留米大学)」又は「学士(文学、社会福祉学、心理学、社会学、教育学、スポーツ医科学、法学、経済学、商学、医学、看護学)(久留米大学)」と附記するものとする。

(学位授与の取消)

第20条 本学の学位を授与された者が、不正な方法により学位の授与を受けた事実が判明したとき、又は学位の荣誉を汚辱する行為があったときは、学長は、修士及び博士については研究科委員会の議を経て大学院合同委員会に、学士については教授会に諮り、既に与えた学位を取消し、学位記を返納させ、かつ、その旨を公表するものとする。

2 大学院合同委員会において前項の決定を行うには、構成委員の3分の2以上が出席し、出席者の4分の3以上の賛成があることを必要とする。

(書類の様式)

第21条 学位記の様式は、様式1、様式2及び様式3のとおりとする。

2 学位申請関係の書類の様式は別に定める。

附 則

この規則は、昭和34年10月1日から施行する。

附 則 (44 . 11 . 28)

この規則は、昭和45年4月1日から施行する。

附 則 (63 . 10 . 28)

この規則は、昭和64年4月1日から施行する。

附 則 (2 . 12 . 21)

この規則は、平成2年12月21日から施行する。

附 則 (3 . 3 . 22)

この規則は、平成3年4月1日から施行する。

附 則 (3 . 9 . 28)

この規則は、平成3年9月28日から施行し、同年7月1日から適用する。

附 則 (4 . 1 . 24)

この規則は、平成4年4月1日から施行する。

附 則 (6 . 2 . 25)

1 この規則は、平成6年4月1日から施行する。

2 平成5年度までに商学部経済学科に入学した学生については、改正後であっても、当該学科を卒業する場合には、学士（経済学）の学位を授与することができる。

附 則 (7 . 9 . 29)

この規則は、平成7年10月1日から施行する。

附 則 (9 . 3 . 28)

この規則は、平成9年4月1日から施行する。

附 則 (9 . 10 . 24)

この規則は、平成10年1月1日から施行する。

附 則 (10 . 1 . 30)

この規則は、平成10年4月1日から施行する。

附 則 (10 . 1 . 30)

この規則は、平成10年4月1日から施行する。

附 則 (13 . 1 . 26)

この規則は、平成13年4月1日から施行する。

附 則 (14 . 3 . 22)

1 この規則は、平成14年4月1日から施行する。

2 規則第4条については、平成13年度までの入学生には適用せず、改正前の規定による。

附 則 (15 . 3 . 28)

この規則は、平成15年4月1日から施行する。

附 則 (15 . 4 . 25)

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則 (15 . 9 . 26)

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則 (16 . 10 . 22)

この規則は、平成16年10月1日から施行する。

附 則 (17 . 3 . 25)

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則 (19 . 2 . 23)

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則 (20 . 9 . 17)

この規則は、平成20年10月1日から施行する。

附 則 (21.5.22)

この規則は、平成21年4月1日から施行する。

附 則 (24.1.27)

1 この規則は、平成24年1月27日から施行し、平成23年4月1日から適用する。

2 第18条の2については、平成22年度までの入学生には適用せず、改正前の規定による。

附 則 (26.1.24)

この規則は、平成26年1月24日から施行し、平成25年4月1日から適用する。

附 則 (26.7.25)

この規則は、平成26年7月25日から施行し、同年4月1日から適用する。

附 則 (26.12.25)

1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。

2 第4条及び第14条については、平成26年度までの入学生には適用せず、改正前の規定による。

附 則 (28.2.26)

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則 (28.10.28)

この規則は、平成29年4月1日から施行する。

附 則 (30.3.23)

この規則は、平成30年4月1日から施行する。

割印

第
号

年
月
日

久留米大学
印

を修得し、学位論文審査および最終試験に合格したので修(博)士(一)の学位を授与する。
本学大学院 研究科(修士・博士・前期博士・後期博士)において所定の単位

氏名
生年月日

様式1(大学院の課程を修了した場合)
学
位
記

様式2 (論文提出による場合)

学位記

氏名
生年月日

本大学に学位論文を提出して所定の審査および試験に合格したので博士
()の学位を授与する。

年 月 日

久留米大学 印

割印

第 号

様式3 (大学を卒業した場合)

学位記

氏名
生年月日

本学 学部 学科所定の課程を修め本学を卒業したので学士 ()の学位
を授与する。

年 月 日

久留米大学 学部長

印

大学印

久留米大学長

印

学部印

久留米大学大学院医学研究科学位規則施行細則

第1条 本学学位規則（以下「規則」という。）第4条第2項該当による大学院医学研究科（以下「本大学院」という。）博士課程の論文を提出する時期は、大学院医学研究科委員会（以下「研究科委員会」という。）において定める。

第2条 規則第13条第2項による論文提出により博士（医学、医学バイオ統計学、看護学）の学位を申請できる者は、本大学院の入学資格の有無にかかわらず、本学所定の研究歴のあるものとする。

2 前項の研究歴とは、次の各号に該当するものとする。

本学の専任職員として研究に従事した期間

本学医学部医学科助教（臨床研究員を含む。）として研究に従事した期間

本学医学部附属病院及び本学医療センターにおいて研修医として研究に従事した期間

本大学院を中途退学した者の場合は、大学院に在学した期間

本大学院に在学した期間

権威ある研究施設において専任職員として研究に従事した期間

本学が前各号と同等以上と認める方法により研究に従事した期間

第3条 学位の授与を受けようとする者は、次の書類を提出しなければならない。

学位論文審査願（本大学院在学中の者） 1通

学位申請書（論文提出による者） 1通

主論文

イ 修士論文 4通

ロ 博士論文 4通（必要に応じ別途部数を提出）

参考論文

イ 修士論文については参考論文がある場合、提出するものとする。

ロ 甲号 1編以上各2通

ハ 乙号 3編以上各2通

論文目録 1通

イ 論文題名が外国語の場合は、訳を付すること。

ロ 参考論文がある場合には、それぞれの題名及び冊数を記入すること。

論文要旨 1通

履歴書 1通

単位修得証明書 1通

ただし、本大学院在学中の者又は単位修得満期退学者のみ提出する。

第4条 学位論文の提出は、医学部事務部庶務課において受け付けるものとする。

2 前項の論文は、研究科委員会に諮り、受理するか否かを決定する。

3 本大学院所属教授の指導を受けない者の提出する論文は、あらかじめ、研究科委員会の審査を受けなければ、これを受理することができない。

4 受理した論文は、修士論文にあっては学籍番号順、博士論文については、本大学院修了によるもの（甲）と論文提出によるもの（乙）に分け、それぞれ受理順に整理するものとする。

5 学位記の授与番号は前項に準ずる。ただし、博士論文の要旨を公表する場合には、それぞれ甲、乙を付し区分する。

第5条 前条第3項の予備審査の手続・審査・学力の確認等に関しては規則第15条を準用する。

第6条 学位論文は、原則として印刷公表したものでなければならない。

2 論文が単行本なる場合は、研究科委員会において審査のうえ決定する。

第7条 学位論文は、原則として、受理順に若干名ずつ研究科委員会の審査に付し、6ヵ月以内に審査を完了するものとする。ただし、事情により研究科委員会の議を経て変更することができる。

2 論文の審査委員は主査1名、副主査2名とする。ただし、修士論文の審査委員は主査1名、副主査1名でも可とする。なお、いずれも2ヵ月以内に規則第10条に規定する報告書を作成し、研究科長に提出しなければならない。

3 本学学位規則第7条第2項に規定している研究科委員以外の者とは、教授、准教授又はそれに準ずる者でなければならない。

4 審査を受けようとする時は、指導教授及び共著者は、主査及び副主査になることができない。

5 研究科長は、論文審査に関する研究科委員会開催前日までに、主論文別冊に前項報告書を添えて配布するものとする。ただし、修士論文については配布しないものとする。

第8条 研究科委員会において学位を授与すべきか否かを決定する場合および学位授与の取消しに関する決議を行う場合には、無記名投票によるものとする。

第9条 海外旅行中の者及び休職中の者は、研究科委員会構成定員に算入しないものとする。

第10条 学位論文の審査料は、別にこれを定める。

2 既納の料金は、返還しない。

附 則

この施行細則は、昭和34年10月1日から施行する。

附 則

この施行細則は、昭和52年1月1日から施行する。

(参考) 37.2.10 医学研究科委員会

37.5.9 医学研究科委員会改正

37.6.13 医学研究科委員会改正

附 則

この施行細則は、昭和55年4月1日から施行する。

附 則

この施行細則は、昭和59年4月16日から施行する。

附 則

この施行細則は、昭和63年4月1日から施行する。

附 則

この施行細則は、平成3年4月1日から施行する。

附 則

この施行細則は、平成6年4月1日から施行する。

附 則

この施行細則は、平成7年10月1日から施行する。

附 則

この施行細則は、平成9年4月1日から施行する。

附 則

この施行細則は、平成14年4月1日から施行する。

附 則

この施行細則は、平成15年1月1日から施行する。

附 則

この施行細則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この施行細則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この施行細則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この施行細則は、平成20年10月1日から施行する。

附 則

この施行細則は、平成22年1月1日から施行する。

附 則

この施行細則は、平成23年1月1日から施行する。

附 則

1 この施行細則は、平成27年4月1日から施行する。

2 第1条については、平成26年度までの入学生には適用せず、改正前の規定による。

附 則

この施行細則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この施行細則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この施行細則は、令和元年5月1日から施行する。

附 則

この施行細則は、令和元年10月1日から施行する。

別紙様式

甲様式 2

A 大学院課程修了の場合

論 文 目 録

甲様式 1

年 月 日

甲第 号 氏名

主 論 文

題名 (印刷公表したものについては、その方法および年月日) 冊

医学研究科 系専攻

年入学

氏 名 印

参考論文

題名 (同 上)

冊

学位論文審査願

このたびは久留米大学学位規則第4条第3項により博士の学位を受けたいので、下記の
とおり関係書類を添え、学位論文を提出いたしますから御審査下さい。

記

- 1 主 論 文 編 冊
- 2 参 考 文 編 冊
- 3 論 文 目 録 編 冊
- 4 論 文 要 旨 編 冊
- 5 履 歴 書
- 6 単 位 修 得 (取 得) 証 明 書

甲様式 3

論文の要旨

甲第 号 氏名

論文の要旨

甲様式 4
甲第 号

履歴書

氏名
ふりがな
生年月日
本籍
現住所
学歴

年 月 日生

男
女

年 月 日
年 月 日
年 月 日

大学医学部医学科卒業
久留米大学大学院医学研究科
系専攻博士課程入学
第 年次在学中

研究歴
職歴

上記のとおり相違ありません。

年 月 日

氏名 印

乙様式 1

単位修得（取得）証明書

久留米大学大学院医学研究科博士課程 系専攻
年入学 氏名

久留米大学学長（氏名）殿

年 月 日

学 科 目	科 目	単 位	備 考
主 科 目			
副 科 目			
計			
選 択 科 目			
計			
合 計			

提出者氏名 印

学 位 申 請 書

このたび久留米大学学位規則第13条第2項により博士の学位を受けたいので、下記のとおりに関係書類を添え申請します。

記

- 1 主 論 文 編 冊
- 2 参 考 論 文 編 冊
- 3 論 文 目 録
- 4 論 文 要 旨
- 5 履 歴 書

上記のとおり単位修得（取得）したことを証明する。

年 月 日

- 乙様式 2 論 文 目 録
- 乙様式 3 論 文 要 旨
- 乙様式 4 履 歴 書

久留米大学大学院医学研究科科长

以上はそれぞれAの甲様式に準ずる。ただし、甲第 号の甲を乙に読み替えるものとする。

C 学位規則施行細則第4条第3項該当者の予備審査を要する者

年 月 日

久留米大学学長 殿

氏名 印

学位論文予備審査願

このたび久留米大学学位規則第13条第2項により博士の学位を受けたいので、下記のとおり関係書類を添えて申請します。

記

- | | | |
|---|------|----|
| 1 | 主論文 | 編冊 |
| 2 | 参考文献 | 編冊 |
| 3 | 論文目録 | |
| 4 | 論文要旨 | |
| 5 | 履歴書 | |

備考

- 1 この審査願関係書類の諸様式は、Bの乙様式のものを用いる。(学位申請書を除く。)
- 2 学位申請書は、予備審査に合格したる後審査料を添えて提出する。

大学院医学研究科修士課程の学位授与に関する手続き及び審査基準に関する内規

〔平成18年11月14日〕
〔内規第18 5号〕

第1章 試験および学位授与に関する手続き

第1条 研究題目決定の時期については、専攻科目指導教授の指示を受け1年次の8月末日までに決定する。

2 履修科目については、年度当初速やかに指導教授と相談の上決定する。

第2条 修士課程の学科課程（学年別単位配当）については、以下の科目を2年次までに修得する。

修得すべき単位の基準

医科学専攻

学 群	基礎科目	専門科目	大学院セミナーシリーズ	準専攻科目	選択科目
基礎医学群 社会医学群	10単位以上	12単位以上 (演習4単位、論文指導演習4単位を含む。)	1単位	講義4単位以上	自身が履修した以外の科目から3単位以上

看護学専攻

修士論文コース

分 野	基礎科目	専攻分野	大学院セミナーシリーズ	特別研究
看護教育管理分野	9単位以上	共通科目8単位 その他4単位以上	1単位	8単位

専門職養成コース

分 野	共通科目	専攻分野	実習科目
がん看護分野 CNS 養成	講義 14単位以上	共通科目 6単位 専門科目 12単位	10単位
感染症看護分野 CNS 養成	講義 14単位以上	専門科目 20単位	10単位
感染症看護分野 国際実践	講義 10単位以上	専門科目 20単位	6単位
老年看護分野 CNS 養成	講義 14単位以上	共通科目 10単位 専門科目 8単位	10単位
小児看護分野 CNS 養成	講義 14単位以上	専門科目 18単位	10単位

分 野	基礎科目	助産学分野 基礎科目	助産学分野 専門科目	特別研究
助産学分野 助産師資格	8単位以上	31単位	14単位	8単位
助産学分野 上級実践	8単位以上		16単位	8単位

総合生命科学・バイオ統計学専攻

学 群	基礎科目	専門応用科目
総合生命科学群	10単位以上	26単位以上 (必修科目18単位、選択科目 8 単位を含む)
バイオ統計学群		30単位以上 (必修科目12単位、選択必修科目 7 単位、選択科目11単位を含む)

第3条 修士課程の履修方法については、専攻科目指導教授の指示を受け、終了に必要な履修科目を決定する。

第4条 修士課程単位修得試験の時期及び方法については、以下のとおりとする。

- 2 時期については各開講期末に試験を行い、原則として2年次までに全科目修了する。
- 3 単位習得試験の方法については、授業科目担当責任者の一任とする。

第5条 修士課程における学位論文提出及び審査の時期については以下のとおりとする。

- 2 学位論文の提出は原則として2月上旬の医学研究科委員会とする。
- 3 学位論文の審査については、2月下旬の医学研究科委員会で行う。
- 4 提出する学位論文は印刷公表したものが望ましいが、研究成果報告書を以ってこれに代えることができる。なお、提出部数は主論文については所定の部数とし、参考論文があれば提出する。

第6条 修士課程における学位論文審査結果の要旨の字数については、400字以内とする。

第7条 修士課程における学位記日付については、大学院に所定の年限在学し、所定の単位を修得して定められた期間内に論文を提出し、学年末までに審査を終了した者は3月31日とする。

- 2 前項以外の学期途中で論文を提出して審査を終了した者は、審査医学研究科委員会が行われた月の末日とする。

第2章 審 査 基 準

第8条 医学研究科修士課程の学位論文審査基準を、以下のよう定める。

- 1 学位論文の審査および最終試験において、基礎学力および専攻学術の知識に関し、修士課程修了に相応し、十分な達成度が確認されていると認められること。
- 2 学位論文が内容的に専攻学術分野の研究水準に達していると認められること。
- 3 審査の評価は合格、不合格の二段階とする。

附 則

この内規は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、令和5年4月1日から施行する。

学位申請の取扱いについて（申し合わせ）（修士）

学位論文は、印刷公表したものが望ましいが、研究成果報告書（レポート形式）を以ってこれに代えることができる。研究成果報告書（レポート形式）を学位論文とする場合は、単著論文であること。なお、印刷公表済の論文で、下記の1～5を満たす場合は、共著論文を審査の対象とすることができる。

共著論文による学位申請がなされた場合は、大学院医学小委員会において検討を行い、その結果を大学院医学研究科委員会で審議するものとする。

- 1 掲載予定で提出する場合は、校正刷り又は、掲載証明書に論文原稿写しを添付し提出すること。
- 2 学位申請者は、筆頭著者であること。ただし、著者名がアルファベット順になっている投稿誌は、その事由書を提出すること。なお、当該論文の著者の欄に、複数の筆頭著者の equal contribution による研究である旨の明確な記載があり、equally contributed author が2名以内の場合は、そのいずれをも筆頭著者として認める。ただし、もう一人の equally contributed author が、当該論文を学位申請論文(主論文)として使用することについて合意していること(共著者からの承諾書、誓約書の提出)。
- 3 指導教授による共著者全員の役割分担証明書、学位申請論文として提出することについての共著者全員の承諾書及び、提出される学位論文を学位論文として過去において使用したことがなく、将来においても使用しないことを誓約する誓約書を提出すること。(承諾書、誓約書は同一書式)
- 4 指導教授(主科目担当教授)との共著を認める。
- 5 留学先との共著論文による学位申請を受けつけることができる。
手続きは前各号に準ずる。
- 6 人を対象とした研究の場合、久留米大学医に関する倫理委員会あるいはそれに準じた審査において承認されていること。また、承認通知書・実施許可書あるいはそれに準じた書類を提出すること。提出された書類は大学院医学小委員会において検討する。
- 7 動物を対象とした研究の場合、久留米大学動物実験委員会あるいはそれに準じた審査において承認されていること。また、久留米大学動物実験計画書あるいはそれに準じた書類を提出すること。提出された書類は大学院医学小委員会で適否において検討する。
- 8 遺伝子組換えを行った研究の場合、久留米大学遺伝子組換え実験安全委員会あるいはそれに準じた委員会において承認されていること。また、久留米大学遺伝子組換え実験安全委員会が発行する承認書あるいはそれに準じた書類を提出すること。提出された書類は大学院医学小委員会において検討する。

(省略)

附 則

この申し合わせは、令和5年4月1日から施行する。

大学院修士課程早期修了者（1年以上2年未満在学）の論文審査手続について

（平成27年度以降入学者から適用）

（平成27年7月8日大学院医学研究科委員会承認）

医学研究科修士課程

審査要件	大学院早期修了者
早期修了者の認定	<ul style="list-style-type: none"> ・査読制度が確立した雑誌に掲載された論文の提出を求める。 ・指導教授による指導証明書の提出を求める。 ・論文の受理は、研究科委員会に諮る前に医学小委員会で認定する。
早期修了に必要な授業科目の取得について	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院学則第4章「授業科目、履修方法、単位取得の認定」の第9条および大学院医学研究科規程第3章「授業科目及び履修方法」の第6条に基づく科目を申請時点までに履修し、単位認定を受けることを条件とする。 専攻科目分担、各専攻系の詳細な履修条件は省略するが、規程に沿って単位認定を受けていること。
審査過程	<ul style="list-style-type: none"> ・審査過程は、博士課程の在学期間延長者の審査手続きの流れに準じる。ただし、集談会は行わず、個別の口述試験を行うこととする。
論文提出期日	<ul style="list-style-type: none"> ・論文提出は、1年次11月末から随時受付を行う。審査には最短でも3ヶ月を要するため、提出期限は、学位記日付から遡って3ヶ月前に開催される大学院医学小委員会の1週間前とする。 ・雑誌の受理通知後に、論文提出を受け付ける。
学位記日付	日付は審査が行われた月の末日とする。 （1年次は3月31日とする。）
授業料その他	修士課程を1年以上2年未満で修了する者については、授業料及び実験実習料を月割りで返還する。
その他	休学期間がある者については、早期修了は認めない。

【関係規程】

久留米大学大学院学則

第6章 第14条

修士の学位は、比較文化研究科若しくは心理学研究科の前期博士課程又はビジネス研究科若しくは医学研究科の修士課程において2年以上在学し、所定の単位を履修し、かつ、学位論文審査及び最終試験に合格した者

- 前項の規定にかかわらず、優れた研究業績を上げた者については、ビジネス研究科修士課程若しくは医学研究科修士課程において1年以上又は医学研究科博士課程において3年以上在学すればたりるものとする。ただし、ビジネス研究科修士課程及び医学研究科修士課程における長期履修学生には適用しない。

久留米大学学位規則

（修士論文の提出）

第3条の2 修士論文の審査を申請し得る者は、比較文化研究科前期博士課程、心理学研究科前期博士

課程、ビジネス研究科又は医学研究科修士課程に1年以上在学し、所定の科目について20単位以上修得しなければ提出することができない。

久留米大学大学院医学研究科規程

第4章 試験 第14条 学位論文は、博士課程にあつては研究科に3年以上在学し、修士課程にあつては1年以上在学し、所定の単位を取得した後でなければ、これを提出することができない。

医学研究科学位記日付に関する申し合せ事項

学位記日付は、次の通りとする。

1 大学院の課程を修了した場合

イ 大学院に所定の年限在学し、所定の単位を修得して定められた期間内に論文を提出し、学年末までに審査を終了した者は3月31日とする。

ロ 前項以外の学期途中で論文を提出して審査を終了した者は、審査医学研究科委員会が行なわれた月の末日とする。

久留米大学大学院学則

(学納金の返還)

第34条 入学金、授業料その他の既納の学納金は返還しない。ただし、第14条第2項に該当する者で修士課程を1年以上2年未満、博士課程を3年以上4年未満で修了する者については、授業料及び実験実習料を月割りで返還する。

久留米大学大学院医学研究科における 学位論文指導計画等策定に関する内規

〔平成18年11月14日〕
〔内規第18 4号〕

第1条 この内規は久留米大学大学院医学研究科規程第4条に基づき「学位論文の作成等に対する指導の計画」を策定するための取り扱いを定めることを目的とする。

2 前項の目的を達するため設置された課程における標準的な研究ならびに学位論文指導計画を以下のとおりとする。

(修士課程)

学 年	指 導 内 容
1 学 年	授業科目の履修 研究計画の策定 研究題目の策定 研究に必要なデータの作成と解析 論文作成にかかわる指導 学位論文提出(1年次修了の場合)
2 年 次	授業科目の履修 研究遂行、データ作成・評価・解析・討議 論文作成にかかわる指導 学位論文提出

(博士課程)

学 年	指 導 内 容
1 学 年	授業科目の履修 研究計画の策定 研究題目の策定 研究に必要なデータの作成と解析
2 学 年	授業科目の履修 研究遂行、データ作成・評価・解析・討議
3 学 年	研究遂行、データ作成・評価・解析・討議 論文作成にかかわる指導 学位論文の公表と提出(3年次修了の場合)
4 学 年	論文作成にかかわる指導 学位論文の公表と提出

第2条 医学研究科指導教授は前条の標準的な研究指導計画ならびに学位論文指導計画を学生に提示し達成目標に合致する指導を行う。

2 学生は指導教授の指導の下研究ならびに学位論文作成に関し計画的な実施に努める。

第3条 医学研究科授業担当責任者は本内規第2条に明示した「授業科目」についてシラバスを作成し指導計画を学生に提示する。

附 則

この内規は平成19年4月1日から施行する。

久留米大学大学院医学研究科奨学金規程

〔昭和48年3月27日〕
規程第47 8号

(目的)

第1条 医学における優秀な研究者及び指導者の育成を図ることを目的として、久留米大学大学院医学研究科(以下「研究科」という。)に奨学金制度を設ける。

(資格)

第2条 この制度による奨学生は、学業、人物ともにすぐれ、健康であって、経済的理由により修学が困難な者とする。ただし、日本学生支援機構及び地方公共団体等による奨学金制度を利用する者は、この奨学金は受けられない。

(出願手続)

第3条 この制度による奨学金の貸与を希望する者は、所定期日までに願書及び所得に関する書類を提出しなければならない。

(選考基準)

第4条 奨学生の選考基準については、日本学生支援機構奨学生の選考基準を準用する。

(選考)

第5条 奨学生の選考は、大学院医学研究科委員会の選考を経るものとする。

(貸与期間)

第6条 奨学金の貸与期間は、1年以内とする。ただし、毎年出願することができる。

(借用証書等の提出)

第7条 奨学生に採用された者は、貸与終了時に借用証書、誓約書等の必要書類を提出しなければならない。

(奨学金の停止)

第8条 奨学生が次の各号の一に該当するときには、奨学金の貸与を停止し、かつ、その間貸与した奨学金について返還させる。

学則により退学又は転学が認められたとき。

学則によって放学、除籍の処分を受けたとき。

奨学生として不相当と認められたとき。

(奨学金の額並びに返還等)

第9条 奨学金の額、奨学金の返還、返還方法、返還猶予、利子等は別に定める。

(細則)

第10条 この規程の運用については、別に施行細則を設ける。

附 則

この規程は、昭和48年4月1日から施行する。

附 則(13.7.27)

1 この規程は、平成13年7月27日から施行し、同年4月1日から適用する。

2 「久留米大学大学院医学研究科奨学金施行内規（内規第47 8号）」は、この規程の施行の日から廃止する。

附 則

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

久留米大学大学院医学研究科奨学金規程施行細則

〔昭和48年3月28日〕
〔細則第47 8号〕

(趣 旨)

第1条 久留米大学大学院医学研究科奨学金規程の運用については、同規程によるほか、この施行細則の定めるところによる。

(奨学金の額)

第2条 奨学金の額は、修士課程においては月額85,000円、博士課程においては月額120,000円とし、毎月本人指定口座に振込むものとする。

(奨学金の利子)

第3条 貸与した奨学金の利子は、1%とする。

(返還及び返還方法)

第4条 奨学金の貸与を受けた者は、研究科終了後15年以内に返還しなければならない。

2 奨学金の返還は、年1回の元本均等返還とする。

3 奨学金の返還は、毎年度3月31日迄に大学指定の銀行口座に振込むものとする。

(返還猶予)

第5条 奨学金の貸与を受けた者が、病気、災害等により返還が困難なときは、願い出により返還を猶予することができる。

(返還免除)

第6条 奨学金の貸与を受けた者が、死亡したとき、又は、病気、事故などのやむを得ない事由が認められるときは、願い出により医学研究科委員会の議を経て免除できるものとする。

2 前項の免除額については、学長が決定する。

(滞 納)

第7条 奨学金の返還が本人、連帯保証人及び保証人に対して督促請求を重ねても実行されないときは、民事訴訟法による措置を次のとおり講ずるものとする。

支払命令

奨学金の返還を滞納した者に対しては、その居住地を管轄する簡易裁判所に対し、支払命令の申し立てを行う。

仮執行宣言付支払命令

支払命令の申し立てを行っても、なお返還をしない者には支払命令を行った簡易裁判所に対して仮執行宣言付支払命令の申し立てを行う。

強制執行

仮執行宣言付支払命令の申し立てを行っても、なお返還に応じない者に対しては、強制執行の手続きをとる。

(延滞金)

第8条 延滞金は、延滞期間1ヵ年につき延滞額の5%に相当する額とする。

(異動届)

第9条 本人、連帯保証人、保証人に異動を生じた場合には遅滞なく異動届を提出しなければならない。

(所管事務)

第10条 この奨学金制度の事務は、医学部事務部教務課の所管とする。

(補則)

第11条 この施行細則に定めるもののほか、必要な事項は、医学研究科委員会の議を経て、医学研究科長が定める。

附則

この細則は、昭和48年4月1日から施行する。

附則

この施行細則は、平成13年7月27日から施行し、同年4月1日から適用する。

久留米大学大学院医学研究科学生納入金減額規程

〔平成24年11月22日〕
〔規程第24 4号〕

(納入金の減額及び減額項目)

第1条 久留米大学大学院医学研究科博士課程に入学する学生で、初期臨床研修医(歯科を含む。)である者については、納入金を減額することができる。

2 減額できる納入金は、授業料及び実験実習料とし、それぞれの半額を免除することができる。

(減額の対象期間)

第2条 納入金を減額できる対象期間は、初期臨床研修医である期間とする。

(申請手続)

第3条 減額を希望する者は、所定の願書を学長に提出しなければならない。

(選考及び決定)

第4条 願書を提出した者について、大学院医学研究科委員会の議を経て、学長が決定する。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

久留米大学大学院私費外国人留学生学納金免除規程

〔昭和63年10月28日〕
〔規程第63 4号〕

(目 的)

第1条 この規程は、久留米大学大学院に入学する私費外国人留学生のうち、学業成績、人物とも優秀で、かつ、経済的に修学困難な者に対し、学納金の免除を行うことにより私費外国人留学生の勉学助成に寄与することを目的とする。

(免除項目)

第2条 この規程により免除できる学納金は、次のとおりとする。

入学金

授業料

(免除人員及び免除額)

第3条 免除対象人員は、全額免除及び半額免除について、それぞれ若干名とする。

(選 考)

第4条 免除対象者の選考は、各研究科委員会の議を経て、学長が決定する。

2 免除対象者の選考に関し必要な事項は、別に定める。

(入学金免除額の返還)

第5条 入学金免除を決定された学生が入学金を納入していた場合には、免除額を返還する。

附 則

この規程は、平成元年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成13年4月1日から施行し、平成13年度入学生から適用する。

優れた学位論文に対する表彰制度要項

〔平成11年2月22日〕
〔学 長 決 裁〕

(趣 旨)

第1条 この要項は、久留米大学大学院学則第44条の規定に基づき、久留米大学大学院医学研究科（以下「医学研究科」という。）の表彰制度について定める。

2 医学研究科は、先駆的な学術研究を推進し、国際的に活躍し得る研究者を育成することを目指している。当研究科は、優れた研究業績をあげた学位記授与者のさらなる将来への意欲を鼓舞するために顕彰する。

(賞の名称)

第2条 賞は、久留米大学学術奨励賞（以下「学術奨励賞」という。）と称する。

(応募資格)

第3条 久留米大学（大学院医学研究科）から授与された学位の学位記年月日が、前年度4月30日から翌年4月1日までの者は、その学位論文をもって応募できる。

2 前項の応募論文の研究は、久留米大学内において行われたものに限る。

3 申請者は、応募の際久留米大学に在籍していることを問わない。

(応募方法等)

第4条 学術奨励賞の応募者は、次に掲げる書類を研究科科長に提出するものとする。

2 応募期間は、毎年4月1日から10月末日までとする。

申請書

履歴書

応募論文要旨（500字程度）

所属長の推薦書（400字以内、自薦の場合は不要）

応募論文別冊 5部

(選考方法)

第5条 大学院医学小委員会内の学術奨励賞選考委員会により6編以下に絞り込み、大学院医学小委員会により原則として1編以上を選考する。

2 大学院医学小委員会による選考結果については、医学研究科委員会の議を経るものとする。

(表 彰)

第6条 表彰は、次のとおりとする。

2 受賞者には、表彰状及び表彰金を贈呈する（総額30万円の範囲内での運用）とする。

3 表彰は毎年医学研究科委員会において行うものとする。

(庶 務)

第7条 この要項に関する庶務は、医学部事務部庶務課において処理する。

附 則

この要項は、平成11年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成15年11月12日から施行し、同年11月1日から適用する。

附 則

この要項は、平成17年10月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成27年12月15日から施行する。

久留米大学学生医療費補助規程

〔昭和43年3月16日〕
〔規程第42 6号〕

第1条 学校法人久留米大学(以下「本学」という。)は、設置する学校に在学する学生または生徒(以下「学生」という。)が傷病にかかり、久留米大学医学部附属病院(以下「大学病院または医療センター」という。)において医療を受ける場合、この規程の定めるところにより医療費の一部を補助する。

第2条 補助の対象となる医療の内容は、次の各号に掲げるとおりとする。

診察

薬剤または治療材料の支給

処置、手術その他の治療

大学病院または医療センターへの入院

看護

紹介状なし初診時負担金

紹介状なし再診時負担金

第3条 前条の医療に要した費用に対する補助額は、次の各号に掲げるとおりとする。

保険証のある者にあつては、健康保険法による自己負担額とする。ただし、高額療養費、附加給付その他公的機関が行う医療給付があるものについては、当該給付額を控除した残りの額とする。

保険に加入してない者にあつては、医療単価15円を基礎として算出した自由診療額の3割とする。

前2号の規定にかかわらず、本学に加え本学外の機関より医療費の補助を受ける者については、その補助額を控除した残りの額とする。

第4条 学生が医療を受けようとするときは、学生証若しくは身分証明書を大学病院または医療センターの受診受付窓口に掲示するものとする。

2 学生が医療を受けたときには、本人が医療費の自己負担額を支払うものとする。

第5条 学生が次の各号の一に該当する場合は、医療費の補助を行なわない。

学生が精密健康診断またはそれに相当する検査を経ずして入学を許可されて、入学後最初の学生健康診断において要療養の診断を受けた場合

学生の傷病が、学生の品格を傷つけるが如き原因による場合

第6条 第2条第4号及び第5号に該当し、補助を受けている者が卒業し、または学資不足のために退学し、次の各号の一に該当する場合には、第1条の規定にかかわらず、次の各号に規定する期間を限度として補助を継続することができる。

その傷病が本人において注意をおこたらなかったにもかかわらず、授業中の不慮の事故または公認運動競技に基づいて発生した場合 適当な期間

経済的に著しく困難なために補助なくしては、医療を継続しえない場合 3ヶ月

第7条 この規程で定められた医療費の補助は、学生本人の申請に基づき、御井学舎事務部学生課において事務手続きを行うものとする。

附 則

この規程は、昭和43年4月1日から施行する。

附 則（48.12.24）

この規程は、昭和48年12月24日から施行し、昭和48年10月1日から適用する。

附 則（51.12.7）

この規程は、昭和51年12月7日から施行し、昭和51年2月27日から適用する。

附 則（52.3.24）

この規程は、昭和52年4月1日から施行する。

附 則（57.12.24）

この規程は、昭和58年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成6年7月1日から施行する。

附 則

- 1 この規程は、平成19年4月1日から施行する。
- 2 久留米大学学生医療費補助規程の運用に関する内規は、この規程の施行の日から廃止する。

附 則

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

大学病院及び医療センターにおいて本学学生が受診した場合の診療費の還付方法について

1. 診療費還付の対象となるもの

医事課窓口で支払った保険診療費(本人負担分)のうち、高額療養費等公的給付金を除いた金額
初診時紹介状を持参しなかった場合の特定療養費

大学病院3,240円 医療センター1,500円

当該診察時に処方された薬剤費(調剤薬局へ支払われた一部負担金)

2. 診療費還付の対象とならないもの

保険給付外の医療費や健康診断費(人間ドック等)、入院時食事療養費標準負担額、第三者行為(交通事故、けんか等)による診療費、学校保健給付の対象となる診療費、室料差額代、分娩費、高度先進医療等の特定療養費等、装具等(ギブス、コルセット等)

3. 医事課窓口での診療費の支払いは、診療後速やかにお支払いください。

4. 還付の手続き方法について

医事課窓口で支払った診療費については、診療月の翌月1日から1ヶ月単位(1日~末日)および医療機関別単位で、診療費還付申請書(別紙1)に必要事項を記載のうえ、病院発行の診療費領収書 保険証(コピー可) 振込指定銀行口座通帳(支店名、口座番号、名義が記載されている部分のコピーでも可)を添付し、学生課へ還付申請をしてください。医学科および大学院医学研究科学生については医学部事務部教務課、看護学科学生については看護学科事務室、臨検校学生については臨検事務室で受け付けます。

例えば4月診療分の還付申請は5月1日からお願いします。4月中には還付申請は受け付けません。「診療費還付申請書」の記載方法については、申請書用紙と同時にお渡しする記入例を参照ください。

「診療費還付申請書」および「記入例」は学生課、医学部事務部教務課、看護学科事務室、臨検校事務室に配置いたします。

薬剤費の還付申請は、大学病院または医療センター診療費還付申請と同時に当該診察時に処方された薬剤費の領収証を添えて行ってください。(薬剤費のみの申請はできません。)

保険外金額や久留米大学病院および医療センター以外の医療機関で発行された処方箋による薬の費用は診療費還付の対象外です。

注1) 診療費還付は学生の申請によります。申請がない場合には還付はいたしません。

注2) 原則として申請書提出期限は病院の領収書発行日の翌月から起算して6ヶ月目の末日までとします。適切な理由がある場合はこの限りではありません。

注3) 病院発行の診療費領収書は原則として原本を提出していただきます。しかし、高額療養費等給付申請や生命保険給付申請等の理由で、手元に領収書の原本がない場合は、写しの提出でも差し支えありません。

注4) 病院発行の領収書は再発行はいたしません。絶対紛失しないようにご注意ください。(紛失された場合、領収証明書の発行はしますが有料(2,100円)です)

注5) 支払った診療費が高額療養費等に該当する場合は、先に高額療養費等の給付申請を各自で行い、保険者からの給付を受けてください。

大学への還付金申請はその給付を受けた後に行ってください。

各医療保険者へ申請する高額療養費等（高額療養費、高額医療費、附加給付金）の給付対象となる診療費領収書金額欄は別紙1の欄です。この金額がある一定の金額を超過すると各医療保険者へ自己申請することにより、超過した分を給付金として受給することができます。

「ある一定の金額」については、保険の種類や所得によって基準となる金額が異なります（一般的には80,100円）ので、基準金額や申請方法について、加入されている医療保険の担当窓口へ各自お問合せください。

高額療養費等の問合せ・申請先

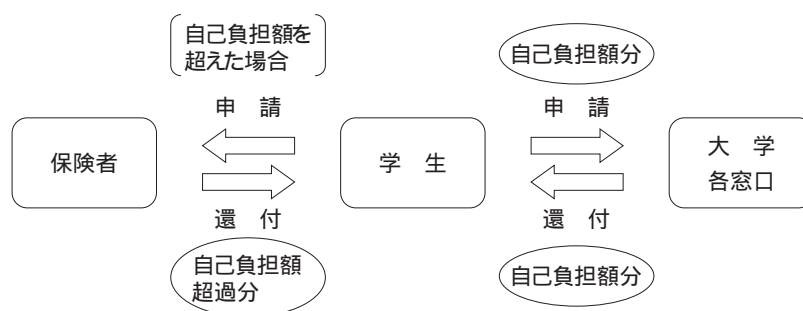
[国民健康保険] ...各市町村国保窓口

[全国健康保険協会] ...全国健康保険協会各支部

[健康保険組合] ...各事業所（会社）

[共済組合] ...各職場の共済組合担当窓口

この場合大学は、大学病院または医療センター会計窓口で支払った診療費から、受診者等各医療保険者から給付を受けた金額を差し引いた金額（つまり自己負担金限度額）を還付いたします。



注6) 医療費の支払いが高額になりそうな場合(入院等) 限度額認定証の交付申請を各医療保険者へ行うことにより、病院窓口での支払いが自己負担額のみとなります。

これにより、高額療養費の申請は不要になります。

学生医療費還付申請手続を円滑に行うためにも、入院が決定、もしくは高額な支払になることが決定した場合は、各医療保険者へ限度額認定証の交付申請をしていただきますようお願いいたします。

申請後学生課にてチェックおよび計算・振込み処理を行い、申請月の翌々月末頃を目安として還付金を申請書に記載の学生または保証人名義等指定の銀行口座に振り込みます。

学生課は窓口で支払った金額から保険者から給付された高額療養費等の金額を差し引いた金額(自己負担限度額)を学生もしくは保証人名義の指定の銀行口座に振り込みます。

5. 大学病院および医療センターを受診される際には、学生証および保険証を必ず医事課窓口へ提出してください。提出されなかった場合には、原則として診療費の還付を受けることはできませんのでご注意ください。

以上の件についてご不明な点があれば、学生課(電話 直通0942-44-2712)までお問い合わせください。

【申請日】 _____ 年 _____ 月 _____ 日

学校法人久留米大学 理事長 殿

【申請者】 学籍番号 _____

氏 名 _____ 印 _____

携帯番号(_____ - _____)

診 療 費 還 付 申 請 書

下記のとおり、診療費を支払いましたので、領収書を添えて還付金の申請を致します。

診療年月	_____ 年 _____ 月	受診分	医療機関 (該当に☑)	<input type="checkbox"/> 久留米大学病院 <input type="checkbox"/> 久留米大学医療センター
------	-----------------	-----	----------------	--

単位：円

診療区分	本人負担額 (A)	高額医療費 (B)	付加給付金 (C)	申請額 (A) - (B) - (C)
入院				
外来(医科)				
外来(歯科)				
薬代				
合計				

保険証 について	国民健康保険 ・ 全国健康保険協会 ・ 共済 ・ 組合健保 (該当を○で囲む)										
	保険者の名称 _____ (国民健康保険・全国健康保険協会以外)										
	保険者の番号 (左詰め)	<table border="1" style="width: 100%; height: 20px;"> <tr> <td style="width: 12.5%;"></td> <td style="width: 12.5%;"></td> <td style="width: 12.5%;"></td> <td style="width: 12.5%;"></td> <td style="width: 12.5%;"></td> <td style="width: 12.5%;"></td> <td style="width: 12.5%;"></td> <td style="width: 12.5%;"></td> </tr> </table>									
振込先 (ゆうちょ銀行不可)	(フリガナ)	銀行番号 (左詰め)	(フリガナ)	店番号 (左詰め)							
	銀行・信用金庫 農協・労働金庫		支店・営業部 出張所								
	口座番号 (左詰め)	口座名義人 (本人または保証人)	(フリガナ) (漢字)								

*申請日・申請者及び太枠の部分記入して下さい。

*本用紙は1ヶ月単位(1日～末日)で記入して下さい。

*申請受付期限：診療月の翌日から起算して6ヶ月目の末日まで。〔例：4月診療の場合、受付期間は5月1日～10月31日まで〕

(本人の過失によらず、かつやむを得ない事情により6ヶ月を超えることとなった場合にはこの限りではありません。)

*診療費の還付については、申請者(学生)本人または保証人の銀行口座(普通口座)に振込み致します。(ゆうちょ銀行不可)

受付印

*受付月の翌々月の月末に指定口座へ振込予定。(書類不備等で振込が遅れる場合がありますのでご了承下さい。)

※主要銀行番号・・・福岡銀行 177 西日本シティ銀行 190
筑邦銀行 178 佐賀銀行 179

久留米大学医学図書館利用細則

〔昭和53年3月30日〕
〔細則 第52 5号〕

（趣 旨）

第1条 この細則は、久留米大学附属図書館規則第8条の規定に基づき、久留米大学医学図書館（以下「医学図書館」という。）の利用に関する事項を定める。

（利 用 者）

第2条 医学図書館を利用することのできる者は、次のとおりとする。

- 本学の学生及び大学院生
- 本学の教職員
- 本学名誉教授
- 本学医学部卒業生
- 学外における医療従事者
- その他医学図書館長が特に認めた者

（開館時間）

第3条 医学図書館の開館時間は、次のとおりとする。

- 平 日 8時30分から22時まで
- 土・日曜日 10時から20時まで

2 医学図書館長が特に必要と認めたときは、臨時に開館時間を変更することができる。

（休 館 日）

第4条 医学図書館の休館日は、次のとおりとする。

- 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する日
- 特別休日 8月15日
- 年末 12月29日から同月31日まで
- 年始 1月2日及び3日

2 医学図書館長が特に必要と認めたときは、前項の規定にかかわらず、臨時に開館又は休館することができる。

（入 館）

第5条 医学図書館に入館するときは、第2条第1号及び第2号の者については、学生証又は教職員用名札を、同条第3号、第4号及び第5号の者については、医学図書館利用許可証を携帯し、係員から提示の要求があった場合は、それに応じなければならない。

（館内閲覧）

第6条 図書を閲覧しようとする者は、次の事項を守らなければならない。

- 閲覧済の図書は、所定の場所に置くこと。
- その他係員の指示に従うこと。

2 図書の閲覧は、すべて閲覧室で行い館外に持出してはならない。

（館外帯出）

第7条 図書を館外帯出（以下「帯出」という。）するときは、第2条第1号及び第2号の者については、学生証又は教職員用名札を、同条第3号、第4号及び第5号の者については、医学図書館利用許可証を係員に提出しなければならない。

- 2 帯出できる図書の冊数及び期間は、次のとおりとする。
本学の学生 1人5冊以内 1週間以内（但し、未製本雑誌は1日）
教職員、名誉教授及び大学院生 1人10冊以内 2週間以内（但し、未製本雑誌は1日）
本学医学部卒業生及び学外における医療従事者 1人3冊以内 1週間以内（但し、参考図書、指定図書及び未正本並びに正本を含む雑誌は、帯出できないものとする。）
- 3 第2条第1号、第2号及び第3号の者が、期間を超え引続き帯出するときは、他に閲覧帯出の希望者がいない場合に限り、帯出の更新を2回限り行うことができる。
- 4 帯出図書は、借用者が保管の責任をもち、他に転貸してはならない。

（禁帯出図書）

第8条 次の図書は、帯出することができない。

貴重図書

地図、年鑑、統計表、辞典、事典等

新聞

AV資料及び電子出版物

- 2 前項の図書は、学術研究上、特に医学図書館長が必要と認めたものは、所定の手続きを経て帯出することができる。

（図書の返納）

第9条 帯出中の図書は、次の場合直ちに返納しなければならない。

職員が退職するとき。

学生が卒業、退学、休学、停学又は放學に処せられたとき。

その他医学図書館長が必要と認めたとき。

（書庫内検索）

第10条 医学図書館長が認めた者は、書庫内で検索し閲覧することができる。

（参考業務）

第11条 利用者は、次の事項について参考業務を求めることができる。

図書検索上の指導、助言

研究機関研究者等の調査

学術文献の書誌的調査

学術文献の所在調査

文献探索の援助

（文献複写）

第12条 利用者は、所定の料金を負担して文献の複写を求めることができる。

（他の図書館等の利用）

第13条 第2条第1号及び第2号の者は、他の図書館等が所蔵する資料の利用及び施設利用の照会又は斡旋について依頼することができる。

- 2 前項の資料の利用に要する費用は依頼者が負担しなければならない。

（視聴覚室等の利用）

第14条 医学図書館の視聴覚室及びグループ学修室 ・ を利用しようとするときは、所定の手続きによらなければならない。

（講座・部局備付）

第15条 講座・部局予算で購入した資料は、次の事項を遵守の上、講座・部局に備付け利用することができる。

できる。

講座・部局の長は、図書取扱者を決めなければならない。

備付資料は、全学的利用を妨げてはならない。

備付資料の責任者は、それぞれの講座・部局の長とする。

備付資料の帯出は、所定の様式によらなければならない。

図書取扱者は、図書管理簿と資料を照合点検して、その結果を講座・部局の長及び医学図書館長に報告しなければならない。

(館内規律)

第16条 医学図書館内では、次の事項を遵守しなければならない。

館内では静粛にし、他人の妨げとなるような行為をしてはならない。

図書は大切に扱い、書き込み、切取り又は汚損してはならない。

館内では所定の場所以外で談話、飲食、喫煙などをしてはならない。ただし、水分補給を目的とする場合は、ペットボトル、水筒など栓ができるものだけに限り許可する。

(弁償)

第17条 医学図書館の設備及び備品並びに借受けた図書を汚損、破損及び亡失したときは、修理費又は損害額を弁償しなければならない。

(罰則)

第18条 この細則に違反した場合には、医学図書館長は、直ちに退館を命じ又は期間を定めて図書館の利用を停止することができる。

2 帯出期間経過後返却の督促を受けてなお返却しない場合には、亡失とみなしてその弁償を命ずる。

附 則

この細則は、昭和53年4月1日から施行する。

附 則

この細則は、昭和62年1月1日から施行する。

附 則

この細則は、平成10年4月1日から施行する。

附 則

この細則は、平成16年7月1日から施行する。

附 則

この細則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この細則は、平成21年10月1日から施行する。

附 則

この細則は、平成26年3月25日から施行する。

附 則

この細則は、平成29年6月1日から施行する。

附 則

この細則は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

この細則は、令和6年4月1日から施行する。

久留米大学御井図書館利用細則

〔昭和53年3月30日〕
〔細則 第52 4号〕

(趣 旨)

第1条 この細則は、久留米大学附属図書館規則第8条の規定に基づき、久留米大学御井図書館(以下「御井図書館」という。)の利用に関する事項を定める。

(利 用 者)

第2条 御井図書館を利用することのできる者は、次のとおりとする。

本学の学生

本学の教職員及び名誉教授

地域住民

その他御井図書館長が特に認めた者

(開館時間)

第3条 御井図書館の開館時間は、次のとおりとする。

月曜日から金曜日 8時45分から21時まで

土曜日及び日曜日 10時から18時まで

2 御井図書館長が特に必要と認めるときは、臨時に開館時間を変更することができる。

(休 館 日)

第4条 御井図書館の休館日は、次のとおりとする。

国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する日

本学創立記念日 4月28日、特別休日 8月15日

年末 12月29日から同月31日まで

年始 1月2日及び3日

2 御井図書館長が特に必要と認めるときは、前項の規定にかかわらず、臨時に開館又は休館することができる。

(入 館)

第5条 御井図書館に入館するときは、学生証、教職員用名札又は御井図書館利用許可証を携帯し、係員から学生証の提示の要求があった場合は、それに応じなければならない。

(館内閲覧)

第6条 図書の館内閲覧(以下「閲覧」という。)は、次のとおりとする。

退館する際係員から求められた場合は、検査に応じなければならない。

その他係員の指示に従うこと。

2 閉架書庫内の図書の閲覧は、所定の用紙に必要事項を記入し、学生証を添えて係員に提出しなければならない。

3 図書は、所定の場所で閲覧しなくてはならない。

(館外帯出)

第7条 図書を館外帯出(以下「帯出」という。)するときは、学生証を添えて係員に提出しなければな

らない。

2 帯出できる図書の冊数及び期間は、次のとおりとする。

本学の学部学生及び科目等履修生	10冊以内	14日以内
本学の大学院生、専攻科学生及び研究生	20冊以内	1ヶ月以内
本学の教員、名誉教授	無制限	1年以内
本学の非常勤講師、研究員及び職員	20冊以内	3ヶ月以内
地域住民	5冊以内	14日以内
その他御井図書館長が認めた者	5冊以内	14日以内

3 前項の規定にかかわらず、論文作成など必要と認められる理由がある場合は、指定した期日までを帯出の期限とすることができる。

4 第2項の規定にかかわらず、夏季、春季の長期休暇期間中は、図書を帯出することができる。

5 期間を超え引続き帯出するときは、他に閲覧帯出の希望者がいない場合に限り、帯出の更新をすることができる。

6 帯出図書は、借用者が保管の責任をもち、他に転貸してはならない。

(禁帯出図書)

第8条 次の図書は、帯出することができない。

貴重図書

参考図書(辞典、事典、目録、索引等)

新聞、未製本及び製本雑誌

AV資料

電子出版物

2 前項の図書は、学術研究上、特に御井図書館長が必要と認めたものは、所定の手続きを経て帯出することができる。

(図書の返納)

第9条 帯出中の図書は、次の場合直ちに返納しなければならない。

職員が退職するとき。

学生が卒業、退学、又は除籍に処せられたとき。

その他御井図書館長が必要と認めたとき。

(書庫内検索)

第10条 御井図書館長の承認を得た者は、閉架書庫内の図書を検索することができる。ただし、入庫前と退庫の際に係員にその旨を告げなければならない。

(参考業務)

第11条 利用者は、次の事項について参考業務を求めることができる。

情報検索上の指導、助言に関すること。

教育、研究情報の提供に関すること。

他館の図書及び施設利用についての照会又は斡旋に関すること。

第12条 御井図書館は、利用者が他大学等の図書館が所蔵する資料の利用(以下「相互利用」という。)を希望する場合は、その利用又は複写の依頼を行う。

- 2 他大学図書館等から本学図書館の利用又は資料等の利用申込があった場合は、学内の利用に支障のない範囲でこれに応じるものとする。
- 3 相互利用に係る費用については、利用者が負担する。
- 4 利用者は、他の図書館等を利用する場合、当該図書館の定める事項を遵守しなければならない。

(館内規律)

第13条 御井図書館内では、次の事項を遵守しなければならない。

館内では静粛にし、他人の妨げとなるような行為をしてはならない。

図書は大切に扱い、書き込み、切取り又は汚損してはならない。

館内では、喫煙及び飲食してはならない。

(弁償)

第14条 御井図書館の設備及び備品並びに借受けた図書を汚損、破損及び亡失したときは、修理費又は損害額を弁償しなければならない。

(罰則)

第15条 この細則に違反し、又は図書館職員の指示に従わない者にたいしては、図書館の利用を停止し、又は退館を命ずることができる。

- 2 図書の帯出期限が過ぎ、返却の督促を受けて1カ月を過ぎてもなお返却しない場合には、亡失とみなしてその弁償を命ずることができる。

附 則

この細則は、昭和53年4月1日から施行する。

附 則

この細則は、平成24年4月1日から施行する。

久留米大学校歌

作詞 丸山 豊

作曲 團 伊玖磨

明るくおおらかに (♩=112)

(一) み ど り は な み う ち み な み の ひ か り は は ず む ゆ
 (二) み ど り は な み う ち み な み の ひ か り は は ず む ゆ
 (三) み ど り は な み う ち み な み の ひ か り は は ず む ゆ

たい かが なは つく し の わ れ ら が しゅ が が の ふ る さ と と わ れ ら の の
 ん が り の で ん ど う わ れ ら が しゅ が が の ふ る さ と と わ れ ら の の

き ば い そ の の わ か さ そ の の ゅ ん けい つ つ こ こ に に つ つ ど ど う
 せ い き そ の の わ か さ そ の の ゅ ん けい つ つ こ こ に に つ つ ど ど う

て お お ぞ ら つ つ ね に こ こ ん べ べ き き こ れ う き あ る く る め だ だ い が く
 て お お ぞ ら つ つ ね に こ こ ん べ べ き き こ れ う き あ る く る め だ だ い が く

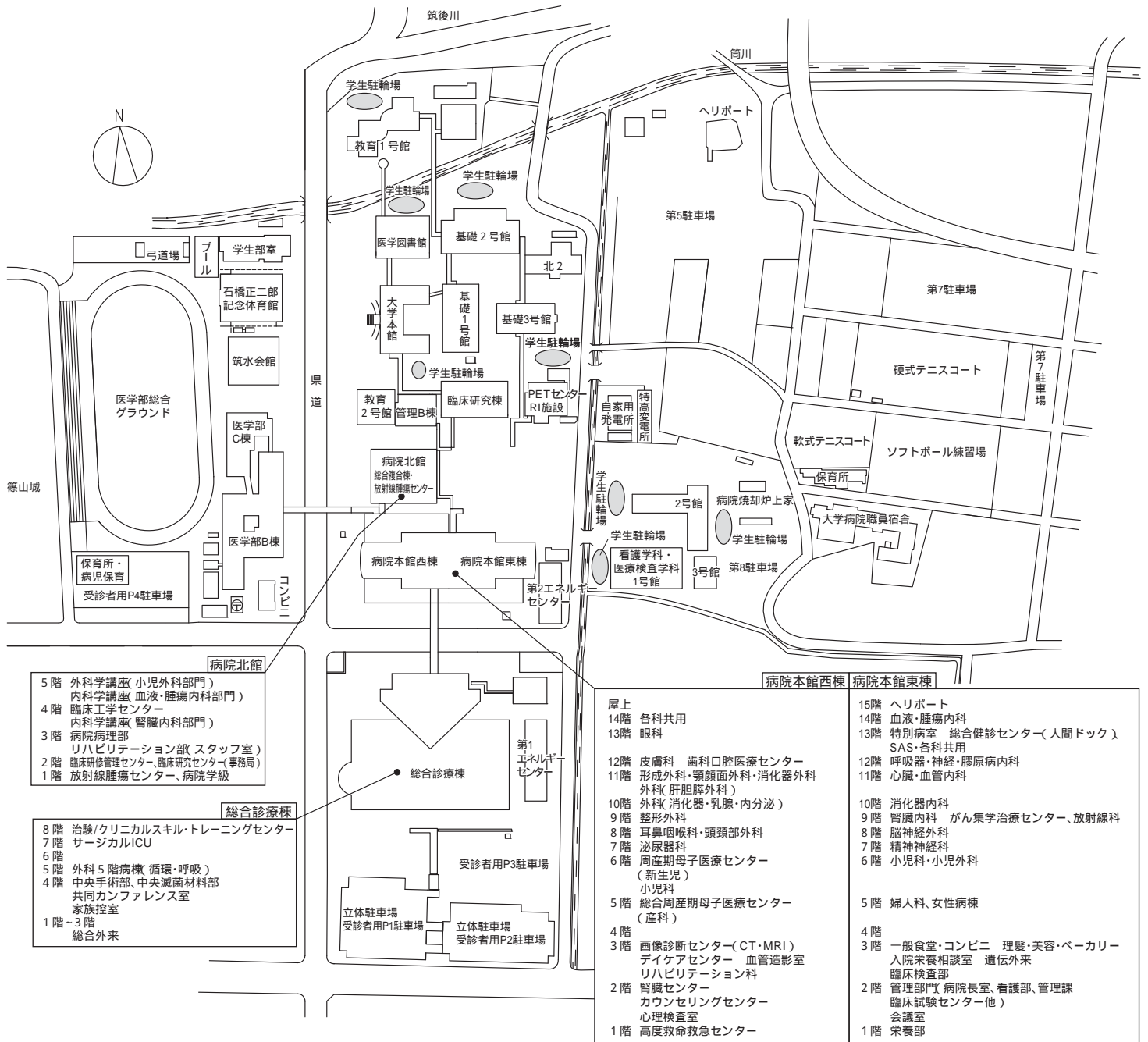
一 お お お お お 一
 一 お お お お お 一

久留米大学校歌

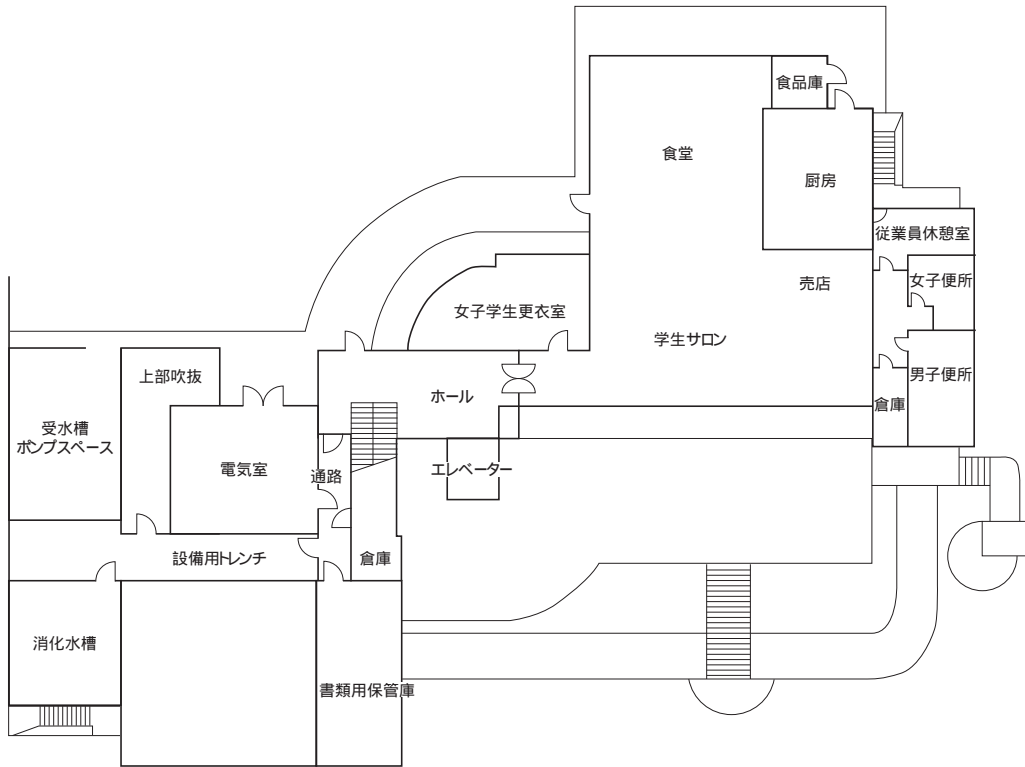
丸山 豊 作詞
 團 伊玖磨 作曲

- 一、 緑は波うち南の光はずむ
 豊かな筑紫野われらが修学のふるさと
 われらの希望 その若さ その純潔
 こゝに集つて大空つねに紺碧
 光輝ある久留米大学
 おゝ 久留米大学
- 二、 緑は波うち南の光はずむ
 大河は悠々われらが修学のふるさと
 われらの知性 その深さ その充溢
 こゝに集つて大空つねに紺碧
 歴史ある久留米大学
 おゝ 久留米大学
- 三、 緑は波うち南の光はずむ
 真理の殿堂われらが修学のふるさと
 われらの正義 その強さ その情熱
 こゝに集つて大空つねに紺碧
 未来ある久留米大学
 おゝ 久留米大学

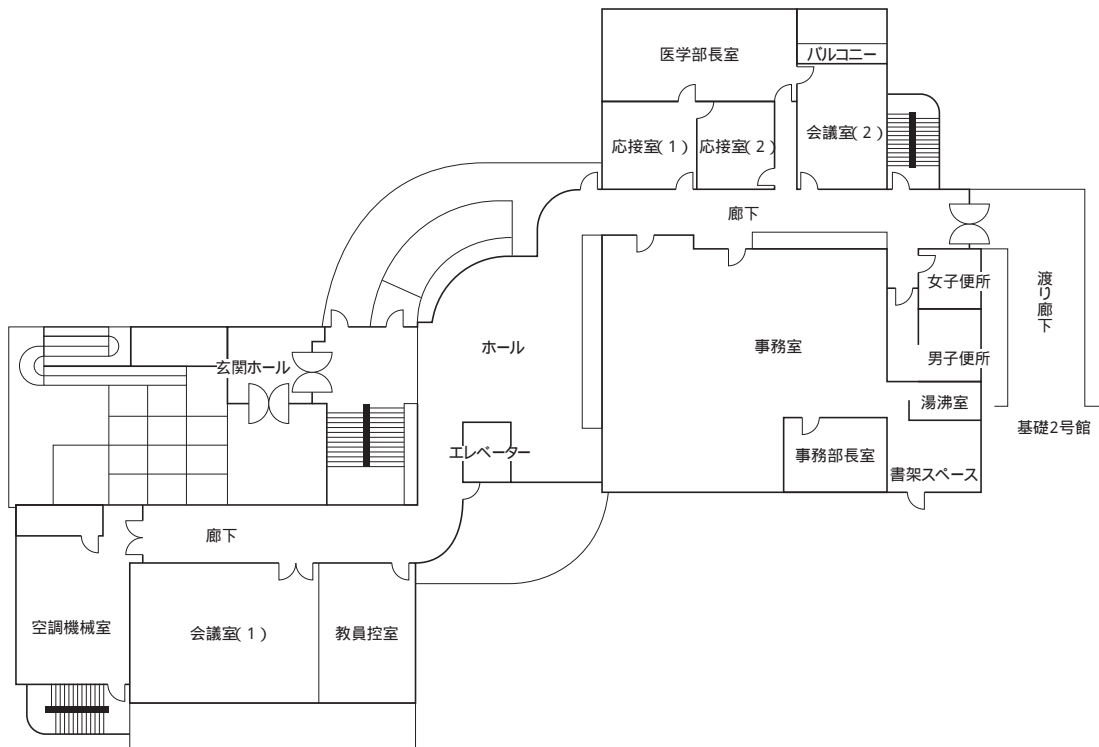
久留米大学旭町キャンパス配置図



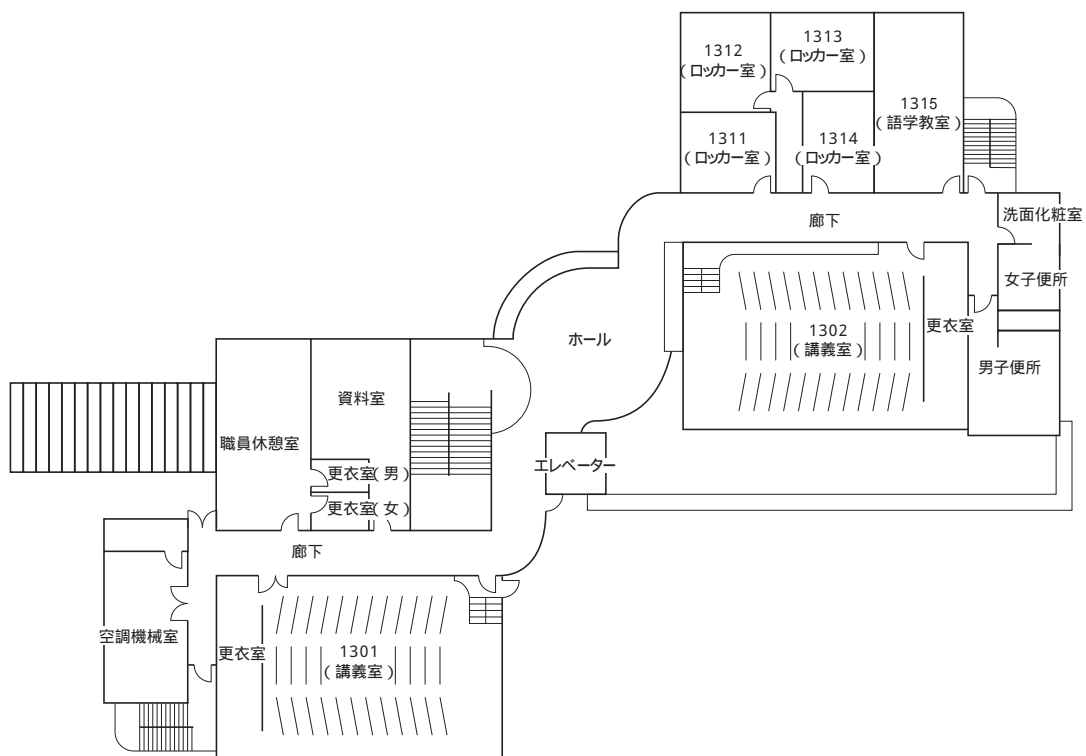
教育1号館各階平面図



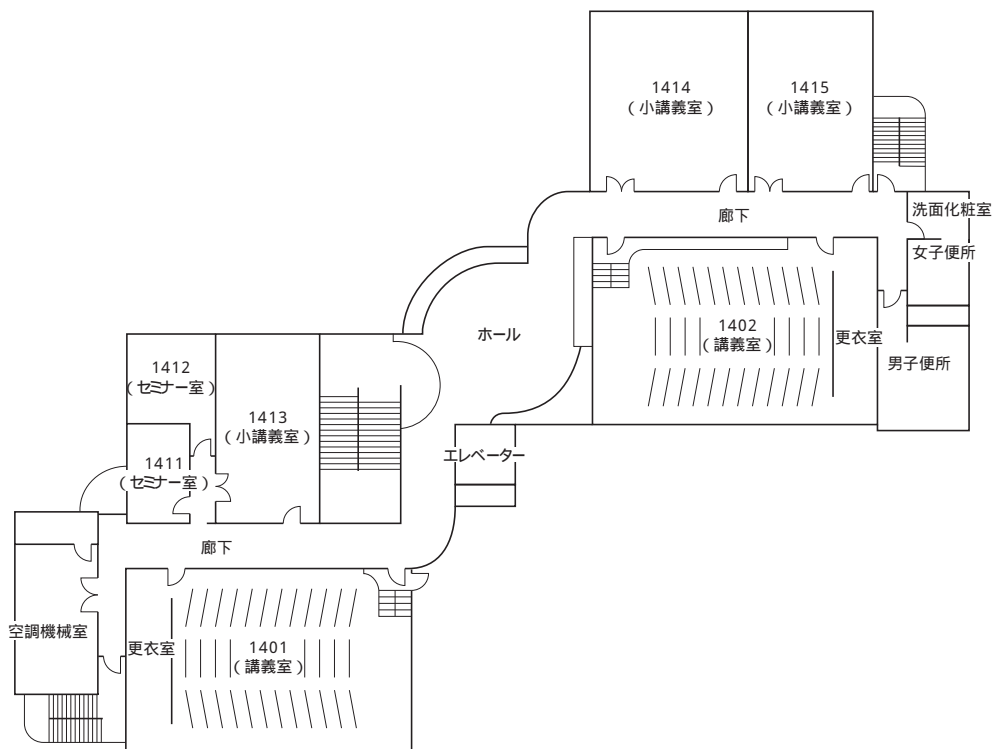
1F 平面図



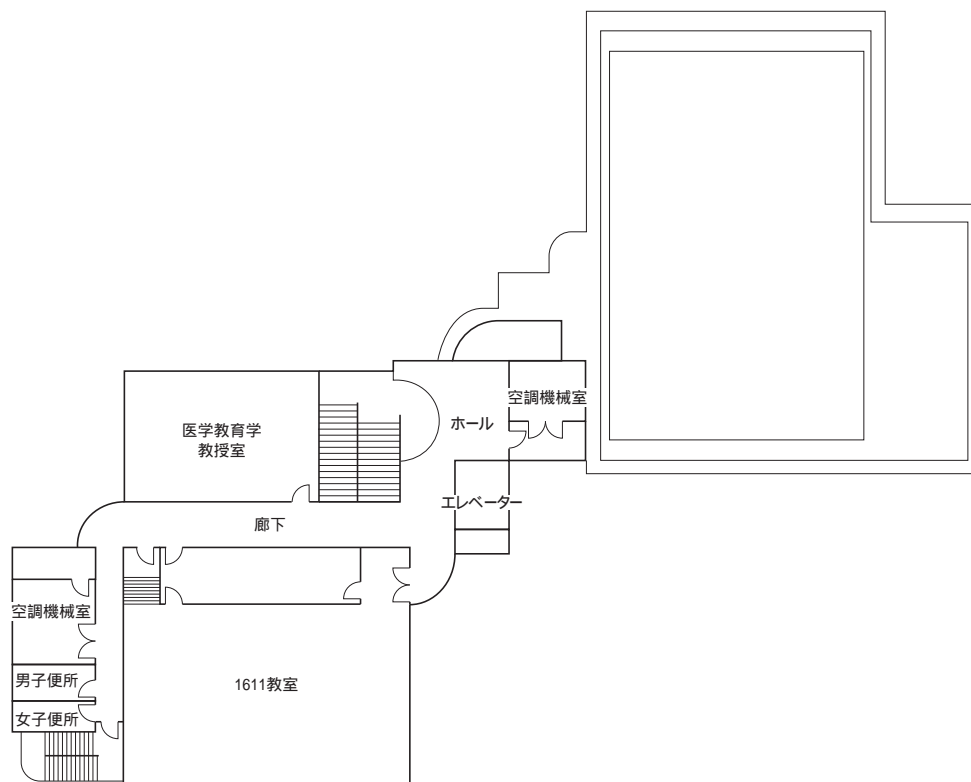
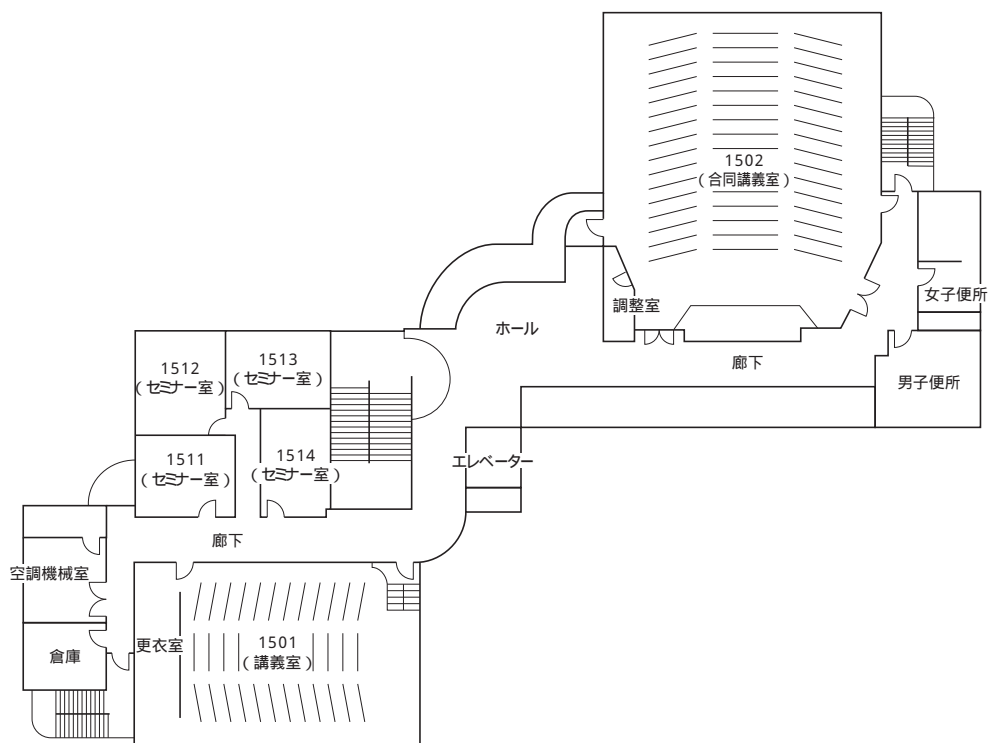
2F 平面図



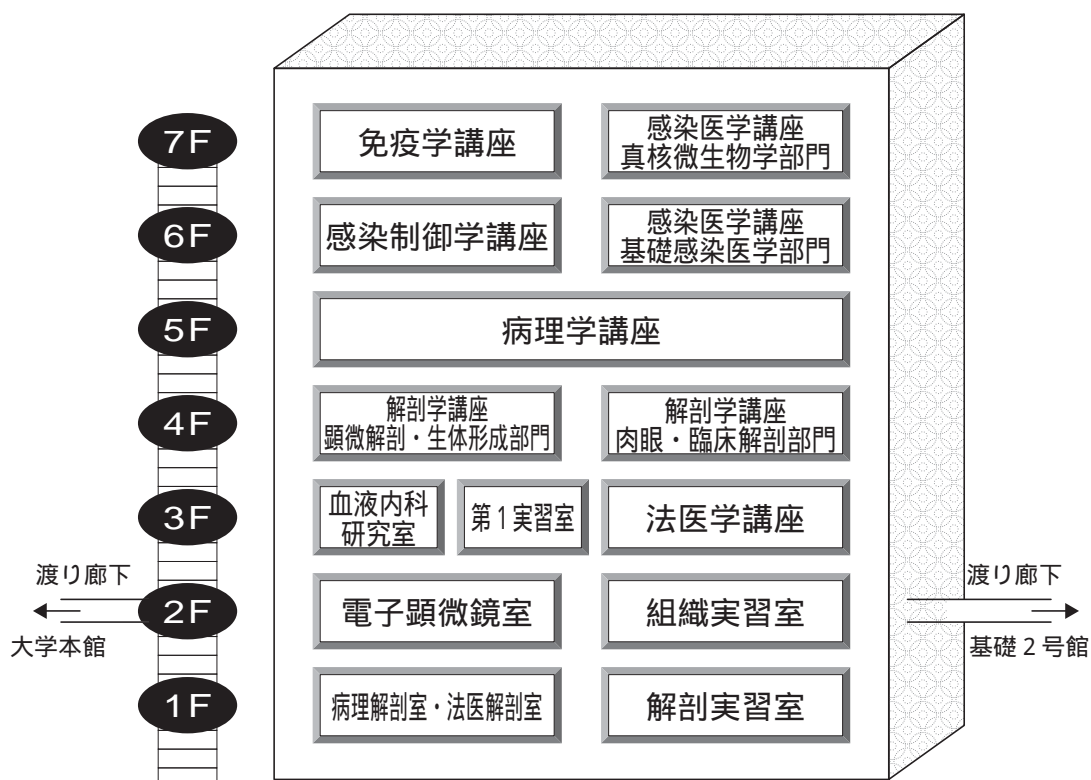
3F 平面図



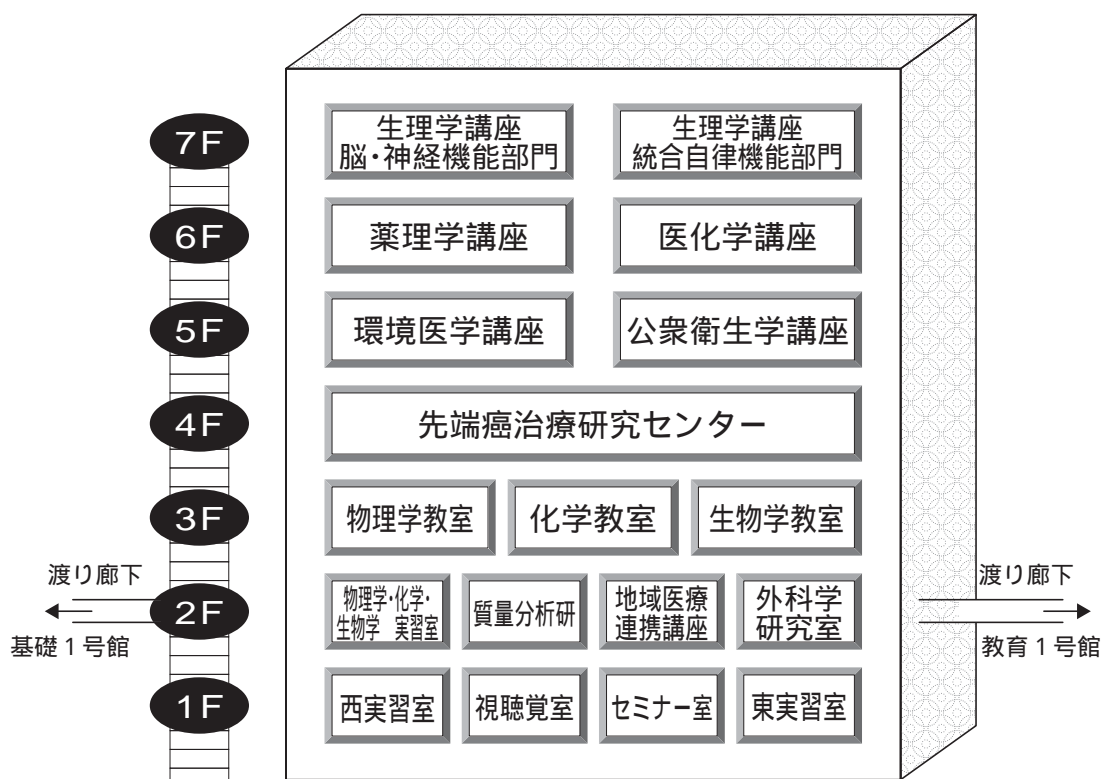
4F 平面図



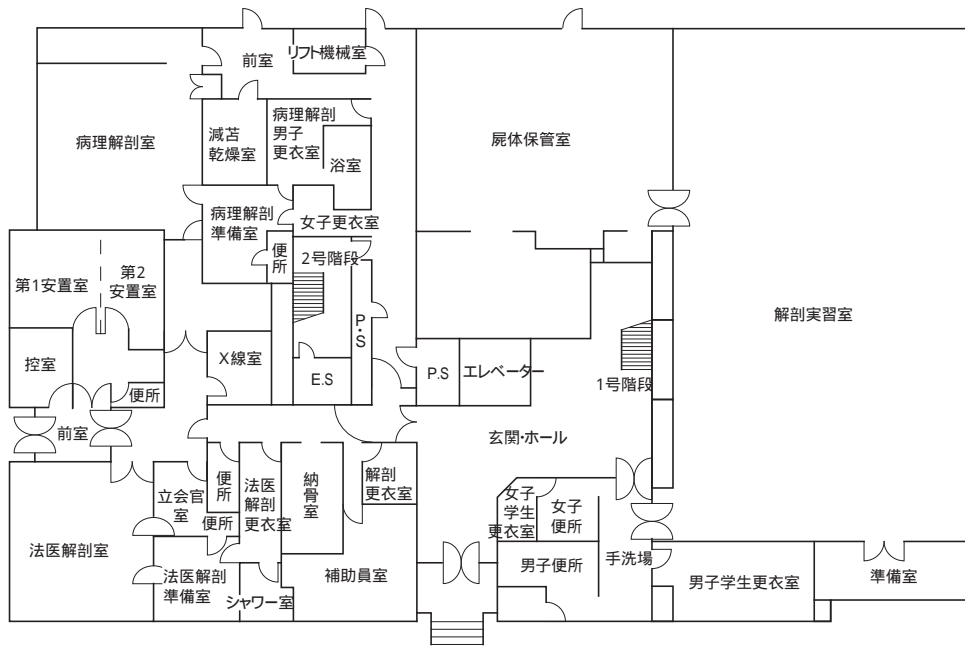
基礎 1 号館



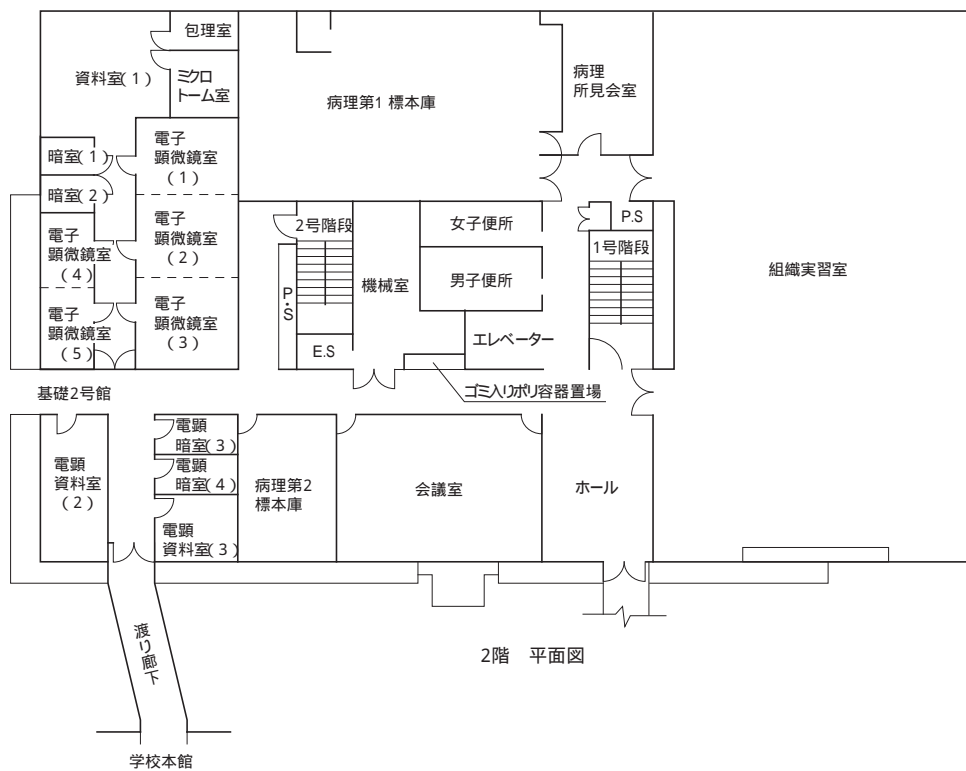
基礎 2 号館



基礎1号館平面図(1階~2階)

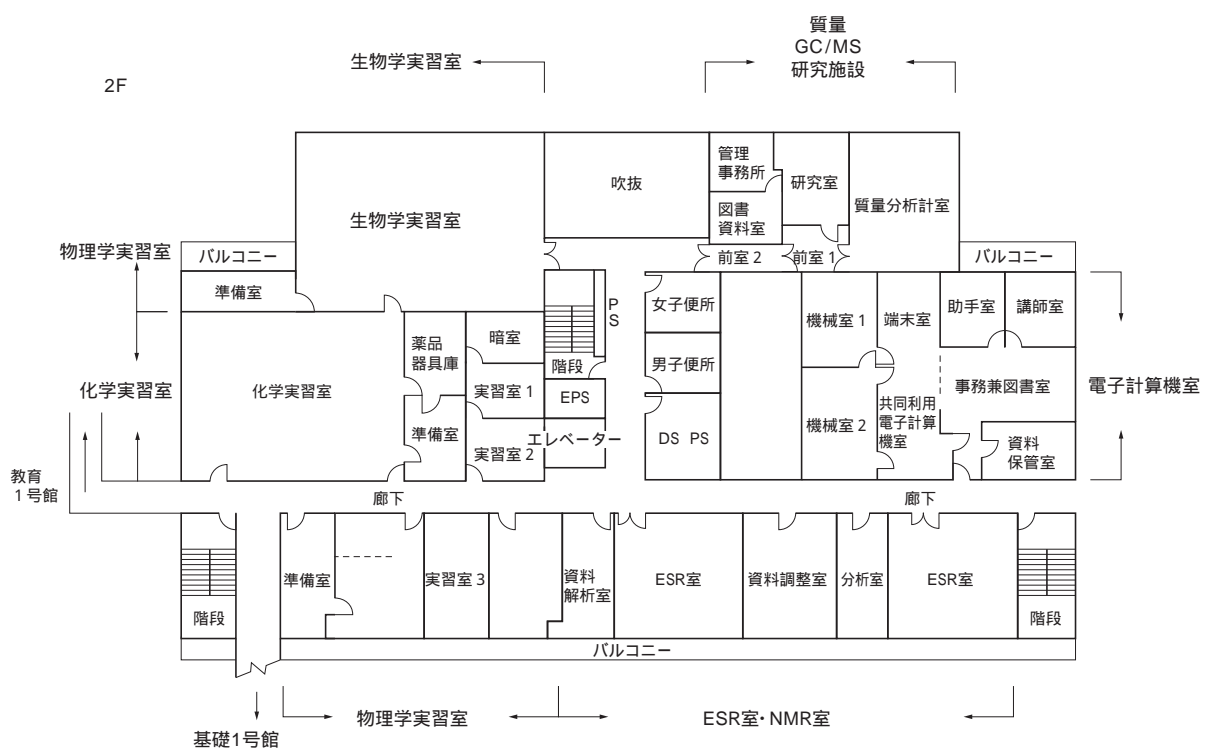
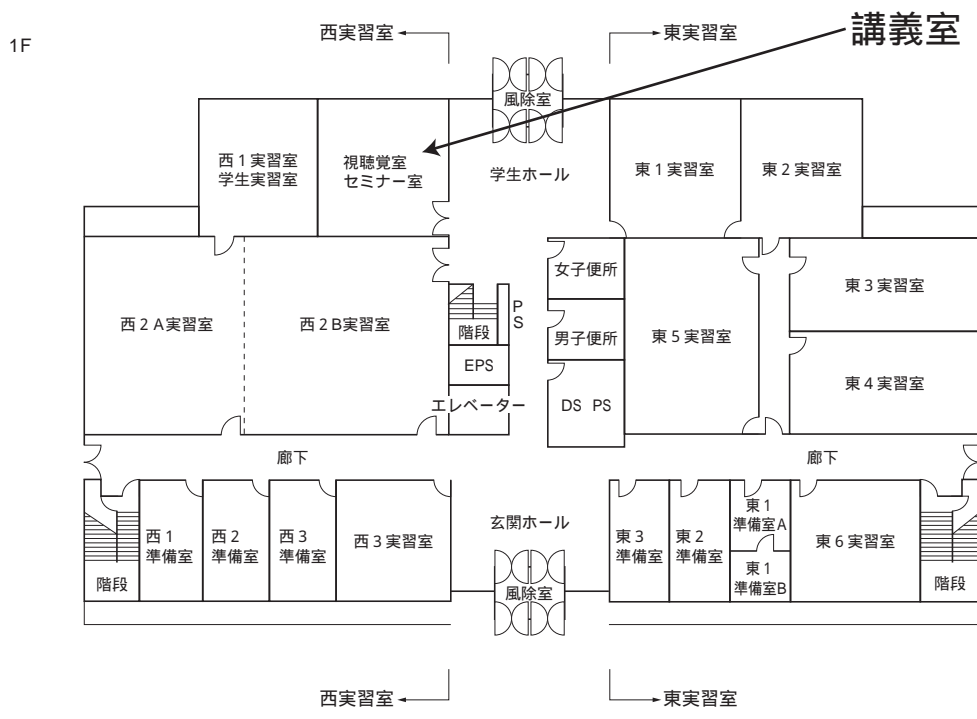


1階 平面図

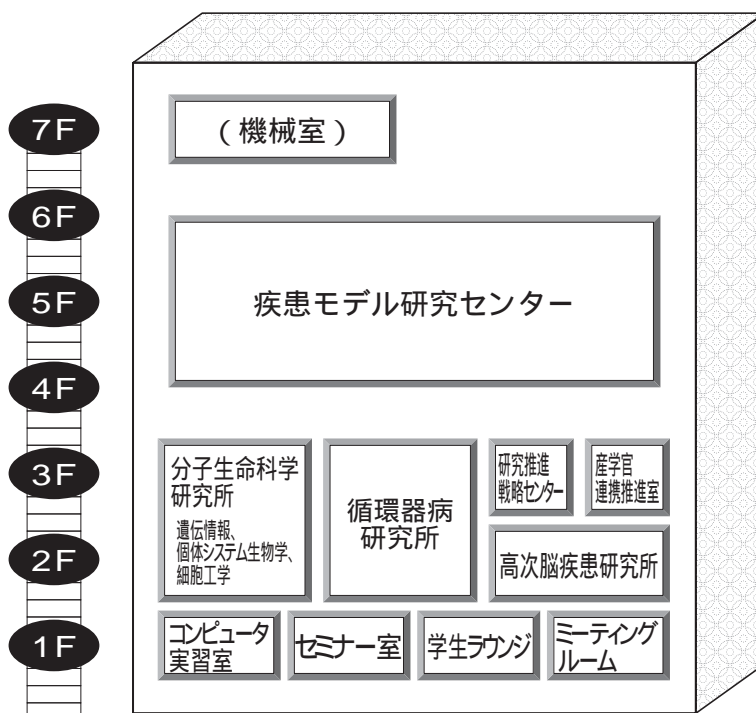


2階 平面図

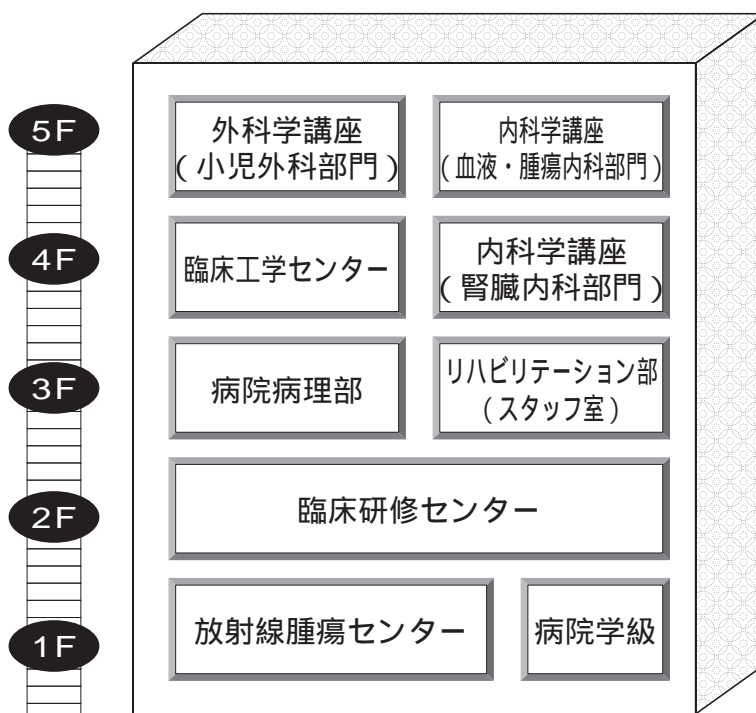
基礎2号館平面図(1階~2階)



基礎3号館



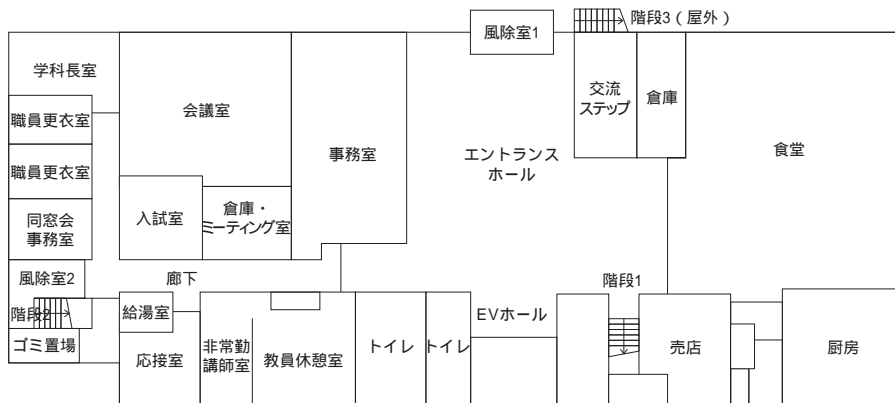
病院北館 (総合複合棟・放射線腫瘍センター)



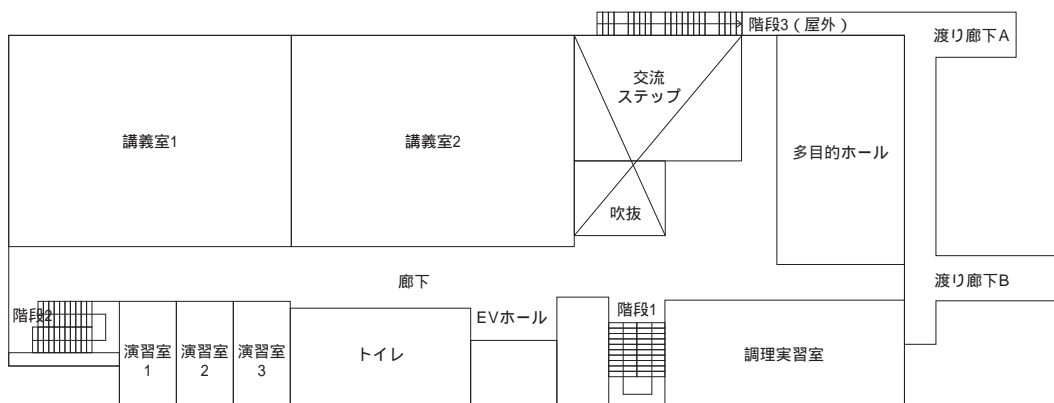
臨床研究棟



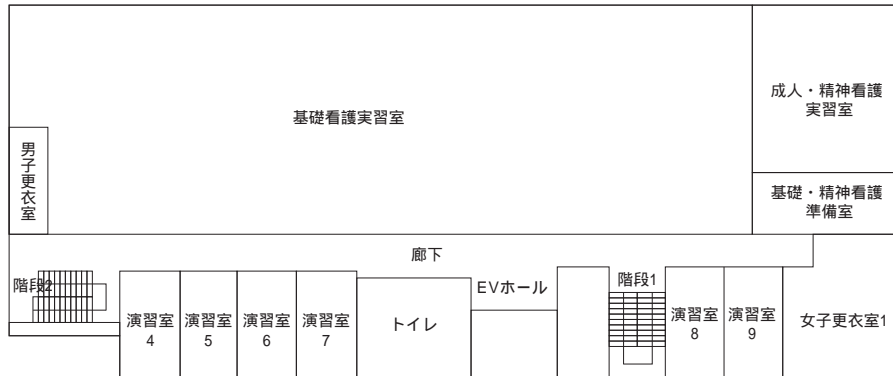
看護学科・医療検査学科1号館 各階平面図



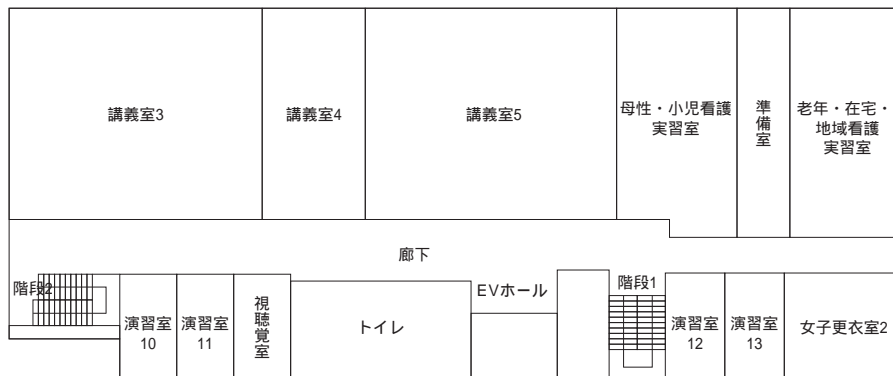
1F 平面図



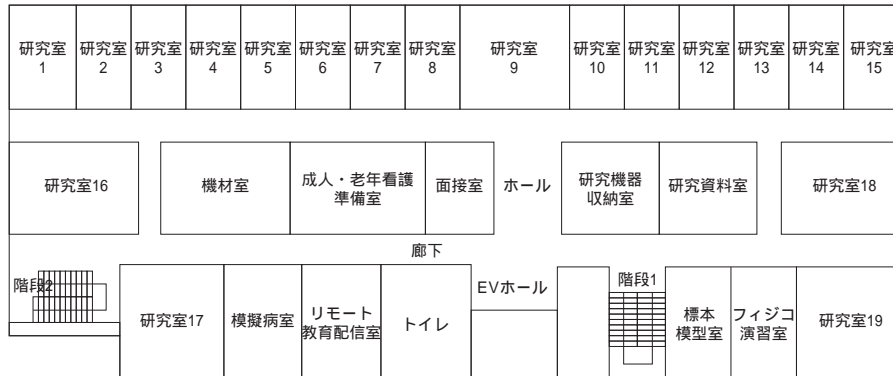
2F 平面図



3F 平面図



4F 平面図

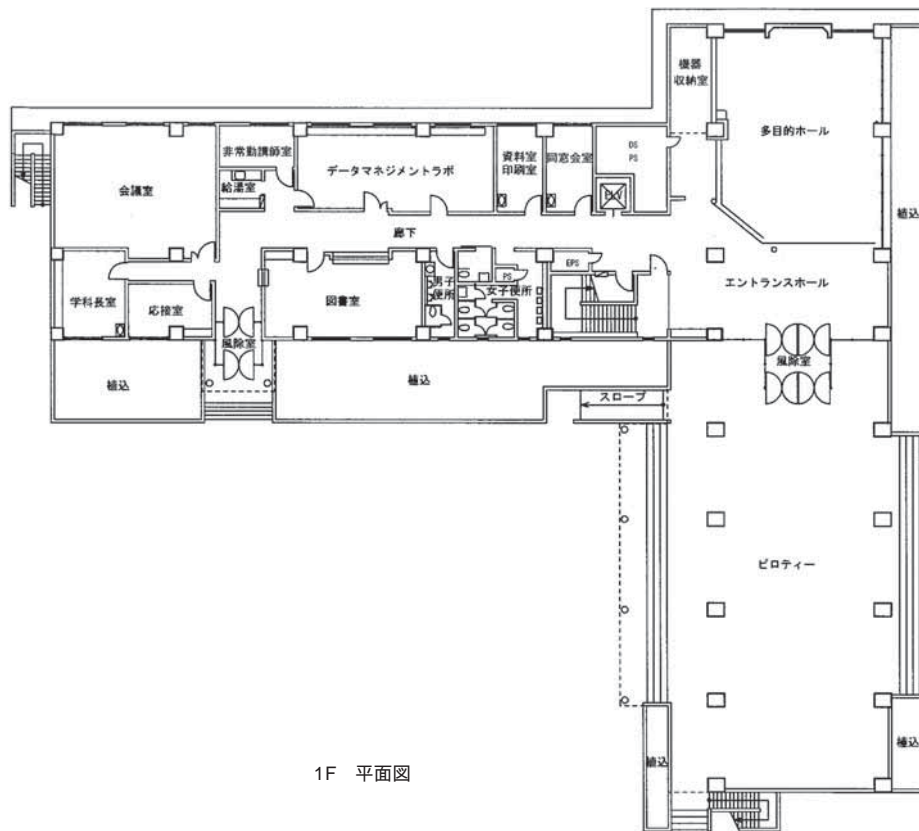


5F 平面図

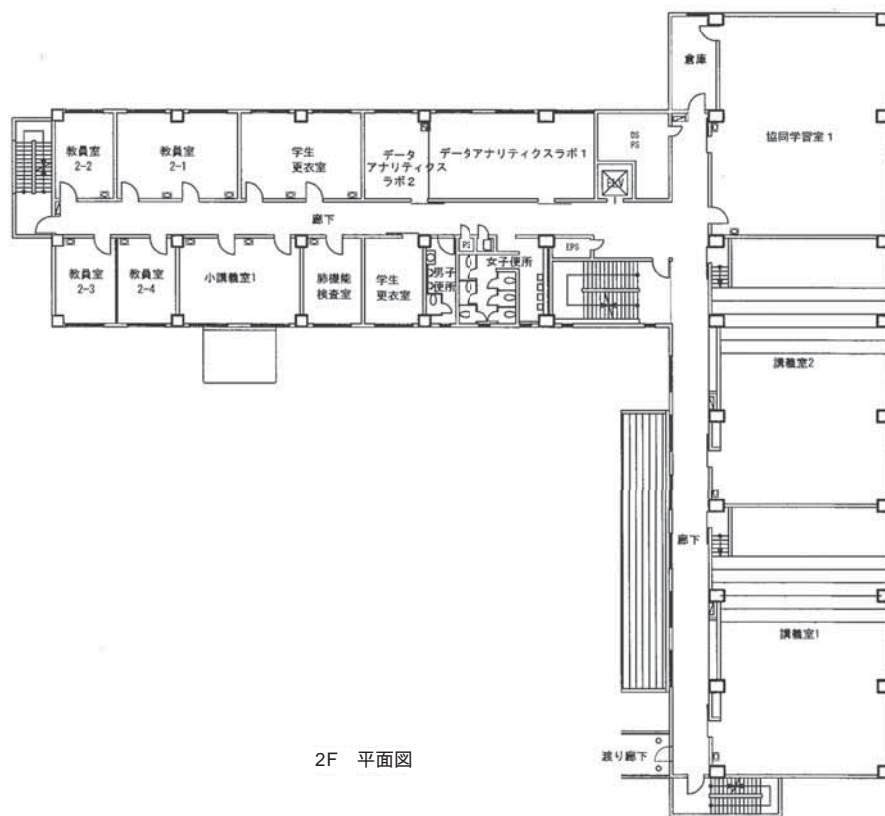


6F 平面図

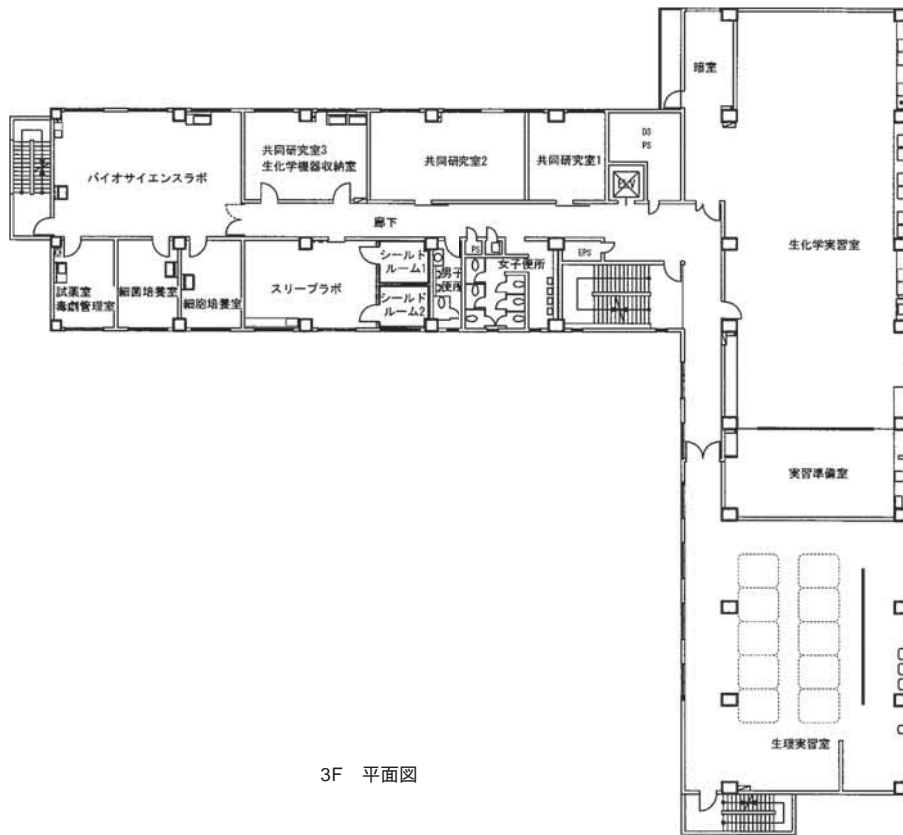
看護学科・医療検査学科2号館 各階平面図



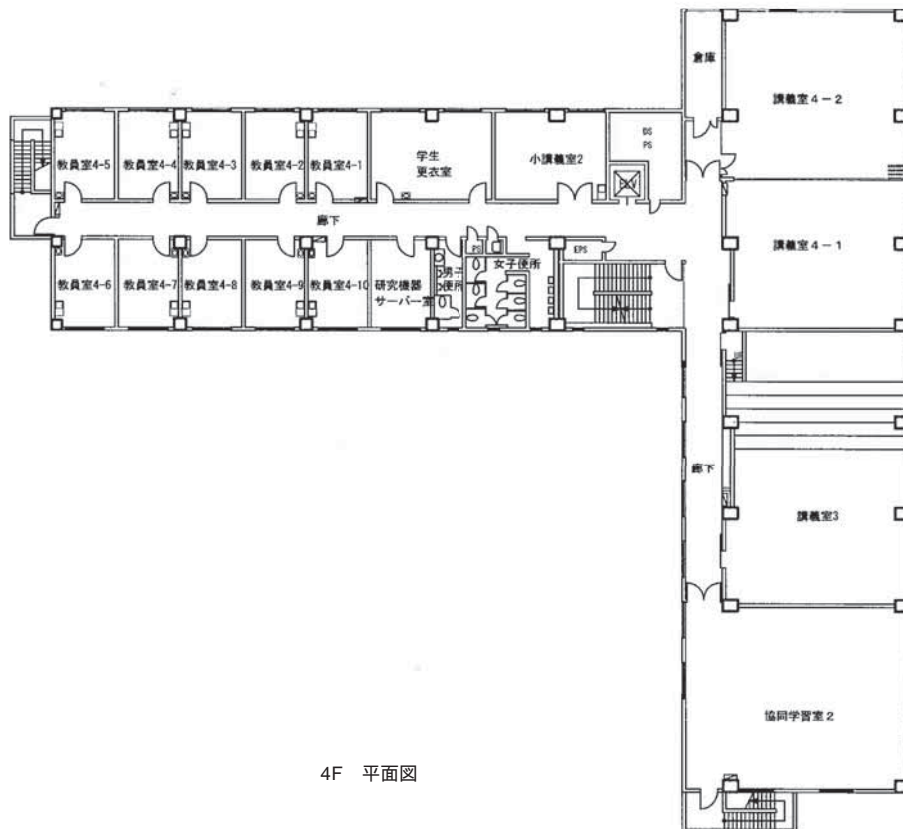
1F 平面図



2F 平面図

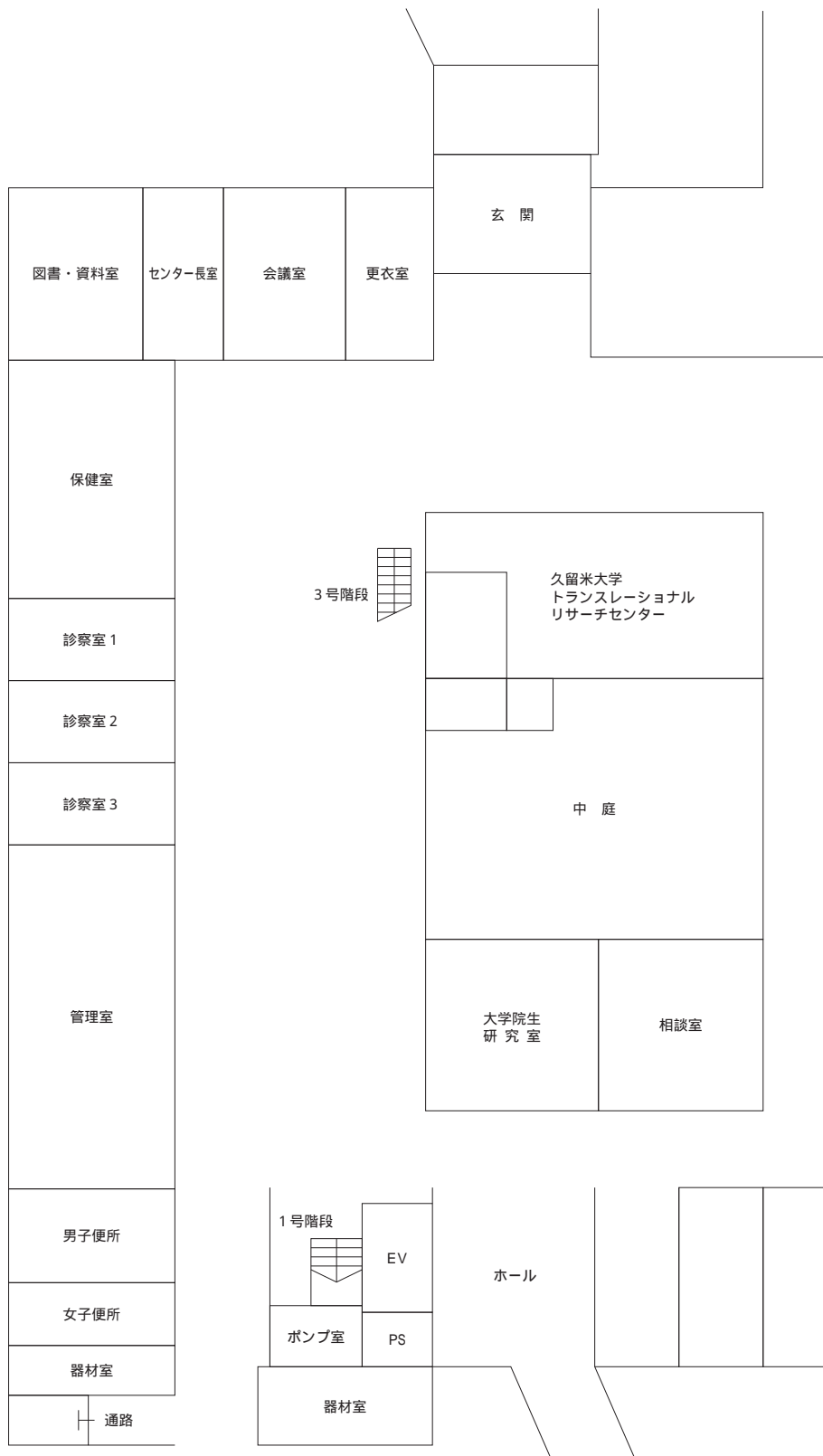


3F 平面図



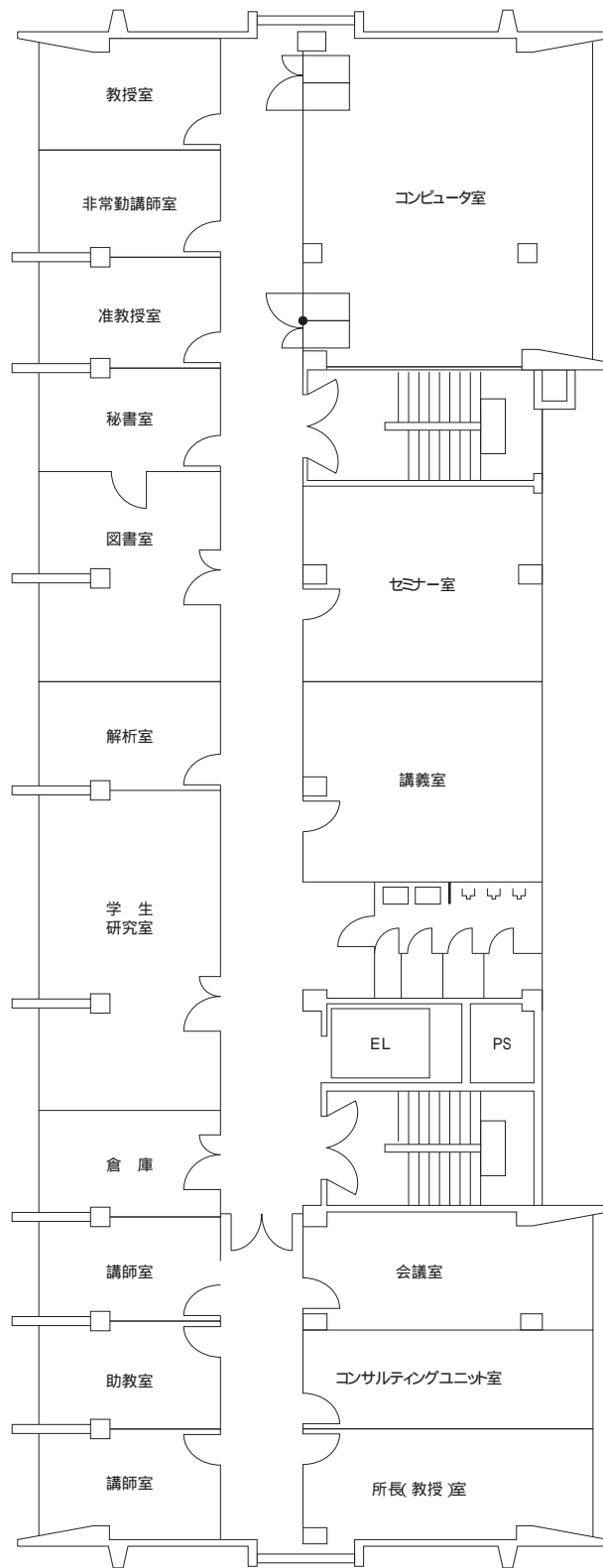
4F 平面図

医学部B棟1階（保健管理センター）平面図

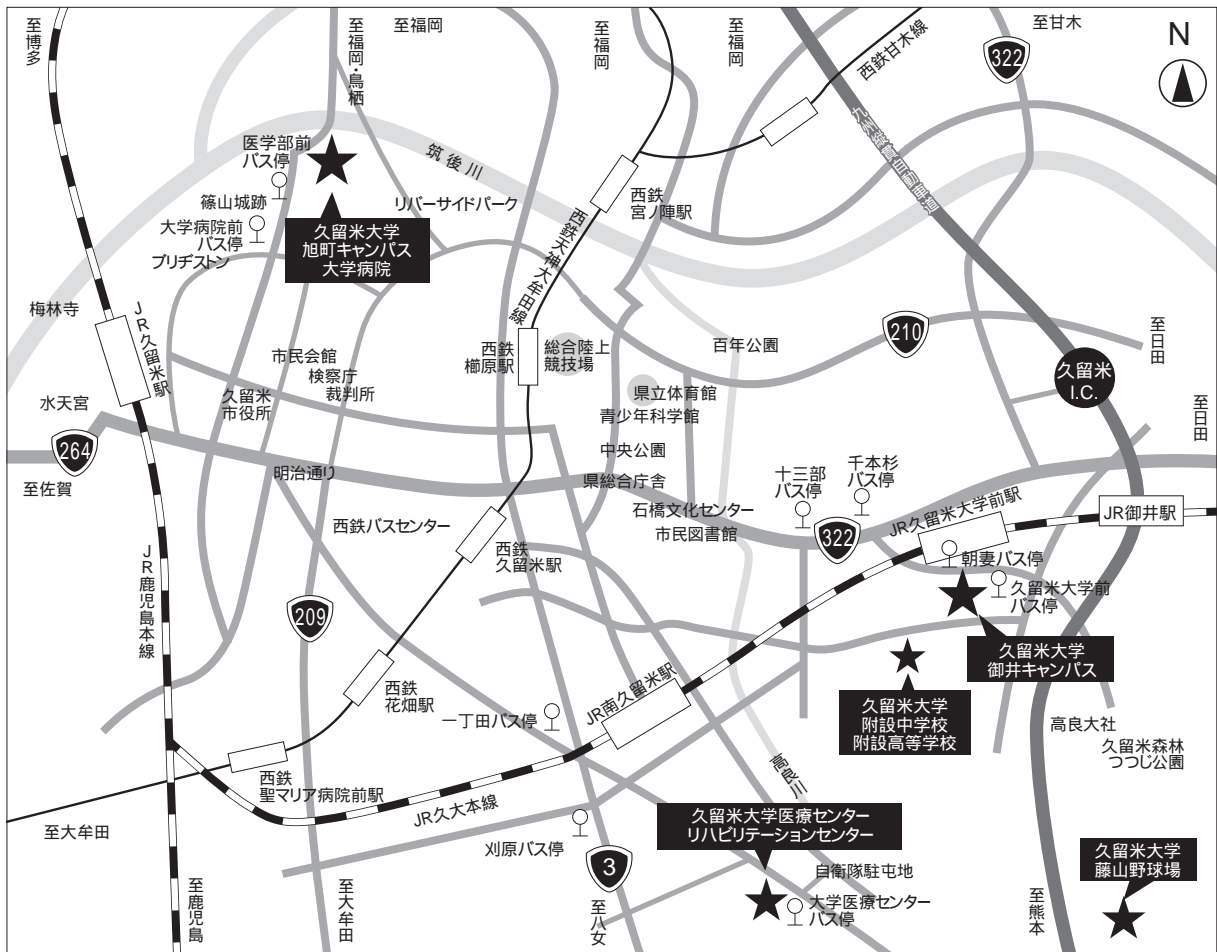


1F 平面図

医学部B棟7階（バイオ統計センター）平面図



久留米大学案内図



旭町キャンパス・大学病院 本部・医学部・大学院(医学研究科)・臨床検査 専門学校

西鉄をご利用の場合
西鉄久留米駅下車

西鉄バス系統番号8(大学病院、高専方面行にて大学病院または医学部前下車)
所要時間 西鉄久留米駅から約17分
JRをご利用の場合
JR久留米駅下車

西鉄バス系統番号18(高専方面行にて大学病院または医学部前下車)
所要時間 JR久留米駅から約7分

御井キャンパス 文学部・人間健康学部・法学部・経済学部・商学部 ノ大学院(比較文化研究科・心理学研究科・ビジネス研究科)

西鉄をご利用の場合
西鉄久留米駅下車

西鉄バス系統番号1・1-1・2・7・9(久留米大学前、信愛学院久留米、竹の子行にて朝妻または久留米大学前下車)
所要時間 西鉄久留米駅から約15分

JRをご利用の場合

JR久大本線「久留米大学前」駅下車 徒歩約3分
またはJR「久留米駅」下車

西鉄バス系統番号1・7・40・48(信愛学院久留米行にて朝妻または久留米大学前下車)
所要時間 JR久留米駅から約25分

附設中学校・附設高等学校

JR久留米大学前駅から徒歩10分
西鉄バス系統番号2、7
(信愛女学院行にて附設高校前下車)
所要時間 JR久留米駅から25分、西鉄久留米駅から15分

医療センター・リハビリテーションセンター

西鉄バス系統番号3
(信愛女学院・青峰団地行にて大学医療センター下車)
堀川バス
(大学医療センター・八女行にて大学医療センター下車)
所要時間 JR久留米駅から30分、西鉄久留米駅から15分

